

令和 7 年度 設計内訳書

工事名称 本庁舎分室耐震補強工事

工事場所 花巻市 城内 地内

- ・鉄筋コンクリート造耐震補強：内部鉄骨補強工事
屋根瓦改修（軽量化）
- ・木造耐震補強：耐力壁の増設、柱脚金物の設置、水平構面の補強
- ・木造 一部とりこわし工事
- ・耐震補強・とりこわしに伴う 外装・内装改修工事

単価適用年月：令和 7 年 5 月版（令和 7 年 6 月 1 日以降入札公告適用）

週休 2 日工事（発注者指定型）
月単位週休 2 日工事（全館無人改修 月 4 週 8 休）

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
本庁舎分室	1	式		
計				

建築工事 科目別内訳

6

本庁舎分室						
名 称		数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
とりこわし・撤去		1		式		
耐震（躯体）改修		1		式		
外部改修		1		式		
建具改修		1		式		
内装改修		1		式		
塗装改修		1		式		
外構		1		式		
発生材処理		1		式		
計						

電気設備工事 科目別内訳

7

本庁舎分室						
名 称		数	量	単位	金 額	備 考
幹線設備		1		式		
電灯設備		1		式		
動力設備		1		式		
電熱設備		1		式		
構内情報通信網設備		1		式		
構内交換設備		1		式		
拡声設備		1		式		
テレビ共同受信設備		1		式		
火災報知設備		1		式		
計						

本庁舎分室								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
空気調和設備		1		式				
換気設備		1		式				
衛生器具設備		1		式				
給水設備		1		式				
排水設備		1		式				
給湯設備		1		式				
撤去工事		1		式				
	計							

建築工事 中科目別内訳

9

本庁舎分室					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設	解体用	1	式		
直接仮設	耐震補強・改修	1	式		
計					
とりこわし・撤去	コンクリート	1	式		
とりこわし・撤去	木造上屋	1	式		
とりこわし・撤去	外部	1	式		
とりこわし・撤去	建具	1	式		
とりこわし・撤去	RC造撤去	1	式		
とりこわし・撤去	木造撤去	1	式		
とりこわし・撤去	環境配慮改修	1	式		
とりこわし・撤去	外構	1	式		
計					
耐震（躯体）改修	R C造補強	1	式		
耐震（躯体）改修	木造補強	1	式		
計					

建築工事 中科目別内訳

10

本庁舎分室					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
外部改修	屋根	1	式		
外部改修	軒天・外壁	1	式		
計					
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	RC造改修	1	式		
内装改修	木造改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
外構	改修	1	式		
外構	東ボーチ	1	式		
計					
発生材処理	積込み	1	式		
発生材処理	運搬	1	式		

建築工事 中科目別内訳

11

[illegible]

電気設備工事 中科目別内訳

12

本庁舎分室					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
幹線設備		1	式		
計					
電灯設備	電灯分岐	1	式		
電灯設備	コンセント分岐	1	式		
計					
動力設備	動力分岐	1	式		
計					
電熱設備		1	式		
計					
構内情報通信網設備		1	式		
計					
構内交換設備		1	式		
計					
拡声設備		1	式		
計					

電気設備工事 中科目別内訳

13

本庁舎分室					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
テレビ共同受信設備		1	式		
計					
火災報知設備		1	式		
計					

機械設備工事 中科目別内訳

14

本庁舎分室					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
空気調和設備	機器設備	1	式		
空気調和設備	配管設備	1	式		
計					
換気設備	機器設備	1	式		
換気設備	ダクト設備	1	式		
計					
衛生器具設備		1	式		
計					
給水設備		1	式		
計					
排水設備		1	式		
計					
給湯設備		1	式		
計					
撤去工事		1	式		

本庁舎分室		直接仮設		解体用		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0001
災害防止		1	式			別紙 00-0002
内部足場		1	式			別紙 00-0003
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0004
計						

本庁舎分室		直接仮設		耐震補強・改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生		1	式			別紙 00-0005
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0006
外部足場		1	式			別紙 00-0007
内部足場		1	式			別紙 00-0008
災害防止		1	式			別紙 00-0009
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0010
計						

本庁舎分室		とりこわし・撤去		コンクリート		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンクリート撤去	鉄筋切断共 人力 集積共	6.4	m3			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレイカ 集積共	8.6	m3			
鉄筋切断	集積共	14.9	m3			
コンクリート類 集積、積込み	機 械	14.9	m3			
発生材積込み 束石ア ロック	コンクリート類 人力	1.1	m3			
カッター入れ	SS-1、コンクリート面 厚さ20～30mm	21.4	m			
計						

本庁舎分室		とりこわし・撤去		木造上屋		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
木造建物上屋解体 (東トイレ)	手こわし 平面積	13	m ²			
木造建物上屋解体 (南面減築)	手こわし 平面積	70.7	m ²			
小屋組み撤去 (南面庇)	桁:角型鋼管、垂木 木製	22.2	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

20

本庁舎分室		とりこわし・撤去		外部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
屋根とりこわし	瓦、厚型スレートぶき	179	m ²			
屋根とりこわし	鉄板、波型スレートぶき	113	m ²			
屋根とりこわし	鉄板、波型スレートぶき	22.2	m ²			
軒樋撤去	カー鉄板 100φ半割 集積共	30.9	m			
縦樋撤去	カー鉄板 75φ 集積共	32.1	m			
軒天撤去	モルタル 一般 集積共	6.6	m ²			
天井下地撤去	集積共	30.9	m ²			
外壁撤去	金属系サイディング	107	m ²			
外壁撤去	ラスモルタル	105	m ²			
壁下地撤去	集積共	105	m ²			
モルタル窓台 砕り	t=20 糸尺395mm	32	m			
石積み撤去	壁厚 280mm	1.9	m ³			
計						

建築工事 細目別内訳

21

本庁舎分室		とりこわし・撤去		建具		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共 集積共	68.9	m ²			
木製戸撤去	両開き戸 枠共 集積共	53.1	m ²			
木製戸撤去	トイレブース 枠共 集積共	17.3	m ²			
既存アルミサッシ 木製額縁撤去	室内側 集積共	135	m			
計						

本庁舎分室		耐震（躯体）改修		R C造補強		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄骨本体		1	式			別紙 00-0012
梁連結		1	式			別紙 00-0013
(耐圧版)						
すきとり	耐圧版下 t=80mm 人力土工	10	m ³			
砂敷き	耐圧版下 t=30 人力土工	3.8	m ³			
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15	126	m ²			
花巻管内 生コンクリート	花巻 JIS A5308 呼び強度 24 S18 粗骨材25 -	25.1	m ³			
コンクリート打設手間	耐圧版・スラブ 配管式ポンプ車 50m3未満 S15～S18	25.1	m ³			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	126	m ²			
型枠目地棒	水切目地 幅15 ×深さ10程度	83	m			
異形棒鋼 D10	SD295	1.5	t			
鉄筋現場加工	一般 細物	1.5	t			
鉄筋加工組立	S造 床版 -	1.5	t			
発生材 処分費	鉄筋スクラップ	41	kg			
小計						

本庁舎分室		耐震（躯体）改修		R C造補強		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(R C壁塞ぎ)						
花巻管内 生コンクリート	花巻 JIS A5308 呼び強度 24 S18 粗骨材25 -	1	m ³			
小規模コンクリート打設 手間(人力)	10m3未満 小型構造物 シュート打設	1	m ³			
壁 無収縮モルタル充填	壁厚280 材工	1	式			
型枠	打放合板型枠A種 壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	10.1	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	10.1	m ²			
差筋アンカー	D13	52	か所			
異形棒鋼 D13	SD295	87	kg			
異形棒鋼 D10	SD295	4.2	kg			
鉄筋現場加工	一般 細物	0.1	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.1	t			
発生材 処分費	鉄筋スクラップ	2.5	kg			
小計						
計						

建築工事 細目別内訳

30

本庁舎分室		耐震（躯体）改修		木造補強		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(基礎部)						
根切り	山留め付き総掘り グラウトアンカ方式バックホ0.8m3 クワシタル積込	10.5	m3			
砂利地業	切込砕石	1.8	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 S15～S18	0.4	m3			
埋戻し	人力土工 A種（山砂の類）	7.9	m3			
花巻管内 生コンクリート	花巻 JIS A5308 呼び強度 21 S18 粗骨材25	12.6	m3			
小規模コンクリート打設 手間(人力)	10m3未満 小型構造物 シュート打設	3.6	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18	9	m3			
型枠	普通合板型枠 基礎部	22.9	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 基礎部	4.1	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	27.1	m ²			
差筋アンカー	D10	391	か所			
異形棒鋼 D13	SD295	132	kg			
異形棒鋼 D10	SD295	192	kg			
鉄筋加工組立	小型構造物 布基礎	0.3	t			

建築工事 細目別内訳

31

本庁舎分室		耐震（躯体）改修		木造補強		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.3	t			
発生材 処分費	鉄筋スクラップ	8.7	kg			
ワイヤーメッシュ敷込み	φ 6mm、150 x 150	56	m ²			
砂敷き	耐圧版下 t=30 人力土工	2.3	m3			
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15	74.8	m ²			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	74.8	m ²			
アンカーボルト	M12 L=400	16	本			
小計						
(木工事)						
つか立床組	施工手間	79.1	m ²			
銅製束	YR-2438同等品	68	か所			
調整束	YK-0511同等品	10	か所			
土台パッキン	t=20	13.8	m			
防腐土台 新設	105 x 105 材工	13.8	m			
柱新設	正角材（すぎ）4m 材工	3	本			

本庁倉分室		耐震（躯体）改修		木造補強		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
柱新設	正角材（すぎ）3m 材工	6	本			
柱新設（真壁）	正角材（すぎ）4面無節 4m 材工	1	本			
柱頭柱脚金物	へ（10kN引寄せ金物 同等品）	54	か所			
柱頭柱脚金物	と（15kN引寄せ金物 同等品）	48	か所			
筋交い新設	45×90ダブル（金物 BP-2同等品） 木材別途	6	か所			
筋交い新設	45×90ダブル（金物 BP-2同等品） 木材別途	2	か所			
既存筋交い 金物補強	45×90 BP-2同等品 材工	6	か所			
耐力壁 構造用合板張り	t=9、材工 くぎN50四週打ち @150	108	m ²			
間仕切軸組	施工手間	176	m ²			
小屋梁 新設	L=1,820 木材別途	15	か所			
小屋梁 新設	L=7,280（継手含み） 木材別途	2	か所			
小屋束 新設	L=1,450、700 木材別途	8	か所			
方杖 新設	L=1,820 木材別途	4	か所			
火打ち梁 新設	L=1,420 木材別途	40	か所			
防腐防蟻処理剤 塗布	外周部軸組 GL+1000より下部	37.2	m ²			

本庁倉分室		耐震（躯体）改修		木造補強		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
小計						
(木材)						
平角材 (梁、桁、大引等)	米松 特1等 4.0×10.5×15～24	3.7	m ³			
正角材 (柱、小屋束等)	杉 特1等 3.0×10.5×10.5 - KD	0.1	m ³			
平割材 (筋かい、 たるき、根太等)	米松 特1等 4.0×4.5×10.5 -	0.2	m ³			
平割材 (間柱等)	杉 特1等 3.65×4.5×10.5 -	0.7	m ³			
小計						
計						

本庁舎分室		外部改修		屋根		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(会議室棟)						
屋根立平葺き	ガルバリウム塗装鋼板 木下地 厚さ0.4	179	m ²			
屋根下葺き	アスファルトルーフィング 940 23K	179	m ²			
棟換気	カー鉄板 t=0.4包み リップヘンツ 厚24 x 幅284 同等品	11.2	m			
垂木 敷込み	45 x 60	179	m ²			
野地合板張り	t=12 材工	179	m ²			
破風・鼻隠し 下地	21 x 250 施工手間	54.1	m			
破風・鼻隠し	カー鉄板0.4 糸尺250	54.1	m			
軒とい	カー鉄板半円形 厚さ0.4 径120	30.9	m			
豎とい	亜鉛鉄板 径75	32.1	m			
小計						
(事務室棟)						
屋根横ぶき	ガルバリウム塗装鋼板 木下地 厚さ0.4	37.8	m ²			
屋根下葺き	アスファルトルーフィング 940 23K	37.8	m ²			
棟換気	カー鉄板 t=0.4包み リップヘンツ 厚24 x 幅284 同等品	8.5	m			

本庁舎分室		外部改修		屋根		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
垂木 敷込み	45 x 60	37.8	m ²			
野地合板張り	t=12 材工	37.8	m ²			
母屋 新設	施工費	45.5	m			
破風・鼻隠し 下地	21 x 250 施工手間	14.7	m			
破風・鼻隠し	カー鉄板0.4 糸尺250	14.7	m			
小計						
(木材)						
平割材 (筋かい、 たるき、根太等)	米松 特1等 4.0×4.5×10.5 -	1.4	m ³			
板材 (下地材等)	松 特1等 1.82×1.2×21	0.5	m ³			
小計						
計						

本庁舎分室		外部改修		軒天・外壁		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(会議室棟)						
窓台外塗り	金ごて t=20 糸尺 395	32	m			
小計						
(木造)						
天井下地	施工手間 吊木共	39.7	m ²			
軒天	化粧スラッせっこう板 t=6	39.7	m ²			
軒先 通気金物	銅製換気部材	37.4	m			
天井廻縁	塩化ビニル製	67.2	m			
透湿防水シート張り		171	m ²			
窯業系サイディング	t=14 モノンW14シャットウォール調程度	171	m ²			
土台水切り	銅板製通気土台	38.7	m			
窯業系サイディング 同質出隅	t=14 モノンW14シャットウォール調程度	26	m			
外壁 既存取合い 出隅下地	木製 L-60x60	21.7	m			
外壁 既存取合い 出隅	カー鉄板包み L-60x60	21.7	m			
シャッター額縁 下地	木製 三方枠 30x170	8	m			

本庁舎分室		外部改修		軒天・外壁		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
シャッター額縁	カー鉄板包み 三方枠 30x170	8	m			
壁合板張り	ワナ工類 見え隠れ 厚さ9.0mm	75.6	m ²			
胴縁	施工手間	171	m ²			
アルミ EXP-J クリアランス50	外壁 コーナー	9.6	m			
アルミ EXP-J クリアランス50	外壁-外壁	4.3	m			
換気ガラリ	スチアルタレ 400x600	2	台			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15x10	144	m			
小計						
(木材)						
板材 (下地材等)	松 特1等 1.82x1.2x21	0.3	m ³			
正割材 (天井野縁等)	杉 特1等 4.0x4.5x4.5	0.1	m ³			
小計						
計						

本庁舎分室		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(アルミ製建具)						
AD-1 店舗ドア ラン付両開き	W=1550、H=2418 Low-E透明ガラス 3方枠共	1	台			
AD-2 店舗ドア 両開き	W=1400、H=2018 Low-E透明ガラス	1	台			
AD-3 店舗ドア 親子戸	W=1340、H=2018 D=102、化粧シート張り	1	台			
小計						
(アル樹脂複合)						
AW-1 引違い窓 2枚建 (オーダー)	W=1690、H=820+W=1690、H=970 Low-E透明ガラス	2	台			
AW-2 引違い窓 2枚建	W=1690、H=1370 Low-E透明ガラス	2	台			
AW-3 たてすべり出し窓	W=640、H=1370 Low-E透明ガラス	1	台			
AW-4 たてすべり出し窓	W=640、H=1170 Low-E透明ガラス	1	台			
AW-5 すべり出し窓	W=780、H=570 Low-E透明ガラス	2	台			
AW-6 引違い窓 2枚建	W=1690、H=1370 Low-E透明ガラス	1	台			
窓 枠(引違い)	施工手間	12	か所			
小計						
(木製建具)						

本庁舎分室		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
WD-1 両開きドア	W=1600、H=2000（枠別） フラッシュ戸 メラミン化粧板	1	台			
WD-2 片開きドア	W=700、H=2000（枠別） フラッシュ戸 メラミン化粧板	1	台			
WD-3 両開きドア	W=1600、H=2000（枠別） フラッシュ戸 メラミン化粧板	1	台			
WD-4 親子開きドア	W=1070、H=2000（枠別） フラッシュ戸 メラミン化粧板	1	台			
WD-5 引き違いドア	W=1600、H=2000（枠別） フラッシュ戸 メラミン化粧板	1	台			
WD-6 引き違いドア	W=1600、H=2000（枠別） フラッシュ戸 メラミン化粧板	1	台			
WD-7 片引きドア	固定枠 154、W=1645 フラッシュ戸 メーカー仕様	2	台			
WD-8 折戸ドア	固定枠 154、W=930 フラッシュ戸 メーカー仕様	1	台			
WD-9 片開ドア	W=700、H=2000（枠別） フラッシュ戸 メラミン化粧板	1	台			
WD-10 引き違いドア	W=1790、H=1885（枠別） フラッシュ戸 メラミン化粧板＋襖紙	1	台			
出入口枠 (両開き)	施工手間	6	か所			
出入口枠 (片開き)	施工手間	2	か所			
小計						
(その他)						
額縁取付け	AW-11、AW-12 取付手間	135	m			

本庁舎分室		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
既存額縁 取合シールカ	一般部 シリコン系(SR-1) 10×10	135	m			
額縁取付け	AD- 24, AD- 25, AD- 26 取付手間	15. 9	m			
造作板材 (床板、棚板等)	杉 特1 等	0. 8	m3			
小計						
計						

本庁舎分室		内装改修		RC造改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(床)						
鋼製束	YR- 2438同等品	264	か所			
つか立床組	施工手間	246	m ²			
ビニル床シート	無 地 厚さ2. 0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	235	m ²			
床合板張り	ワ22類 見え隠れ 厚さ9. 0mm	235	m ²			
床 構造用合板	t =28 材工	255	m ²			
床 ポリスチレンフォーム敷込	厚さ60 3種bA	99	m ²			
床点検口	600角 高気密・高断熱型 一般型貼物用 アルミ製枠	4	か所			
床タイル張り 巾木立上げ	一般床タイル張 I 類 無ゆう 100mm角 下地も別途	1. 3	m ²			
小計						
(幅木・壁)						
ビニル幅木	高さ60	141	m			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12. 5 不燃 銅製、木、ボード下地 継目処理 -	369	m ²			
壁紙張り手間	壁 プラスチック程度 ボード面 素地B種	341	m ²			
壁紙	量産品	341	m ²			

本庁舎分室		内装改修		RC造改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
窯業系サイディング	t=14 モエンW14シャットウォール調程度	26.3	m ²			
窯業系サイディング 同質出隅	t=14 モエンW14シャットウォール調程度	9.5	m			
壁タイル塗り	金ごて 厚20	1.8	m ²			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	42.7	m			
壁 防湿気密シート		295	m ²			
壁 グラスウール断熱材	グラスウールフェルト 厚さ100 16kg/m3	295	m ²			
間仕切軸組	施工手間	370	m ²			
小計						
(天井)						
天井 化粧 せつこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラバーチ 突付け	235	m ²			
天井 防湿気密シート		235	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	154	m			
天井 グラスウール断熱材	グラスウールフェルト 厚さ200 16kg/m3	169	m ²			
天井下地	施工手間 吊木共	235	m ²			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	2	か所			

本庁舎分室		内装改修		RC造改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
小計						
(その他)						
階段組立	周り階段 W=900	1	式			
階段 ササラ桁	タモ集成材 t=30 W300	15.3	m			
階段手摺	樹脂被覆手摺 φ34 受け金物共	7.6	m			
階段 甲板	タモ集成材 t=25 W150 材工	3.6	m			
階段 甲板	タモ集成材 t=25 W275 材工	3.3	m			
階段滑り止め	ステンレス W=35 コムタ代入	21.8	m			
小計						
(木材)						
平角材 (梁、桁、大引等)	米松 特1等 4.0×10.5×15~24	11.9	m3			
平割材 (間柱等)	杉 特1等 3.65×4.5×10.5 -	4.2	m3			
正割材 (天井野縁等)	杉 特1等 4.0×4.5×4.5	1.4	m3			
小計						
計						

本庁舎分室		内装改修		木造改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(床)						
ビニル床シート	無 地 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	76.4	m ²			
床合板張り	ワ2類 見え隠れ 厚さ9.0mm	76.4	m ²			
床 構造用合板	t=28 材工	79.1	m ²			
床 おしりスリット敷込	厚さ60 3種BA	88.6	m ²			
付框	珪集成材 25x90 材工	1.5	m			
ころばし床組	施工手間	27.5	m ²			
床合板張り	ワ2類 見え隠れ 厚さ12.0mm	27.5	m ²			
畳敷き	標仕C種 畳表C2 柄へり Ht 畳床PS-C20 JIS A 5901 一畳 施工規模30枚以下程度	17	枚			
畳敷き	標仕C種 畳表C2 柄へり Ht 畳床PS-C20 JIS A 5901 半畳 施工規模30枚以下程度	1	枚			
平割材 (筋かい、 たるき、根太等)	米松 特1等 4.0×4.5×10.5 -	0.4	m3			
小計						
(幅木・壁)						
ビニル幅木	高さ60	88.4	m			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、おしり下地 継目処理 -	232	m ²			

本庁舎分室		内装改修		木造改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
壁紙張り手間	壁 グラスチック程度 おしり面 素地B種	192	m ²			
壁紙	量産品	192	m ²			
壁合板張り	ワ21類 見え隠れ 厚さ9.0mm	14.5	m ²			
ワミン化粧板張り	t=3	2.5	m ²			
壁 防湿気密シート		80.9	m ²			
壁 グラスウール断熱材	グラスウールフェルト 厚さ100 16kg/m3	80.9	m ²			
小計						
(天井)						
天井 化粧 せっこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラバーチン 突付け	92.3	m ²			
天井 防湿気密シート		92.3	m ²			
天井 グラスウール断熱材	グラスウールフェルト 厚さ200 16kg/m3	92.3	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	118	m			
天井下地	施工手間 吊木共	92.3	m ²			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	2	か所			
小計						

建築工事 細目別内訳

52

本庁舎分室		発生材処理		積込み		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材 積込み	コンクリート（有筋）	15.3	m3			
発生材 積込み	がれき類	17.2	m3			
発生材 積込み	木材	44.1	m3			
発生材 積込み	廃プラスチック	3	m3			
発生材 積込み	ボード類	5.5	m3			
発生材 積込み	ガラス・陶器くず	1.8	m3			
発生材 積込み	金属くず	10.4	m3			
発生材 積込み	繊維くず（畳）	1	m3			
発生材 積込み	混合くず（電気ケーブル）	1	m3			
発生材 積込み	蛍光灯・白熱灯	1	m3			
発生材 積込み	ボード類 アスベスト含有建材	0.3	m3			
発生材 積込み	アスファルト類 アスベスト含有建材	0.3	m3			
計						

建築工事 細目別内訳

53

本庁舎分室		発生材処理		運搬		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材 運搬費	コンクリート（有筋）	15.3	m3			
発生材 運搬費	がれき類	17.2	m3			
発生材 運搬費	木材	44.1	m3			
発生材 運搬費	廃プラスチック	3	m3			
発生材 運搬費	ボード類	5.5	m3			
発生材 運搬費	ガラス・陶器くず	1.8	m3			
発生材 運搬費	金属くず類	10.4	m3			
発生材 運搬費	繊維くず類（畳）	1	m3			
発生材 運搬費	混合くず（電気ケーブル）	1	m3			
発生材 運搬費	蛍光灯・白熱灯	1	m3			
発生材 運搬費	ボード類 アスベスト含有建材	0.3	m3			
発生材 運搬費	アスファルト類 アスベスト含有建材	0.3	m3			
計						

本庁舎分室		幹線設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
硬質ビニル電線管 (VE)	隠ぺい配管 36mm	3	m			
硬質ビニル電線管 (VE)	隠ぺい配管 70mm	3	m			
硬質ビニル電線管 (VE)	露出配管 70mm	36	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	3	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 28mm	2	m			
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(EM-1E)	5.5mm ²	6	m			
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(EM-1E)	14mm ²	64	m			
EM-CEケーブル	14mm ² - 2C ビット・天井	16	m			
EM-CEケーブル	14mm ² - 2C FEP内(PF・CD)	2	m			
EM-CETケーブル	22mm ² 管内	18	m			
EM-CETケーブル	22mm ² ビット・天井	12	m			
EM-CETケーブル	60mm ² 管内	19	m			
EM-CETケーブル	60mm ² ビット・天井	12	m			
EM-CETケーブル	100mm ² ビット・天井	19	m			
EM-CETケーブル	100mm ² FEP内(PF・CD)	12	m			

本庁舎分室		幹線設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ブロッカス SS-V形 (硬質ビニル製)	500× 500× 500	3	個			
引込開閉器盤	M-LP	1	面			
電灯動力盤	1LP- 1	1	面			
電灯盤	2L- 1	1	面			
開閉器箱 (一般形)	MCCB2P 30AF× 1個	1	個			
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	14φ×1.5m	2	か所			
接地極埋設標	金属製	2	枚			
撤去		1	式			別紙 00-0014
計						

本庁舎分室		電灯設備		電灯分岐		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ねじなし電線管 (E)	露出配管(塗装有) 19mm	9	m			
ねじなし電線管 (E)	露出配管(塗装有) 25mm	1	m			
硬質ビニル電線管 (VE)	露出配管 16mm	22	m			
硬質ビニル電線管 (VE)	露出配管 22mm	6	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	37	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	41	m			
1種金属線び(MMI)	A型(25.4mm)	1	m			
1種金属線び(MMI) 付属品	A型(25.4mm) 1個用スイッチボックス	1	個			
1種金属線び(MMI) 付属品	A形(25.4mm) 天井引出アダプタ	1	個			
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(EM-IE)	1.6mm	103	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	1.6mm- 2C 管内	8	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	1.6mm- 2C ビット・天井	128	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	1.6mm- 2C FEP内(PF・CD)	40	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	1.6mm- 3C 管内	2	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	1.6mm- 3C ビット・天井	270	m			

本庁舎分室		電灯設備		電灯分岐		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	1.6mm- 3C FEP内(PF・CD)	56	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	2.0mm- 2C ビット・天井	11	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	2.0mm- 2C FEP内(PF・CD)	2	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	2.0mm- 3C 管内	6	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ビット・天井	64	m			
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	2.0mm- 3C FEP内(PF・CD)	15	m			
合成樹脂製アウトレットボックス(カバー付)	中四角 浅型 D44	30	個			
合成樹脂製アウトレットボックス(カバー付)	中四角 深型 D54	13	個			
金属製露出丸形ボックス(塗装共)	25(22) 1方出	2	個			
金属製露出丸形ボックス(塗装共)	25(22) 3方出	3	個			
金属製露出スイッチボックス(塗装共)	25(22) 1個用1方出	1	個			
樹脂製露出スイッチボックス	22 1個用1方出	3	個			
プレートボックス SS-V形(硬質ビニル製)	200× 200× 100	5	個			
スイッチプレート(金属プレート付)	大角形1P15A×1	2	個			
スイッチプレート(金属プレート付)	大角形1P15A×2	2	個			

本庁舎分室		電灯設備		電灯分岐		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	大角形1P15A×3 -	1	個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	大角形3W15A×1 -	4	個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	大角形3W15A×2 -	3	個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	大角形3W15A×5 -	2	個			
消遅れｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P15A×1, 1P-D3M×1	2	個			
ｺﾝｾｰﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	大角形2P15A×1 -	3	個			
ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾟﾚｰﾄ	丸形	1	個			
照明器具	図示. A	1	個			
照明器具	図示. B	1	個			
照明器具	図示. C	7	個			
照明器具	図示. D1	2	個			
照明器具	図示. D2	21	個			
照明器具	図示. D3	20	個			
照明器具	図示. E1	2	個			
照明器具	図示. E2	2	個			

本庁舎分室		電灯設備		電灯分岐		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
照明器具	図示. F	2	個			
照明器具	図示. G	5	個			
照明器具	図示. H	3	個			
照明器具	図示. I	2	個			
照明器具	図示. J	1	個			
避難口誘導灯	図示. a	6	個			
非常用照明器具	図示. b	1	個			
非常用照明器具	図示. d	1	個			
非常用照明器具	図示. e	2	個			
換気扇用ｽｲｯﾁ取付		14	か所			
撤去		1	式			別紙 00-0015
計						

本庁舎分室		動力設備		動力分岐		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	6	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 28mm	5	m			
溶融亜鉛メッキ電線管(厚鋼電線管)(2G)	(28) 露出(塗装無)	9	m			
600Vボリフレン絶縁耐燃性ボリフレンシースケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ビット・天井	7	m			
600Vボリフレン絶縁耐燃性ボリフレンシースケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C FEP内(PF・CD)	6	m			
EM-CEケーブル	5.5mm2- 4C 管内	7	m			
EM-CEケーブル	5.5mm2- 4C ビット・天井	12	m			
EM-CEケーブル	5.5mm2- 4C FEP内(PF・CD)	3	m			
EM-CEケーブル	8mm2- 4C 管内	4	m			
EM-CEケーブル	8mm2- 4C ビット・天井	8	m			
EM-CEケーブル	8mm2- 4C FEP内(PF・CD)	2	m			
合成樹脂製アウトレットボックス(カバー付)	中四角 浅型 D44	3	個			
アルボックス SS形 防水(SUS)	200× 200× 200	1	個			
機械はつり(ダイヤモンドカッターによる配管用貫通口)計	100～150mm 50mm	1	か所			

本庁舎分室		電熱設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	6	m			
600Vボリフレン絶縁耐燃性ボリフレンシースケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ビット・天井	12	m			
600Vボリフレン絶縁耐燃性ボリフレンシースケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C FEP内(PF・CD)	6	m			
合成樹脂製アウトレットボックス(カバー付)	中四角 浅型 D44	3	個			
電気暖房器	パネルヒーター 壁掛形 ステンレス製 250W 100V, 200V サモ付	3	台			
撤去		1	式			別紙 00-0017
計						

本庁舎分室		構内情報通信網設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	101	m			
EM- UTPケーブル	CAT6 4P FEP内(PF・CD)	136	m			
合成樹脂製 アットレットボックス(カバー付)	中四角 浅型 D44	5	個			
合成樹脂製 アットレットボックス(カバー付)	中四角 深型 D54	5	個			
端子盤	1TB- 1	2	面			
情報用アットレット (金属製)	モジュラージャック(RJ45) ×1	4	個			
ケーブル成端	モジュラープラグ、モジュラージャックを含む	1	式			別紙 00-0018
計						

本庁舎分室		構内交換設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	22	m			
EM- EBTケーブル	0.4mm- 2P ビッド・天井	115	m			
EM- EBTケーブル	0.4mm- 2P FEP内(PF・CD)	55	m			
合成樹脂製 アットレットボックス(カバー付)	中四角 浅型 D44	6	個			
電話用アットレット (金属製)	モジュラージャック(RJ11) ×1	2	個			
電話用アットレット (金属製)	モジュラージャック(RJ11) ×2	4	個			
撤去		1	式			別紙 00-0019
計						

機械設備工事 細目別内訳

72

本庁舎分室		空気調和設備		機器設備		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ヒーター・エアコン (寒冷地仕様) AC-1	暖房能力11.2kW・冷房能力10.0kW 壁掛型(同時イン)・ワイヤード・リモコン・ドレンア ップ・効・防雪屋根・平置架台他	2	台			
マルチエアコン(室外機) (寒冷地仕様) ACP-1	暖房能力18.0kW・冷房能力16.0kW 防雪屋根・平置架台・固定ドレン・ロッカ*2・室 外機転倒防止・分岐管他	1	台			
マルチエアコン(室内機) (寒冷地仕様) ACP-1-1	暖房能力6.3kW・冷房能力5.6kW 壁掛型・ドレンアップ・効・ワイヤード・リモコン他	3	台			
ルームエアコン ACR-4 取外し・再取付	壁掛型・暖房5.0kW・冷房4.0kW 配管新設・架台再使用	1	台			
ルームエアコン ACR-5 取外し・再取付	壁掛型・暖房5.0kW・冷房4.0kW 配管新設・架台再使用	1	台			
FF式石油暖房機 FF-4 取外し・再取付	暖房出力7.41kW 給排気筒・オイルコック再使用	2	台			
オイル・バー OS-2 取外し・再取付	灯油用・最大揚程8m	1	台			
オイルタンク TO-1 取外し・再取付	200型	1	基			
計						

機械設備工事 細目別内訳

73

本庁舎分室		空気調和設備		配管設備		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	19.05外径(3/4B) ガス管 厚20mm以上	10	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	15.88外径(5/8B) ガス管 厚20mm以上	23	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	12.7 外径(1/2B) ガス管 厚20mm以上	19	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	9.52外径(3/8B) ガス管 厚20mm以上	19	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	9.52外径(3/8B) 液管 厚10mm以上	33	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	6.35外径(1/4B) 液管 厚10mm以上	38	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋外架空・暗渠 25A	18	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋内一般 20A	36	m			
油・被覆銅管	1/4(8) 9.52mm	25	m			
小計						
保温化粧ケース (樹脂製)	140 × 80	36	m			
ドレン用逆止弁	20A25A兼用型	6	個			
保温工事		1	式			別紙 00-0024
機械ハツリ		1	式			別紙 00-0025
計						

機械設備工事 細目別内訳

74

本庁舎分室		換気設備		機器設備		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
天井換気扇 FE-1	低騒音形・高密封風圧式シャッター・ダクト φ100・風量強120m3/h・24H60m3/h・SUS製深型フード・天吊金具・スイッチ	1	台			
天井換気扇 FE-2	低騒音形・高密封風圧式シャッター・ダクト φ100・風量強130m3/h・24H40m3/h・SUS製深型フード・天吊金具・スイッチ	1	台			
天井換気扇 FE-3	低騒音形・高密封風圧式シャッター・ダクト φ150・風量強300m3/h・24H60m3/h・SUS製深型フード・天吊金具・スイッチ	1	台			
天井換気扇 FE-4	低騒音形・高密封風圧式シャッター・ダクト φ150・風量強350m3/h・24H100m3/h・SUS製深型フード・天吊金具・スイッチ	1	台			
天井換気扇 FE-5	低騒音形・高密封風圧式シャッター・ダクト φ150・風量強460m3/h・24H50m3/h・SUS製深型フード・天吊金具・スイッチ	1	台			
天井換気扇 FE-6	低騒音形・高密封風圧式シャッター・ダクト φ150・風量強485m3/h・24H160m3/h・SUS製深型フード・天吊金具・スイッチ	1	台			
天井換気扇 FE-7	低騒音形・高密封風圧式シャッター・ダクト φ150・風量330m3/h・SUS製深型フード・天吊金具・スイッチ	2	台			
天井換気扇 FE-8	低騒音形・高密封風圧式シャッター・ダクト φ150・風量340m3/h・SUS製深型フード・天吊金具・スイッチ	2	台			
天井換気扇 FE-9	低騒音形・風圧式シャッター・ダクトφ200・ 風量強600m3/h・弱400m3/h・SUS製深型 フード・天吊金具・スイッチ	1	台			
ﾊﾞｲﾌﾞﾙ用ﾌｧﾝ FE-10	角形格子ｸﾞﾚｰﾙ・電気式シャッター・ダクトφ1 00・風量50m3/h・SUS製深型フード・スイッチ	1	台			
ﾊﾞｲﾌﾞﾙ用ﾌｧﾝ FE-11	角形格子ｸﾞﾚｰﾙ・電気式シャッター・ダクトφ1 50・風量80m3/h・SUS製深型フード・スイッチ	2	台			
有圧換気扇 FE-12	排気専用・羽根径25cm・風量800m3/h・ SUS製電動シャッター付・エサ・カバ・取付枠 ・ﾊﾞｯｶﾞｰﾄﾞ・スイッチ	1	台			
自然給気ユニット OA-1	ダクトφ100・角形・壁据付・シャッター開口 面積調節・ロク機構・風圧シャッター・外気 清浄フィルター・SUS製深型フード	2	組			
自然給気ユニット OA-2	ダクトφ150・角形・壁据付・シャッター開口 面積調節・風圧シャッター・外気清浄フィルター ・SUS製深型フード	4	組			
給排気ｸﾞﾚｰﾙ OA-3	ダクトφ200・丸形・天井据付・風量調節 ・SUS製深型フード	1	組			

機械設備工事 細目別内訳

75

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

76

本庁舎分室		換気設備		ダクト設備		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
カバ・イラダ・クト (低圧ダクト)	イサート無 200mm	5	m			
カバ・イラダ・クト (低圧ダクト)	イサート無 150mm	17	m			
カバ・イラダ・クト (低圧ダクト)	イサート無 100mm	6	m			
小計						
保温工事		1	式			別紙 00-0026
機械ハツリ		1	式			別紙 00-0027
計						

機械設備工事 細目別内訳

77

本庁舎分室		衛生器具設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
腰掛式便器	TOTO: CS232BM SH232BA TCF6623 LIXIL: BC-Z30H DT-Z350HN CW-KB31 NKF-3WU2	2	組			
床置小便器	TOTO: UFH507CR TG600PL LIXIL: U-321RM UF-3JHT	1	組			
コーナー手洗キヤビネット コーナーミラーキヤビネット	TOTO: 該当品無 LIXIL: YL-D201CCHE TSF-621	2	組			
手洗キヤビネット	TOTO: ULRB3LTBNNNNNNNN LIXIL: L-D203SCHE	1	組			
化粧鏡	TOTO: YM4560A LIXIL: KF-4560	1	枚			
ミドルキヤビネット	TOTO: UGLD05 LIXIL: TSF-107	2	組			
タオルリング	TOTO: YT405 LIXIL: FKF-AD70C	3	個			
計						

機械設備工事 細目別内訳

78

本庁舎分室		給水設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
水道用ポリレン管 改修	軟質管・金属製継手接合 地中配管 25A	4	m			
水道用ポリレン管 改修	軟質管・金属製継手接合 地中配管 20A	4	m			
給水・ポリ粉体 ライニング鋼管 (SGP-PD)改修	ねじ接合 地中配管 20A	10	m			
給水・ポリ粉体 ライニング鋼管 (SGP-PD)改修	ねじ接合 屋内一般 20A	4	m			
給水・ポリ粉体 ライニング鋼管 (SGP-PD)改修	ねじ接合 屋内一般 15A	6	m			
小計						
水抜栓	一般形 20A 1.0m	3	個			
遠隔開閉器具	1F用(15～25mm)	3	組			
吸気弁付継手	LKSTL型φ13	5	個			
吸気弁付止水栓	アングル型φ13	1	個			
吸気弁	20A	1	個			
保温工事		1	式			別紙 00-0028
土工事		1	式			別紙 00-0029
計						

機械設備工事 細目別内訳

79

本庁舎分室		排水設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VU)改修	地中配管 100A	6	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	地中配管 75A	5	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	屋内一般 50A	8	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	地中配管 40A	7	m			
小計						
プラスチック樹	樹径150φ 最大排水管径100φ 90L、45L 塩ビふた付 501～800	1	組			
プラスチック樹	樹径150φ 最大排水管径100φ UTK、UT 塩ビふた付 501～800	3	組			
プラスチック樹	樹径150φ 最大排水管径100φ 90Y、45Y、45YS 塩ビふた付 501～800	2	組			
プラスチック樹	樹径150φ 最大排水管径100φ 90L、45L 塩ビふた付 801～1200	1	組			
角樹	300□・ケレチク 下部砕石0.1m3	1	組			
土工事		1	式			別紙 00-0030
計						

80

機械設備工事 細目別内訳

81

花 卷 市

建築工事 別紙明細

82

本庁舎分室		直接仮設		解体用		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0001
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 掛払い手間 12m未満 -	140	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 基本料 修理費含む 12m未満 -	140	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 供用1日賃料 修理費含む 12m未満 -	1	式			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	37.6	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	37.6	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	1	式			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0002
災害防止 (ネット状塗装飛散防 止養生シート)	防災1類 30日	140	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

83

本庁舎分室		直接仮設		解体用		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
内部足場		1	式			別紙 00-0003
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 転用数 1	104	m ²			
安全ネット張り (水平張り)	防災ネット 掛払い手間	125	m ²			
安全ネット張り (水平張り)	防災ネット 基本料 修理費含む	125	m ²			
安全ネット張り (水平張り)	防災ネット 供用1日賃料 修理費含む	1	式			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0004
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	140	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	37.6	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		140	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	104	m ²			
計						

本庁舎分室		直接仮設		耐震補強・改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生		1	式			別紙 00-0005
養生(外壁改修)		379	m ²			
養生(外壁改修)		200	m ²			
養生(内部改修)	個別改修	393	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0006
整理清掃後片付け (外壁改修)		379	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		200	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	393	m ²			
計						

本庁舎分室		直接仮設		耐震補強・改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0007
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 - -	486	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 - -	486	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む 12m未満 - -	1	式			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 掛払い手間 12m未満 - -	137	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 基本料 修理費含む 12m未満 - -	137	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 供用1日賃料 修理費含む 12m未満 - -	1	式			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	117	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	117	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	1	式			
計						

本庁舎分室		直接仮設		耐震補強・改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
内部足場		1	式			別紙 00-0008
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 転用数 1	345	m ²			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 転用数 2	345	m ²			
内部階段仕上足場	掛払い手間	5	m ²			
内部階段仕上足場	基本料 修理費含む	5	m ²			
内部階段仕上足場	供用1日賃料 修理費含む	1	式			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0009
災害防止 (シート・ネット類)	ネット状 養生シート張(防災1類) 掛払い手間	623	m ²			
災害防止(ネット状塗 装飛散防止養生シ ート・日額損料)	防災1類	1	式			
計						

本庁舎分室		直接仮設		耐震補強・改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0010
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	486	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	137	m ²			
仮設材運搬 (安全ですり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	117	m			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		5	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	345	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		623	m ²			
計						

本庁舎分室		とりこわし・撤去		木造撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
木製棚撤去	集積共	1	式			別紙 00-0011
休憩室棟 倉庫	W=3500、合板棚板 2段 中柱1本 90x90 H=2670	3	か所			
事務室棟 廊下	W=2800、H=1800 3段 中柱1本 90x90 H=1800	1	か所			
事務室棟 物置	W=2800、H=1800 棚板 3段	1	か所			
事務室棟 物置	W=1170、H=1800 棚板 3段	2	か所			
事務室棟 書庫	W=2600、H=1780 棚板 4段	1	か所			
事務室棟 書庫	W=2120、H=1780 棚板 4段	1	か所			
計						

本庁舎分室		耐震（躯体）改修		R C造補強		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄骨本体		1	式			別紙 00-0012
ケミカルアンカー	D 22	176	か所			
ケミカルアンカー引張試験	試験費 D22 12か所	1	式			
ケミカルアンカー引張試験	報告書作成	1	式			
ベース下無収縮モルタル	W400	44	m			
柱背面 無収縮モルタル充填	W300	85.6	m			
鋼材費		1	式			別紙 00-0012/00-001
副資材費		25,024	kg			
ボルト類		1	式			別紙 00-0012/00-002
工場加工費		25,024	kg			
錆止め塗装費	JIS K-5674（工場1回塗）	25,024	kg			
JISブレース		1	式			別紙 00-0012/00-003
運搬費		27,221	kg			
場内 小運搬費		27,221	kg			
現場工事費		27,221	kg			

本庁舎分室		耐震（躯体）改修		R C造補強		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄骨本体		1	式			別紙 00-0012
社内検査費		27,221	kg			
施工図・現寸図費		27,221	kg			
大引き受け P L- 6	SS400	120	kg			
大引き受け 中ボルト M 1 2	D- LOCK	30	kg			
スクラップ控除		1,306	kg			
第三者超音波 検査費用	AQOL基準 2ロット (検査対象総箇所数 448か所)	40	か所			
仮設工事		1	式			別紙 00-0012/00-004
現場調査 及び 実測費		1	式			
計						

本庁舎分室		耐震（躯体）改修		R C造補強		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材費		1	式			別紙 00-0012/00-001
H- 300x300x10x15	SS400	10,694	kg			
H- 300x150x6. 5x9	SS400	652	kg			
H- 294x200x8x12	SS400	4,350	kg			
H- 200x200x8x12	SS400	2,873	kg			
H- 194x150x6x9	SS400	1,431	kg			
H- 100x100x6x8	SS400	233	kg			
C- 100x50x20x3. 2	SSC400	309	kg			
FB- 9x25	SN490B	265	kg			
PL- 25	SN490C	383	kg			
PL- 22	SN490C	433	kg			
PL- 19	SN490C	335	kg			
PL- 16	SN490C	212	kg			
PL- 12	SS400	800	kg			
PL- 9	SS400	2,838	kg			

本庁舎分室		耐震（躯体）改修		R C造補強		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材費		1	式			別紙 00-0012/00-001
PL-6	SS400	467	kg			
計						
ボルト類		1	式			別紙 00-0012/00-002
アンカーボルト M20	SNR400 腰折れ 定着板付	28	kg			
HTB M22	S10T	591	kg			
HTB M20	S10T	655	kg			
HTB M16	S10T	150	kg			
計						
JISブレース		1	式			別紙 00-0012/00-003
JISブレース M30		385	kg			
JISブレース M20		388	kg			
計						

本庁舎分室		耐震（躯体）改修		R C造補強		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮設工事		1	式			別紙 00-0012/00-004
カニクレーン	使用期間10日	1	台			
カニクレーン 搬入・引取り費		2	回			
高所作業車		2	台			
高所作業車 運搬費		2	回			
計						
梁連結		1	式			別紙 00-0013
鋼材費		1	式			別紙 00-0013/00-001
副資材費		1,017	kg			
ボルト類費		1	式			別紙 00-0013/00-002
工場加工費	梁連結	1,017	kg			
錆止め塗装費	JIS K-5674（工場1回塗）	1,017	kg			
現場工事費	梁連結	1,077	kg			
計						

本庁舎分室		耐震（躯体）改修		R C造補強		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材費		1	式			別紙 00-0013/00-001
FB-9x25	SN490B	46	kg			
PL-16	SS400	468	kg			
PL-12	SS400	404	kg			
PL-9	SS400	149	kg			
計						
ボルト類費		1	式			別紙 00-0013/00-002
H T B M 2 0	S 1 0 T	60	kg			
計						

本庁舎分室		幹線設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
撤去		1	式			別紙 00-0014
電灯盤A 撤去	再使用しない	1	面			
電灯盤B 撤去	再使用しない	1	面			
電灯盤C 撤去	再使用しない	1	面			
電灯盤D 撤去	再使用しない	1	面			
開閉器箱 撤去	MCCB2P 30AF× 1個 再使用しない	1	個			
開閉器箱 撤去	ELCB3P 100AF× 1個 再使用しない	1	個			
計						

本庁舎分室		電灯設備		コンセント分岐		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
撤去		1	式			別紙 00-0016
コンセント 撤去	大角形2P15A×1 再使用しない	2	個			
コンセント 撤去	大角形2P15A×2 再使用しない	30	個			
コンセント 撤去	大角形2P15A×2(接地端子付) 再使用しない	1	個			
コンセント 撤去	大角形2P15/20A×1(接地極・接地端 再利用しない	2	個			
計						

本庁舎分室		電熱設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
撤去		1	式			別紙 00-0017
電気暖房器 撤去	輻射式 天吊形 ステンレス製 400W 100V, 200V - 再使用しない	5	台			
サーモスタット 再使用しない	一般型 両切 22A 再使用しない	5	個			
計						

本庁舎分室		構内情報通信網設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ケーブル成端	モジュラープラグ、モジュラージャックを含む	1	式			別紙 00-0018
モジュラープラグ		5	個			
モジュラージャック		10	個			
成端作業		12	か所			
計						

本庁舎分室		構内交換設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
撤去		1	式			別紙 00-0019
フラッシュプレート撤去	角型 ハトメ 再使用しない	8	個			
計						

機械設備工事 別紙明細

106

本庁舎分室		換気設備		ダクト設備		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
保温工事		1	式			別紙 00-0026
カバ イルダ クト保温 (32K)	ゲ ラスカー ル 屋内隠ぺい,ダ クトシャフト内 アルミガ ラスクロス 200mm 保温厚25	1.9	m			
カバ イルダ クト保温 (32K)	ゲ ラスカー ル 屋内隠ぺい,ダ クトシャフト内 アルミガ ラスクロス 150mm 保温厚25	9.9	m			
カバ イルダ クト保温 (32K)	ゲ ラスカー ル 屋内露出 カラ 垂鉛鉄板 150mm 保温厚50	1.4	m			
カバ イルダ クト保温 (32K)	ゲ ラスカー ル 屋内隠ぺい,ダ クトシャフト内 アルミガ ラスクロス 100mm 保温厚25	2.4	m			
計						
機械ハツリ		1	式			別紙 00-0027
機械はつり(タイモ ブド カッターによる 配管用貫通口)	300mm程度 200mm	6	か所			
手はつり (ダ クト貫通口)	コンクリートブ ロック 300mm程度 0.1㎡	3	か所			
計						

機械設備工事 別紙明細

107

本庁舎分室		給水設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
保温工事		1	式			別紙 00-0028
給水管 保温	標仕保温材 天井内,パイ プ シャフト内 アルミガ ラスクロス 20A	4.3	m			
給水管 保温	標仕保温材 屋内露出 合成樹脂製カバ ー1 15A	5.5	m			
計						
土工事		1	式			別紙 00-0029
根切り(機械)	バ ック砂 0.13m3 排出ガ ス対策型 油圧式加圧型	4.1	m3			
建設発生土処理	人 力 構内敷ならし	1.3	m3			
山砂		1.3	m3			
埋戻し	機 械 バ ック砂 0.13m3 排出ガ ス対策型 油圧式加圧型	2.8	m3			
計						

108

本庁舎分室		撤去工事					
名 称	摘 要	数	量	単位	単 価	金 額	備 考
機器類撤去		1		式			別紙 00-0031
煙突式石油暖房機 F-1	暖房出力16.3kW・煙突共	1		台			
煙突式石油暖房機 F-2	暖房出力11.0kW・煙突共	1		台			
FF式石油暖房機 FF-1	暖房出力5.0kW・給排気筒共	1		台			
FF式石油暖房機 FF-2	暖房出力15.9kW・給排気筒共	1		台			
FF式石油暖房機 FF-3	暖房出力6.28kW・給排気筒共	1		台			
ルームエアコン ACR-1	壁掛型・暖房7.1kW・冷房6.3kW	2		台			
ルームエアコン ACR-2	壁掛型・暖房4.8kW・冷房2.8kW	1		台			
ルームエアコン ACR-3	壁掛型・暖房3.2kW・冷房2.8kW	1		台			
冷媒回収・破壊費	R32: 2.84kg R-22: 0.58kg R410A: 0.98kg	1		式			
オイルサーニ OS-1	灯油用・最大揚程8m	2		台			
オイルタンク TO-2	250型・防油堤共	1		基			
オイルタンク TO-3	490型・表示板3枚共	1		基			
オイルタンク TO-4	小型・65L	1		基			
換気扇 FE-1	羽根20cm・ウエザークリップ共	4		台			

機械設備工事 別紙明細

110

本庁舎分室		撤去工事				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機器類撤去		1	式			別紙 00-0031
換気扇 FE-2	羽根20cm	2	台			
天井換気扇 FE-3	ﾀﾞﾌﾞﾙφ100	1	台			
天井換気扇 FE-4	二部屋換気用・ﾀﾞﾌﾞﾙφ100 副吸込ﾀﾞﾌﾞﾙ共	1	台			
天井換気扇 FE-5	ﾀﾞﾌﾞﾙφ150	1	台			
換気扇 FE-6	羽根25cm・ﾜﾍﾞﾀﾞﾌﾞﾙ共	2	台			
換気扇 FE-7	循環空調形	1	台			
大便器撤去	ﾀﾝｸ式 再使用しない	1	組			
和風便器撤去	ﾀﾝｸ式 再使用しない	5	組			
小便器撤去	洗浄弁式壁掛小便器 再使用しない	3	組			
小便器撤去	洗浄弁式床置小便器 再使用しない	4	組			
洗面器撤去	水栓1個、水栓2個 再使用しない	6	組			
鏡撤去	再使用しない	3	枚			
単水栓類	φ13	8	個			
ガス湯沸器 WHG	壁掛型・5号	2	台			

機械設備工事 別紙明細

111

本庁舎分室		撤去工事				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機器類撤去		1	式			別紙 00-0031
床上掃除口	COA100	2	個			
床上掃除口	COA50	1	個			
水抜栓	13A×1.0H	2	個			
通気金物	50A	3	個			
ｺﾝｸﾘｰﾄ柵	300□×0.44H	2	組			
処理槽	1200×300×0.5H	1	組			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	シート張り H=2.0m 6ヶ月	77.8	m			
仮門	キャストゲート W6.0×H1.8m 6ヶ月	1	か所			
計						

令和 7 年度

本庁舎分室耐震改修工事

施工条件明示(特記仕様書)

当初設計

財務部契約管財課

明示項目	明 示 事 項	適用の有 無	内 容																		
適用範囲	- 本特記仕様書は、 本庁舎分室耐震改修工事 (以下「本工事」という。)に適用する。 - 本特記仕様書、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(以下「標準仕様書」という。)及び他特記仕様書にに記載のない事項については、発注者の指示による。																				
工程関係	1 工期	有	- 本工事の工期は、以下による。<table><tr><td>全体工期</td><td>240 日間</td><td>※全体工期＝余裕期間＋実工期</td></tr><tr><td>うち余裕期間</td><td>15 日間</td><td>※工期の始期日を含めて数えた日数とする。</td></tr><tr><td>うち実工期</td><td>225 日間</td><td>※工事開始日を含めて数えた日数とする。</td></tr></table> - 実工期には、作業日数、準備日数、後片付け日数のほか休工期(土曜日、日曜日、祝祭日、天候による休工期、連休等)を含むものである。 ※参考 連休等 <table><tr><td>ゴールデンウィーク</td><td>4月29日から5月5日</td><td>7日間</td></tr><tr><td>お盆休暇</td><td>8月13日から8月16日</td><td>4日間</td></tr><tr><td>お正月休暇</td><td>12月29日から1月3日</td><td>6日間</td></tr></table> - 実工期のうち、設計工程上見込んでいる降雨(降雪含む)による休日日数 日間 - 実工期のうち、設計工程上見込んでいる休日日数以外の作業不能日数等 日間 (作業不能理由:)	全体工期	240 日間	※全体工期＝余裕期間＋実工期	うち余裕期間	15 日間	※工期の始期日を含めて数えた日数とする。	うち実工期	225 日間	※工事開始日を含めて数えた日数とする。	ゴールデンウィーク	4月29日から5月5日	7日間	お盆休暇	8月13日から8月16日	4日間	お正月休暇	12月29日から1月3日	6日間
	全体工期	240 日間	※全体工期＝余裕期間＋実工期																		
	うち余裕期間	15 日間	※工期の始期日を含めて数えた日数とする。																		
	うち実工期	225 日間	※工事開始日を含めて数えた日数とする。																		
	ゴールデンウィーク	4月29日から5月5日	7日間																		
	お盆休暇	8月13日から8月16日	4日間																		
	お正月休暇	12月29日から1月3日	6日間																		
	2 概成工期 (概成工期とは、標準仕様書に定めるものをいう。)	無																			
	3 債務負担工事	無	本工事は、 年債務である。																		
	4 「余裕期間の設定」の有無	有																			
- 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事である。 - 本工事の余裕期間及び実工期の始期日(工事開始日)は以下のとおりとする。<table><tr><td>余裕期間: 契約書に定める工期の開始日から</td><td>15 日間</td></tr><tr><td>工事開始日: 契約書に定める工期の始期日から</td><td>15+1 日目</td></tr></table> - 余裕期間内は、現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。 - 工事実績情報サービス(コリンズ)は、実工期にて登録するものとし、工事開始日(変更後の工事開始日含む。)後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録申請するものとする。 - 工事請負契約書別記第3条の規定に基づく工程表には、余裕期間も含めた全体工期を記載するものとする。 - 工事請負契約書別記第4条の規定に基づく契約保証の期間は、全体工期を満たすものとし、契約締結の日から全体工期の終期日までを対象とするものとする。 - 工事請負契約書別記第10条の規定に基づく、現場代理人及び主任技術者等の通知については、工事開始日まで通知するものとする。 - 工事請負契約書別記第16条第2項の規定に基づく、工事用地の管理は、工事開始日の前日までは、発注者の責任において行うものとし、受注者に資材の搬入や仮設物の設置等を行わせてはならないものとする。 - 工事開始日の前日までの期間に施工体制及び建設資材の確保が図られる場合等は、受発注者協議により、工事開始日を変更することができるものとする。 - 詳細については、以下のホームページを参考とすること。 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017255/1010910.html 《岩手県トップページ》> 県土づくり > 建設業 > 建設技術関連 > 設計・積算・入札 > 技術関連等 > 【建築工事関係】「余裕期間」の設定について》			余裕期間: 契約書に定める工期の開始日から	15 日間	工事開始日: 契約書に定める工期の始期日から	15+1 日目															
余裕期間: 契約書に定める工期の開始日から	15 日間																				
工事開始日: 契約書に定める工期の始期日から	15+1 日目																				
5 週休2日工事の対象	有	- 本工事は、岩手県県土整備部週休2日工事実施要領に定める 「週休2日工事(発注者指定型)」である。 - 実施にあたっては、「岩手県県土整備部週休2日工事実施要領」に基づき行うこと。 - 週休2日に取り組んだ受注者については、県のホームページ等で公表する。 - 詳細については、以下のホームページ「岩手県県土整備部週休2日工事実施要領」を参照すること。 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/1020273/1020277/1020285/1020291.html 《岩手県トップページ》> 県土づくり > 建設業 > 建設業の働き方改革 > 建設工事 > いわてのi-Construction(アイ・コンストラクション) > 工事における担い手確保対策(週休2日工事ほか)																			

1. 他の特記仕様書と重複している事項については、本施工条件明示によること。
2. 図面等に内容を明示する場合には、内容欄にその旨を明記すること。

明示項目	明 示 事 項	適用の有 無	内 容
工程関係	6 他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合は、影響を受ける部分及び内容並びに他の工事の内容及び開始又は完了の時期	無	
	7 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法	無	
	8 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがあ る場合は、制約を受ける内容及びその協議内容並びに 成立見込み時期	無	
	9 関係機関、自治体、施設管理者等との協議の結果、特 定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合 は、影響を受ける部分及び内容	無	
	10 工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前 調査を必要とする場合は、その項目及び調査期間。又 は、地下埋設物等の移設が予定されている場合は、そ の移設期間	無	
	11 工事一時中止の措置	有	
	- 工事請負契約書別記第20条に基づき、工事を一時中止する場合の取扱いは、国土交通省大臣官房官庁営繕部作成「営繕工事請負契約における設計変更ガイドライン(案)」中の「工事一時中止ガイドライン」によることとする。 - 詳細については、以下のホームページを参考とすること。 https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk4_000041.html 《国土交通省トップページ>政策・仕事>官庁営繕>「営繕工事請負契約における設計変更ガイドライン(案)」について》		
施策関係	12 熱中症予防対策に伴う施工効率の低下等を理由とし た工期の延長変更について	有	
	- 受注者は、工事請負契約書別記第21条に基づき、工事発注時に際して見込む作業不能日数と著しく乖離した場合は、工期の延長変更を請求することができる。 - 発注者は、上記請求を受けた場合、環境省が公表している施工箇所の最寄りの観測地点の暑さ指数(WBGT)を確認のうえ、作業日における猛暑時間(8時～17時を対象として、暑さ指数(WBGT)が31℃以上の時間帯をいう。)を踏まえて工期延長日数を算定する。 - 上記により難しい場合は、監督職員と協議のうえ決定するものとする。		
	13 その他		
施策関係	1 下請契約対象の限定	有	
	- 社会保険等に未加入である建設業許可業者を下請負人(二次以下の下請負人を含む。)とすることを原則として禁止する。 - 正当な理由なく社会保険等未加入建設業者を下請負人とした場合、次の措置を実施する。 ① 工事成績評定の減点 ② 受注者への指名停止措置 - 詳細は以下のホームページによる。 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/tetsuzuki/1010858.html 《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>建設業法の諸手続き(許可、経審等)>【お知らせ】県営建設工事における社会保険等未加入対策の取組強化について》		
	2 県外業者との下請契約締結報告書及び建設資材調書	有	
施策関係	- 県外業者との下請契約締結報告書及び建設資材調書は、以下のホームページ「(農林水産部・県土整備部所管)岩手県営建設工事請負契約書附属条件の一部改正について」により、様式をダウンロードし、必要事項の入力を行うものとする。 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017255/1010908.html 《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>建設技術関連>設計・積算・入札>技術関連等>(農林水産部・県土整備部所管)岩手県営建設工事請負契約書附属条件の一部改正について》 - 県外業者との下請契約締結報告書及び建設資材調書の提出は、紙又は電子データを監督職員に提出するものとする。 - 電子データを作製することが困難な場合は、電子データの提出は必要ないものとする。ただし、その場合は事前に監督職員の承諾を得ること。		

3	新技術等の活用の推進について	無
・ 施工に先立ち、本工事内容について十分把握の上、設計図書で指定された工法及び技術を除き、新技術情報提供システム (NETIS) や岩手県新技術等活用促進事業等を利用して、新技術等の活用を積極的に推進するものとし、活用する新技術等がある場合は監督職員に報告するものとする。 ・ 新技術等の活用により、設計図書の記載事項の変更が必要となる場合は、監督職員と協議するものとする。 ・ 新技術等の活用にあたり、監督職員から施工実態調査の実施を指示された場合は、これを行うものとする。 なお、調査結果については、工事名・受注者名を公表する場合がある。 ・ 岩手県新技術等活用促進事業の詳細については、以下のホームページ「岩手県新技術等活用促進事業」を参考とすること。 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/shingijutsu/1010856.html 《岩手県トップページ＞県土づくり＞建設業＞新技術・経営革新＞新技術等活用促進事業》 1. 他の特記仕様書と重複している事項については、本施工条件明示によること。 2. 図面等に内容を明示する場合には、内容欄にその旨を明記すること。		

明示項目	明 示 事 項	適用の有 無	内 容									
施策関係	4 再生資源利用認定製品	無	- 以下の資材を利用する場合は、再生資源利用認定製品を利用するよう努めるものとする。 - 詳細については、以下のホームページ「岩手県再生資源利用認定製品」を参考とすること。 https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/kankyou/seisaku/nintei/index.html 《岩手県トップページ》>くらし・環境>環境政策>岩手県再生資源利用認定製品》 <table><tr><th>資材名</th><th>規 格</th><th>備 考</th></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>	資材名	規 格	備 考						
	資材名	規 格	備 考									
	5 設計変更について	有	- 設計変更については、工事請負契約書別記第18条～第24条及び公共建築工事標準仕様書1.1.8～1.1.10に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部作成「営繕工事請負契約における設計変更ガイドライン(案)」によることとする。 - 詳細については、以下のホームページを参考とすること。 https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk4_000041.html 《国土交通省トップページ》>政策・仕事>官庁営繕>「営繕工事請負契約における設計変更ガイドライン(案)」について》									
	6 法定外の労災保険の付保	有	本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。									
	7 建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事	無	- 本工事は、受注者が希望するCCUSを活用した工事(以下「CCUS活用工事」という。)の対象である。 - 詳細については、以下のホームページ「岩手県県土整備部建設キャリアアップシステム活用工事実施要領(以下「要領」という。)」を参照すること。 - 県土整備部が発注する工事において、適用の有無が「無」の場合でも、CCUS活用工事の実施を希望する場合は、要領第4第3項に基づく協議により、CCUS活用工事を実施できる場合があること。 - 適用が「有」の場合は、モデル工事の実施の有無に関わらず、要領第8によりアンケートを提出する必要があること(要領第4第3項の協議によりモデル工事を実施した場合も含む。) https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/1020273/1020277/1058795.html 《岩手県トップページ》>県土づくり>建設業>建設業の働き方改革>建設工事>建設キャリアアップシステム活用工事》									
	8 総合評価落札方式競争入札において建設キャリアアップシステムの活用を提案する場合の取扱い	無	- 本工事が総合評価落札方式競争入札による発注で、受注者が技術提案評価項目Aで「当該工事における建設キャリアアップシステムの活用」を「活用する」として申請し評価点を得ている場合、受注者は「総合評価落札方式技術評価基準 別紙1(評価基準及び配点(A)(以下「評価基準別紙1」))に定める内容を実施すること。 - やむを得ない理由として発注者が認めた場合を除き、履行が確認されなかった場合は工事成績評定における技術提案履行確認を「不履行」として扱う。 - 詳細については、以下のホームページに掲載する「評価基準別紙1」の「6留意事項[建設キャリアアップシステムの取組]を参照すること。 https://www.pref.iwate.jp/kensei/nyuusatsu/kouji/1010493/kiteishu/1-2-03700.html 《岩手県トップページ》>県政情報>入札・コンペ・公募情報>県営建設工事入札>県営建設工事入札各種資料>県営建設工事入札契約規程集>1-2-03700 総合評価落札方式競争入札技術評価基準》									
	9 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策	無	- 本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(以下「加速化対策」という。)に関する工事である。 - 対象が「有」の場合は、工事中の標示施設について以下のホームページを参考に「加速化対策」である旨を明示すること。 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017255/1061453.html 《岩手県トップページ》> 県土づくり> 建設業> 建設技術関連> 設計・積算・入札> 技術関連等> 国土強靱化5か年加速化対策工事における標示施設の設置》									
	10 現場環境改善(快適トイレの設置の試行)	無	- 受注者は、現場に快適トイレを設置することを原則とする。 - 快適トイレの標準仕様及び積算方法は、以下のホームページを参考とすること。 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/1020273/1020277/index.html 《トップページ》> 県土づくり> 建設業> 建設業の働き方改革> 建設工事> 快適トイレの導入》 - 快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本条項は対象外とする。									

	11 営繕工事の建設現場における遠隔臨場に関する試行対象工事	有	
	遠隔臨場試行対象工事(受注者希望型) ・ 本工事は、遠隔臨場(ウェアラブルカメラ等による映像と音声の双方向通信を使用して、監督職員の立会い等を実施)の試行対象工事である。 ・ 詳細については、以下のホームページ「営繕工事の建設現場における遠隔臨場に関する試行要領」を参照すること。 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/1020273/1020277/index.html 《岩手県トップページ＞県土づくり＞建設業＞建設業の働き方改革＞建設工事＞営繕工事の建設現場の遠隔臨場について》		
検査関係	1 監督職員の立会のうえ施工すべき工種がある場合は、その工種及び立会時期	有	適宜(施工計画書により協議すること)
	2 検査員の中間技術検査を受ける工種がある場合は、その工種及び工事段階	無	
	3 検査員の指定部分検査を受ける工種がある場合は、その工種及び工事段階	有	適宜(施工計画書により協議すること)
用地関係	1 施工のための仮用地等として施工者に、県有地等を使用させる場合は、その場所、範囲、時期、期間、仕様条件、復旧方法等	無	
	2 その他		

1. 他の特記仕様書と重複している事項については、本施工条件明示によること。

2. 図面等に内容を明示する場合には、内容欄にその旨を明記すること。

明示項目	明 示 事 項	適用の有 無	内 容											
公害関係	1 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止)のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合は、その内容	無												
	2 工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合、又は、電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合は、事前・事後等調査の区分とその調査時期、未然に防止するために必要な調査方法、範囲等	無												
	3 その他													
安全対策関係	1 交通安全施設等を指定する場合は、その内容、期間	無												
	2 鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事において施工方法、作業時間等に制限がある場合は、その内容	無												
	3 落石、雪崩、土砂崩落等に対する防護施設が必要な場合は、その内容	無												
	4 交通誘導員の配置を指定する場合は、配置場所、配置者数、編成等	無												
	5 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として、換気設備等が必要な場合は、その内容	無												
	6 その他													
工事用道路関係	1 一般道路を搬入、搬出路として使用する場合	—												
	(1) 工事用資機材等の搬入経路、使用期間、使用時間帯等に制限がある場合は、その経路、期間、時間帯等	無												
	(2) 搬入、搬出路の使用後及び使用後の処置が必要である場合は、その処置内容	無												
	2 仮道路を設置する場合は、その仕様と設置期間及び工事終了後の処置	無												
	3 その他													
仮設関係	1 仮土留、仮橋、足場等の仮設を他の工事に引渡す場合及び引き継いで使用する場合は、その内容、引渡期間、条件等	無												
	2 仮設の構造、工法及びその施工範囲を指定する場合は、その構造、工法及びその施工範囲	有	仮設計画図参照											
	3 仮設の設計条件を指定する場合は、その内容	無												
	4 その他													
	1 土砂の搬入元(工事を除く)	無												
	ストックヤード等からの土砂の搬入の有無 搬入元及び搬入量は以下のとおり。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>箇所名</th><th>地先名</th><th>搬入量(地山)</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td>m3</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>m3</td><td></td></tr> </tbody> </table> 具体的な箇所は別添「位置図」のとおり 受注者は、資源有効利用促進法に基づく元請業者の義務に留意すること。			箇所名	地先名	搬入量(地山)	備考			m3				m3
箇所名	地先名	搬入量(地山)	備考											
		m3												
		m3												

2	建設発生土の搬入予定工事	無
---	--------------	---

建設発生土の搬入予定工事の有無

本工事では、以下の工事からの建設発生土の搬入を予定する。
詳細については、監督職員の指示を受けること。

搬入元工事名	搬入予定期間	搬入量 (盛土換算数量)	備考
	令和 年 月 から 令和 年 月	m3	
	令和 年 月 から 令和 年 月	m3	

受注者は、資源有効利用促進法に基づく元請業者の義務に留意すること。

3	建設発生土の搬出先(工事を除く)	無
---	------------------	---

ストックヤード等への建設発生土の搬出の有無

搬出先及び搬出量は以下のとおり。

箇所名	地先名	搬出量 (地山)	備考
		m3	
		m3	

具体的な箇所は別添「位置図」のとおり
受注者は、資源有効利用促進法に基づく元請業者の義務に留意すること。

4	建設発生土の搬出予定工事	無
---	--------------	---

建設発生土の搬出予定工事の有無

本工事では、以下の工事へ建設発生土の搬出を予定する。
詳細については、監督職員の指示を受けること。

搬出先工事名	搬出予定期間	搬出量 (盛土換算数量)	備考
	令和 年 月 から 令和 年 月	m3	
	令和 年 月 から 令和 年 月	m3	

受注者は、資源有効利用促進法に基づく元請業者の義務に留意すること。

5	資源有効利用促進法に基づく元請業者の義務	
---	----------------------	--

本工事に土砂の搬入又は本工事から建設発生土を搬出する場合、下記に記す資源有効利用促進法に基づく元請業者の義務に留意すること。

受領書の交付
受注者は、土砂を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。

再生資源利用計画を作成する上での確認事項等
受注者は、再生資源利用促進計画の作成に当たり、発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壌汚染対策法等の現状状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。
また、確認結果は、再生資源利用促進計画に添付するとともに、工事現場において公衆の見やすい場所に掲げなければならない。

発生土の運搬を行う者に対する通知
受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするときは、再生資源利用促進計画に記載した事項(搬出先の名称及び所在地、搬出量)と上記確認結果を、委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等
発注者は、発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督職員から請求があった場合は、受領書の写しを提出しなければならない。

	6	発生する建設廃棄物の最終処分場を指定する場合は、副産物名、受入場所及び受入時間帯	無		
	指定廃棄物の処理の有無 工事の施工により発生する指定廃棄物は、以下の場所に搬入する。				
		廃棄物名	受入施設名	受入場所	備考
	7	その他			
	再生資源化施設及び建設廃棄物受入施設については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。 なお、受注者が上記施設とは異なる施設で処理する場合においても設計変更の対象としない。 ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、この限りではない。				
工事支障物件等	1	地上、地下等における占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合は、支障物件名、管理者、位置、移設時期、工事方法、防護等	無		
	2	地上、地下等の占用物件に係る工事期間と重複して施工する場合は、その工事内容、期間等	無		
	3	その他			
排水関係	1	排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合は、その工法、処理の方法、放流先、予定される排水量、水質基準及び放流費用	無		
	2	水替・流入防止施設が必要な場合は、その内容、期間	無		
	3	その他			

1. 他の特記仕様書と重複している事項については、本施工条件明示によること。
2. 図面等に内容を明示する場合には、内容欄にその旨を明記すること。

明示項目	明 示 事 項	適用の有 無	内 容
薬液注入関係	1 薬液注入を行う場合は、設計条件、工法区分、材料種類、範囲、削孔数量、削孔延長及び注入量、注入圧等	無	
	2 周辺環境に与える影響の調査が必要な場合は、その内容	無	
	3 その他		
その他	1 工事現場発生品がある場合は、その品名、数量、現場内での再使用の有無、引き渡し場所等	無	
	2 支給材料及び貸与品がある場合は、その品名、数量、品質、規格又は性能、引渡場所、引渡期間等	無	
	3 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件及びその内容等	無	
	4 架設工法を指定する場合は、その施工方法及び施工条件	無	
	5 工事用水及び工事用電力等を指定する場合は、その内容	無	
	6 新技術・新工法・特許工法を指定する場合は、その内容	無	
	7 部分使用を行う必要がある場合は、その箇所及び使用時期	無	
	8 「現場代理人の兼務の適用」の有無	有	
	- 本工事は、現場代理人の兼務に関する取扱い(令和3年3月8日付け出総第341号。以下「兼務に関する取扱い」という。)に基づき、2件の工事で現場代理人を兼務できる対象であり、工事請負契約書別記第10条第3項に基づき現場代理人について工事現場における常駐を要しないものとする。 - 詳細については、以下のホームページ「現場代理人の兼務に関する取扱い」を参照すること。 https://www.pref.iwate.jp/kensei/nvuusatsu/kouji/1010493/kiteishu/3-2-01400.html 《岩手県トップページ＞県政情報＞入札・コンペ・公募情報＞県営建設工事入札＞県営建設工事入札各種資料＞県営建設工事入札契約規程集＞3-2-01400 現場代理人の兼務に関する取扱い》		
	9 「主任技術者及び監理技術者の兼務の適用」の有無	有	
	- 本工事は、県営建設工事における技術者等の兼務について(令和7年1月21日付け出総第205号)に基づき、2件の工事で主任技術者及び監理技術者を兼務できる対象である。 - 詳細については、以下のホームページ「主任技術者及び監理技術者の兼務に関する取扱い」を参照すること。 https://www.pref.iwate.jp/kensei/nyuusatsu/kouji/1010493/kiteishu/3-2-01300.html 《岩手県トップページ＞県政情報＞入札・コンペ・公募情報＞県営建設工事入札＞県営建設工事入札各種資料＞県営建設工事入札契約規程集＞3-2-01300 主任技術者及び監理技術者の兼務に関する取扱い》 - なお、主任技術者については、建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第27条第1項に定める請負代金の額に満たない工事においては専任を要しないことから、本項目の対象の有無にかかわらず複数の工事を管理することができる。		
	10 「工事請負契約締結後における単価適用年月変更」の有無	有	
	- 本工事は、「工事請負契約締結後における単価適用年月変更」対象工事である。 - 本工事は、特定の資材の価格や労務が短期間に高騰し、積算時点で設定している設計単価と工事請負契約締結時点での資材価格に差が生じている可能性があることから、当初契約締結後に単価適用年月を変更し、設計単価を変更することが可能な対象工事である。 - 対象となる単価は、資材単価、労務単価及び機械単価等の全ての設計単価とする。 - 受注者は、単価適用年月の変更を請求する場合は、当初契約締結日から14日以内に別紙様式により発注者に請求するものとする。 - 受注者から単価適用年月の変更の請求があった場合は、発注者は、基準日時点で設計単価を所管する建設技術振興課が通知(設定)している最新の積算単価表の設計単価に変更するものとする。 - 設計単価の変更に伴う契約変更(第1回)は、原則として単価適用年月の変更のみとし、契約数量、契約図面及び仕様書等は変更しないものとする。 - 単価適用年月の変更を請求した場合においても、岩手県営建設工事請負契約書別記第25条第1項から第4項(いわゆる「全体スライド」)、第5項(いわゆる「単品スライド」)、第6項(いわゆる「インフレスライド」)の規定に基づく請負代金額の変更及び「遠隔地からの資材調達に要する輸送費についての運用」と併用できるものとする。 - 適用除外工事は以下のとおり。 ① 請求日時点で出来高が発生している工事。 ② その他発注者が適用除外と認めた工事。 - 詳細については、「工事請負契約締結後における単価適用年月変更の運用基準(建築・電気設備・機械設備)」のとおりであり、以下のホームページを参考とすること。 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017258/1010941.html 《岩手県トップページ＞県土づくり＞建設業＞建設技術関連＞設計・積算・入札＞東日本大震災特例等＞【建築工事関係・拡大運用】工事請負契約締結後における単価適用年月変更について》		

1. 他の特記仕様書と重複している事項については、本施工条件明示によること。

2. 図面等に内容を明示する場合には、内容欄にその旨を明記すること。

明示項目	明 示 事 項	適用の有 無	内 容
その他	11 「労働者確保に要する共通費の実績変更」の有無	無	- 本工事は、「労働者確保に要する共通費の実績変更」対象工事である。 - 不足する労働者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、受注者が負担する「共通仮設費(積上式)のうち仮設建物費(宿舍等)」、「共通仮設費(積上式)のうち労働者に係る送迎費」及び「現場管理費(率式)のうち労務管理費」の以下に示す費用(以下「実績変更対象費」という。)について、契約締結後に受注者の支出実績を踏まえて契約変更することができるものとする。 ① 共通仮設費(積上式):労働者送迎費、仮設建物費(宿泊費、借上費) ② 現場管理費(率 式):労務管理費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事・通勤等に要する費用) - 受注者は、労働者確保に要する共通費の実績変更(以下「共通費の実績変更」という。)を請求する意思がある場合は、発注者に対し実績変更対象費(見込額)の提出を求めるものとする。 - 受注者は、「共通費の実績変更」を請求する場合は、実績報告書(様式1)及び実績変更対象費に実際支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書などをいう。)を監督職員に提出し、「共通費の実績変更」の内容について協議するものとする。 なお、実績報告書及び証明書類の提出期限等については、監督職員と協議のうえ決定するものとする。 - 受注者の責めによる工事工程の遅れ等、受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、「共通費の実績変更」の対象としない。 - 発注者は、「共通費の実績変更」をする場合は、実績変更対象費に実際支払った額のうち、証明書類において確認された費用について、下記に示す方法により積算変更時の設計額を算出するものとする。 ① 共通仮設費(積上式):積算基準により算出した共通仮設費に加算 現場管理費(率 式):「実績変更対象費に実際支払った額のうち、証明書類において確認された費用から積算基準により算出した現場管理費に含まれる実績変更対象費(率分)を差し引いた費用」を積算基準により算出した現場管理費に加算 ② 算出した現場管理費に含まれる実績変更対象費(率分)を差し引いた費用を積算基準により算出した現場管理費に加算 - 受注者は、工事請負契約書別記第21条に基づき、工事発注時に際して見込む作業不能日数と著しく乖離した場合は、工期の延長変更を請求することができる。 - 受注者は、「共通費の実績変更」に係る契約変更について疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。 - 上記により難しい場合は、監督職員と協議のうえ決定するものとする。 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017258/1010943.html 《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>建設技術関連>設計・積算・入札>東日本大震災特例等>(建築関係)労働者確保に要する共通費の実績変更の運用基準の改定について》
	12 「遠隔地からの資材調達に要する輸送費」の有無	無	- 本工事は、東日本大震災津波等に伴う復旧・復興工事が本格化するなか、特定の資材の供給不足が生じる恐れがあり、受注者が不足する資材を遠隔地から調達せざるを得ないことが想定されるため、それに要する輸送費を契約変更で計上できるものとする。 - 対象となる資材は、生コンクリート、石材とする。 - 輸送費の算出は、工事場所から資材製造地区境までの距離に応じた輸送費を契約変更で計上する。 - 輸送した資材は、資材製造地区の設計単価による契約変更とする。 - 輸送費を契約変更で計上するには、受注者は発注者に事前に必要事項を通知して了解を得ることとし、了解を得た場合に限り、実績に応じて輸送費を請求できるものとする。 - 輸送費に係る契約変更を請求した場合においても、岩手県営建設工事請負契約書別記第25条第1項から第4項(いわゆる「全体スライド」)、第5項(いわゆる「単品スライド」)、第6項(いわゆる「インフレスライド」)の規定に基づく請負代金額の変更及び「工事請負契約締結後における単価適用年月変更の運用」と併用できるものとする。 - 適用除外工事は以下のとおり。 ① 受注者が、輸送費を請求する意志を、事前に書面により発注者に通知していない工事。 ② その他発注者が適用除外と認めた工事。 - 詳細については、「遠隔地からの資材調達に要する輸送費についての運用基準」のとおりであり、以下のホームページを参考とすること。 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017258/1010942.html 《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>建設技術関連>設計・積算・入札>東日本大震災特例等>(建築関係)遠隔地からの資材調達に要する輸送費について》
	13 その他		

1. 他の特記仕様書と重複している事項については、本施工条件明示によること。
2. 図面等に内容を明示する場合には、内容欄にその旨を明記すること。

本 庁 舎 分 室 耐 震 補 強 工 事

合同会社 A B E 構造設計

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A－01	改修 特記仕様書 No. 1	——	A－48	事務室棟 既存撤去 展開図-3	1：60	E－01	電気設備工事 特記仕様書	——
A－02	改修 特記仕様書 No. 2	——	A－49	トイレ 既存撤去 平面詳細図・展開図	1：60	E－02	改修 分電盤結線図	——
A－03	改修 特記仕様書 No. 3	——	A－50	事務室棟 既存 建具表-1	1：50	E－03	改修 幹線・動力設備 1階平面図	1：100
A－04	改修 特記仕様書 No. 4	——	A－51	事務室棟 既存 建具表-2	1：50	E－04	改修 幹線・動力設備 2階平面図	1：100
A－05	配置図・付近見取図	1：500	A－52	休憩室棟 既存撤去 平面図	1:100,1:10	E－05	改修 照明器具参考姿図	——
A－06	会議室棟 既存・改修 仕上表	——	A－53	休憩室棟 既存 矩計図	1：50	E－06	改修 電灯分岐 1階平面図	1：100
A－07	事務室棟 既存・改修 仕上表	——	A－54	休憩室棟 既存撤去 基礎・床伏図	1:100,1:20	E－07	改修 電灯分岐 2階平面図	1：100
A－08	休憩室棟 既存・改修 仕上表	——	A－55	休憩室棟 既存撤去 天井・小屋伏図	1：100	E－08	改修 コンセント分岐・電熱設備 1階平面図	1：100
A－09	改修 建物面積求積図・求積表	1：300	A－56	休憩室棟 既存撤去 展開図-1	1：60	E－09	改修 コンセント分岐 2階平面図	1：100
A－10	既存撤去 1階平面図	1：100	A－57	休憩室棟 既存撤去 展開図-2	1：60	E－10	改修 構内情報通信網・構内交換・テレビ共同受信 火災報知設備 1階平面図	1：100
A－11	既存撤去 2階平面図	1：100	A－58	休憩室棟 既存 建具表-1	1：50	E－11	改修 構内情報通信網・構内交換・テレビ共同受信 火災報知設備 2階平面図	1：100
A－12	既存撤去 屋根伏図	1：100	A－59	休憩室棟 既存 建具表-2	1：50	E－12	既存 電灯分岐 1階平面図	1：100
A－13	既存撤去 立面図	1：200	A－60	事務室棟 改修 平面詳細図	1：50	E－13	既存 電灯分岐 2階平面図	1：100
A－14	改修 1階平面図	1：100	A－61	休憩室棟 改修 平面詳細図	1：50	E－14	既存 幹線・コンセント分岐・電熱設備 1階平面図	1：100
A－15	改修 2階平面図	1：100	A－62	事務室棟・休憩室棟 改修 矩計図-1	1：50	E－15	既存 コンセント分岐 2階平面図	1：100
A－16	改修 屋根伏図	1：100	A－63	事務室棟 改修 矩計図-2	1：50	E－16	既存 構内交換・拡声・テレビ共同受信・火災報知設備 1階平面図	1：100
A－17	改修 立面図	1：200	A－64	事務室棟・休憩室棟 改修 天井伏図	1：100	E－17	既存 構内交換・拡声・テレビ共同受信・火災報知設備 2階平面図	1：100
A－18	会議室棟 既存撤去 1階平面図	1：100	A－65	事務室棟・休憩室棟 改修 展開図-1	1：60			
A－19	会議室棟 既存撤去 2階平面図	1：100	A－66	事務室棟・休憩室棟 改修 展開図-2	1：60			
A－20	会議室棟 既存 矩計図	1:60, 1:20	A－67	事務室棟・休憩室棟 改修 展開図-3	1：60			
A－21	会議室棟 既存撤去 床伏図	1:100,1:20	A－68	休憩室棟 改修 展開図-4	1：60	M－01	機械設備工事 特記仕様書	——
A－22	会議室棟 既存撤去 天井伏図	1：100	A－69	休憩室棟 改修 展開図-5	1：60	M－02	改修 空気調和設備 機器表	——
A－23	会議室棟 既存撤去 展開図-1	1：60	A－70	事務室棟・休憩室棟 新設 建具表-1	1：50	M－03	改修 空気調和設備 1階平面図	1：100
A－24	会議室棟 既存撤去 展開図-2	1：60	A－71	休憩室棟 新設・改修 建具表-2	1：50	M－04	改修 空気調和設備 2階平面図	1：100
A－25	会議室棟 既存撤去 展開図-3	1：60	S－01	構造設計標準仕様書	——	M－05	改修 換気設備 機器表	——
A－26	会議室棟 既存撤去 展開図-4	1：60	S－02	鉄筋コンクリート造標準配筋図（1）	——	M－06	改修 換気設備 1階平面図	1：100
A－27	会議室棟 既存撤去 展開図-5	1：60	S－03	鉄筋コンクリート造標準配筋図（2）	——	M－07	改修 換気設備 2階平面図	1：100
A－28	会議室棟 既存撤去 雑詳細図	1：60	S－04	鉄骨構造標準図（1）	——	M－08	改修 衛生設備 機器表	——
A－29	会議室棟 既存 建具表-1	1：50	S－05	鉄骨構造標準図（2）	——	M－09	改修 衛生設備 1階平面図	1：100
A－30	会議室棟 既存 建具表-2	1：50	S－06	R C造補強 基礎伏図・1階床伏図	1：100	M－10	改修 衛生設備 2階平面図	1：100
A－31	会議室棟 改修 1階平面詳細図	1：50	S－07	R C造補強 2階・R階 床伏図	1：100	M－11	改修 衛生設備 トイレ平面図	1：50
A－32	会議室棟 改修 2階平面詳細図	1：50	S－08	R C造補強 軸組図（1）	1：100	M－12	既存撤去 機械設備 機器表	——
A－33	会議室棟 改修 断面詳細図	1：50	S－09	R C造補強 軸組図（2）	1：100	M－13	既存撤去 機械設備 1階平面図	1：100
A－34	会議室棟 改修 断面展開図-1	1：50	S－10	R C造補強 鉄骨詳細図	1：30	M－14	既存撤去 機械設備 2階平面図	1：100
A－35	会議室棟 改修 断面展開図-2	1：50	S－11	R C造補強 ジョイントリスト・東側ポーチ詳細図	1：30	M－15	既存撤去 機械設備 便所平面図	1：50
A－36	会議室棟 改修 断面展開図-3	1：50	S－12	R C造補強 あと施工アンカー仕様書	——			
A－37	会議室棟 改修 断面展開図-4	1：50	S－13	木質工事特記仕様書	——	K－01	解体用 外部足場計画図	1：150
A－38	会議室棟 改修 断面展開図-5	1：50	S－14	木造軸組接合部標準図（1）	——	K－02	解体用 1階内部足場	1：100
A－39	会議室棟 改修 風除室詳細図	1:50, 1:20	S－15	木造軸組接合部標準図（2）	——	K－03	改修用 外部足場計画図	1：150
A－40	会議室棟 改修 天井伏図・改修 窓まわり詳細図	1:100,1:20	S－16	木造軸組接合部標準図（3）	——	K－04	改修用 1階内部足場	1：100
A－41	会議室棟 新設・改修 建具表	1：50	S－17	木造軸組接合部標準図（4）	——	K－05	改修用 2階内部足場	1：100
A－42	事務室棟 既存撤去 平面図	1:100,1:10	S－18	木造補強 基礎伏図	1：100	K－06	仮設計画 配置図	1：300
A－43	事務室棟 既存 矩計図	1：50	S－19	木造補強 耐力壁・柱頭柱脚金物 平面図	1：100			
A－44	事務室棟 既存撤去 基礎・床伏図	1：100	S－20	木造補強 軸組図（1）	1：100			
A－45	事務室棟 既存撤去 天井・小屋伏図	1：100	S－21	木造補強 軸組図（2）	1：100			
A－46	事務室棟 既存撤去 展開図-1	1：60	S－22	木造補強 各階床伏図	1:100,1:20			
A－47	事務室棟 既存撤去 展開図-2	1：60	S－23	木造補強 小屋伏図・垂木伏図	1:100,1:60			

[illegible]

9-1

石綿含有建材の除去工事

9-1-1～9-1-6

環境配慮改修工事

石綿粉じん濃度測定

・適用する ・適用しない

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点
・測定1	処理作業前		処理作業室内	・計点
・測定2			調査対象室外部の付近	・計点
・測定3			処理作業室内	・計点
・測定4			セキュリティゾーン入口	・計点
・測定5	処理作業中		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室以外の場合)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計点
・測定6			処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計点
・測定7	処理作業後 (ノリ養生中)		処理作業室内	・計点
・測定8	処理作業後シート		処理作業室内	・計点
・測定9	撤去後1週間以降		調査対象室外部の付近	・計点

測定方法

・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計) パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-IIに基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定	47	10	120
・測定	47	10	240

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹付け材の除去

除去対象範囲

・図示

除去工法

※ 9.1.3(2)(ア)による

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止処置

※ 湿潤化 ・固形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分

・埋立処分 (管理型最終処分場)

・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材の除去

除去対象範囲

・図示

除去方法

・破碎して除去 ・手ばらし

除去した石綿含有保温材等の飛散防止

※湿潤化 ・固形化

除去した石綿含有保温材等の処分

・埋立処分 (管理型最終処分場)

・中間処理 (溶融施設)

石綿含有成形板等の除去

除去対象範囲

・図示

作業場周辺の養生

○行う (・養生シート ・)

・行わない

除去した石綿含有成形板等の処分

・石綿含有せつこうボード

※ 埋立処分 (管理型最終処分場)

・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板等

○埋立処分 (管理型最終処分場)

・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有仕上り塗材の除去

除去対象範囲

・図示

石綿含有仕上り塗材の除去工法

・電気グラインダー工法 (・湿潤化 ・)

・高圧洗浄工法

・

除去した石綿含有仕上り塗材 (汚泥) の処理

・埋立処分 (管理型最終処分場)

・石綿含有建材除去後の仕上り工事

※ 図示による ・

2

外断熱改修工事

9.2.2～4

断熱材

種 類	厚さ (mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・
○ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	・ 床
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・
・ フェノールフォーム断熱材	・
・ ロックウール	・
○ グラスウール 16K	・ 壁
○ グラスウール 16K	・ 天井

施工箇所

・図示

ホルムアルデヒド放散量

※ 規制対象外

外装材

種 類	防火性能	備考
・		
・		

既存外壁の措置

既存外壁仕上り材の撤去

・あり ・なし

下地面の清掃

・行う ・行わない

欠損部の改修工法

・改修標準仕様書4章 外壁改修工事による ・

工法

不陸等の下地調整

・外装材製造所の仕様による ・

通気層の有無

・あり (mm) ・なし

断熱材の施工

・断熱材製造所の仕様による ・

外装材の施工

・外装材製造所の仕様による ・

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

・図示による ・

9-2

断熱・防露改修工事

9.3.2～4

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆

・断熱材打込み工法

種 類	厚さ (mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	・
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・
・ フェノールフォーム断熱材	・

施工箇所

・図示

・

断熱材現場発泡工法

断熱材の種類 (JIS A 9526 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム)

・ A 種 1 ・ A 種 1 H

厚さ (mm)

・ 25 ・ 30 ・

施工箇所

・図示

・

断熱材後張り工法

断熱材の種類 (JIS A 9521 発泡プラスチック断熱材)

・ ()

厚さ (mm)

・

施工箇所

・図示

・

断熱材に直接ボードの張付けを行う場合の工法

・図示による ・

断熱材にせつこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法

・図示による ・

4

屋上緑化改修工事

9.4.1～4

植栽基盤及び材料

屋上緑化軽量システム

・適用する ・適用しない

芝及び地被類の樹種並びに種類等

※ 図示

・

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等

※ 図示

・

(品質・性能)

項目	性能
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、 補え込み用土を流出させない構造であること。
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補込み 土壌を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² /h 以上
耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ³ N/m ² の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常がないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)
排水層の許容圧縮強度	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い 植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食 性及び耐久性のあるものであること。
耐根層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、 かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものである こと。但し、耐根層がこれと同等の性能を有するものと 認められる場合は省略することができるものとする。

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

・図示による

かん水装置

・設置する

・ (種類 ・)

既存保護層の撤去

・行う (・改修標準仕様書3.2.3による ・)

・行わない

新植した芝及び地被類の枯保障の期間

※引渡の日から1年

9.5.2～9

透水性アスファルト舗装改修工事

9.2.2～4

断熱材

路床安定処理

・適用する ・適用しない

路床安定処理の方法

・添加材料による安定処理 ・

・路床安定処理用添加材料

種類

・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種

・フライアッシュセメントB種

・生石灰 (・特号 ・1号)

・消石灰 (・特号 ・1号)

添加量

kg (目標CBR ・ 3 以上 ・)

目標 CBR を満足する添加量の確認方法

・安定処理土の CBR 試験

試験

砂の粒度試験

・行う ・行わない

路床土の支持力比 (CBR) 試験

・行う ・行わない

現場 CBR 試験

・行う ・行わない

路床締固め度試験

・行う ・行わない

9-3

環境配慮改修工事

路盤

路盤の厚さ

・図示による ・

路盤材料

舗装の構成

・図示による

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験

・行う ・行わない

舗装の平坦性

※ 著しい不陸がないもの

33

名 称

本庁舎分室 耐震補強工事

1 級 建築士 事務所 登録 第 (2507) 2006 号 (岩手県)

設計年月日

2025. 3.

設計

図面番

A-04

改修特記仕様書 No.4

縮尺

—

枚ノ内

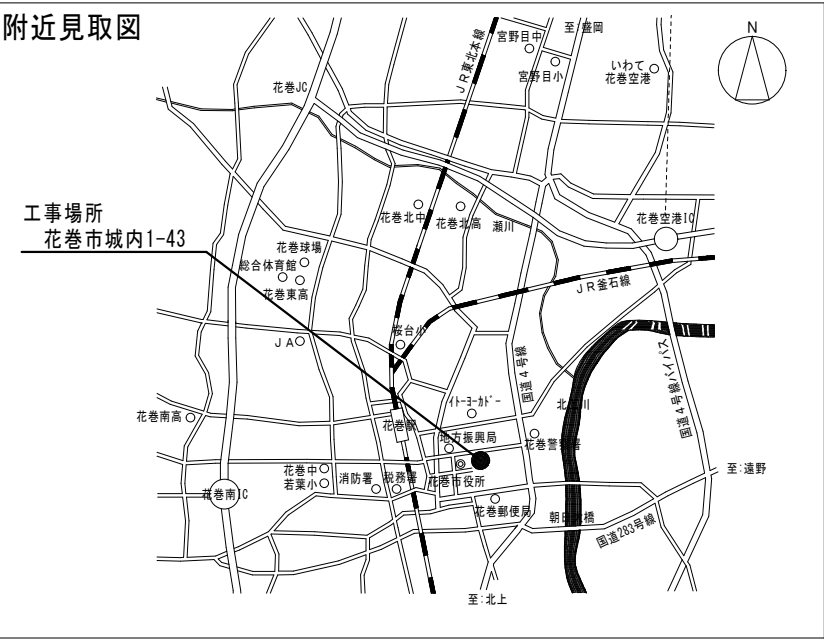
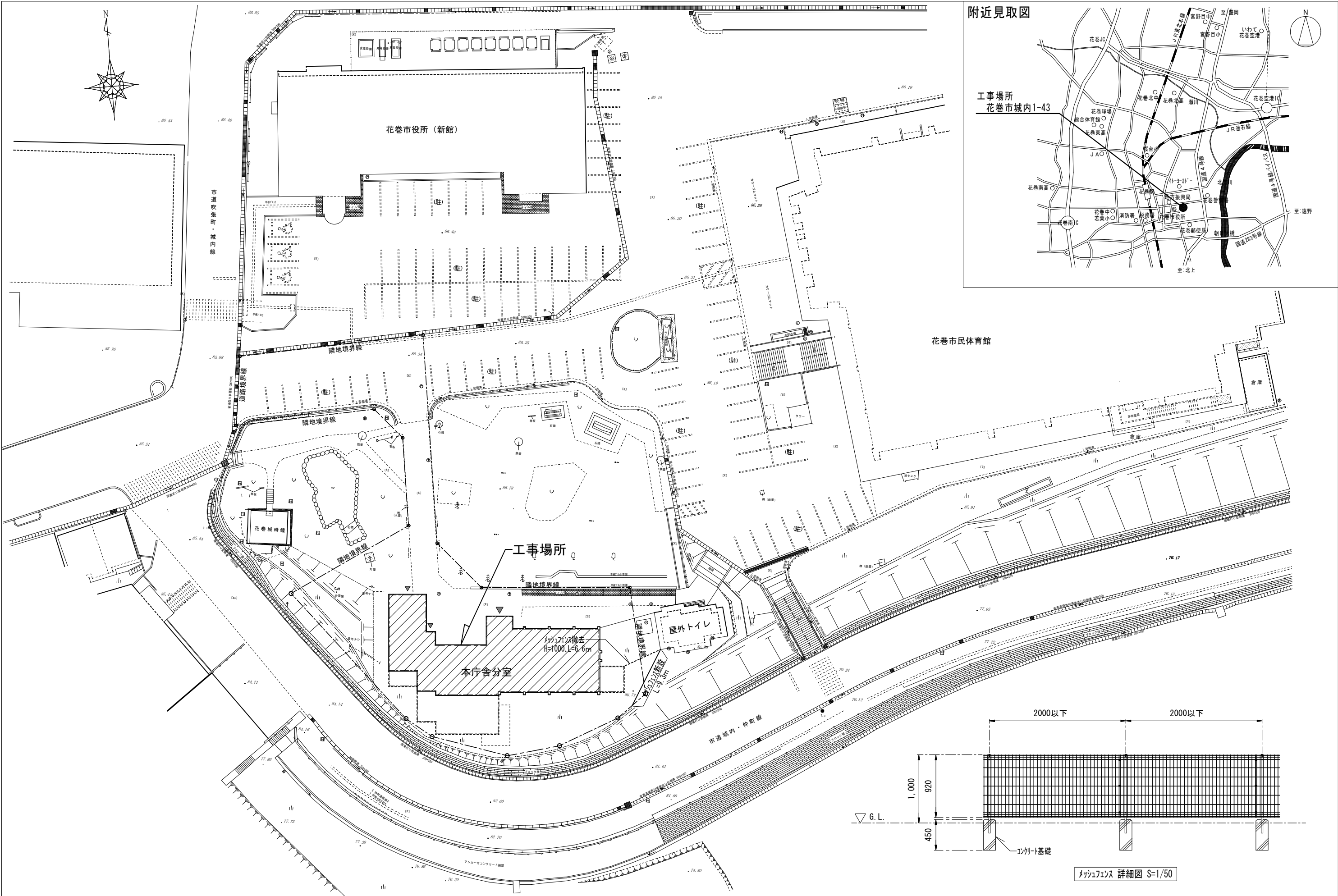
岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032

1 級 建築士 登録 207833 号 阿 部 公 男

設計

図面

担当



名 称	本庁舎分室 耐震補強工事			1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県)	設計年月日	設計	検図	図面内容	縮尺	枚ノ内	図面番号	A-05
					2025. 3.							
合同会社 A B E 構 造 設 計					1 級 建 築 士 登 録 2 0 7 8 3 3 号 阿 部 公 男	製図	担当	配置図・付近見取図	1:500			
岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 T E L (0198) 23-1088 F A X (0198) 23-1032												

(会 議 室 棟) 外 部 仕 上 表												
部 位		既 存 仕 上				改 修 後 仕 上						
						新 設 ・ 改 修 内 容					認 定 番 号 等	
屋 根		(撤去) 瓦葺き、ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺き(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有みなし建材) (既存利用) 木製垂木＋野地板 下地 [風除室] 陸屋根 シート防水 [東トイレ] (撤去) ｶﾗｰ鉄板 瓦棒葺き、ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺き				(新設) ガルバリウム鋼板 t=0.4 立平葺き、ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940下葺き、棟換気 (ガルバリウム鋼板加工包み) 垂木 45 x 60@455＋野地合板 t =12下地						
外壁 (柱・梁)		(既存利用) コンクリート打ち放し 吹付塗装仕上げ [風除室] コンクリート打ち放し 吹付塗装仕上げ [東トイレ] (撤去) 木造、ラスモルタル下地 吹付塗装仕上げ				【塗装改修】 既存塗装面：高圧洗浄・素地調整の上、アクリルリシン吹付 新設 RＣ壁・窓まわりモルタル補修部分：素地調整の上、アクリルリシン吹付						
外 壁		(既存利用) 石積み (凝灰岩 野蒜石)										
軒 天 井		(既存利用) コンクリート打ち放し 吹付塗装仕上げ [東トイレ] (撤去) 防火ライト t=6 (ｱｽﾍﾞｽﾄ含有 みなし建材)										
雨 樋		(撤去) 軒樋 ｶﾗｰ鉄板 (半円形) φ100, 軒樋 ｶﾗｰ鉄板 (丸) φ75				(新設) 軒樋 ｶﾗｰ鉄板 (半円形) t=0.4 φ120, 軒樋 ｶﾗｰ鉄板 (丸) t=0.4 φ75						
建 具		(既存利用) アルミサッシ：引き違い段窓 (一部 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ撤去) [東トイレ] (撤去) アルミサッシ				(新設) アルミドア：見込 70、SAT、YKK AP (7TD 同等品)、ﾍﾞｰｸﾞﾗｽ (Low-E) 既 存 ｱﾙﾐｻｯｼﾊﾟﾈﾙ撤 去 部 分 ｶﾞﾗｽ新 設 (図 示)						
そ の 他												

(会 議 室 棟) 内 部 仕 上 表 (各室共通：撤去・改修 範囲は図示)												
	部 屋 名	床		巾 木	壁		天 井		天井高	周 り 縁	備 考	
		下 地	仕 上		下 地	仕 上	下 地	仕 上				
既 存 仕 上	1 階	風 除 室 [FL-200]	(一部撤去) 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ t=120	(一部撤去) 磁器質ﾀｲﾙ張り		(既存利用) RC壁	(既存利用) 上部：吹付塗装仕上げ 下部：磁器質ﾀｲﾙ張り	(既存利用) RCスラブ	(既存利用) 吹付塗装仕上げ	3,145		
		階段下物置 [FL-250]		(撤去) ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾂ押え t=120			(撤去) ﾓﾙﾙ塗 t=20		(撤去) ベニヤ t=5	2,820	(撤去) 木製 25x60	
		玄 関 [FL-200]	(撤去) 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ t=120	(撤去) 磁器質ﾀｲﾙ張り	(撤去) 木製 25x150	【外部側】 (撤去) ﾓﾙﾙ塗 t=20 【間仕切り壁】 (撤去) 間柱 45x105@455	【外部側】 (撤去) 上部 ﾓﾙﾙ塗下地の上、塗装 (撤去) 下部 合板張りt=5＋塗装 【間仕切り壁】 (撤去) 合板張りt=5＋塗装 【共通】 (撤去) 壁見切り：木製 25x40、25x70	(撤去) 木製野縁 36 x 36@455	(撤去) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9mm ＋塗装	3,245	(撤去) 木製 25x60	
		廊 下 事 務 室	(撤去) 根太組＋床板 t=12	(撤去) ﾋﾞﾆﾙ床シート						3,150 3,020	(撤去) 木製 25x60	
		東トイレ (男女共通)	(撤去) 根太組＋床板 t=12	(撤去) ﾋﾞﾆﾙ床シート	(撤去) 木製 25x90	柱 105角、間柱 45x105@455	合板 t=5 ＋塗装	(撤去) 木製野縁 36 x 36@455	(撤去) ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾟｰﾄﾞ t=6mm ＋塗装 (ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材)	2,310 2,400 2,470	(撤去) 木製 25x60	
	2 階	ホール 中会議室 会 議 室	(撤去) 木床梁・根太組 ＋床板 t=12	(撤去) ﾋﾞﾆﾙ床シート	(撤去) 木製 25x150	【外部側】 (撤去) ﾓﾙﾙ塗 t=20 【間仕切り壁】 (撤去) 間柱 45x105@455	【外部側】 (撤去) 上部 ﾓﾙﾙ塗下地の上、塗装 (撤去) 下部 合板張りt=5＋塗装 【間仕切り壁】 (撤去) 合板張りt=5＋塗装 【共通】 (撤去) 壁見切り：木製 25x40、25x70	(撤去) 木製野縁 36 x 36@455	(撤去) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9mm ＋塗装	3,020	(撤去) 木製 25x60	
改 修 後 仕 上	1 階	風 除 室 [FL-200]	(一部新設) 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ t=120	(一部新設) 磁器質ﾀｲﾙ張り t=10 外装床 100角	(一部新設) 磁器質ﾀｲﾙ 立上げ	(新設) 窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ t=14mm (ﾓﾆW14ｼｬｰ-ｳｵｰﾙ調程度)		(既存利用) 吹付塗装仕上げ	3,145		(新設) 階段 段鼻：ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ SUS W=35 ｺﾞﾑﾀｲﾔ入り	
		廊 下 階段下物置 事 務 室	(新設) 土間ｺﾝｸﾘｰﾄの上、鋼製束 大引き 90x90 構造用合板 t=28 ﾌｫﾝﾍﾞﾆﾔ t=9	(新設) ﾋﾞﾆﾙ床シート t=2mm	(新設) ﾌｯﾄ巾木 H=60	(新設) 木製間柱：30x105@455 (ｼﾞｮｲﾝﾄ部 45x105)	(新設) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5mm 継目処理 ＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り	(新設) 木製野縁 36 x 36@455	(新設) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5mm (ｼﾞﾌﾞｰﾄﾝ) 張り	2,800	(新設) 塩ﾋﾞ製	
	2 階	ホール 会議室	(新設) 木床組 大引き 90x90 構造用合板 t=28 ﾌｫﾝﾍﾞﾆﾔ t=9	(新設) ﾋﾞﾆﾙ床シート t=2mm	(新設) ﾌｯﾄ巾木 H=60	(新設) 木製間柱：30x105@455 (ｼﾞｮｲﾝﾄ部 45x105)	(新設) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5mm 継目処理 ＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り	(新設) 木製野縁 36 x 36@455	(新設) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5mm (ｼﾞﾌﾞｰﾄﾝ) 張り	2,700	(新設) 塩ﾋﾞ製	
		階 段	(新設) 構造用合板 t=28加工	(新設) ﾋﾞﾆﾙ床シート t=2mm	(新設) ｻｻﾗ析 ﾀﾏ集成材 CL	(新設) 木製間柱：30x105@455 (ｼﾞｮｲﾝﾄ部 45x105)	(新設) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5mm 継目処理 ＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り	(新設) 木製野縁 36 x 36@455	(新設) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5mm (ｼﾞﾌﾞｰﾄﾝ) 張り	2,700	(新設) 塩ﾋﾞ製	(新設) 階段 段鼻：ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ SUS W=35 ｺﾞﾑﾀｲﾔ入り 腰壁 甲板：ﾀﾏ集成材 t=25 CL
	共通事項						塗 装 略 号	S O P：合成樹脂調合ペイント塗り O S：オイルステイン塗り C L：クリヤラッカー塗り W P：木材保護塗料塗り				

名 称	_____		_____		_____		_____		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県)		設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容		縮尺	枚ノ内		図面番号 A-06						
本庁舎分室 耐震補強工事									合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032									1 級 建 築 士 登 録 2 0 7 8 3 3 号 阿 部 公 男	製図	担当	会 議 室 棟 既 存 ・ 改 修 仕 上 表		—		

(事務室棟) 外 部 仕 上 表													
部 位		既 存 仕 上				改 修 後 仕 上							
						新 設						認定番号等	
屋 根		(既存利用) ｶﾞﾙ-鉄板 横葺き、ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌﾞｲﾝｸﾞ下葺き、木製垂木＋野地板 下地				(新設) ガルバリウム鋼板 t=0.4 横葺き、ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌﾞｲﾝｸﾞ940下葺き、棟換気 (ガルバリウム鋼板加工包み) 垂木 45×60@455＋野地合板 t=12下地							
外 壁		(撤去) ラスモルタル下地 吹付塗装仕上げ				(新設) 窯業系サイディング張り t=14 (ﾏｴﾝW14ｼｬｰｳｵｰﾙ調程度)、同質出隅 構造用合板 t=9下地、タイベックシート張りの上 通気胴縁 18×45@455 土台水切り：カラーアルミ製通気工法用水切り							
軒 天 井		(撤去) 防火ライト(一部 防火有孔板) t=6 (ｱｽﾍﾞｽﾄ含有 みなし建材) ＋塗装 (撤去) ラスモルタル下地 吹付塗装仕上げ				(新設) 化粧スラグせっこう板 t=6mm (塗装品)、軒天通気金物							
建 具		(撤去) アルミサッシ				(新設) 住宅用断熱 アルミ樹脂複合サッシ (YKK AP:ｴﾃﾞｰｼｰﾄﾞ II NEO同等品)、ﾊﾞｰｱｶﾞﾗｽ(Low-E) アルミドア：見込 70、SAT (YKK AP：7TD 同等品)、ﾊﾞｰｱｶﾞﾗｽ(Low-E) 開口部廻りは全て変性シリコーン処理とする							
テラス屋根		(撤去) 塩ビ製 波板、木製垂木 45x75@455 (撤去) 柱：鋼管 φ48.6x2.5 , 軒梁：角型鋼管 120x75x2.3											
そ の 他													

(事務室棟) 内 部 仕 上 表 (各室共通：撤去・改修 範囲は図示)													
	部 屋 名	床		巾 木	壁		天 井		天井高	周 り 縁	備 考		
		下 地	仕 上		下 地	仕 上	下 地	仕 上					
既 存 仕 上	1階廊 下	(撤去) 根太組＋合板 (既存利用) 踏込：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ	(撤去) ビニル床ｼｰﾄ t=2 (既存利用) 踏込：ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 仕上	(撤去) 木製 25x150	(一部撤去) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(既存利用) 上部：ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗 ＋塗装 下部：合板 ＋塗装 壁見切り：木製 H=40	(撤去) 木製野縁	(撤去) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9mm＋塗装	3,020	(撤去) 木製 25x60	(撤去) 木製棚 W=2,800 D=760 H=1,800		
	事務室 (食品衛生協会) [FL+110]	(撤去) 根太組＋合板	(撤去) 踏込み:ビニル床ｼｰﾄ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t=12mm	(撤去) 木製 25x150	(一部撤去) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(撤去) ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗 ＋塗装	(撤去) 木製野縁	(撤去) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9mm＋塗装	3,150	(撤去) 木製 25x60			
	事務室 (防犯協会) (調理師会)	(撤去) 根太組＋合板	(撤去) ビニル床ｼｰﾄ t=2	(撤去) 木製 25x150	(既存利用) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(撤去) ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗 ＋塗装	(撤去) 木製野縁	(撤去) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9mm＋塗装	3,020 2,500	(撤去) 木製 25x60			
	物 置	(既存利用) 根太組＋合板	(撤去) ビニル床ｼｰﾄ t=2	(撤去) 木製 15x90	(既存利用) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(撤去) ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗 ＋塗装	(撤去) 木製野縁	(撤去) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9mm＋塗装	2,500	(撤去) 木製 25x60	(撤去) 木製棚		
	書 庫	(既存利用) 根太組＋合板	(撤去) ビニル床ｼｰﾄ t=2	(撤去) 木製 15x90	(既存利用) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(撤去) 化粧石膏ﾎｰﾄﾞ t=9mm	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ (ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ) t=9.5mm	2,160	(撤去) 塩ビ	(撤去) 木製棚		
	湯 沸 室	(既存利用) 根太組＋合板	(撤去) ビニル床ｼｰﾄ t=2	(撤去) 木製 15x90	(既存利用) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(撤去) 石膏ﾎｰﾄﾞ t=12.5mm＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ (ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ) t=9.5mm	2,160	(撤去) 塩ビ	(撤去) 流し台 W=1200 (ｼﾝｸ裏 防滴材：ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材)		
	男女WC [FL-200]	(既存利用) 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ＋ﾓﾙﾀﾙ t=25	(既存利用) 磁器質ﾀｲﾙ張り t=5	(撤去)	(撤去) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(撤去) 上部：石膏ﾎｰﾄﾞt=12.5mm＋塗装 下部：磁器質ﾀｲﾙ張り	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ (ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ) t=9.5mm	2,700	(撤去) 塩ビ			
改 修 後 仕 上	1階廊 下	(新設) 防湿ｺﾝｸﾘｰﾄの上、鋼製束大引き 90x90 構造用合板 t=28 ﾌﾞﾗﾝﾍﾞﾆｰ t=9	(新設) ビニル床ｼｰﾄ t=2mm	(新設) ｼｵﾄ巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁：間柱30x105x@455 (ｼﾞｵｲﾝﾄ部 45x105)	(新設) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5mm＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ (ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ) t=9.5mm	3,000	(新設) 塩ビ			
	会 議 室	(新設) 防湿ｺﾝｸﾘｰﾄの上、鋼製束大引き 90x90 構造用合板 t=28 ﾌﾞﾗﾝﾍﾞﾆｰ t=9	(新設) ビニル床ｼｰﾄ t=2mm	(新設) ｼｵﾄ巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁：間柱30x105x@455 (ｼﾞｵｲﾝﾄ部 45x105)	(新設) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5mm＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ (ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ) t=9.5mm	3,000	(新設) 塩ビ			
	女子トイレ	(新設) 土間ｺﾝｸﾘｰﾄの上、調整束大引き 90x90 構造用合板 t=28 ﾌﾞﾗﾝﾍﾞﾆｰ t=9	(新設) ビニル床ｼｰﾄ t=2mm	(新設) ｼｵﾄ巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁：間柱30x105x@455 (ｼﾞｵｲﾝﾄ部 45x105)	(新設) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5mm＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ (ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ) t=9.5mm	2,160	(新設) 塩ビ	(新設) 棚すり付紙巻器、ｺｰﾅｰ手洗ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ 化粧鏡付、ﾀﾞｵﾘﾝｸﾞ 扉付ﾐﾄﾞﾙｷｬﾋﾞﾈｯﾄ(360x150x600)		
	男子トイレ(小)	(新設) 土間ｺﾝｸﾘｰﾄの上、調整束大引き 90x90 構造用合板 t=28 ﾌﾞﾗﾝﾍﾞﾆｰ t=9	(新設) ビニル床ｼｰﾄ t=2mm	(新設) ｼｵﾄ巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁：間柱30x105x@455 (ｼﾞｵｲﾝﾄ部 45x105)	(新設) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5mm＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ仕上	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ (ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ) t=9.5mm	2,160	(新設) 塩ビ	(新設) ﾚｲﾝｸﾞ 天板:ﾏﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ t=25 狭小手洗いｷｬﾋﾞﾈｯﾄ、化粧鏡、ﾀﾞｵﾘﾝｸﾞ		
共通事項						塗 装 略 号	S O P：合成樹脂調合ペイント塗り O S：オイルステイン塗り C L：クリヤラッカー塗り W P：木材保護塗料塗り						

名 称		_____		_____		_____		_____		1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号(岩手県)		設計年月日 2025. 3.		設計		検図		図面内容		縮尺		枚ノ内		図面番号 A-07	
本庁舎分室 耐震補強工事		_____		_____		_____		_____		合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032		1級建築士 登録 207833号 阿部 公男		製図		担当		事務室棟 既存・改修 仕上表		—					

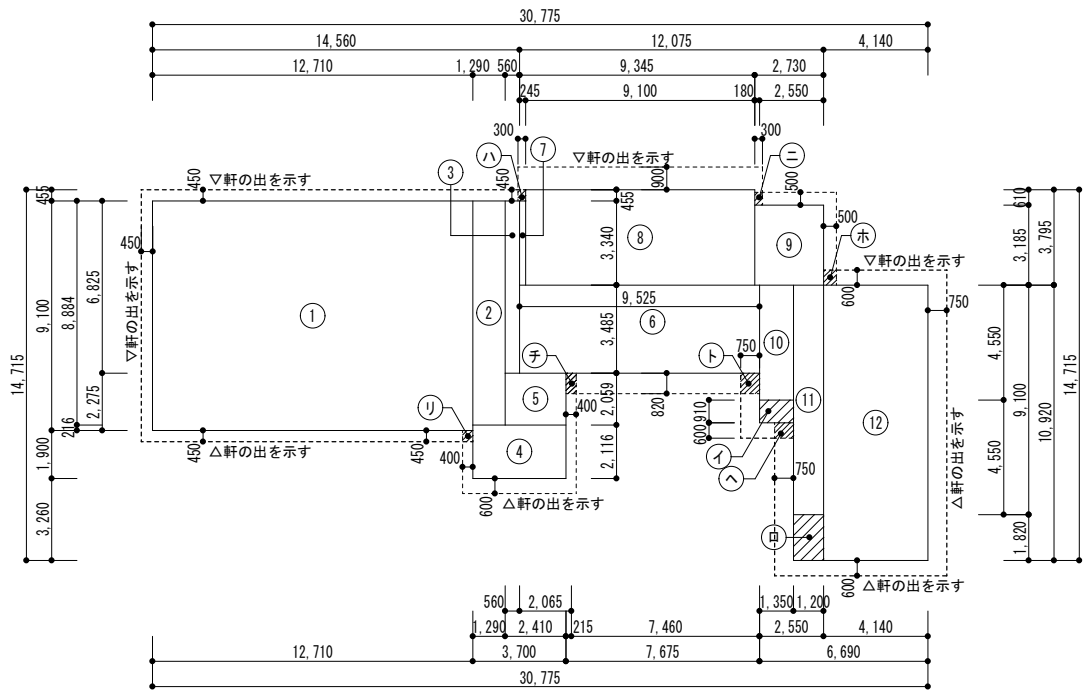
(休憩室棟) 外 部 仕 上 表

部 位	既 存 仕 上	改 修 後 仕 上	
		新 設	認 定 番 号 等
屋 根	(既存利用) ｶﾗｰ鉄板 横葺き, ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺き, 垂木 45×90@455+野地合板 t=12下地		
外 壁	(撤去) 金属サイディング よろい張り, 防水シート下地【図示】	(新設) 窯業系サイディング張り t=14 (無塗装板)の上、アクリルリシン吹付【図示】 構造用合板 t=9下地【図示】、タイベックシート張りの上 通気胴縁 18×45@455 土台水切り：カラーアルミ製通気工法用水切り	
軒 天 井	(撤去) 防火ライト(一部 防火有孔板) t=6 (ｱｽﾍﾞｽﾄ含有 みなし建材) + 塗装【図示】	(新設) 化粧スラグセッコウ板 t=6mm (塗装品)、軒天通気金物	
建 具	(撤去) アルミサッシ 見込 60mm【図示】 (既存利用) 軽量スチールシャッター	(新設) 住宅用断熱 アルミ樹脂複合サッシ (YKK AP:ﾍﾞｰｽﾄﾞ II NE0同等品)、ﾍﾞｰｸﾞﾗｽ(Low-E) 【図示】 開口部廻りは全て変性シリコーン処理とする (改修) 軽量スチールシャッター：沓摺レール新設、手掛け(樹脂)新設	
そ の 他			

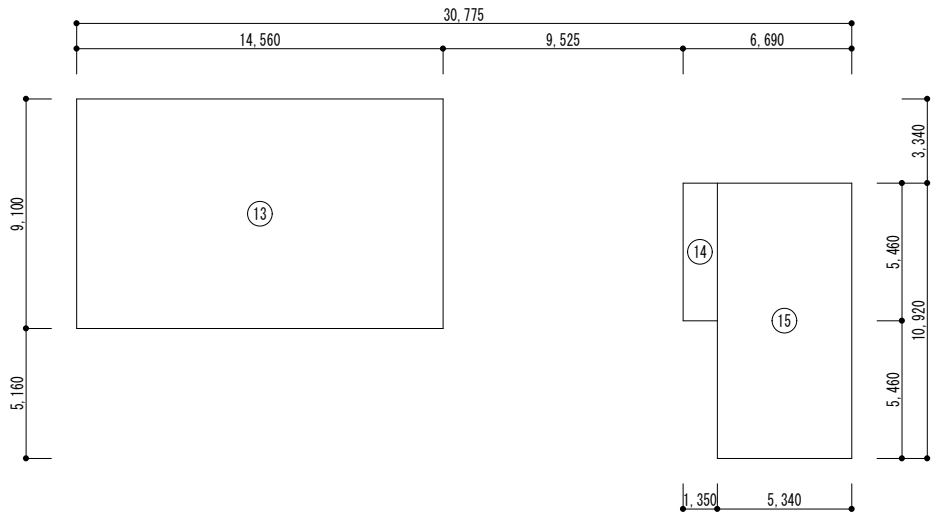
(休憩室棟) 内 部 仕 上 表 (各室共通：撤去・改修 範囲は図示)

	部 屋 名	床		巾 木	壁		天 井		天井高	周り縁	備 考	
		下 地	仕 上		下 地	仕 上	下 地	仕 上				
既 存 仕 上	1 階	倉 庫	(既存利用) 土間コンクリート			(既存利用) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(撤去) 合板 素地	2階根太 現わし			(撤去) 木製棚 D=910(2段)、中柱 100 x 100 H=2670	
		階段下収納	(既存利用) 土間コンクリート			(既存利用) 間仕切り壁：間柱 30x105@455		階段 現わし				
		玄 関	(撤去) 根太組＋合板 t=12	(撤去) クッションフロア t=2	(撤去) 木製 15x90	(撤去) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(撤去) 石膏ボード t=12.5mm＋ビニルクロス	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ボード(ｼﾞﾌﾞﾂｰﾝ) t=9.5mm	2,160	塩ビ	(撤去) 付框、雨具掛けフック受材 (取り外し、再取り付け) 下足入 W=1925・H=1890・D=310(1台)、W=975・H=1800・D=310(1台)
		男子トイレ	(撤去) 根太組＋合板 t=12	(撤去) クッションフロア t=2	(撤去) 木製 15x90	(撤去) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(撤去) 石膏ボード t=12.5mm＋ビニルクロス	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ボード(ｼﾞﾌﾞﾂｰﾝ) t=9.5mm	2,160	塩ビ	
	2 階	休 憩 室 [FL+40]	(既存利用) 根太組 50x105@300 ＋合板 t=12	クッションフロア t=2	(撤去) 木製 15x40	(既存利用) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(撤去) 石膏ボード t=12.5mm＋ビニルクロス	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ボード(ｼﾞﾌﾞﾂｰﾝ) t=9.5mm	2,450	塩ビ	(撤去) 流し台 W=1800
		更 衣 室 [FL+160]	(既存利用) 根太組 50x105@455 ＋合板 t=12	(撤去) 畳敷き	(撤去) 畳寄せ 20 x 120	(既存利用) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	石膏ボード t=12.5mm＋和風クロス 真壁造り、壁見切り	木製野縁	目透し天井板 杉板	2,500	木製(2段) 35x60 25x40	
		押 入	(既存利用) 根太組 50x105@455 ＋合板 t=12			(既存利用) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	石膏ボード t=12.5mm 素地	木製野縁	化粧石膏ボード(ｼﾞﾌﾞﾂｰﾝ) t=9.5mm		塩ビ	
		物 置	(既存利用) 根太組 50x105@300 ＋合板 t=12	クッションフロア t=2	(撤去) 木製 15x40	(既存利用) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(撤去) 石膏ボード t=12.5mm 素地	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ボード(ｼﾞﾌﾞﾂｰﾝ) t=9.5mm		塩ビ	(撤去) 木製棚 D=910(1段)
		階 段		(既存利用) 木製階段 段板 t=35	(既存利用) ササrah析	(撤去) 間仕切り壁：間柱 30x105@455	(既存利用) 石膏ボード t=12.5mm＋ビニルクロス	木製野縁	化粧石膏ボード(ｼﾞﾌﾞﾂｰﾝ) t=9.5mm		塩ビ	
	改 修 後 仕 上	1 階	倉 庫		(新設) 土間コンクリート 金ゴﾂ押え			(新設) 構造用合板 t=9mm 素地				(新設) 木製棚 D=910(2段)、中柱 100 x 100 H=2670
階段下収納												
玄 関			(新設) 土間コンクリートの上、調整束 大引き 90x90 構造用合板 t=28 ﾌﾗﾝﾍﾞﾆｰ t=9	(新設) ビニル床シート t=2mm	(新設) ﾌｯﾌﾟ巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁：間柱30x105x@455 (ｼﾞﾞﾖｲﾝﾄ部 45x105)	(新設) 石膏ボード t=12.5mm＋ビニルクロス仕上	(新設) 木製野縁 36 x 36@455	(新設) 化粧石膏ボード(ｼﾞﾌﾞﾂｰﾝ) t=9.5mm	2,160	塩ビ	(新設) 付框 25 x 90、雨具掛けフック受材 20 x 55 S0P (取り外し、再取り付け) 下足入 W=1925・H=1890・D=310(1台)、W=975・H=1800・D=310(1台)
男子トイレ			(新設) 土間コンクリートの上、調整束 大引き 90x90 構造用合板 t=28 ﾌﾗﾝﾍﾞﾆｰ t=9	(新設) ビニル床シート t=2mm	(新設) ﾌｯﾌﾟ巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁：間柱30x105x@455 (ｼﾞﾞﾖｲﾝﾄ部 45x105)	(新設) 石膏ボード t=12.5mm＋ビニルクロス仕上	(新設) 木製野縁 36 x 36@455	(新設) 化粧石膏ボード(ｼﾞﾌﾞﾂｰﾝ) t=9.5mm	2,160	塩ビ	(新設) 棚すり付紙巻器、ｺｰﾅｰ手洗ｷｯﾁﾈｯﾄ 化粧鏡付、ﾀﾞﾚﾝｼﾞﾝｸﾞ 扉付ﾓﾄﾞﾙｷｯﾁﾈｯﾄ(360x150x600)
2 階		休 憩 室			(新設) ﾌｯﾌﾟ巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁：間柱30x105x@455 (ｼﾞﾞﾖｲﾝﾄ部 45x105)	(新設) 石膏ボード t=12.5mm＋ビニルクロス仕上	(新設) 木製野縁 36 x 36@455	(新設) 化粧石膏ボード(ｼﾞﾌﾞﾂｰﾝ) t=9.5mm	2,450	塩ビ	(取り外し、再取り付け) 流し台 L=1800 (新設) 据え置き型 IHｸｯｷﾝｸﾞﾋｰﾀｰ
		更 衣 室	(新設) 根太 45x90@455 構造用合板 t=12	(新設) 畳敷き	(新設) 畳寄せ 20 x 120		(新設) 石膏ボード t=12.5mm＋ビニルクロス 真壁造り、壁見切り	木製野縁	目透し天井板 杉板	2,500	木製(2段) 35x60 25x40	
		押 入										
		物 置			(新設) ﾌｯﾌﾟ巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁：間柱30x105x@455 (ｼﾞﾞﾖｲﾝﾄ部 45x105)	(新設) 石膏ボード t=12.5mm 素地	(新設) 木製野縁 36 x 36@455	(新設) 化粧石膏ボード(ｼﾞﾌﾞﾂｰﾝ) t=9.5mm		塩ビ	(新設) 木製棚 D=910(1段)
		階 段										
共通事項								塗装略号	S O P：合成樹脂調合ペイント塗り O S：オイルステイン塗り C L：クリヤラッカー塗り W P：木材保護塗料塗り			

名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県) ア ベ 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 休憩室棟 既存・改修 仕上表	縮尺 ー	枚ノ内	図面番号 A-08
			1 級 建 築 士 登 録 2 0 7 8 3 3 号 阿 部 公 男	製図	担当				



1 階



2 階

■延床面積 求積表

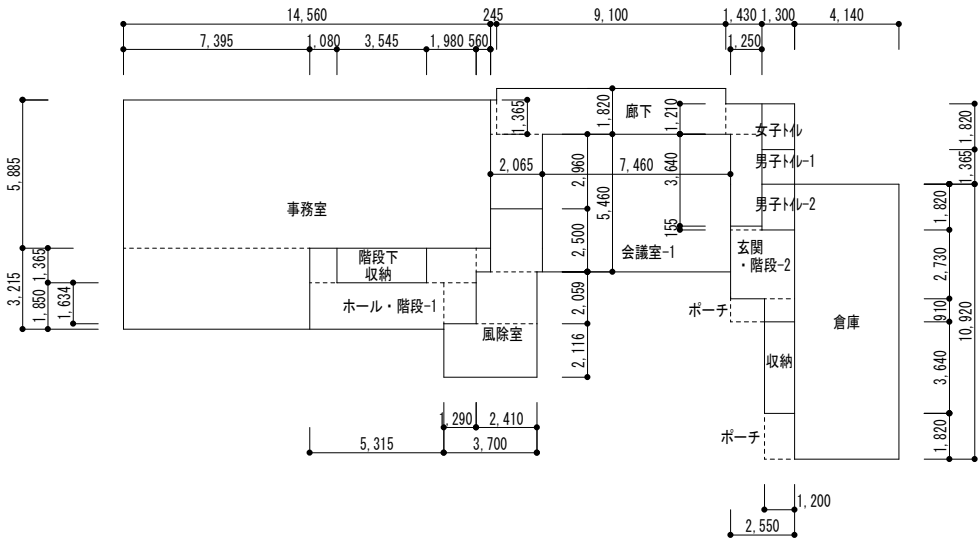
1 階					2 階						
1	12.710	×	9.100	=	115.661000	13	14.560	×	9.100	=	132.496000
2	1.290	×	8.884	=	11.460360	14	1.350	×	5.460	=	7.371000
3	0.560	×	6.825	=	3.822000	15	5.340	×	10.920	=	58.312800
4	3.700	×	2.116	=	7.829200						
5	2.410	×	2.059	=	4.962190						
6	9.525	×	3.485	=	33.194625						
7	0.245	×	3.340	=	0.818300						
8	9.100	×	3.795	=	34.534500						
9	2.730	×	3.185	=	8.695050						
10	1.350	×	4.550	=	6.142500						
11	1.200	×	9.100	=	10.920000						
12	4.140	×	10.920	=	45.208800						
合計 = 283.248525					合計 = 198.179800						
→ 283.24㎡ : A					→ 198.17㎡						
延床面積 481.41 ㎡ (∴ < 500 ㎡)											

■建築面積 求積表

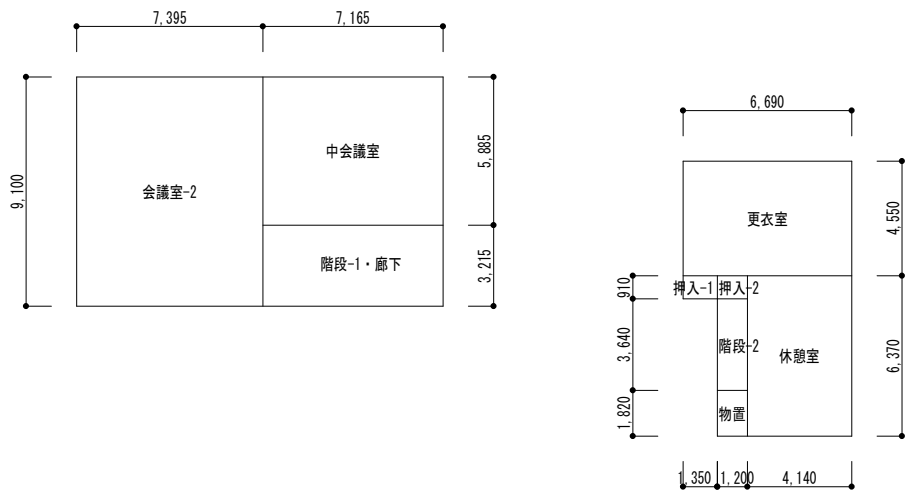
イ	1.350	×	0.910	=	1.228500	A	283.24㎡			
ハ	1.200	×	1.820	=	2.184000		B	5.57㎡		
ロ	0.300	×	0.450	=	0.135000	建築面積 288.81㎡				
ニ	0.300	×	0.500	=	0.150000					
ホ	0.500	×	0.600	=	0.300000					
ヘ	0.750	×	0.600	=	0.450000					
ト	0.750	×	0.820	=	0.615000					
チ	0.400	×	0.820	=	0.328000					
リ	0.400	×	0.450	=	0.180000					
	合計				=					5.570500
					→					5.57㎡

■棟別面積 求積表

	1 階	2 階	合計
会議室棟	1+2+3+4+5 = 143.734750 → 143.73㎡	13 = 132.496000 → 132.49㎡	276.22㎡
事務室棟	6+7+8+9 = 77.242475 → 77.24㎡	14+15 = 65.683800 → 65.68㎡	77.24㎡
休憩室棟	10+11+12 = 62.271300 → 62.27㎡		127.95㎡
合計	283.248525 → 283.24㎡	198.179800 → 198.17㎡	481.41㎡

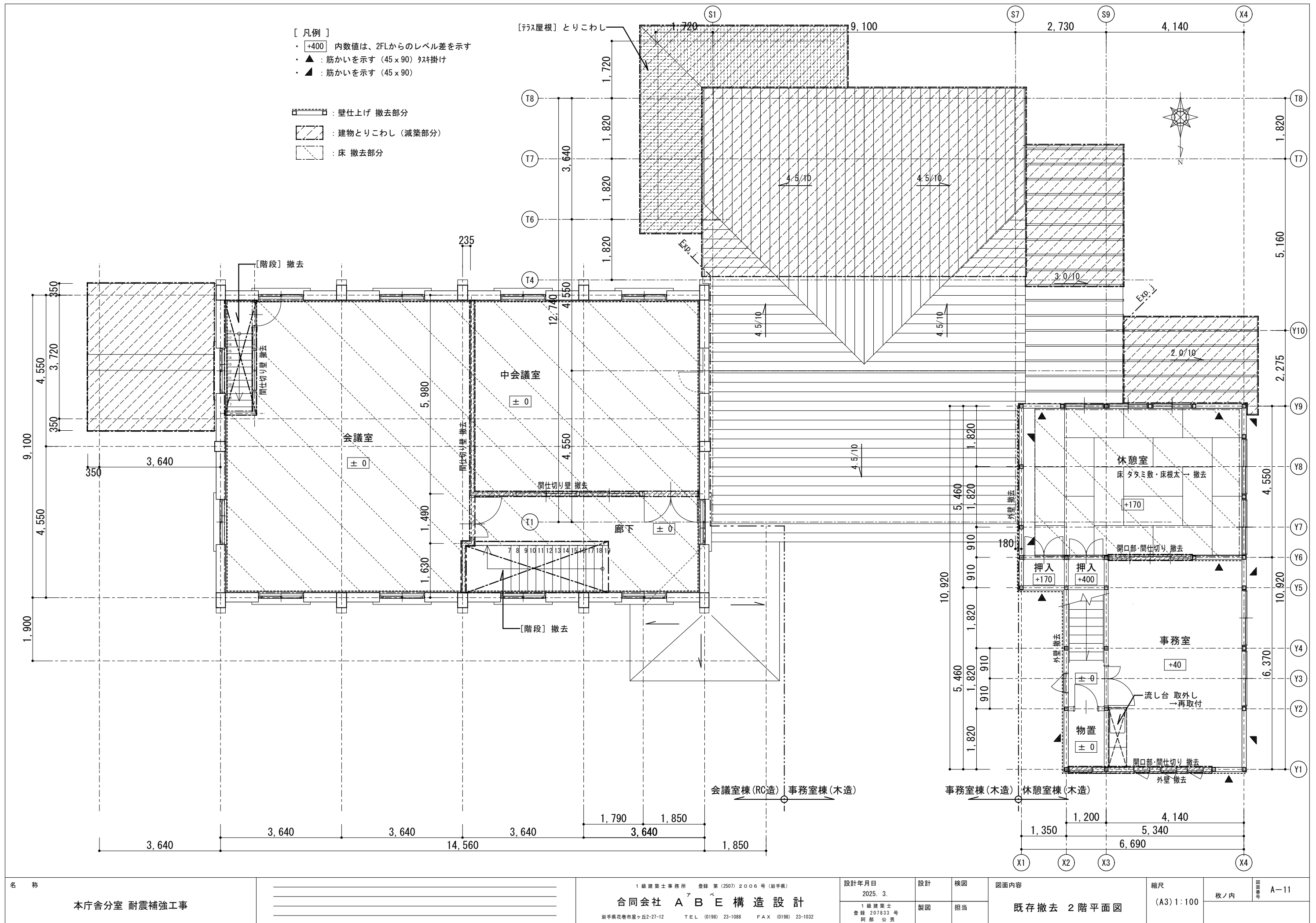


1 階



2 階

1 階	2 階
風除室	会議室-2 7.395 × 9.100 = 67.294500 合計 = 67.29㎡ 中会議室 7.165 × 5.885 = 42.166025 合計 = 42.16㎡
事務室	階段-1 7.165 × 3.215 = 23.035475 ・廊下 合計 = 23.03㎡ 更衣室 6.690 × 4.550 = 30.439500 合計 = 30.43㎡
階段下収納	押入-1 1.350 × 0.910 = 1.228500 合計 = 1.22㎡ 押入-2 1.200 × 0.910 = 1.092000 合計 = 1.09㎡
ホール・階段-1	休憩室 4.140 × 6.370 = 26.371800 合計 = 26.37㎡ 物置 1.200 × 1.820 = 2.184000 合計 = 2.18㎡ 階段-2 1.200 × 3.640 = 4.368000 合計 = 4.36㎡
会議室-1	7.460 × 5.460 = 40.731600 合計 = 40.73㎡
廊下	2.065 × 2.960 = 6.112400 0.245 × 1.365 = 0.334425 9.100 × 1.820 = 16.562000 1.430 × 1.210 = 1.730300 1.250 × 3.640 = 4.550000 合計 = 29.289125 → 29.28㎡
女子トイレ	1.300 × 1.820 = 2.366000 合計 = 2.36㎡
男子トイレ-1	1.300 × 1.365 = 1.774500 合計 = 1.77㎡
男子トイレ-2	1.300 × 1.820 = 2.366000 合計 = 2.36㎡
玄関・階段-2	1.250 × 0.155 = 0.193750 2.550 × 2.730 = 6.961500 1.200 × 0.910 = 1.092000 合計 = 8.247250 → 8.24㎡
倉庫	4.140 × 10.920 = 45.208800 合計 = 45.20㎡
収納	1.200 × 3.640 = 4.368000 合計 = 4.36㎡

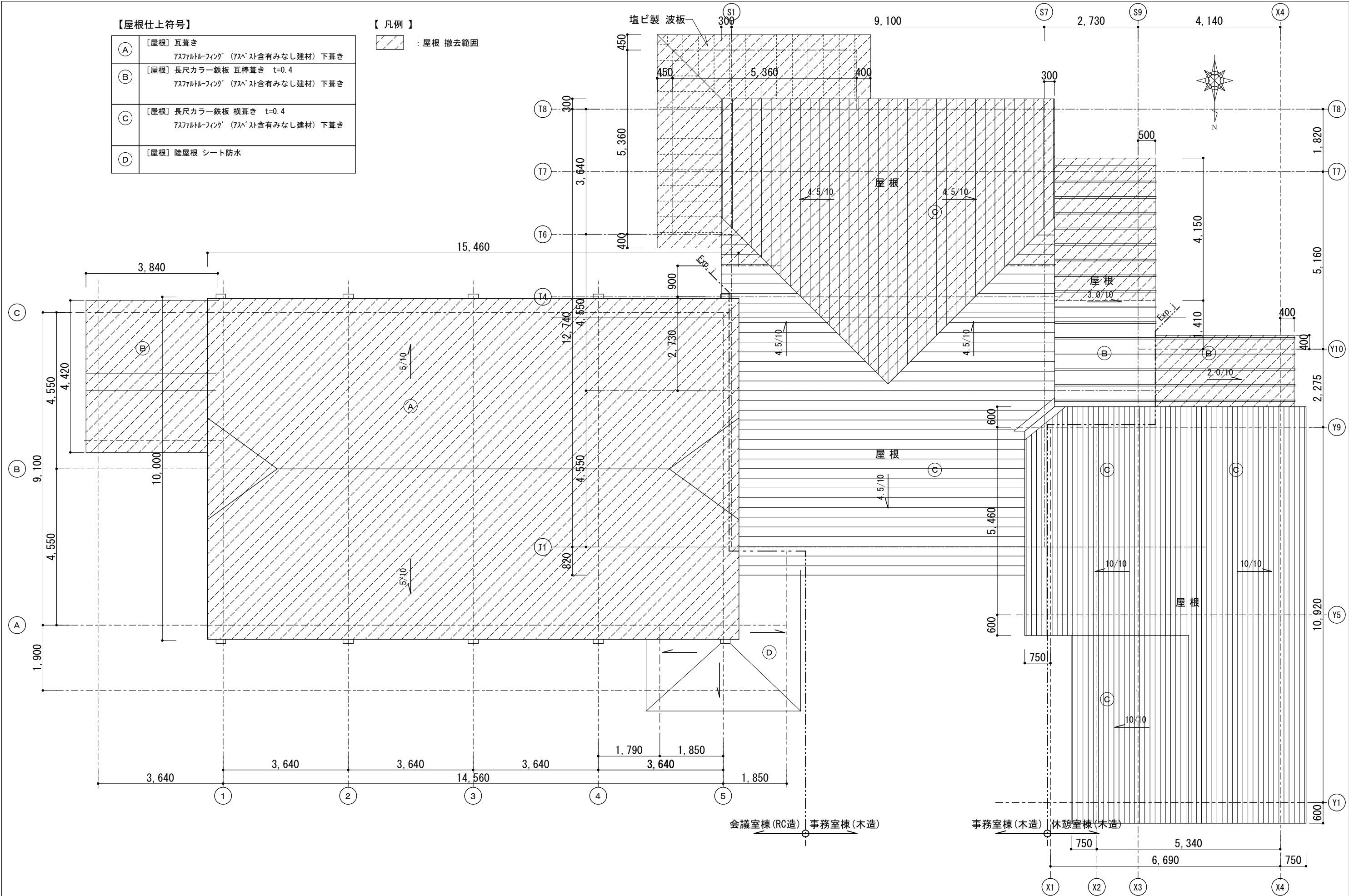


【屋根仕上符号】

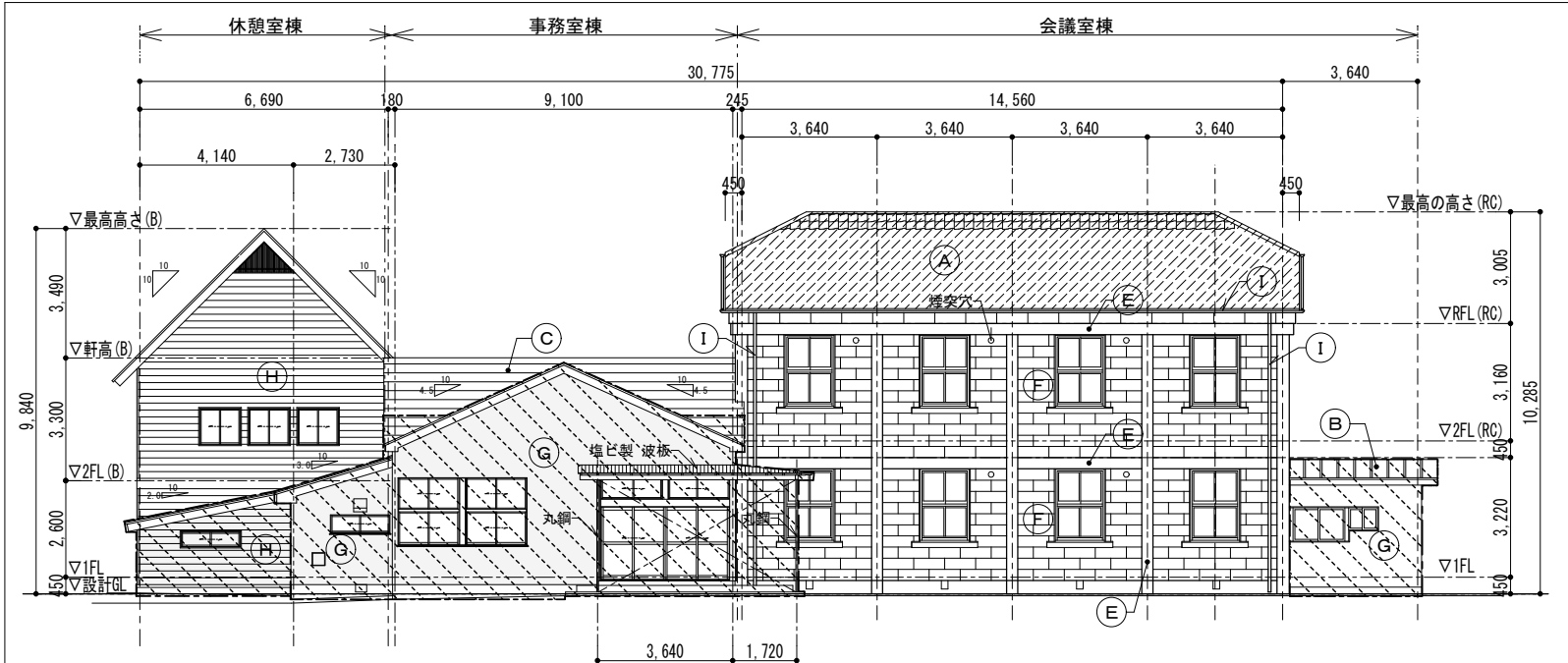
〔A〕	〔屋根〕 瓦葺き ｱｽﾌｧﾙﾄｰﾌｨﾝｸﾞ (ｱｽﾍﾞｽﾄ含有みなし建材) 下葺き
〔B〕	〔屋根〕 長尺カラー鉄板 瓦棒葺き t=0.4 ｱｽﾌｧﾙﾄｰﾌｨﾝｸﾞ (ｱｽﾍﾞｽﾄ含有みなし建材) 下葺き
〔C〕	〔屋根〕 長尺カラー鉄板 横葺き t=0.4 ｱｽﾌｧﾙﾄｰﾌｨﾝｸﾞ (ｱｽﾍﾞｽﾄ含有みなし建材) 下葺き
〔D〕	〔屋根〕 陸屋根 シート防水

【 凡例 】

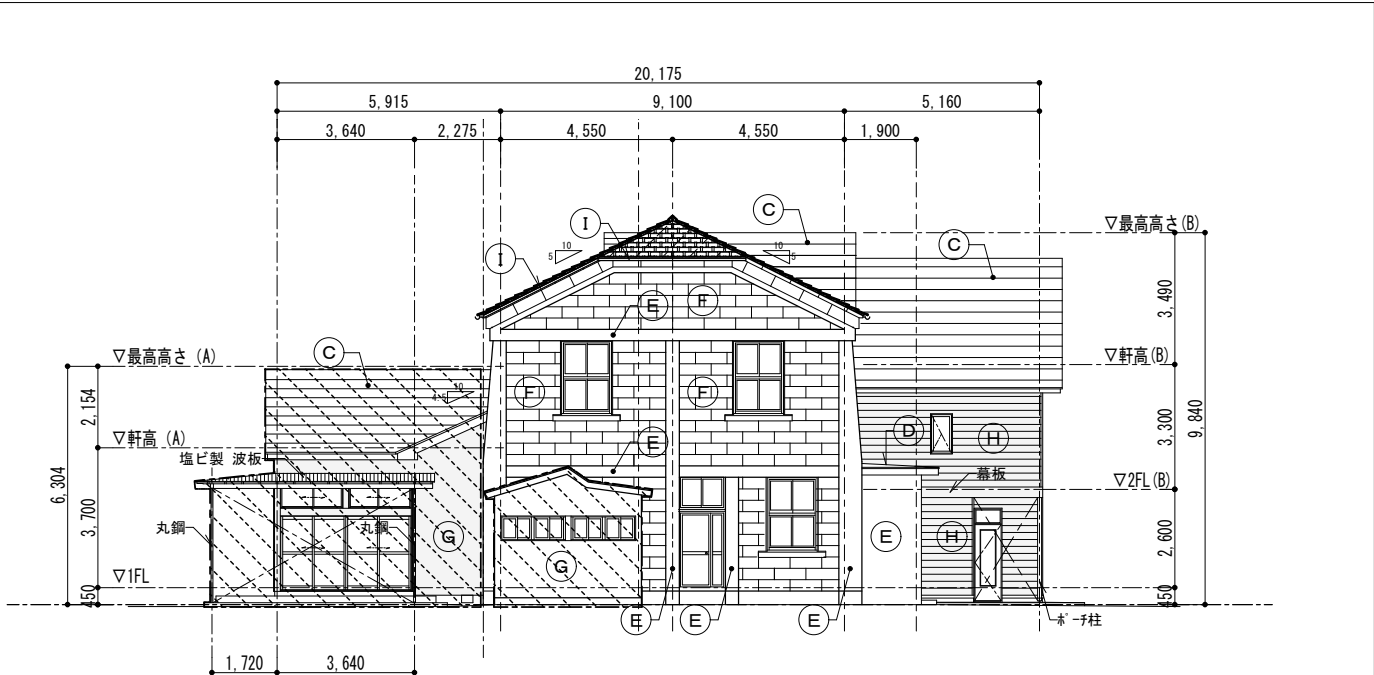
：屋根 撤去範囲



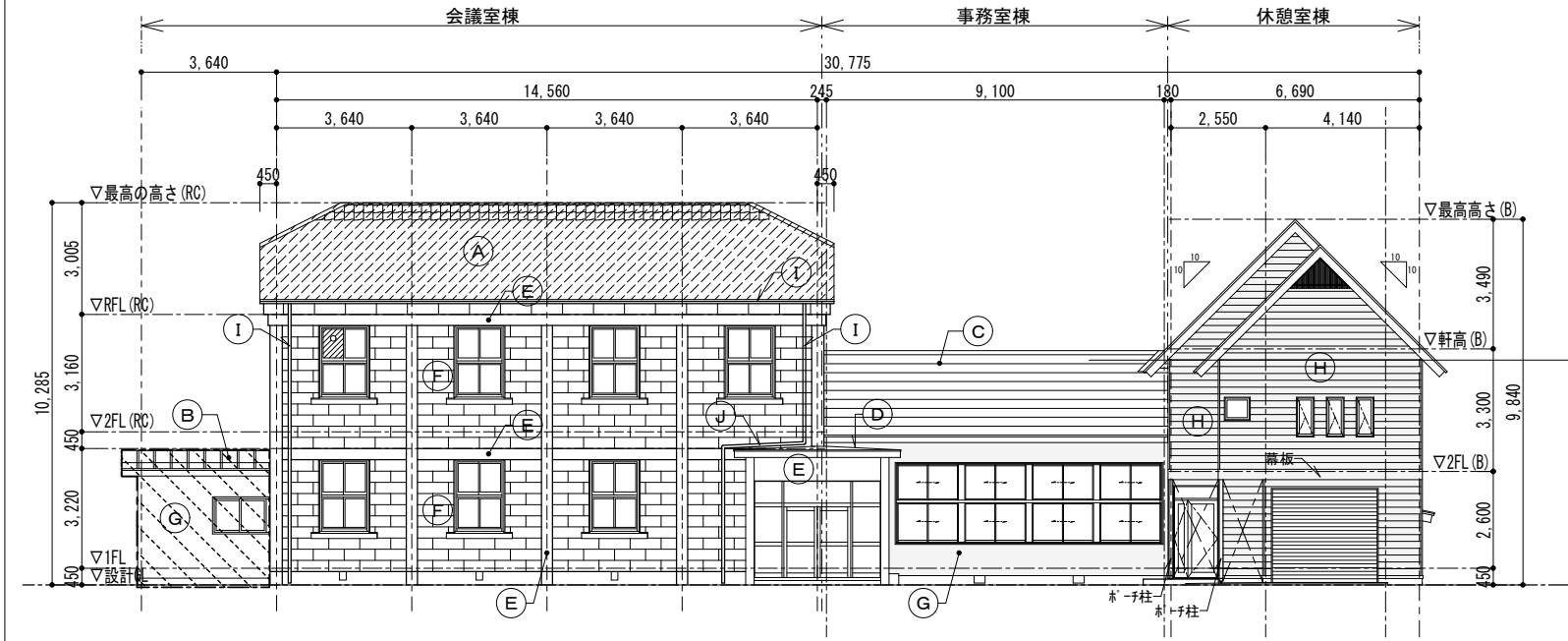
名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩 手 県 花 巻 市 星 ヶ 丘 2-27-12 T E L (0198) 23-1088 F A X (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 既 存 撤 去 屋 根 伏 図	縮 尺 (A3) 1 : 100	枚ノ内 4	図 番 号 A-12
			1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				



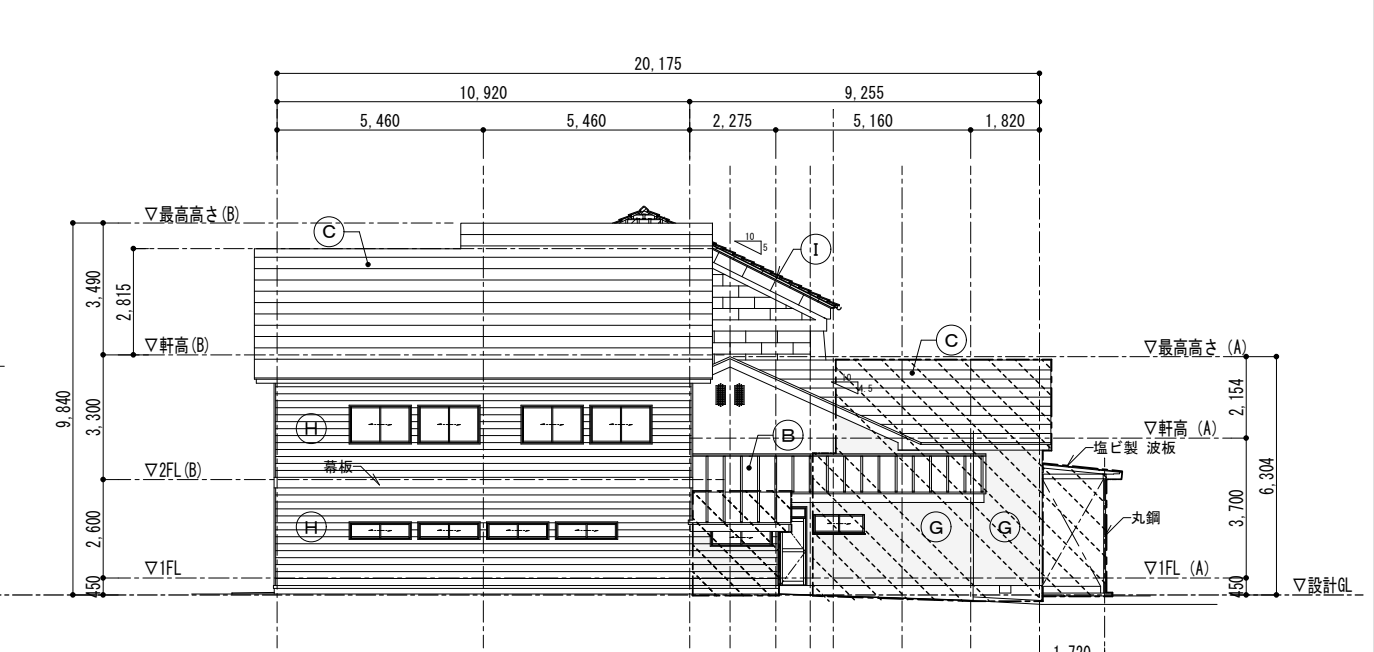
南立面図 S=1/200



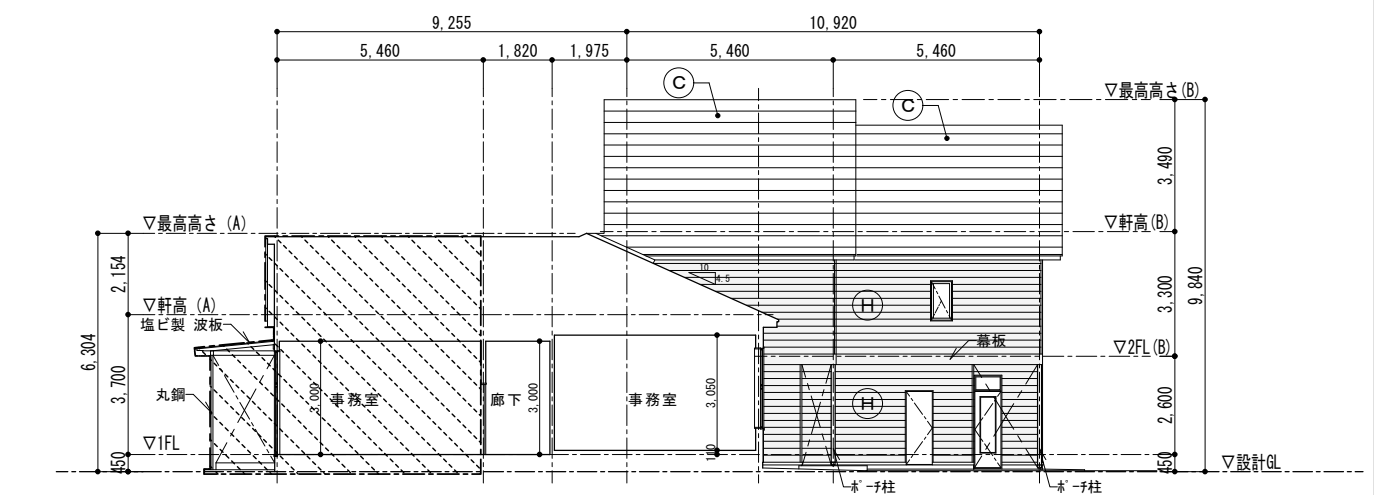
東立面図 S=1/200



北立面図 S=1/200



西立面図 S=1/200



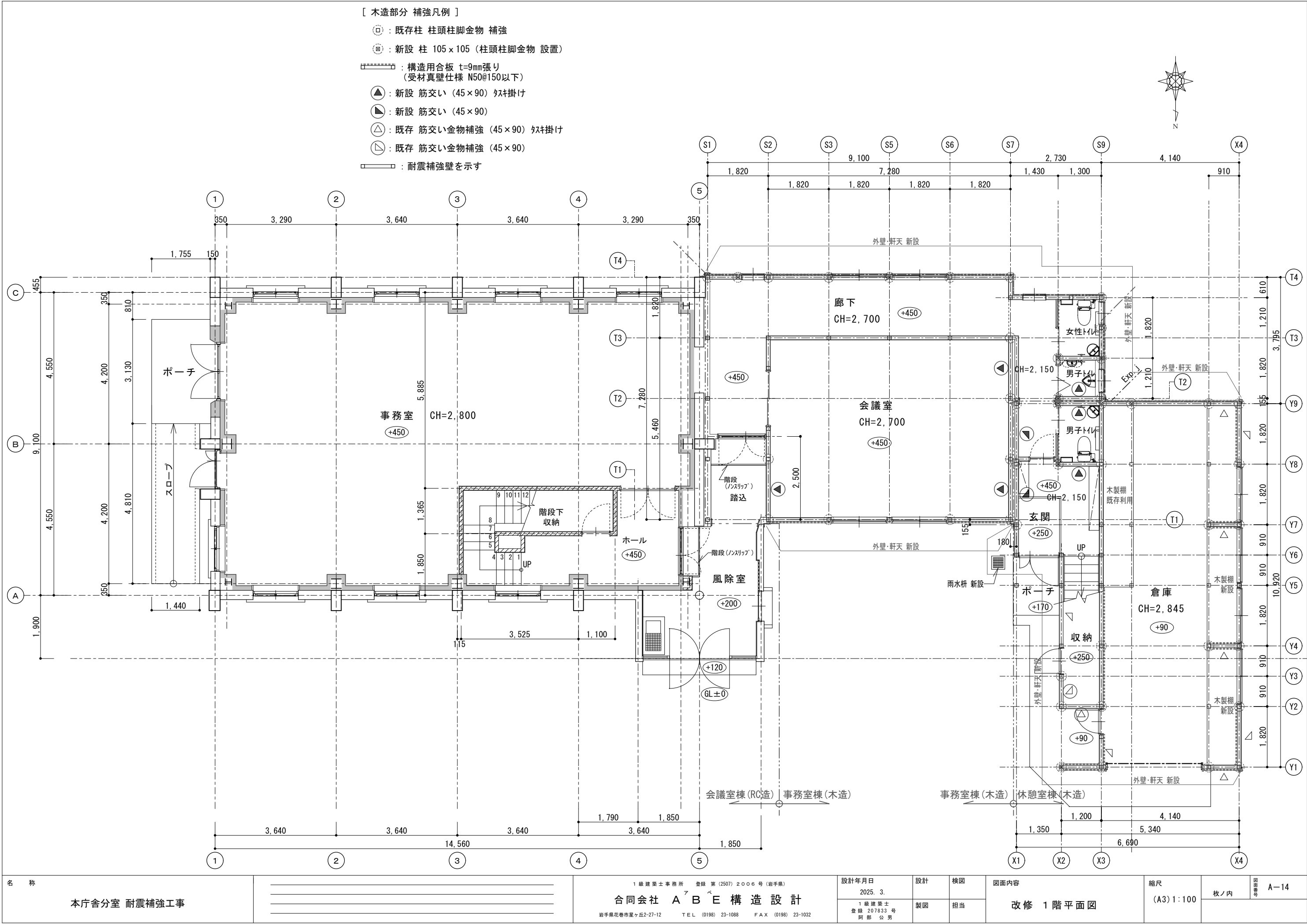
東立面図 (2) S=1/200

【外部仕上符号】

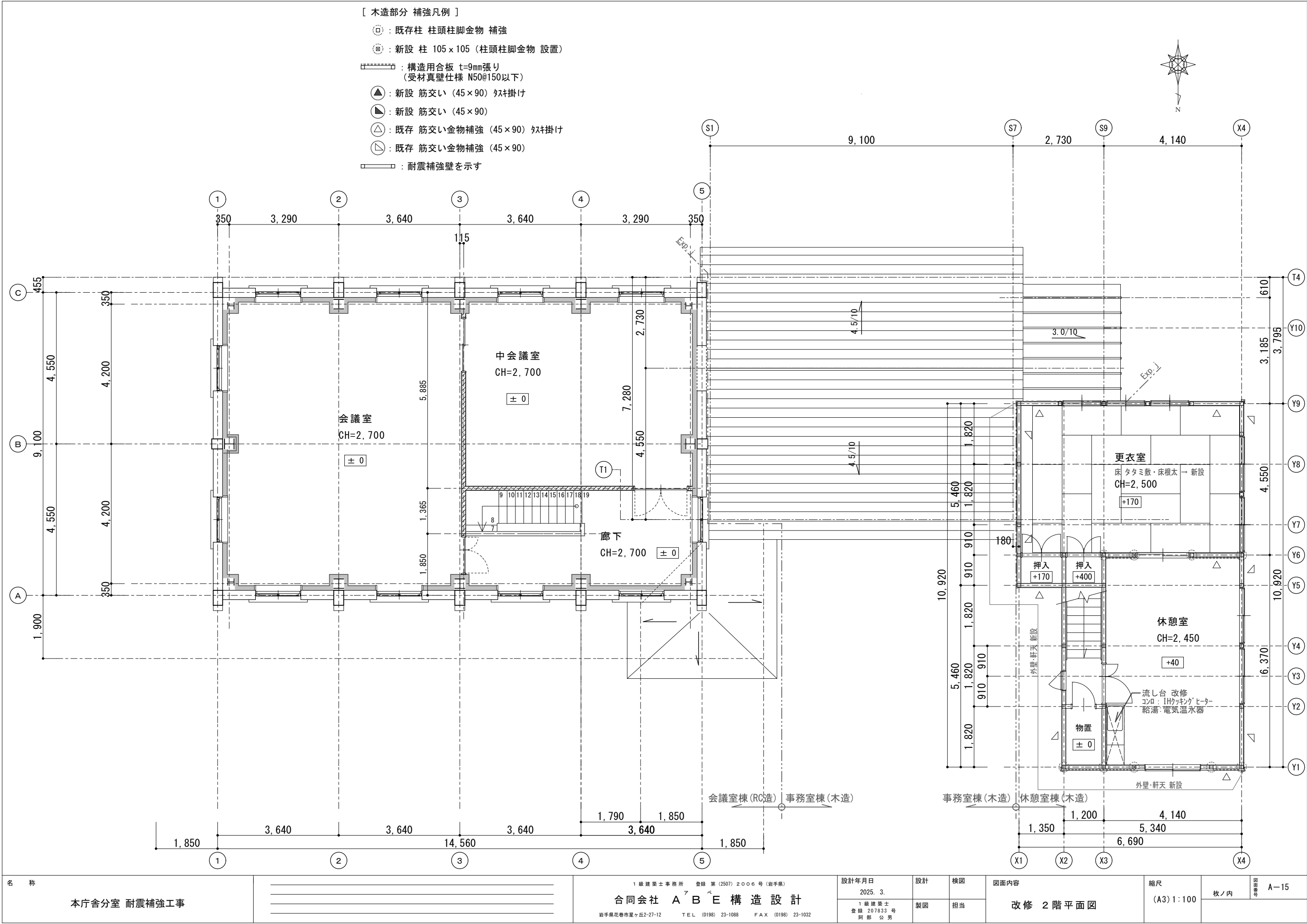
(A)	[屋根] 瓦葺き アスファルト-フィンク' (アスベスト含有みなし建材) 下葺き	(F)	[外壁] 石積み (野蒜石)
(B)	[屋根] 長尺カラー鉄板 瓦棒葺き t=0.4 アスファルト-フィンク' (アスベスト含有みなし建材) 下葺き	(G)	[外壁] ラスモルタル下地 吹付塗装仕上
(C)	[屋根] 長尺カラー鉄板 横葺き t=0.4 アスファルト-フィンク' (アスベスト含有みなし建材) 下葺き	(H)	[外壁] 金属サイディング よろい張り, 透湿防水シート下地
(D)	[屋根] 陸屋根 シート防水	(I)	[雨樋] 軒樋 ｶﾞｰ鉄板 (半円形) φ100 ﾀﾞﾝﾄﾞﾝ ｶﾞｰ鉄板 (丸) φ75
(E)	[外壁] コンクリート打ち放し 吹付塗装仕上		

【凡例】

- : 屋根 撤去範囲
- : 外壁 撤去範囲
- : 建物とりこわし (減築部分)



名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 改修 1 階平面図	縮尺 (A3) 1 : 100	枚ノ内 全 4 枚	図 A-14
			1 級建築士 登録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				



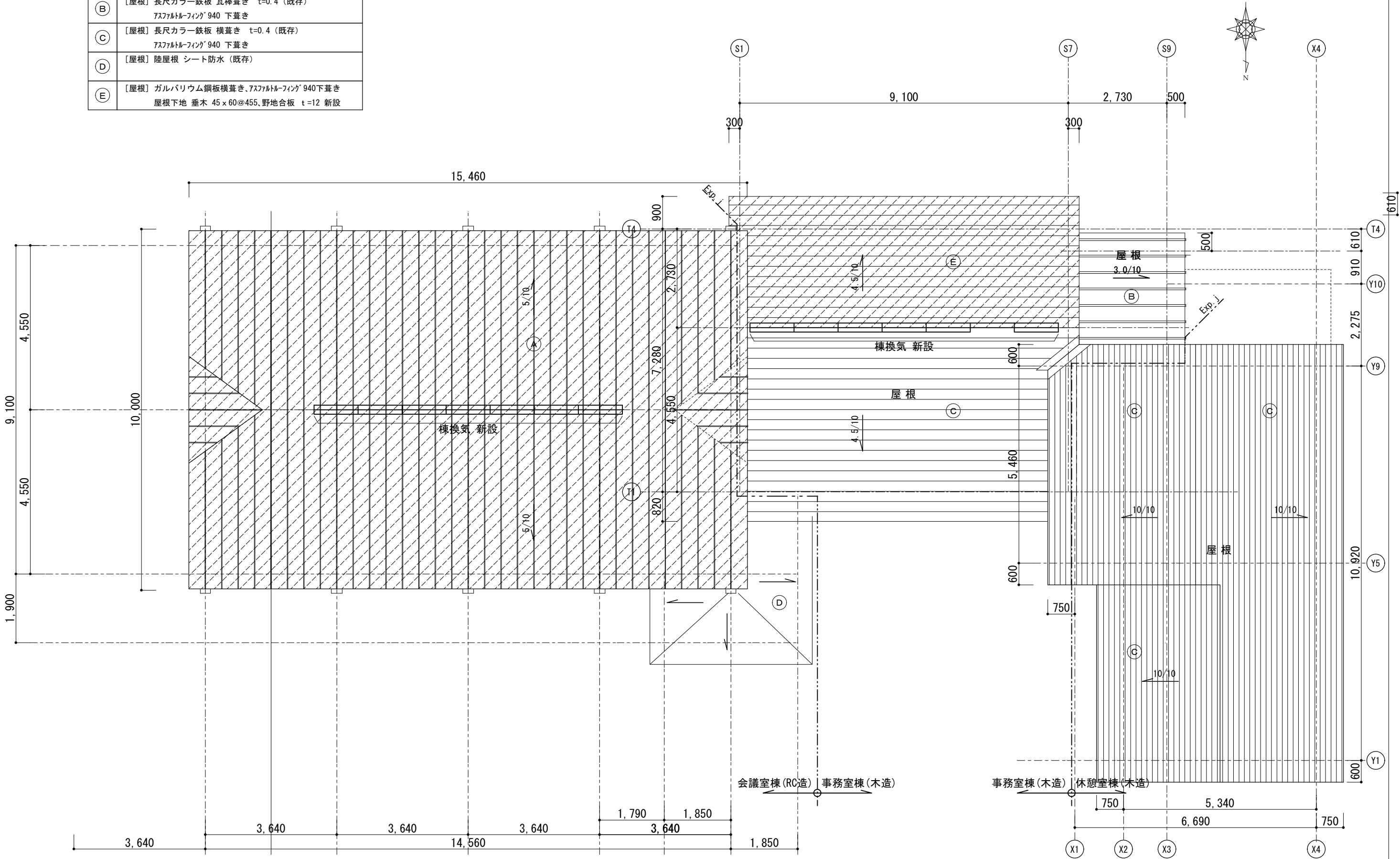
名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 改 修 2 階 平 面 図	縮尺 (A3) 1 : 100	枚ノ内 標準図面	A-15
			1 級建築士 登録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				

【屋根仕上符号】

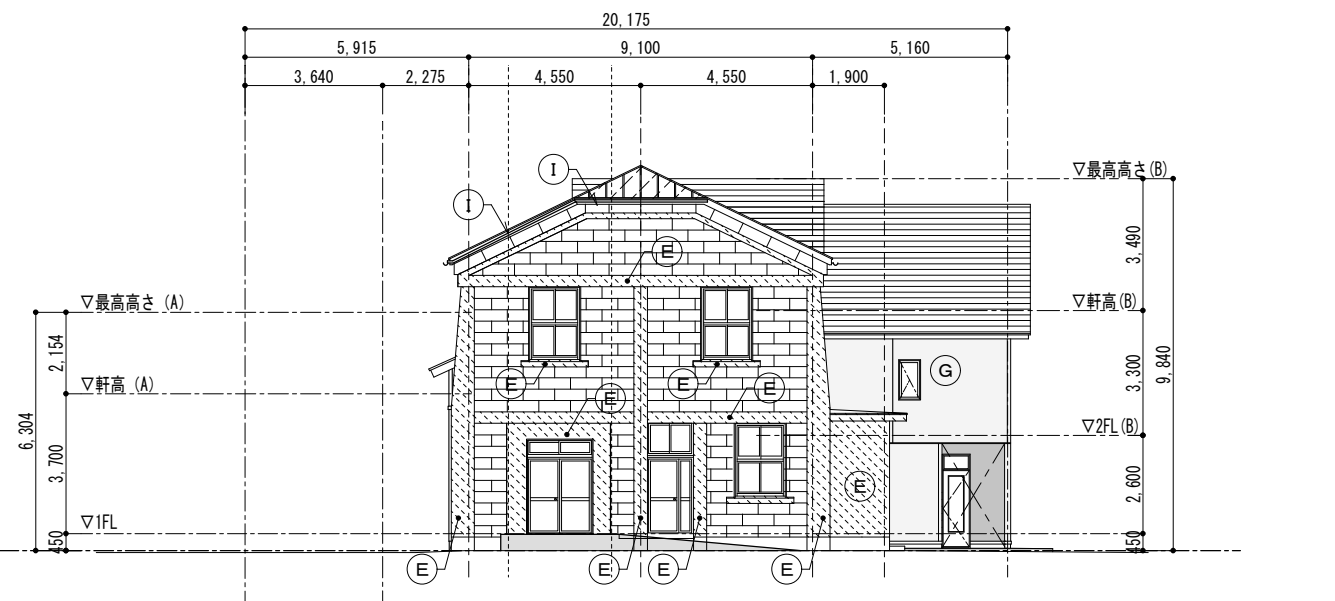
〔A〕	〔屋根〕 ガルバリウム鋼板立平葺き、アスファルト・フイグ'940下葺き 屋根下地 垂木 45×60@455、野地合板 t=12 新設
〔B〕	〔屋根〕 長尺カラー鉄板 瓦棒葺き t=0.4 (既存) アスファルト・フイグ'940 下葺き
〔C〕	〔屋根〕 長尺カラー鉄板 横葺き t=0.4 (既存) アスファルト・フイグ'940 下葺き
〔D〕	〔屋根〕 陸屋根 シート防水 (既存)
〔E〕	〔屋根〕 ガルバリウム鋼板横葺き、アスファルト・フイグ'940下葺き 屋根下地 垂木 45×60@455、野地合板 t=12 新設

【 凡 例 】

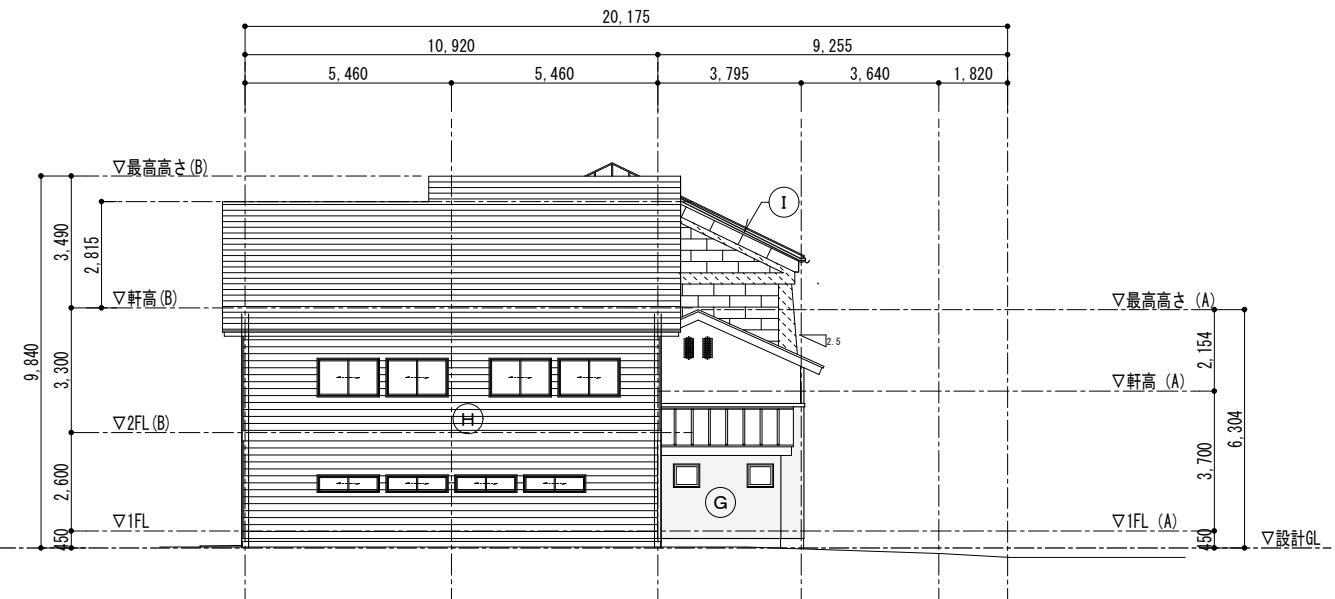
 : 屋根 新設範囲



名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 改修 屋根伏図	縮尺 (A3) 1:100	枚ノ内 図面番号 A-16
			1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当			



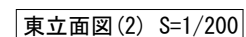
東立面図 S=1/200

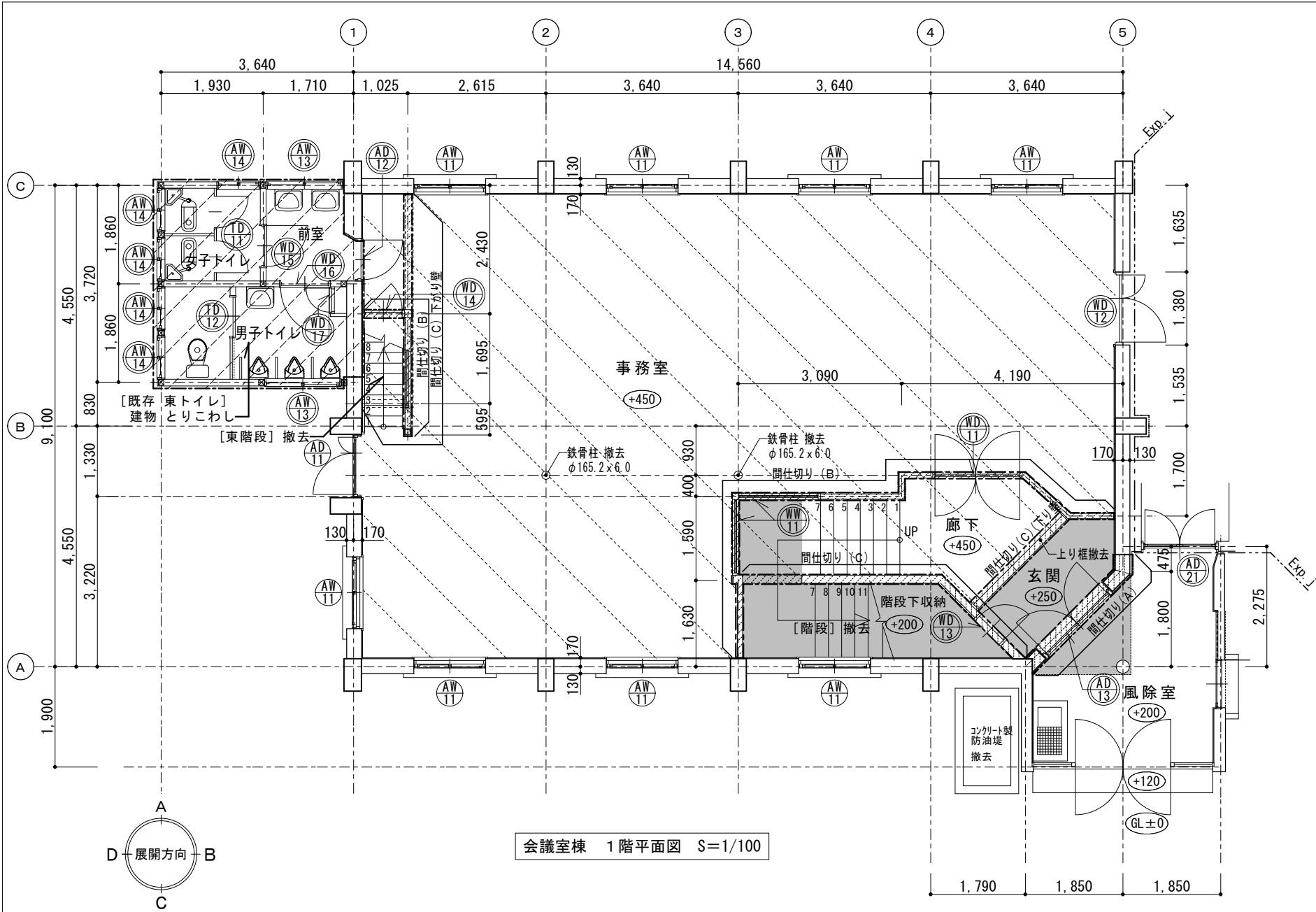


西立面图 S=1/200

(A)	[屋根] ガルバリウム鋼板 t=0.4 立平葺き アスファルト-フィング 940 下葺き	(F)	[外壁] 石積み(野蒜石)
(B)	[屋根] 長尺カラー鉄板 t=0.4 瓦葺き(既存) アスファルト-フィング(アベスト含有みなし建材) 下葺き	(G)	[外壁] 窯業系サイディング t=14 無塗装板+吹付塗装 透湿防水シート下地の上、通気胴縁18x45@455 一部 構造用合板張り
(C)	[屋根] ガルバリウム鋼板 t=0.4 横葺き(改修) アスファルト-フィング 940 下葺き	(H)	[外壁] 金属サイディング よろい張り(既存)
(D)	[屋根] 陸屋根 シート防水(既存)	(I)	[雨樋] 軒樋 カラー鉄板(半円形) φ120 軒樋 カラー鉄板(丸) φ75
(E)	[外壁] 既存塗装面: 高圧洗浄・素地調整の上 新設RC壁・窓まわりモルタル補修部分: 素地調整の上 仕上塗装: アクリルシリコン吹付	(J)	[換気ガラリ] アルミバー スクエアタイプ 400x600 外壁妻面台

 : 屋根 改修範囲
 : 外壁 新設
 : RC 柱・梁 塗装改修





会議室棟 1階平面図 S=1/100

■凡例

AW 11 : 既存建具記号を示す

既存間仕切り 撤去部分

AW 11 : 既存建具 撤去

既存床 (木下地) 撤去部分

既存土間コンクリート t=120 撤去部分
(玄関・風除室は、磁器質タイル共)

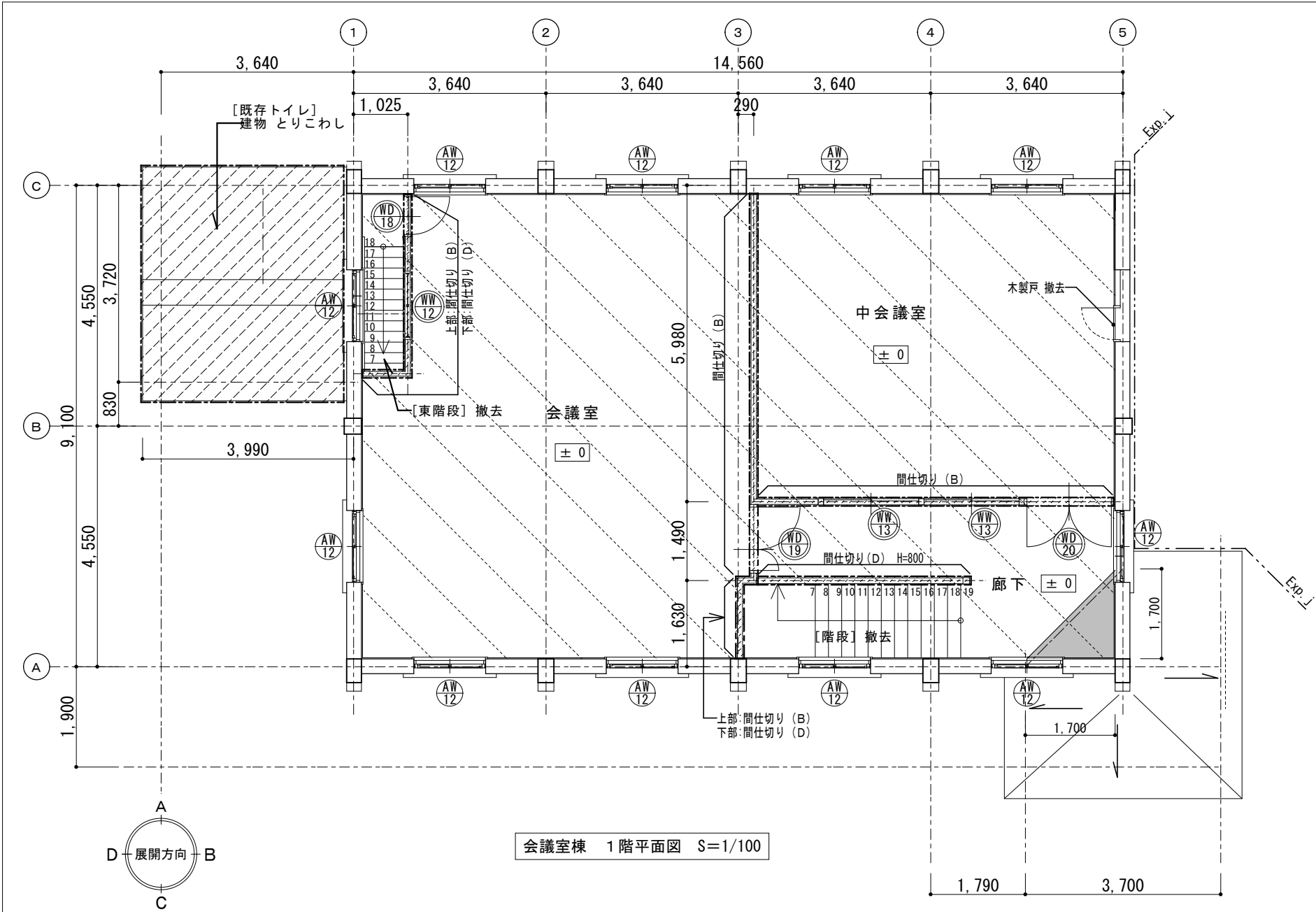
■特記なき限り下記による

- ・外部側 壁(石造・RC柱部分) : 仕上材・見切り材・巾木・廻り縁他 撤去
- ・間仕切り壁 : 間柱・仕上材・見切り材・巾木・廻り縁他 撤去
- ・天井仕上・下地 (木製野縁) 撤去
- ・内部木製建具 (枠共) 撤去
- ・外部アルミ建具 額縁 撤去 (建具 既存利用)
- ・不用な配管・配線・器具などは、撤去とする

- ・東トイレ内装 : 床、壁(下地共)、天井、小便器仕切り板 その他撤去
- ・東トイレ 間仕切り壁詳細 (外壁・内壁) A-24 展開図No.5 参照
- ・衛生器具 (大便器・小便器・手洗い器)、電気設備類、機械設備類 撤去 (設備図参照)

外壁面	壁 詳細図	S=1/10	間仕切り (A)	壁・見切 詳細図	S=1/10
間仕切り (B)	壁・見切 詳細図	S=1/10	間仕切り (C)	壁・見切 詳細図	S=1/10
間仕切り (D)	壁・見切 詳細図	S=1/10			

名 称		設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 会議室棟 既存撤去 1階平面図	縮尺 (A3) 1:100	枚ノ内	図面番号 A-18
本庁舎分室 耐震補強工事		1 級建築士 登録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				
		1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032						

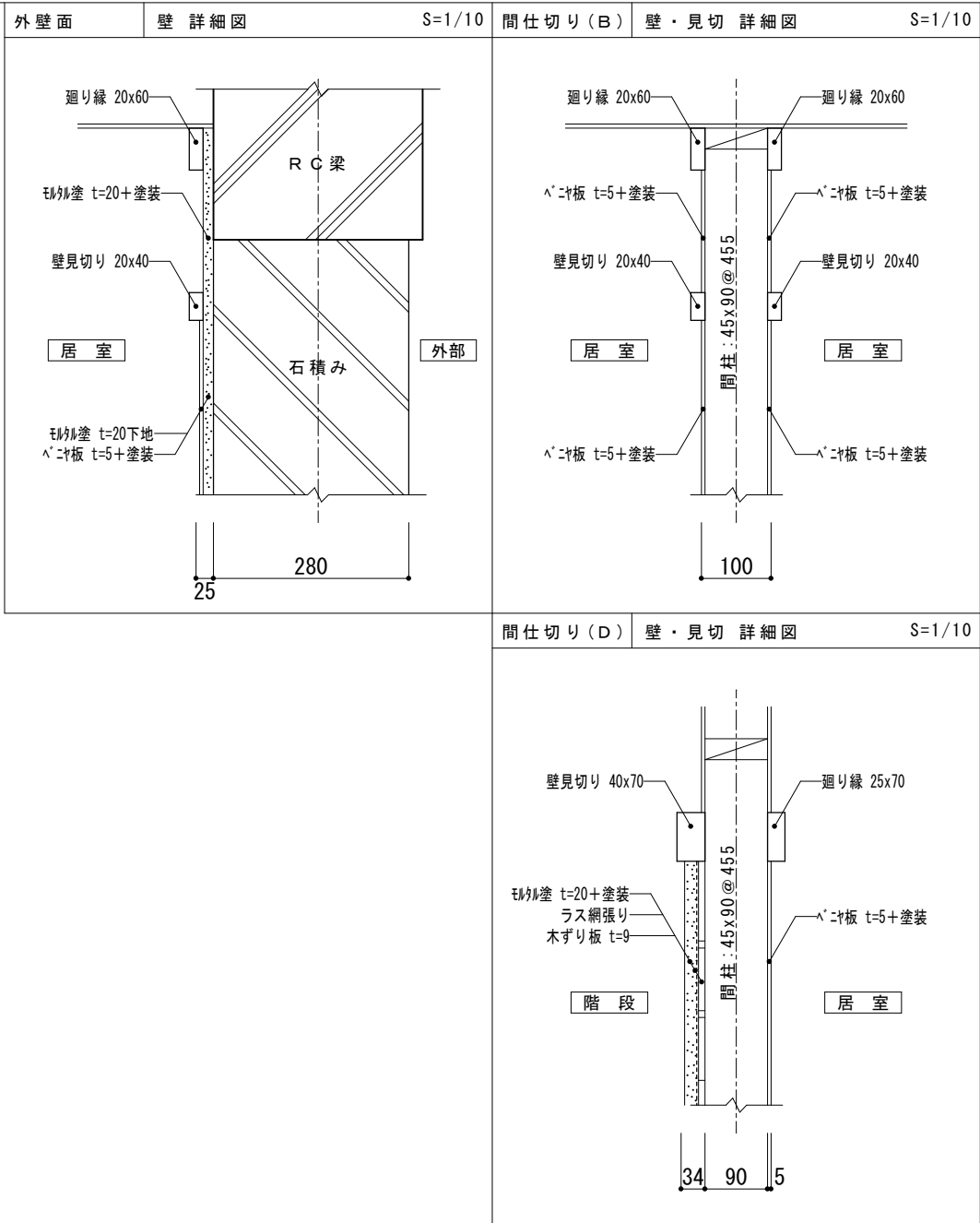


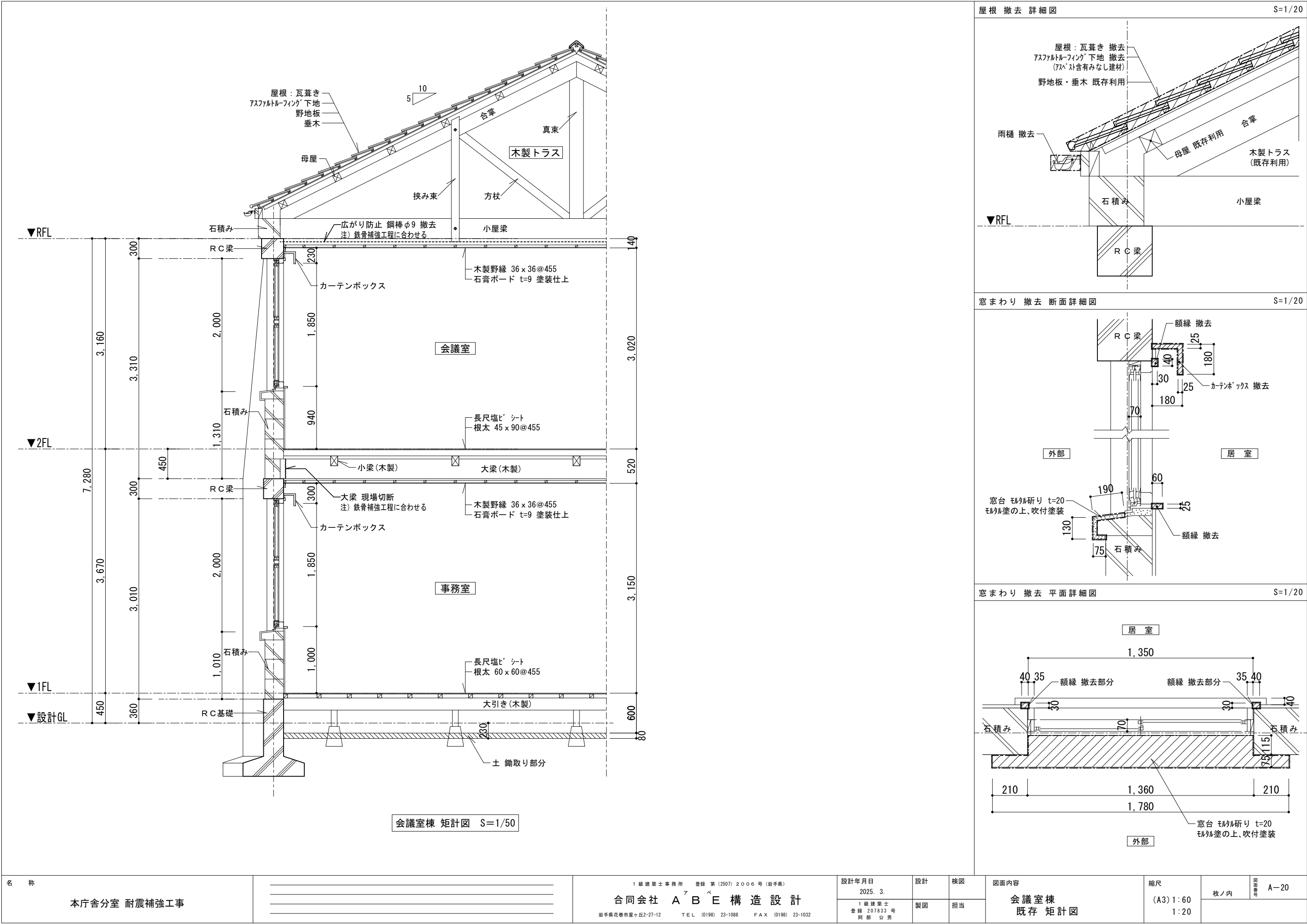
■凡例

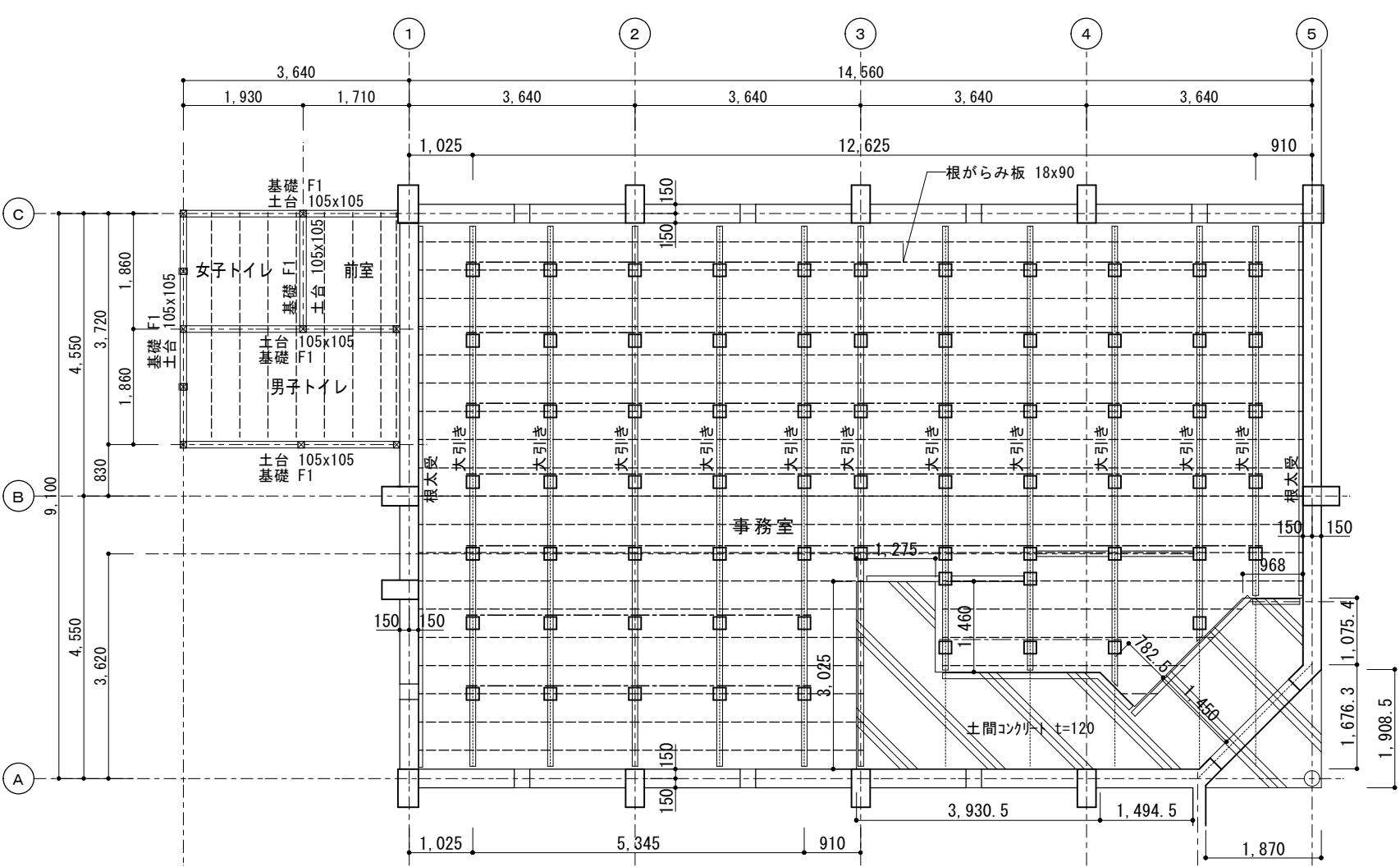
- AW 11 : 既存建具記号を示す
AW 11 : 既存建具 撤去
既存間仕切り 撤去部分
既存床 (木下地) 撤去部分
RCスラブ t=120 撤去部分

■特記なき限り下記による

- ・外部側 壁(石造・RC柱部分) : 仕上材・見切り材・巾木・廻り縁他 撤去
- ・間仕切り壁 : 間柱・仕上材・見切材・巾木・廻り縁他 撤去
- ・天井仕上・下地 (木製野縁) 撤去
- ・内部木製建具 (枠共) 撤去
- ・外部アルミ建具 額縁 撤去 (建具 既存利用)
- ・不用な配管・配線・器具などは、撤去とする

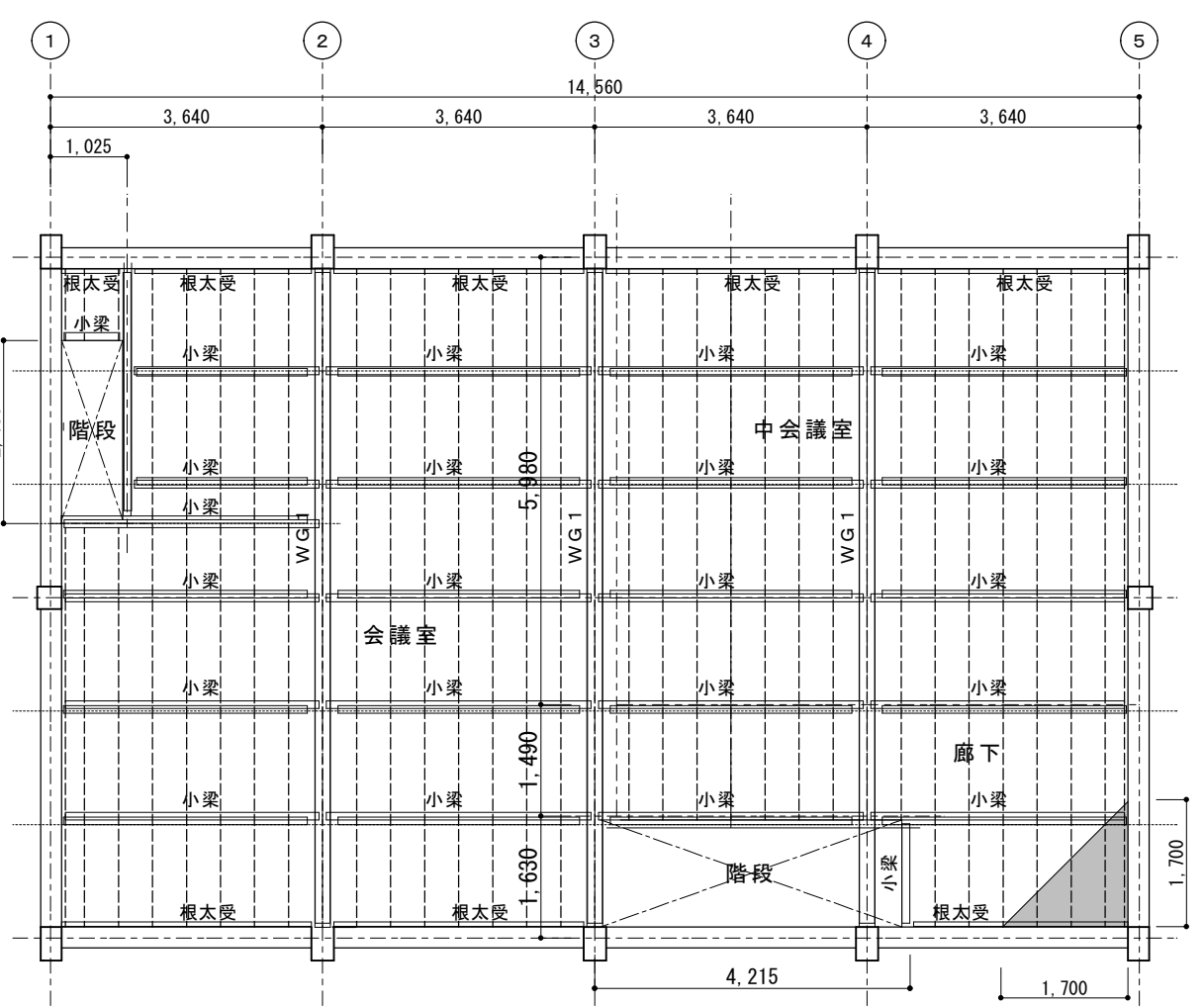






会議室棟 1階床伏図 S=1/100

- 〔部材サイズ〕 特記以外
- ・大引き： 200×300
 - ・根がらみ板： 105×150
 - ・床 束： 90×90
 - ・根太受： 60×150
 - ・根 太： 60×60@455



会議室棟 2階床伏図 S=1/100

- 〔部材サイズ〕 特記以外
- ・大 梁：WG1 200×300
 - ・小 梁： 105×150
 - ・根太受： 60×150
 - ・根 太： 60×90@455

〔凡例〕
：RCスラブ t=120 撤去部分
2FL-450

■凡例

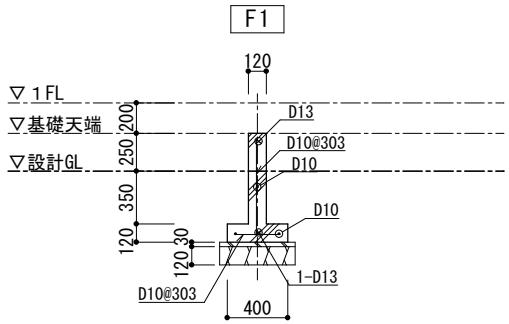
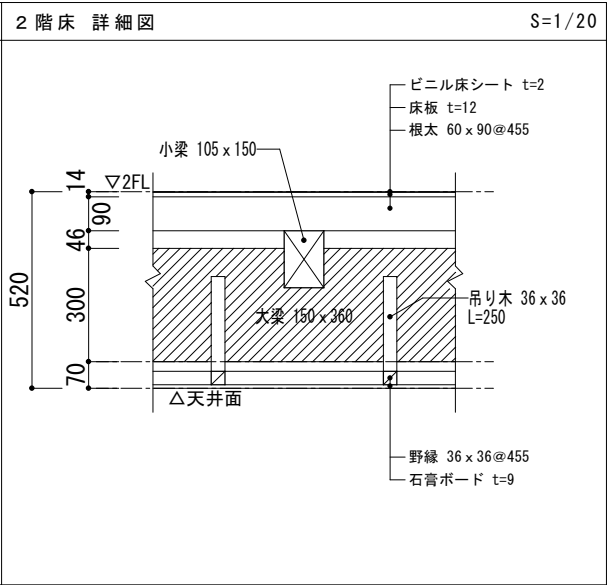
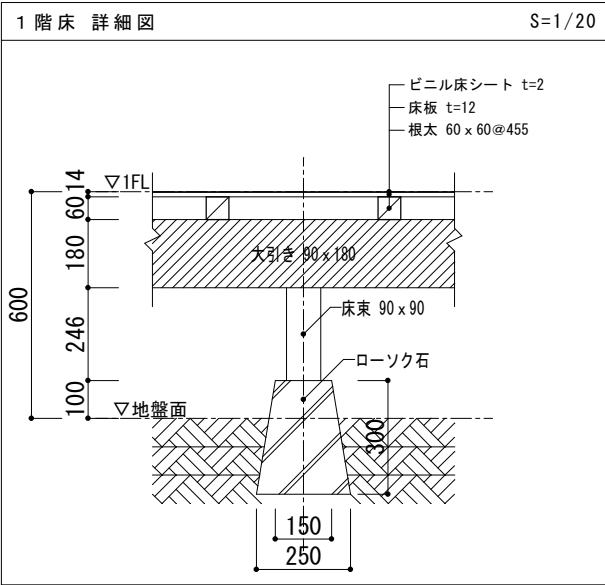
-----：床根太を示す。

□：床束（束石共）を示す

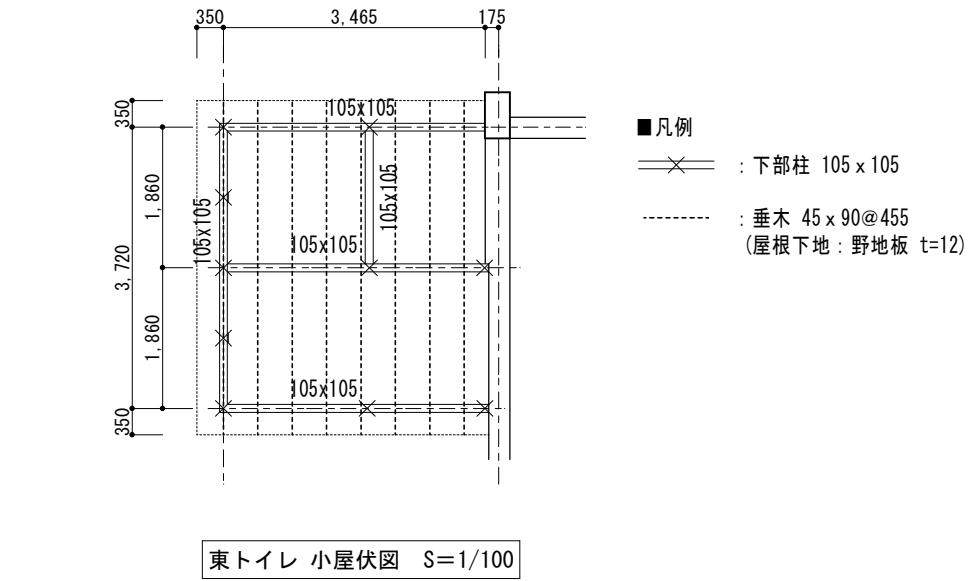
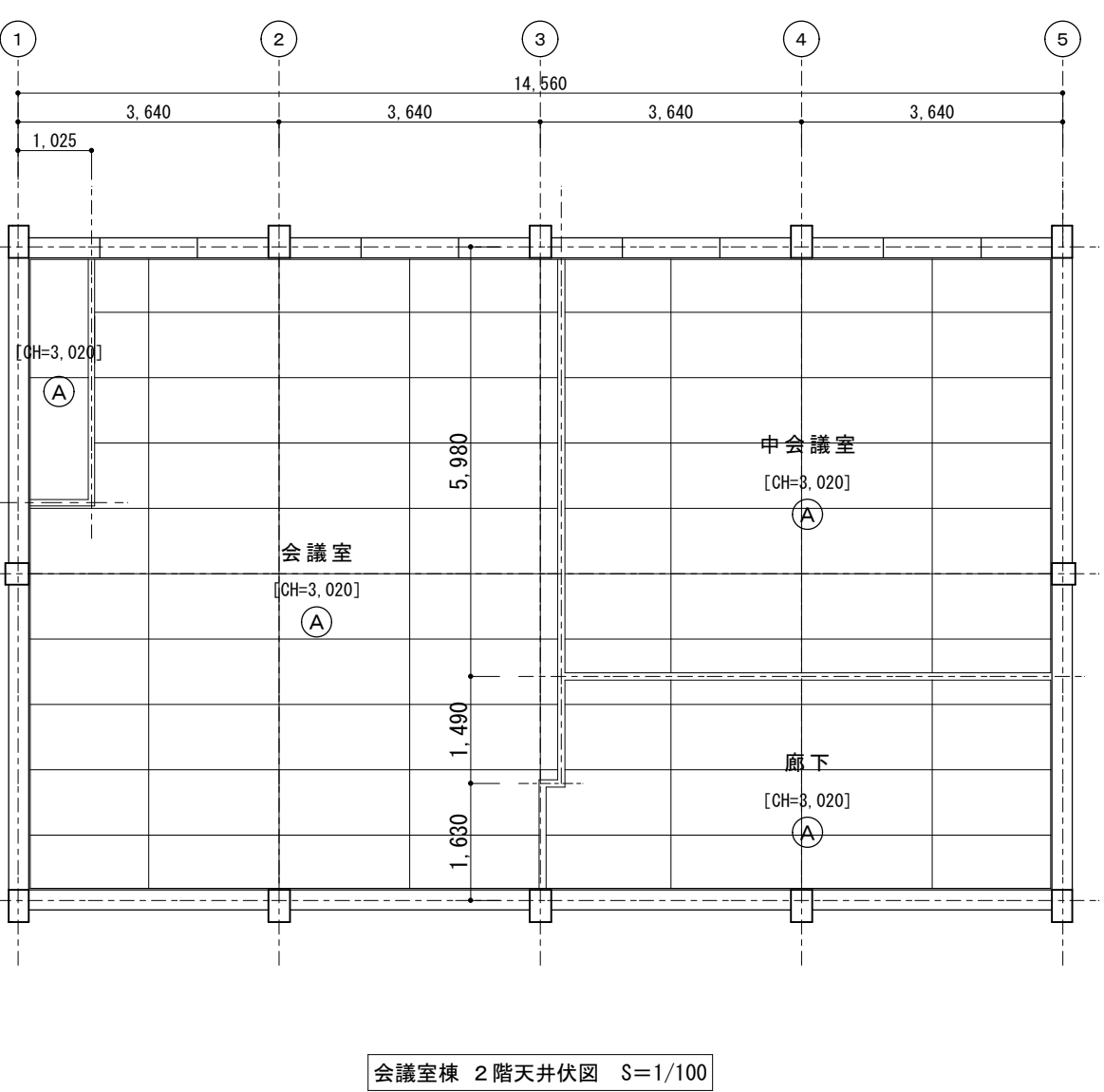
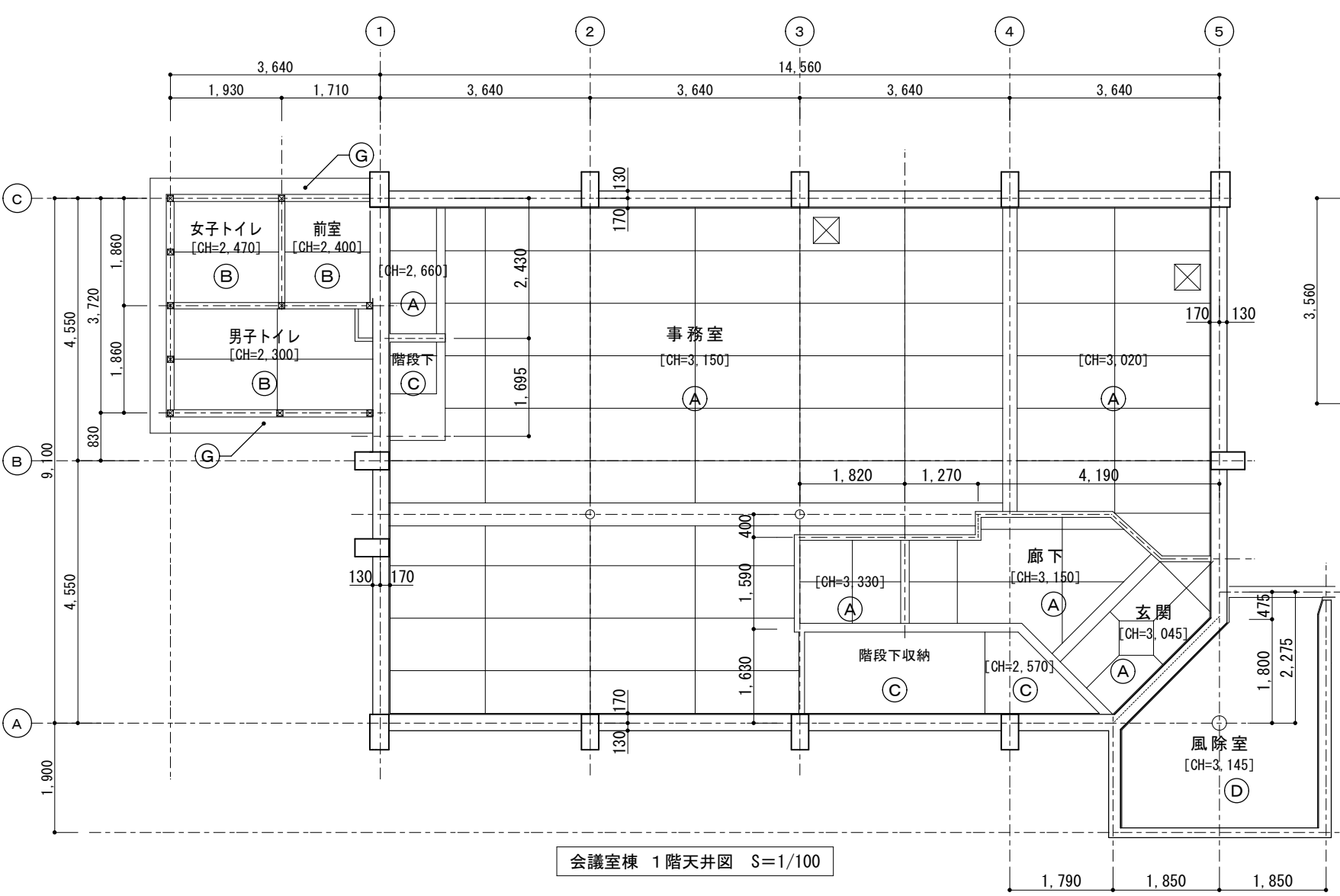
：土間コンクリート t=120を示す

■特記なき限り下記による

- ・1・2階 床板 t=12mm + ビニル床シート 撤去
- ・1・2階 床根太・根太受け 撤去
- ・1階 床束、ローソク石、根がらみ板 撤去
- ・1階 土間コンクリート撤去
(玄関・風除室 磁器質タイル共)
- ・2階 大梁・小梁（木製）撤去
注）大梁 現場切断は、鉄骨補強工程に合わせる



東トイレ 基礎断面図 S=1/50

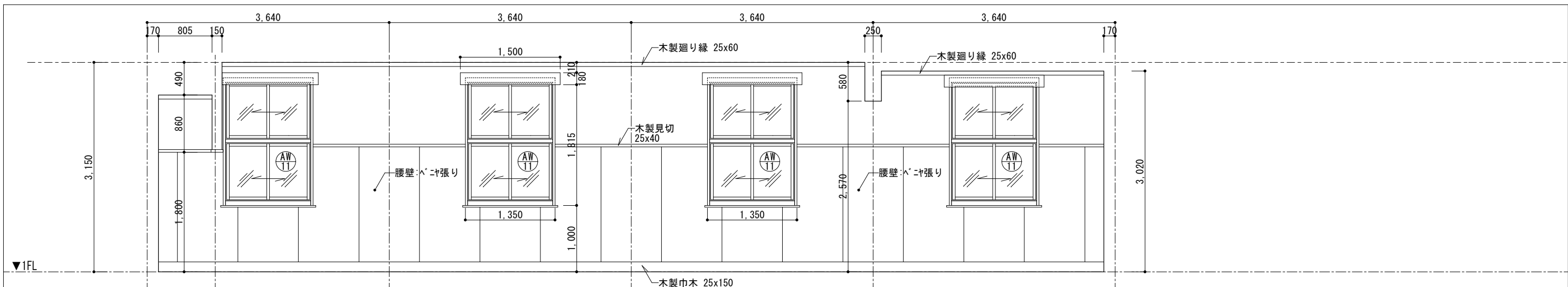


	仕 上	廻り縁	下 地
A	石膏ボード t=9 塗装仕上	木製 25 x 60	木製野縁 36 x 36@455
B	フレキシブルボード t=6 塗装仕上 【7スベ ス含有建材】	木製 25 x 60	木製野縁 36 x 36@455
C	ベニヤ張り t=5	木製 25 x 60	木製野縁 36 x 36@455
D	R Cスラブ 吹付塗装仕上げ		
G	ラスモルタル下地 吹付塗装		木製野縁 36 x 36@455

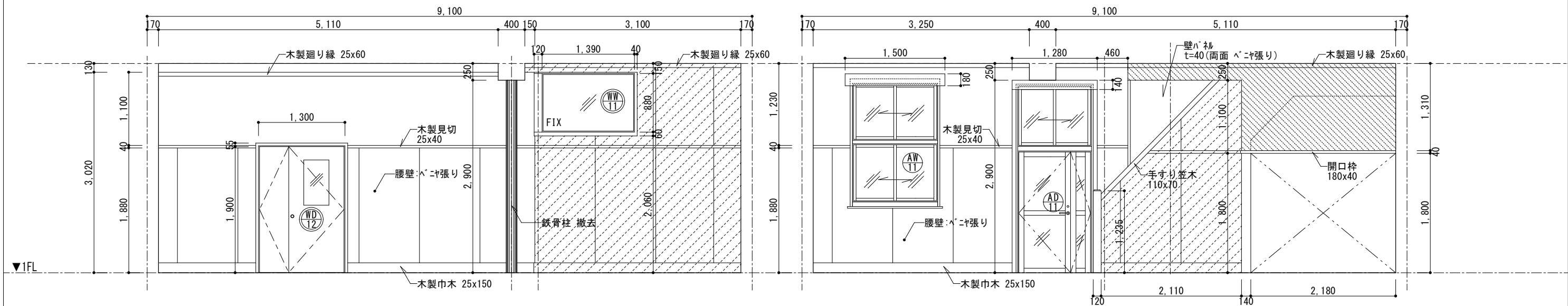
■ 凡例

⊗ : 天井点検口 アルミ製 450 x 450 (撤去)

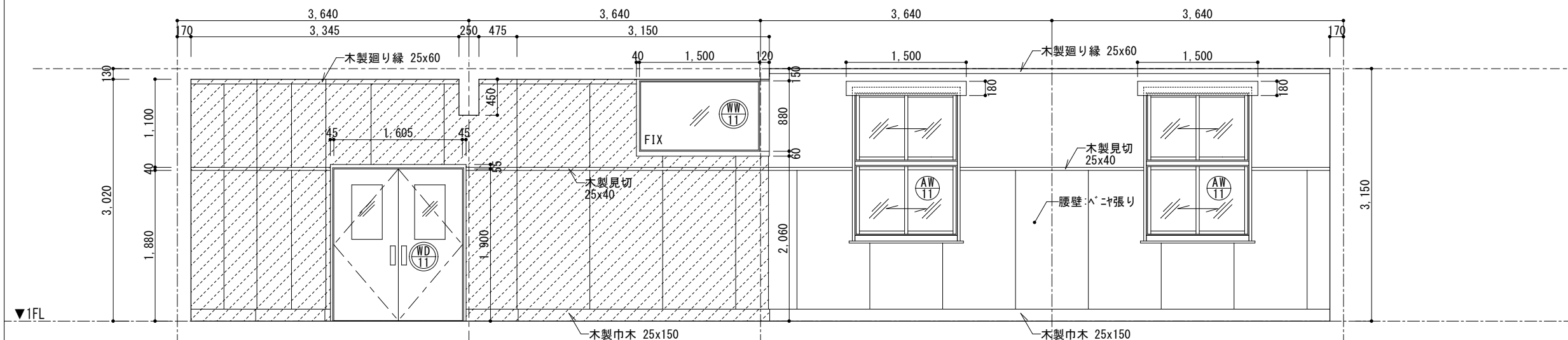
■ 特記なき限り、天井仕上ボード・下地撤去



1階 事務室 (A面)



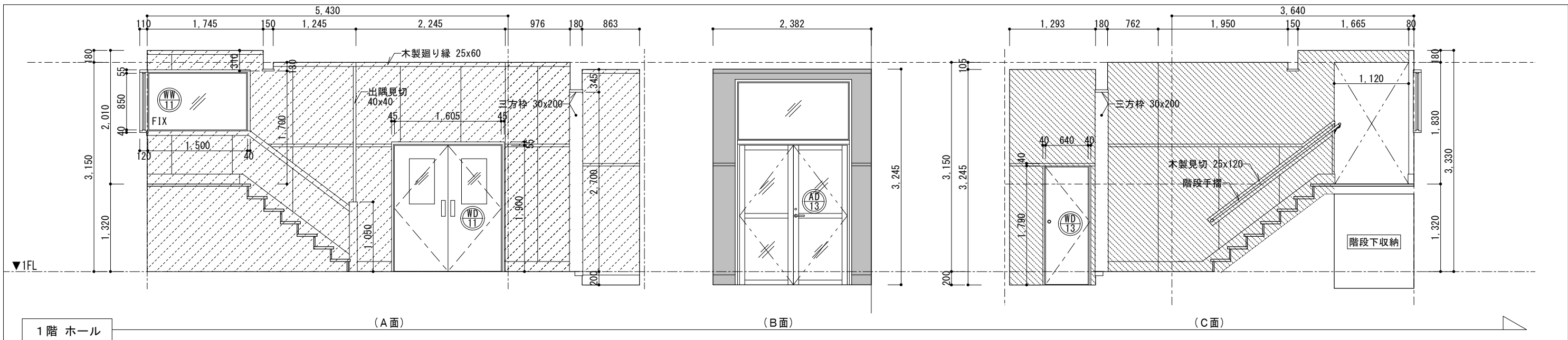
1階 事務室 (B面) (D面)



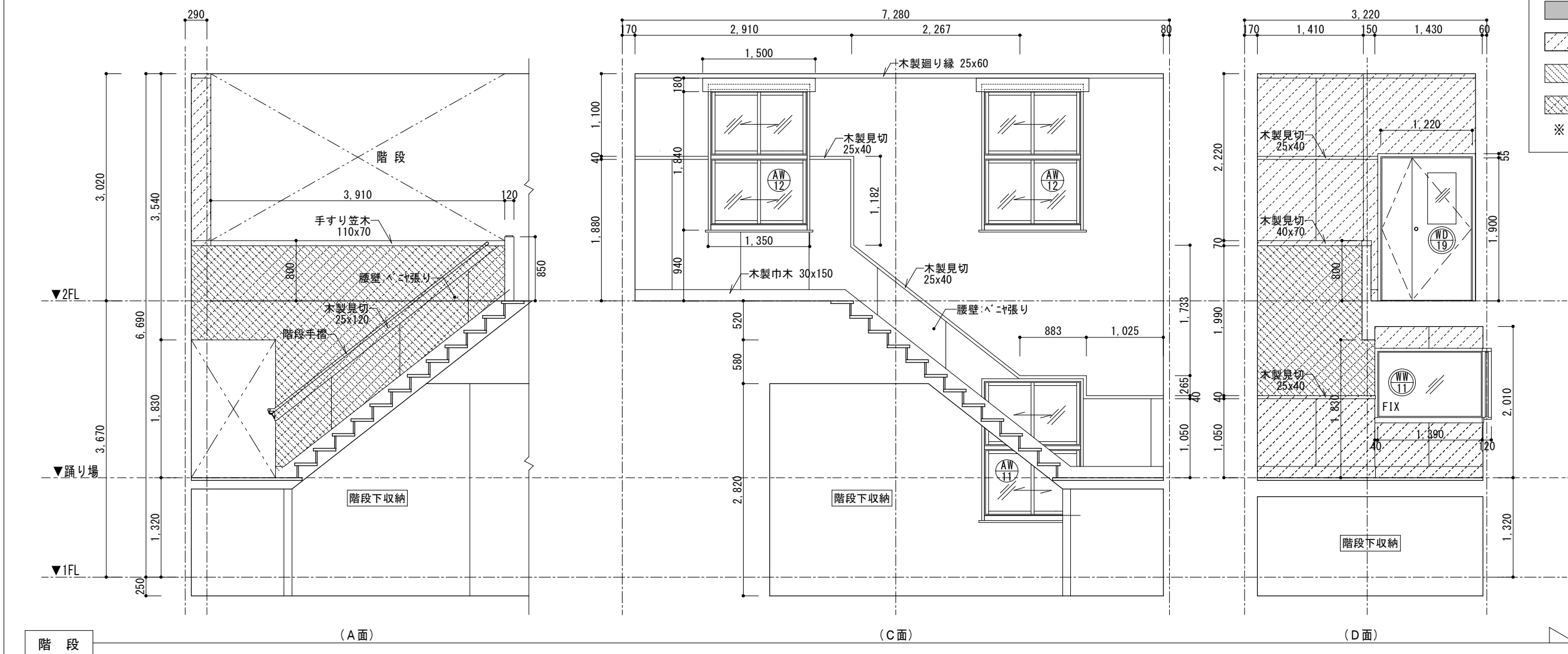
1階 事務室 (C面)

■ 凡例

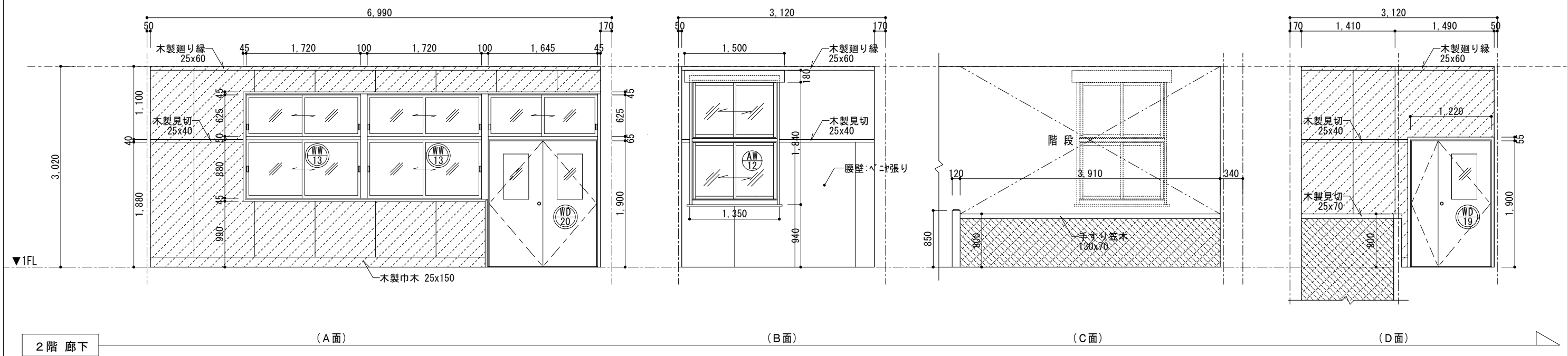
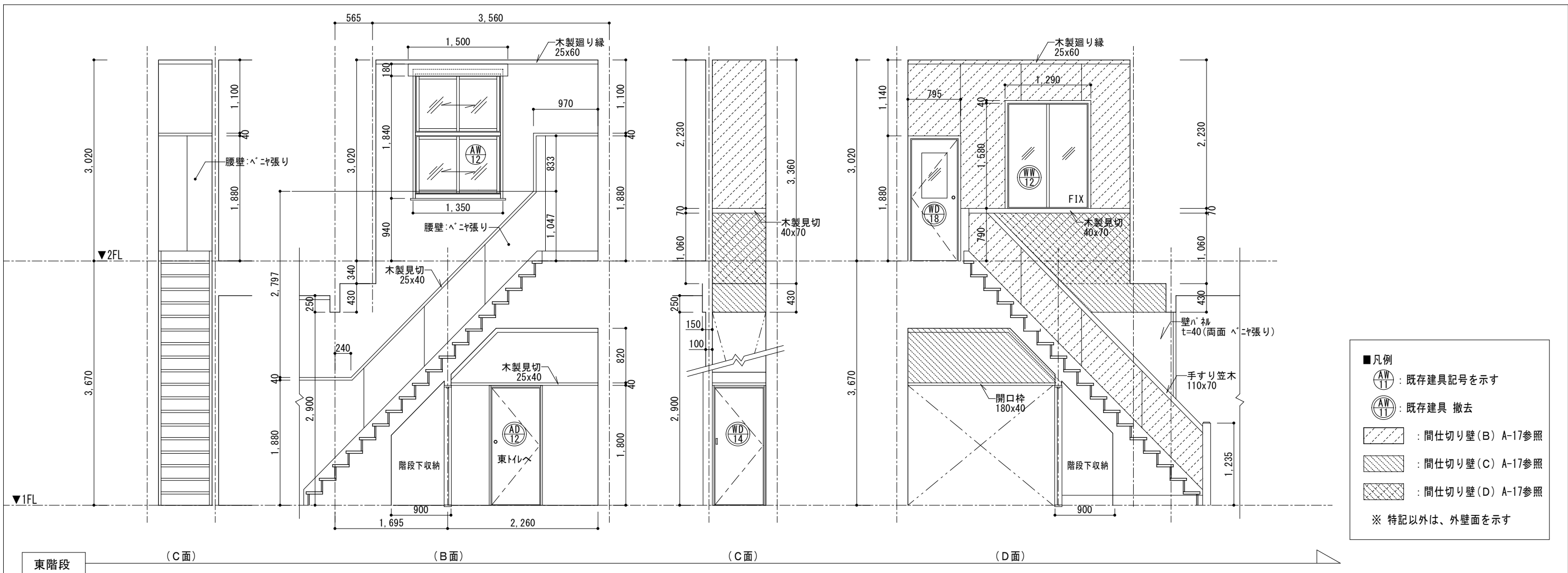
- AW 11 : 既存建具記号を示す
- AW 11 : 既存建具 撤去
- 間仕切り壁(B) A-17参照
- 間仕切り壁(C) A-17参照
- ※ 特記以外は、外壁面を示す

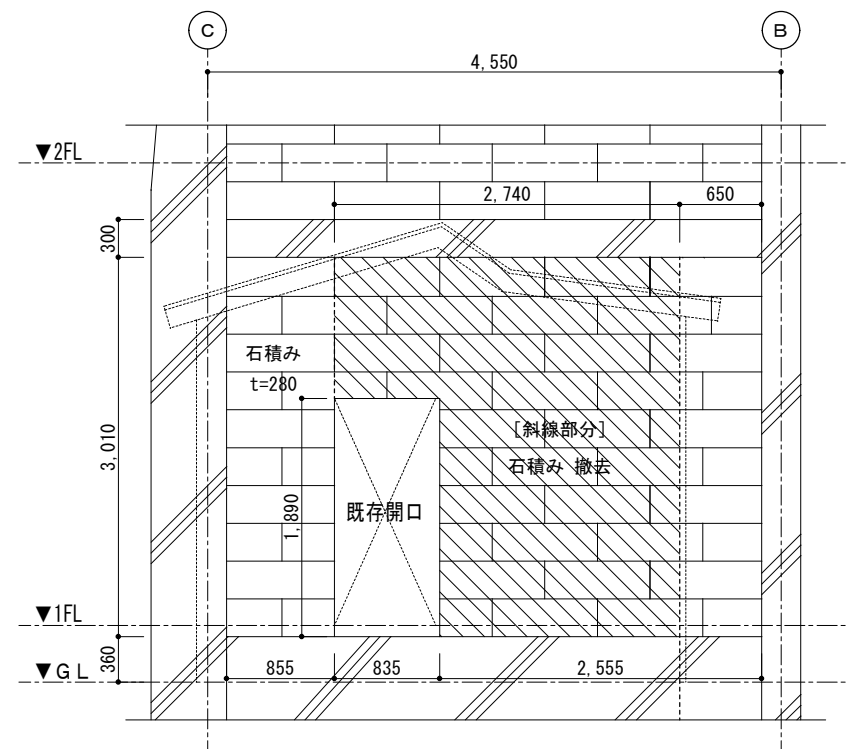
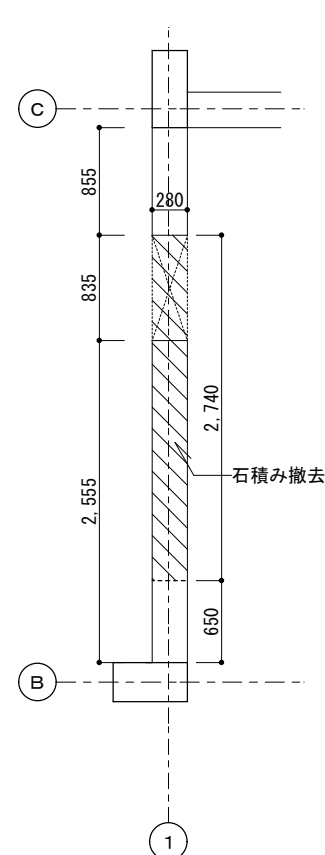
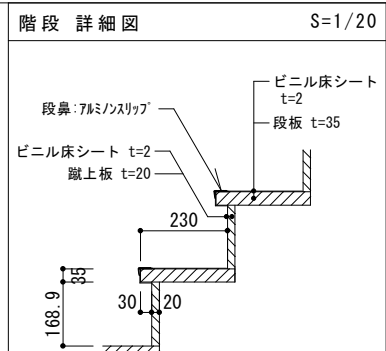
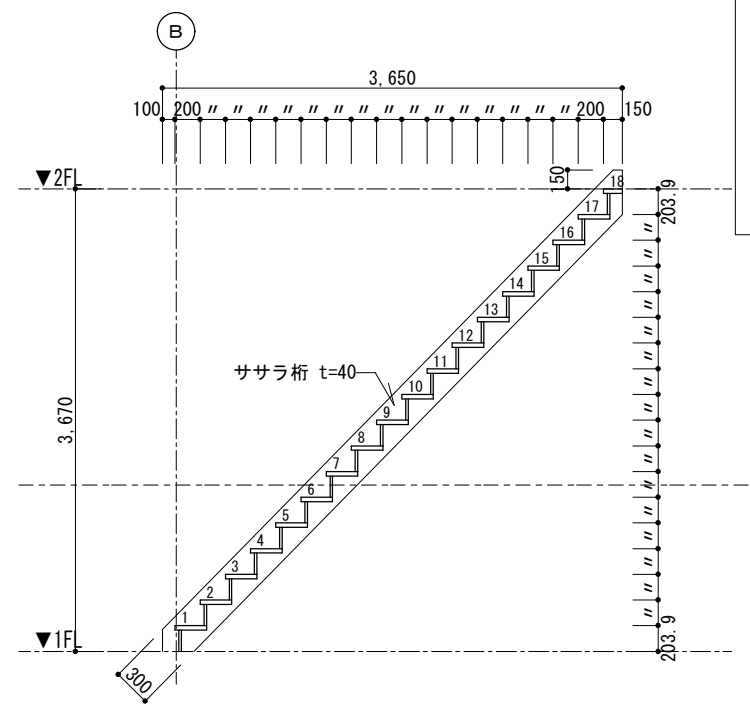
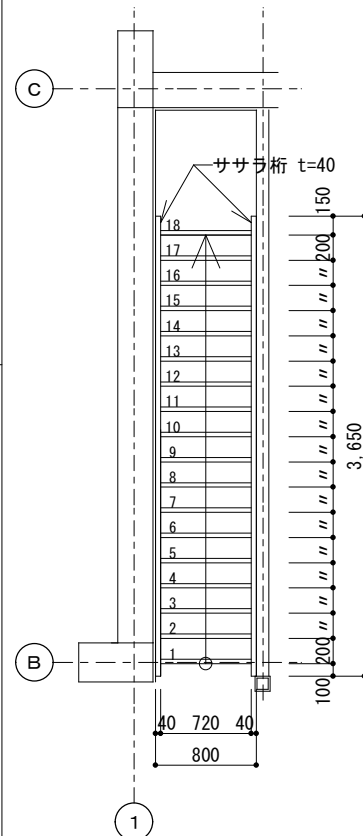
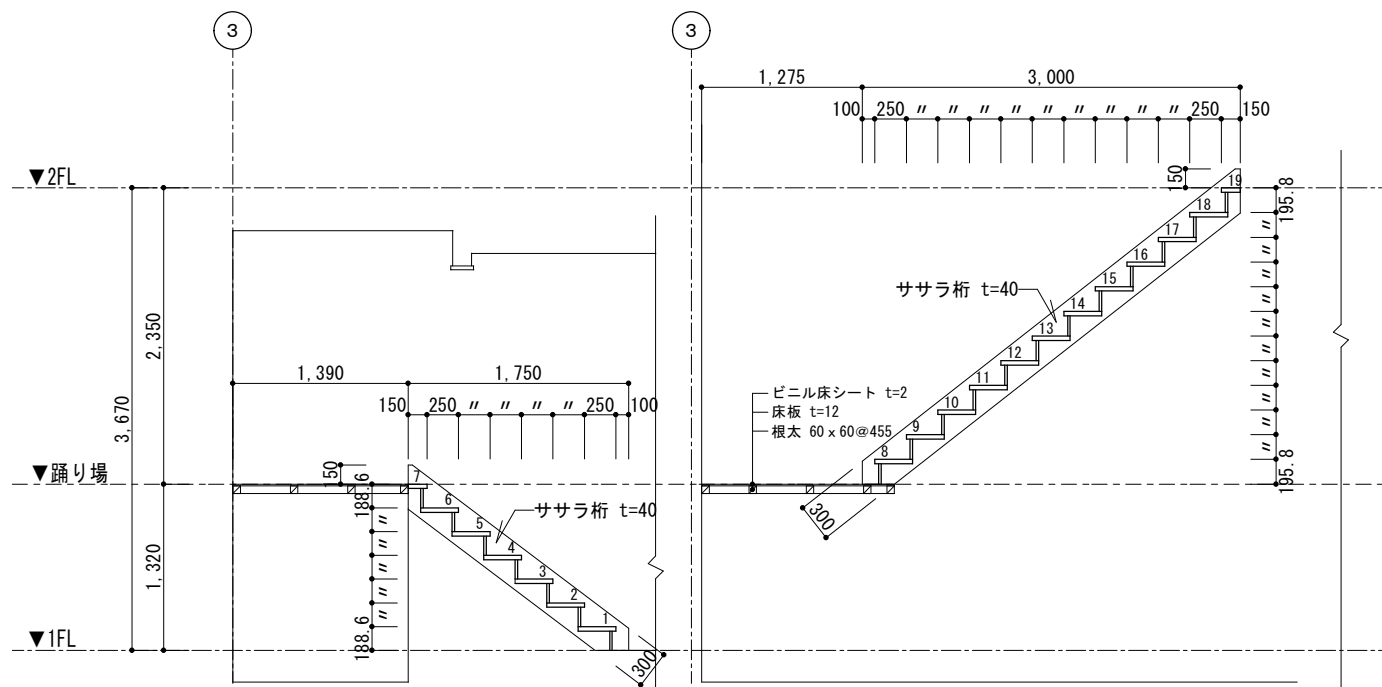
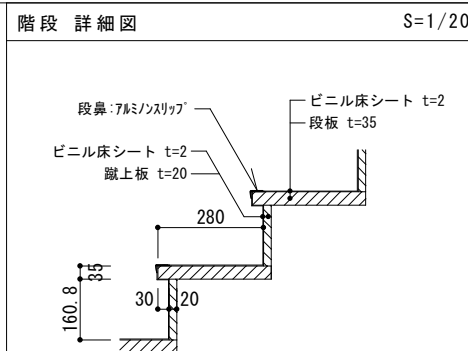
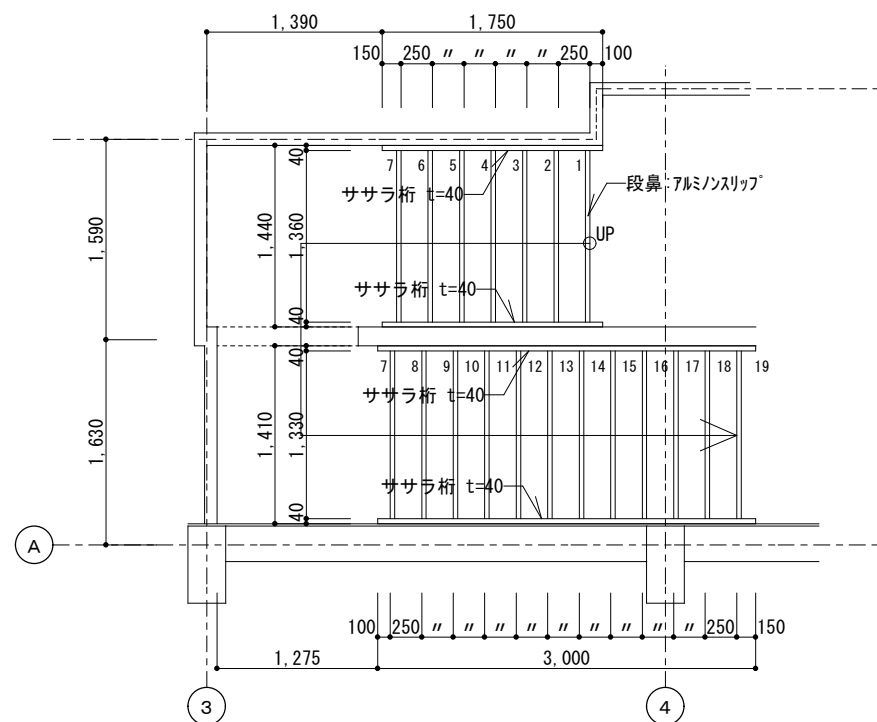


- 凡例
- AW 11 : 既存建具記号を示す
 - AW 11 : 既存建具 撤去
 - 間仕切り壁(A) A-17参照
 - 間仕切り壁(B) A-17参照
 - 間仕切り壁(C) A-17参照
 - 間仕切り壁(D) A-17参照
 - ※ 特記以外は、外壁面を示す

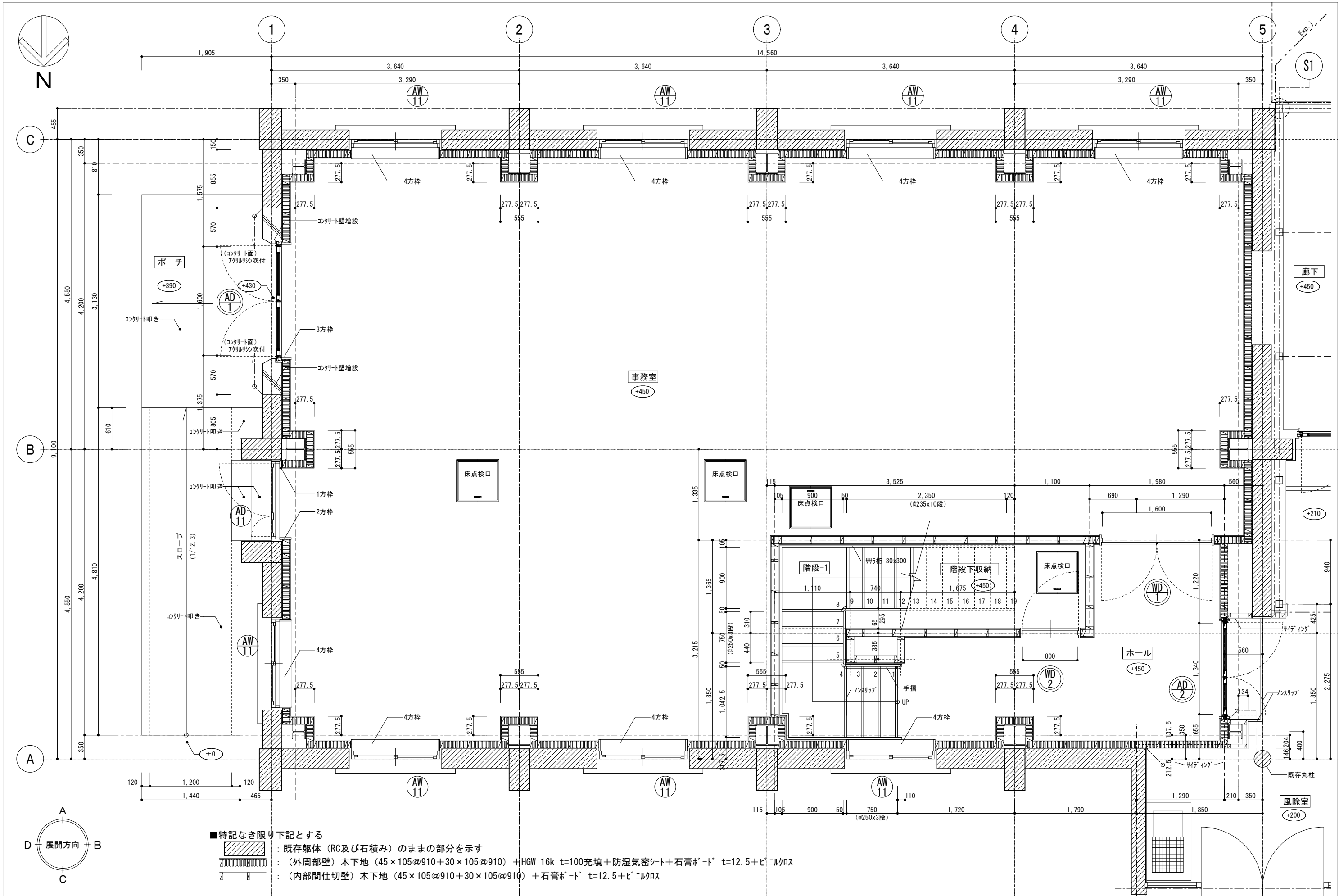


名 称 本庁舎分室 耐震補強工事	1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号(岩手県) 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3. 1級建築士 登録 207833号 阿部 公男	設計 製図 検図 担当	図面内容 会議室棟 既存撤去 展開図-3	縮尺 (A3) 1:60	枚ノ内 図面番号 A-25
--------------------------------	--	--	---	------------------------------------	----------------------------	-----------------------------

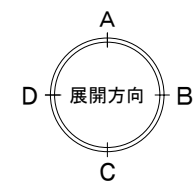
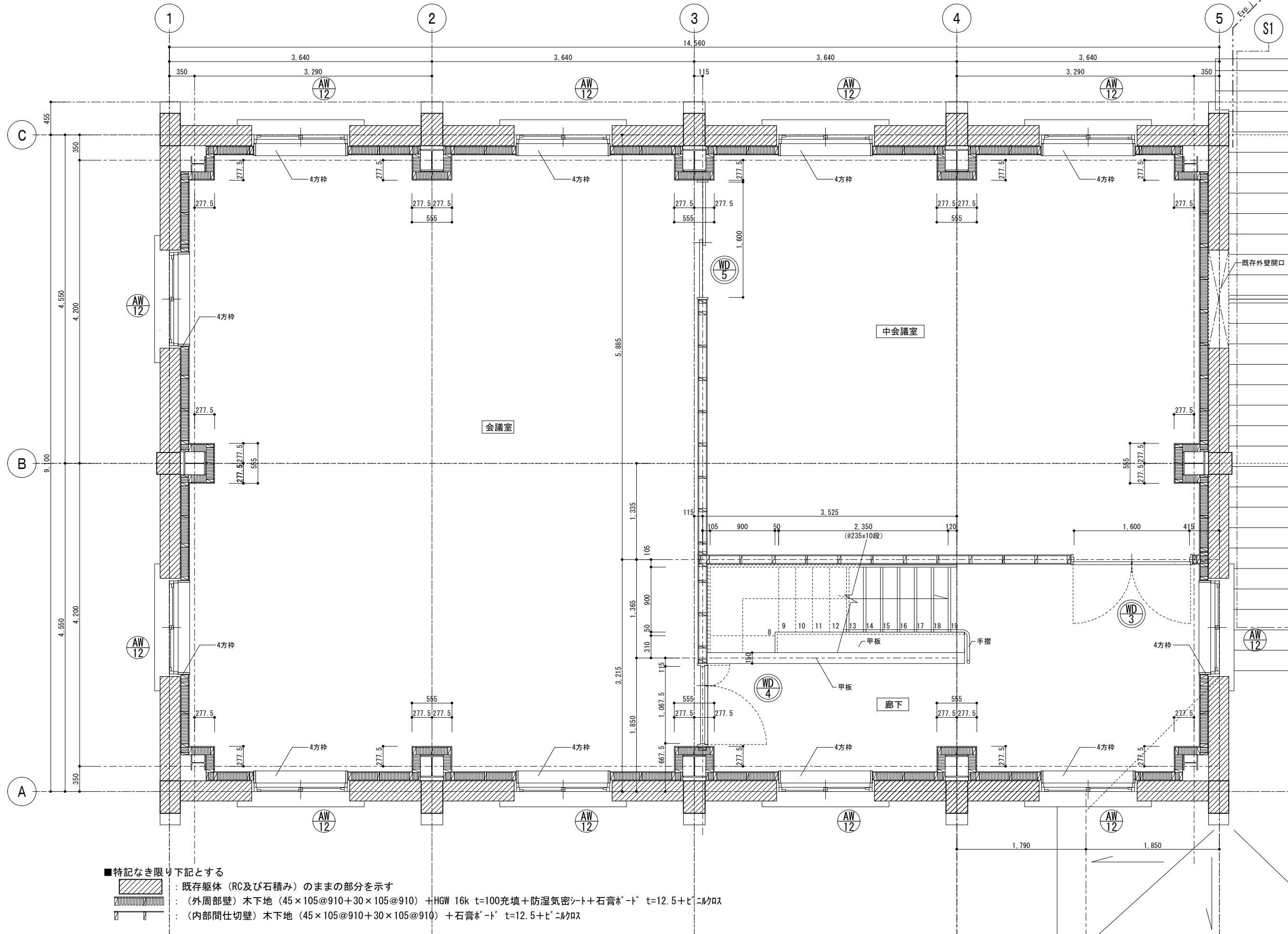
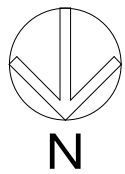




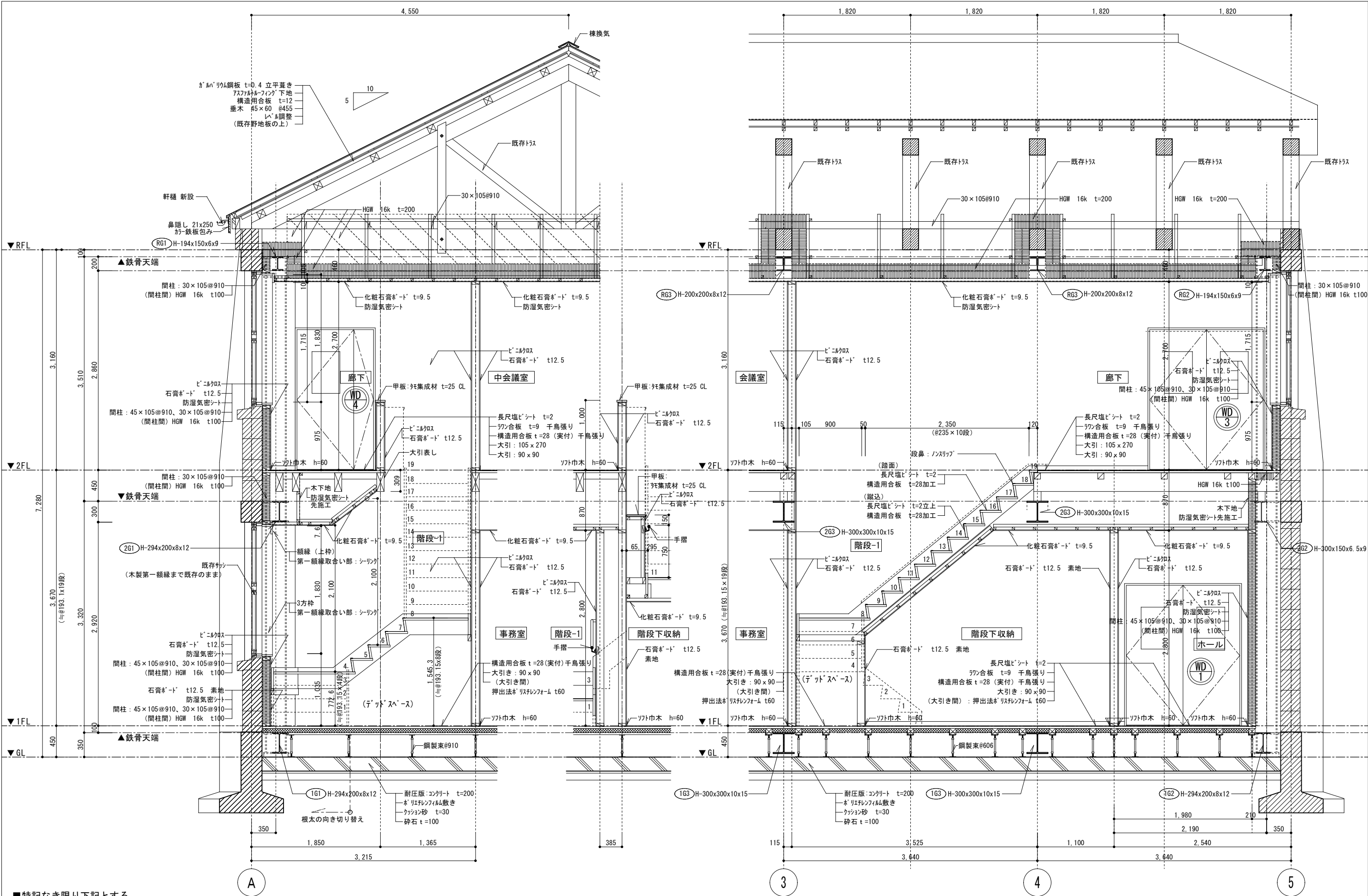
符号・数量		AW-11 → 額縁撤去 (8ヶ所)		AW-12 → 額縁撤去 (1 1ヶ所)		AW-13 → 撤去 (2ヶ所)		AW-14 → 撤去 (5ヶ所)		AD-11 → 額縁撤去 (1ヶ所)		AD-12 → 撤去 (1ヶ所)	
取付位置		1 階 事務室・階段		2 階 会議室・中会議室・廊下		1 階 東トイレ		1 階 東トイレ		1 階 事務室		1 階 東トイレ	
姿 図 寸 法													
		▼FL		▼FL								▼FL	
		■：撤去部分を示す		■：撤去部分を示す						■：撤去部分を示す			
形 式		引き違い段窓		引き違い段窓		引き違い窓		引き違い窓		親子ドア／欄間：引き違い窓		片開きドア	
材 種		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
仕 上		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様	
ガラス		フロートガラス t=3		フロートガラス t=3		型板ガラス t=4		型板ガラス t=4		フロートガラス t=3			
金 物	鍵	クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		空錠（ドアノブ）	
	丁 番	標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様		ステンレス	
	その他	標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様			
備 考		額縁：木製		額縁：木製		額縁：木製 25 x 40 (4方)		額縁：木製 25 x 40 (4方)		額縁：木製		額縁：木製	
符号・数量		AD-13 → 撤去 (1ヶ所)		TD-11 → 撤去 (1ヶ所)		TD-12 → 撤去 (1ヶ所)		WD-11 → 撤去 (1ヶ所)		WD-12 → 撤去 (1ヶ所)			
取付位置		1 階 風除室		1 階 東トイレ		1 階 東トイレ		1 階 事務室		1 階 事務室			
姿 図 寸 法													
		▼FL				[a 断面図]							
形 式		両開きドア／欄間：はめ殺し窓		トイレブース		片引き戸		両開きドア		親子ドア			
材 種		アルミ		木製フラッシュ 見込：40mm（上枠：70mmレール 20x40）		木製フラッシュ 見込：40mm		木製フラッシュ 見込：40mm		木製フラッシュ 見込：40mm		木製フラッシュ 見込：40mm	
仕 上		メーカー仕様		ベニヤ t=4		ベニヤ t=4		ベニヤ t=4		ベニヤ t=4		ベニヤ t=4	
ガラス		フロートガラス t=3						フロートガラス t=3（380 x 680）		フロートガラス t=3（380 x 680）		フロートガラス t=3（380 x 680）	
金 物	鍵	シリンダー錠（レバーハンドル）		表示錠（ドアノブ）		表示錠（ドアノブ）		丸落し錠（2箇所）		シリンダー（ドアノブ）		シリンダー（ドアノブ）	
	丁 番	ステンレス		ステンレス		ステンレス		ステンレス		ステンレス		ステンレス	
	その他	標準仕様						押し板：ステンスPL 60x240					
備 考		額縁：木製						ドア枠：木製 W=110、ステンス沓ずり		ドア枠：木製 W=110、ステンス沓ずり			



名 称		1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 2006 号 (岩手県)		設計年月日	設計	検図	図面内容	縮尺	枚ノ内	図面番号
本庁舎分室 耐震補強工事		合同会社 A B E 構造設計		2025. 3.	製図	担当				
		岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032		1 級建築士 登録 207833 号 阿部 公男			会議室棟 改修 1 階平面詳細図	(A3) 1:50		A-31

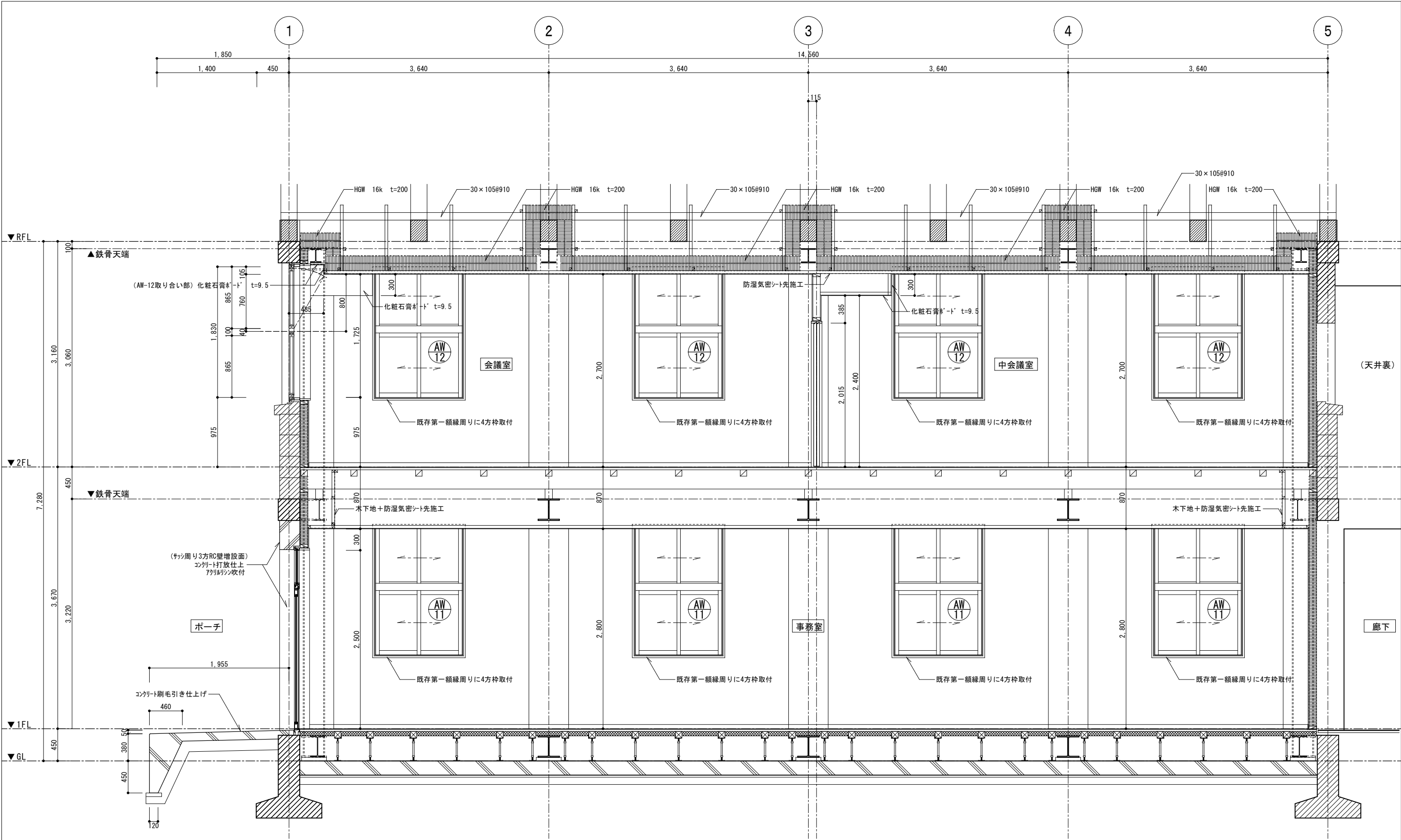


名称 本庁舎分室 耐震補強工事		1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号(岩手県) 合同会社 A B E 構造設計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3. 1級建築士 登録 207833号 阿部 公男	設計 製図	検図 担当	図面内容 会議室棟 改修 2階平面詳細図	縮尺 (A3) 1:50	枚ノ内	図面番号 A-32
---------------------------------------	---	---	--	-----------------------------	-----------------------------	--	------------------------------------	----------------------------	---------------------------------



■特記なき限り下記とする
：既存躯体（RC及び石積み）のままの部分を示す

名 称	本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県)		設計年月日	設計	検図	図面内容	縮尺	枚ノ内	図面番号 A-33
			合同会社 A B E 構 造 設 計		2025. 3.						
			岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032		1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当	会議室棟 改修 断面詳細図	(A3) 1:50		

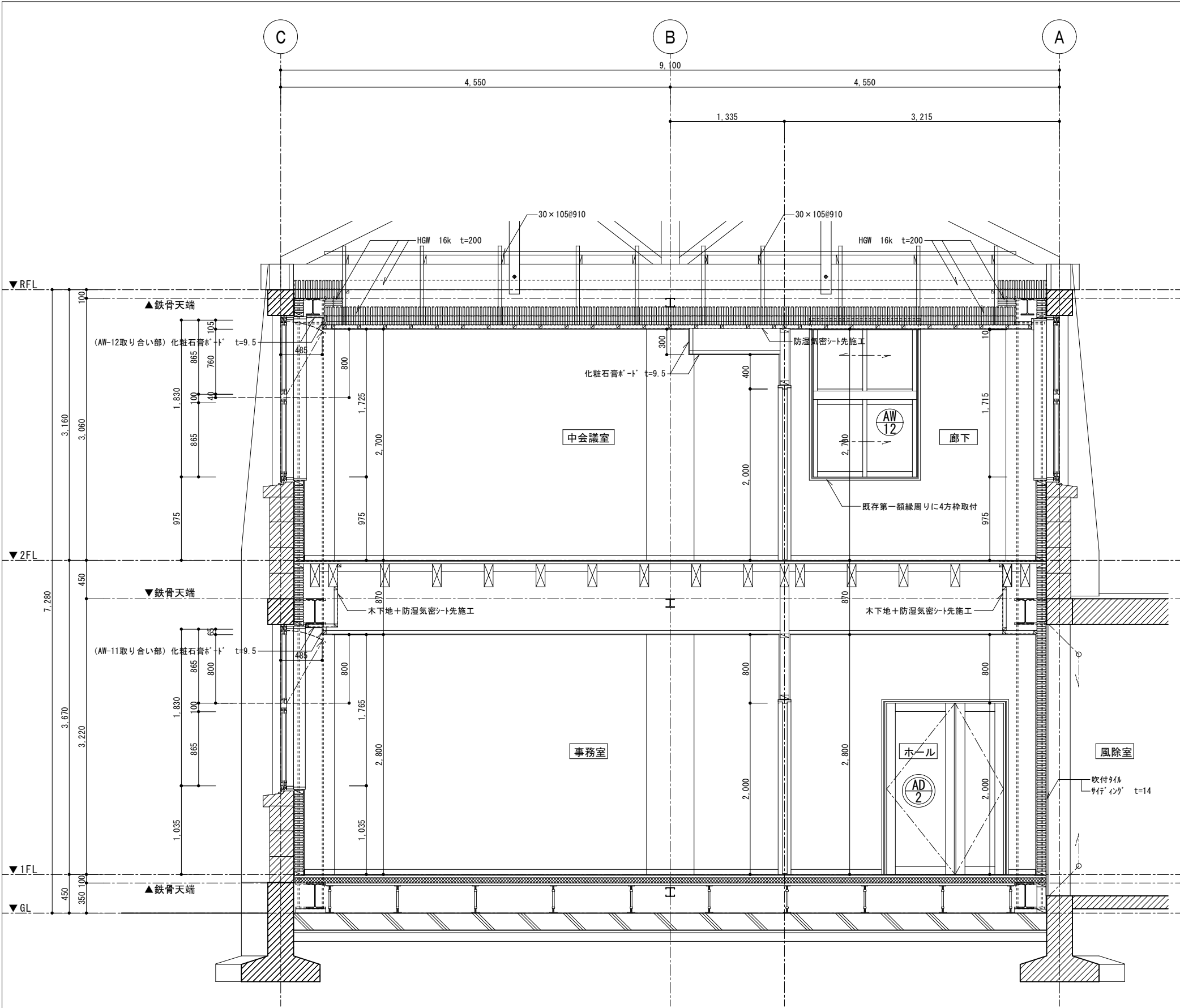


A 面

- 凡例
- : 既存躯体（RC及び石積み）のままの部分を示す
 - : 既存建具を示す
 - : 新規建具を示す

- 特記なき限り下記とする
- ・（外周部壁）：木下地（45×105@910+30×105@910）+HGW 16k t=100充填+防湿気密シート+石膏ボード t=12.5+ビニルクロス
 - ・（内部間仕切壁、ファインク部）：木下地（45×105@910+30×105@910）+石膏ボード t=12.5+ビニルクロス
 - ・（内外仕上共通）部材取合い部には適宜シリングを施す

名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3. 1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	設計 製図	検図 担当	図面内容 会議室棟 改修 断面展開図-1	縮尺 (A3) 1:50	枚ノ内	図面番号 A-34
-------------------------	---	--	---	----------	----------	----------------------------	-----------------	-----	--------------



- 凡例

 - : 既存躯体 (RC及び石積み) のままの部分を示す
 - : 既存建具を示す
 - : 新規建具を示す
- 特記なき限り下記とする

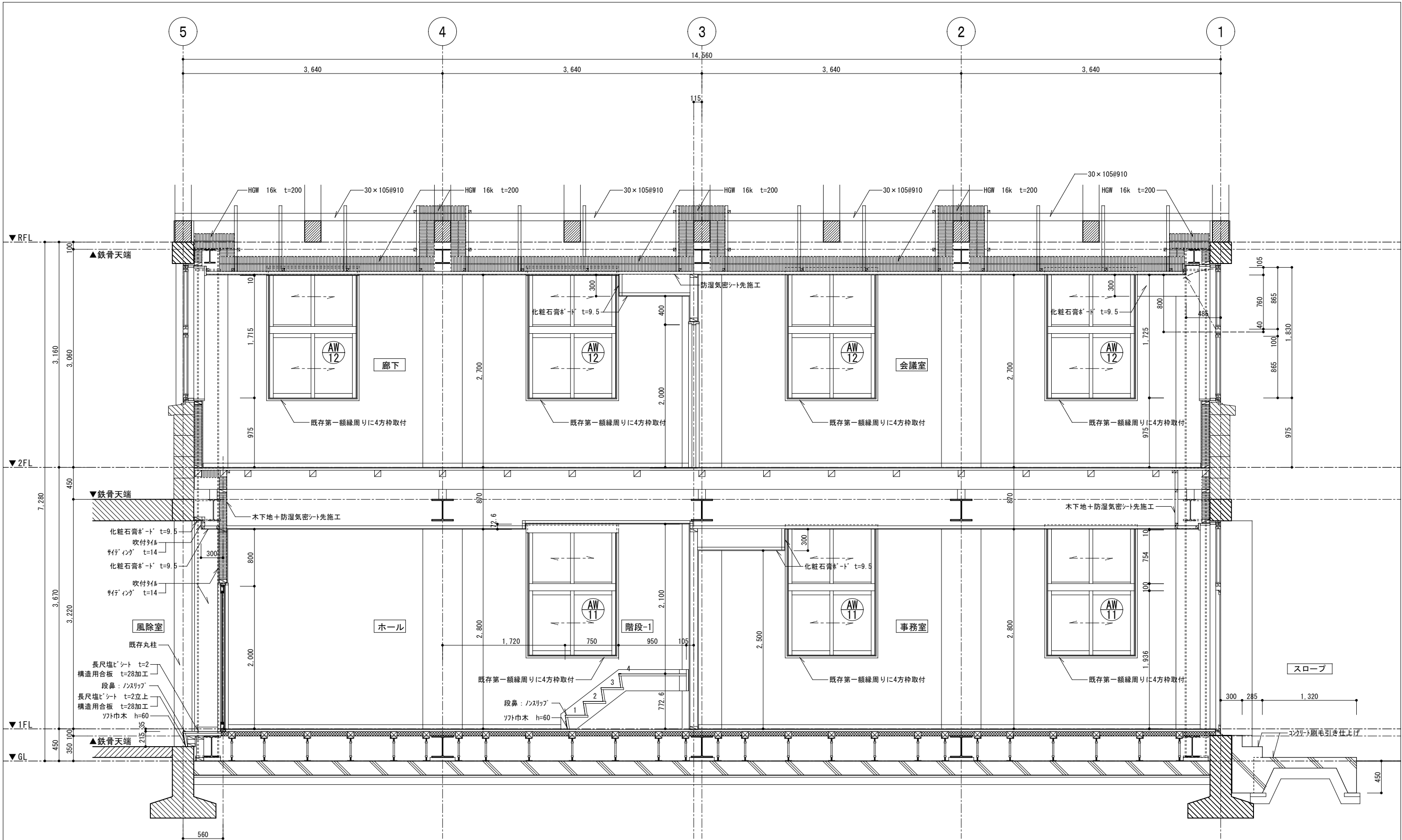
 - ・ (外周部壁) : 木下地 (45×105@910+30×105@910) + HGW 16k t=100充填+防湿気密シート+石膏ボード t=12.5 + ビニルクロス
 - ・ (内部間仕切壁、ファインク部) : 木下地 (45×105@910+30×105@910) + 石膏ボード t=12.5 + ビニルクロス
 - ・ (内外仕上共通) 部材取合い部には適宜シーリングを施す

1階 ホール		
	下 地	仕 上
床	構造用合板 t=28+ラワン合板 t=9 大引き間: 押出法ホリスチレンフォーム t=60	長尺塩ビシート t=2
巾木		ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボード t=12.5 (継目処理) 外周壁側のみ: 防湿気密シート	ビニルクロス
天井	(木野縁組)	化粧石膏ボード t=9.5 廻縁: 塩ビ既製品
備考		

1階 階段下収納		
	下 地	仕 上
床	構造用合板 t=28+ラワン合板 t=9 大引き間: 押出法ホリスチレンフォーム t=60	長尺塩ビシート t=2
巾木		ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボード t=12.5 (継目処理) 外周壁側のみ: 防湿気密シート	素地
天井	(木野縁組)	化粧石膏ボード t=9.5 廻縁: 塩ビ既製品
備考	床下点検口: 600×600、高気密型、高断熱型 城東テカ/株 高気密型床下点検口 SPF-R60C-BL3同等品	

1階 事務室		
	下 地	仕 上
床	構造用合板 t=28+ラワン合板 t=9 大引き間: 押出法ホリスチレンフォーム t=60	長尺塩ビシート t=2
巾木		ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボード t=12.5 (継目処理) 外周壁側のみ: 防湿気密シート	ビニルクロス
天井	(木野縁組)	化粧石膏ボード t=9.5 廻縁: 塩ビ既製品
備考	床下点検口: 600×600、高気密型、高断熱型 城東テカ/株 高気密型床下点検口 SPF-R60C-BL3同等品	

階段-1		
	下 地	仕 上
床 (踏面) (蹴込共)	構造用合板 t=28 加工	長尺塩ビシート t=2
巾木	サワ: 木集成材 t=30	SOP
壁	石膏ボード t=12.5 (継目処理) 外周壁側のみ: 防湿気密シート	ビニルクロス
天井	(木野縁組)	化粧石膏ボード t=9.5 廻縁: 塩ビ既製品
備考	手摺: 樹脂被覆手摺φ34 エンドキャップ付、小フック (取付下地補強共) クイム工業 やすら木シリーズ 同等品 ノスリッパ: SUS w=35 コムタ付入 (既製品)	

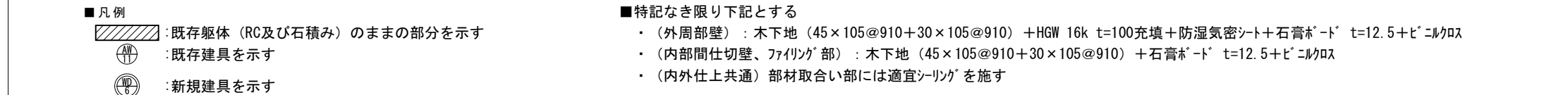


C面

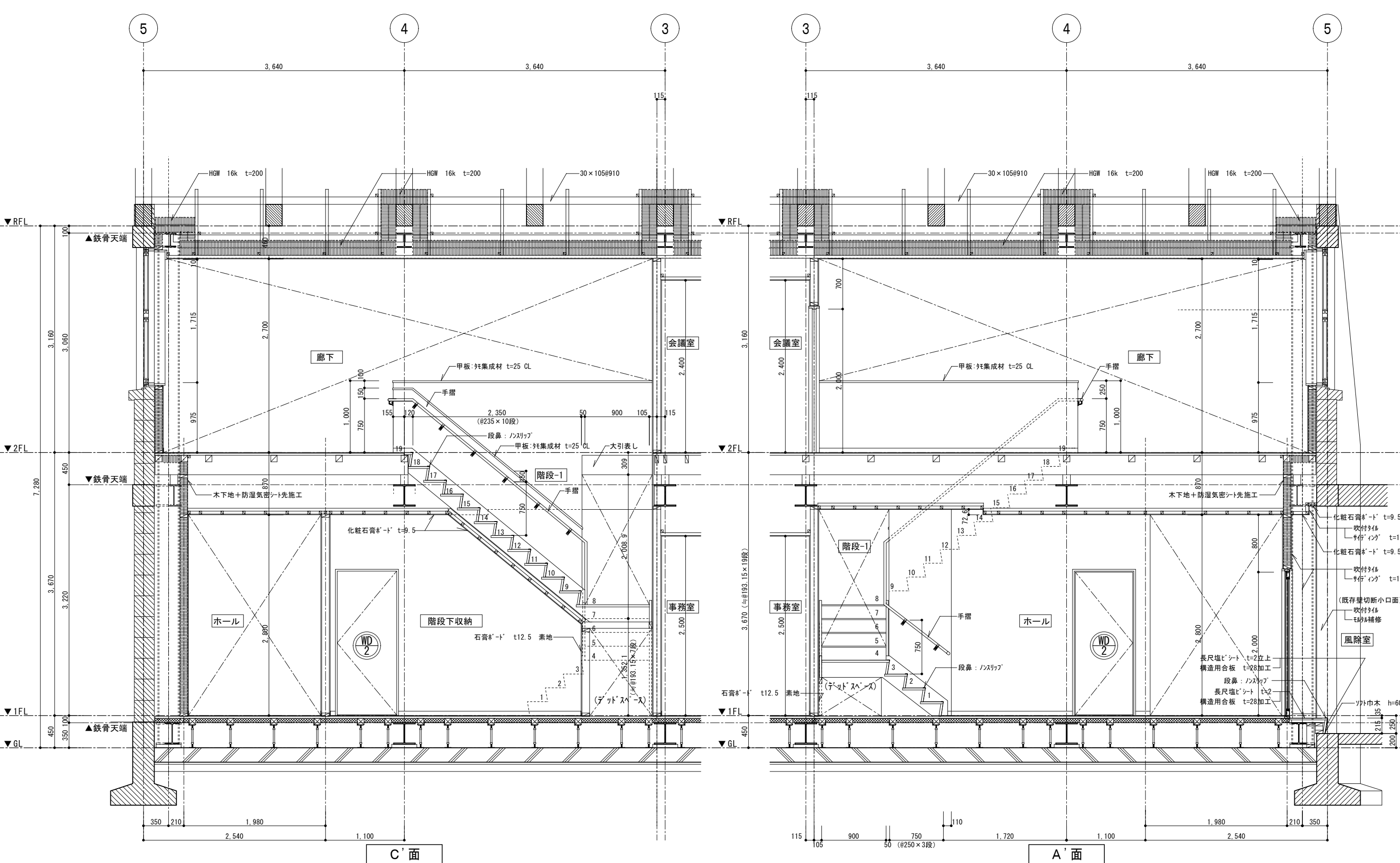
- 凡例
- : 既存躯体 (RC及び石積み) のままの部分を示す
 - : 既存建具を示す
 - : 新規建具を示す

- 特記なき限り下記とする
- ・ (外周部壁) : 木下地 (45×105@910+30×105@910) + HGW 16k t=100充填 + 防湿気密シート + 石膏ボード t=12.5 + ビニルクロス
 - ・ (内部間仕切壁、ファインディング部) : 木下地 (45×105@910+30×105@910) + 石膏ボード t=12.5 + ビニルクロス
 - ・ (内外仕上共通) 部材取合い部には適宜シーリングを施す

名 称	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 会議室棟 改修 断面展開図-3	縮尺 (A3) 1:50	枚ノ内	図面番号 A-36
本庁舎分室 耐震補強工事	1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号(岩手県) 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	1級建築士 登録 207833号 阿部 公男	製図	担当			



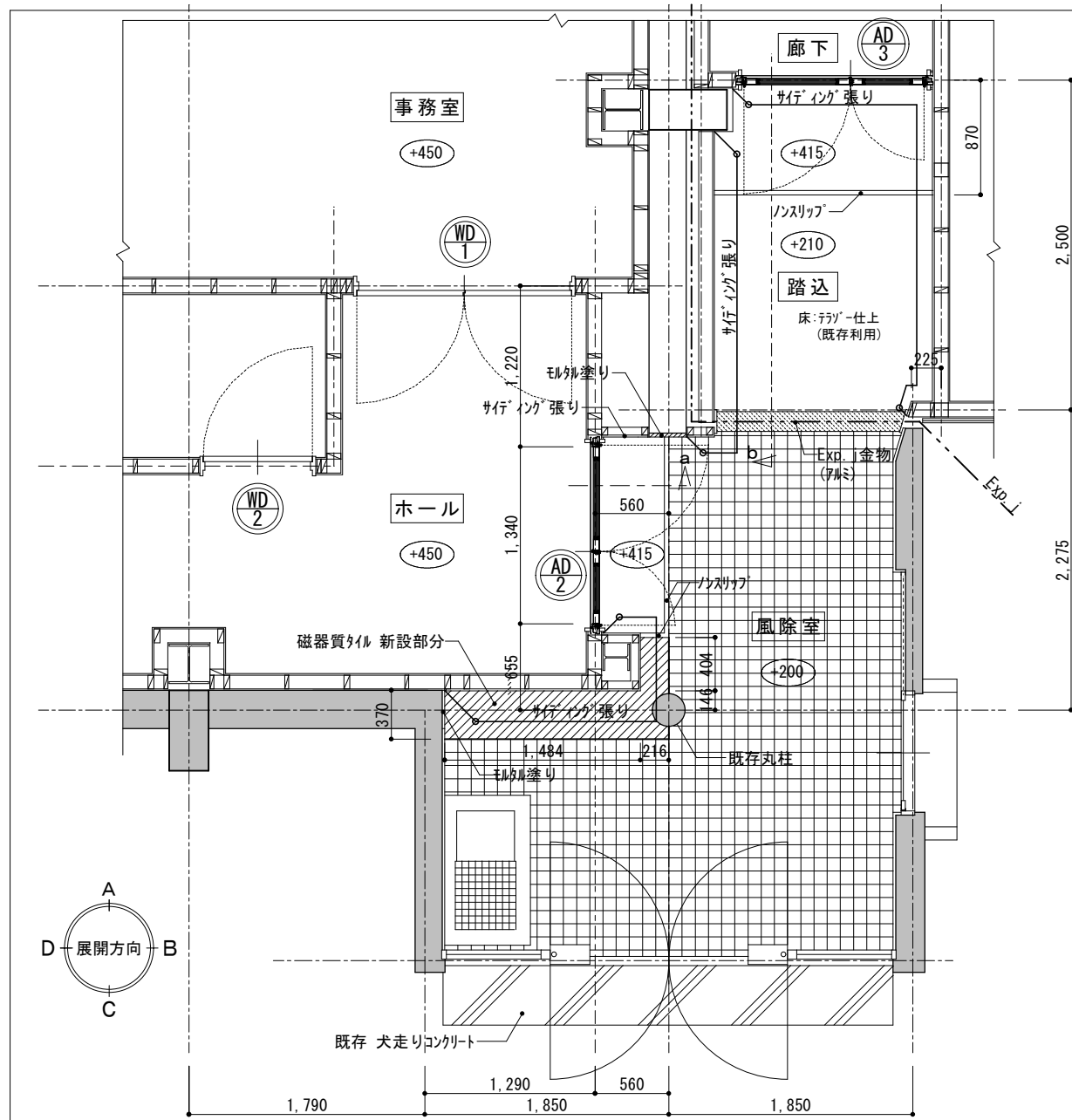
2階 中会議室		
	下 地	仕 上
床	構造用合板 t=28 7/8合板 t=9	長尺塩ビシート t=2
巾木		7/8巾木 H=60
壁	石膏ボード t=12.5 (継目処理) 外周壁側のみ：防湿気密シート (木野縁組)	ビニルクロス 化粧石膏ボード t=9.5 廻縁：塩ビ既製品
天井	天井点検口：450×450・高気密型・高断熱型	
備考	城東7/8(株) 高気密・高断熱型天井点検口	SPC-S4545AH4同等品



- 凡例
- : 既存躯体 (RC及び石積み) のままの部分を示す
 - : 既存建具を示す
 - : 新規建具を示す

- 特記なき限り下記とする
- ・ (外周部壁) : 木下地 (45×105@910+30×105@910) + HGW 16k t=100 充填 + 防湿気密シート + 石膏ボード t=12.5 + ビニルクロス
 - ・ (内部間仕切壁、ファインク部) : 木下地 (45×105@910+30×105@910) + 石膏ボード t=12.5 + ビニルクロス
 - ・ (内外仕上共通) 部材取合い部には適宜シーリングを施す

名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3. 1 級建築士 登録 207833 号 阿部 公男	設計 製図	検図 担当 図面内容 会議室棟 改修 断面展開図-5	縮尺 (A3) 1:50	枚ノ内 A-38
-------------------------	---	---	---	----------	--	-----------------	-------------

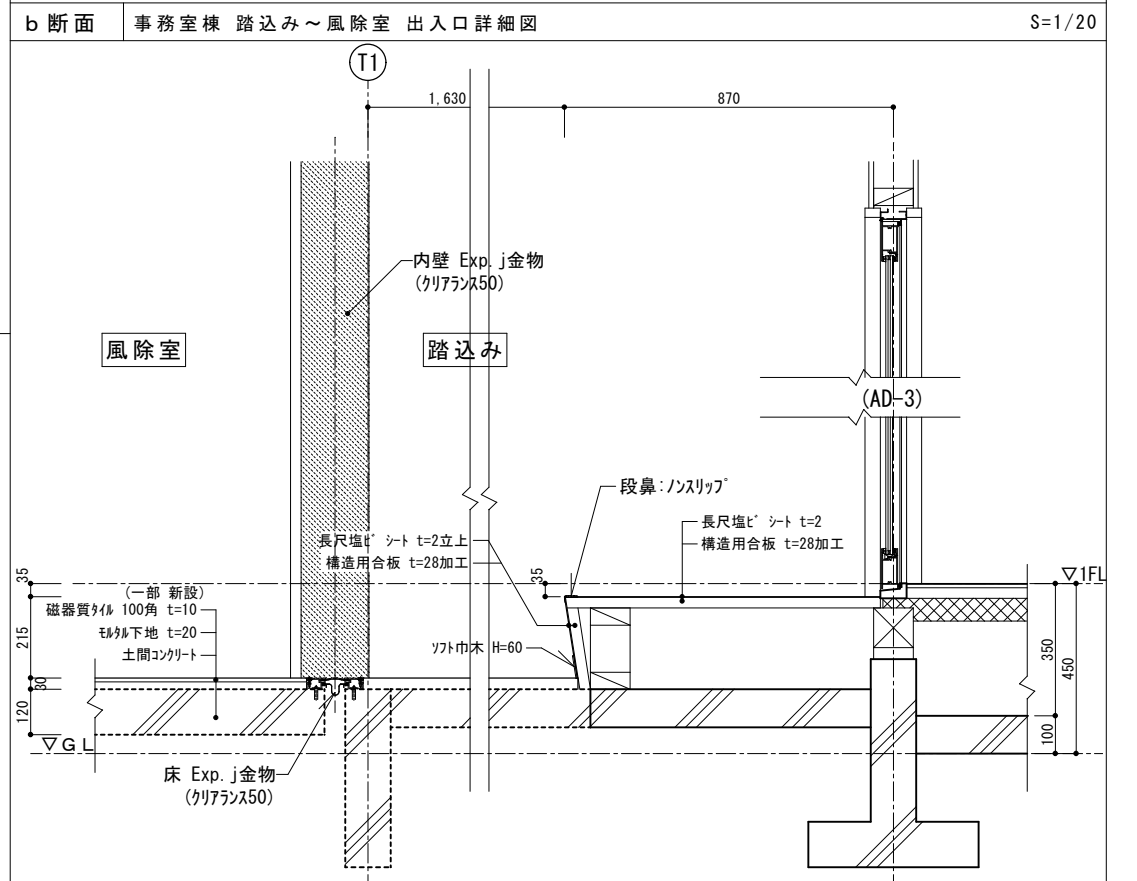
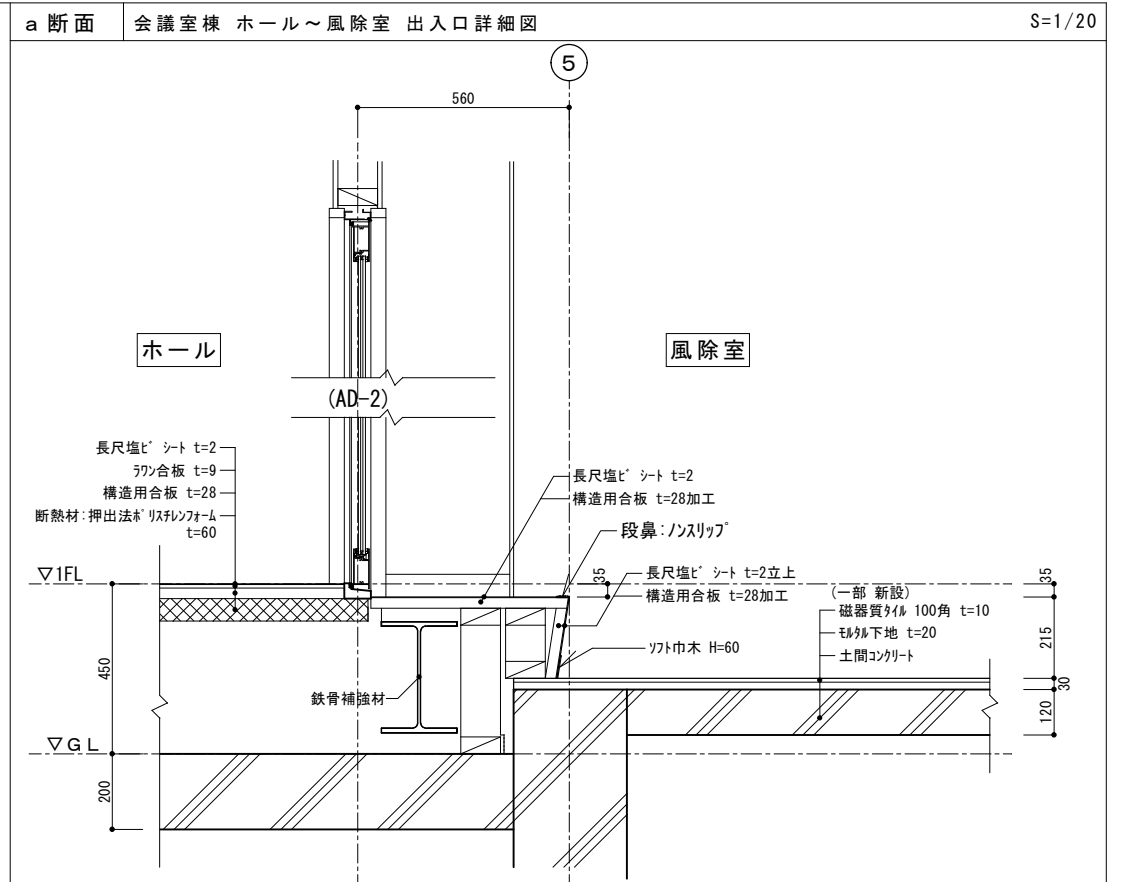
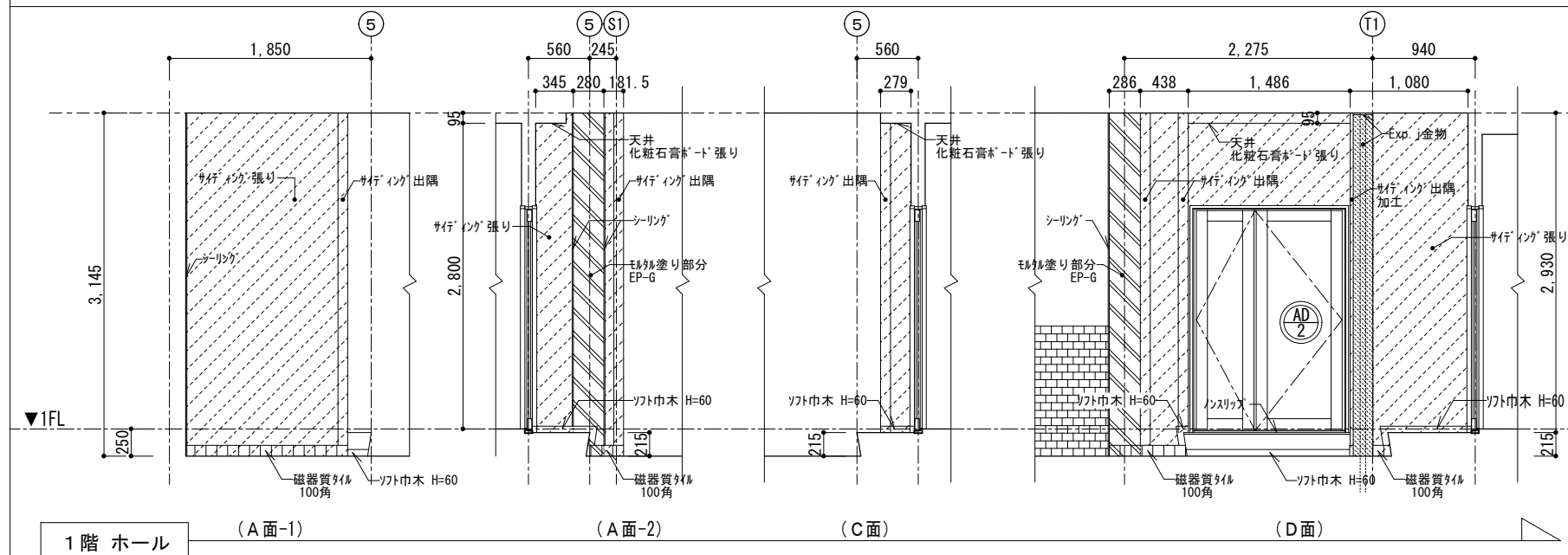


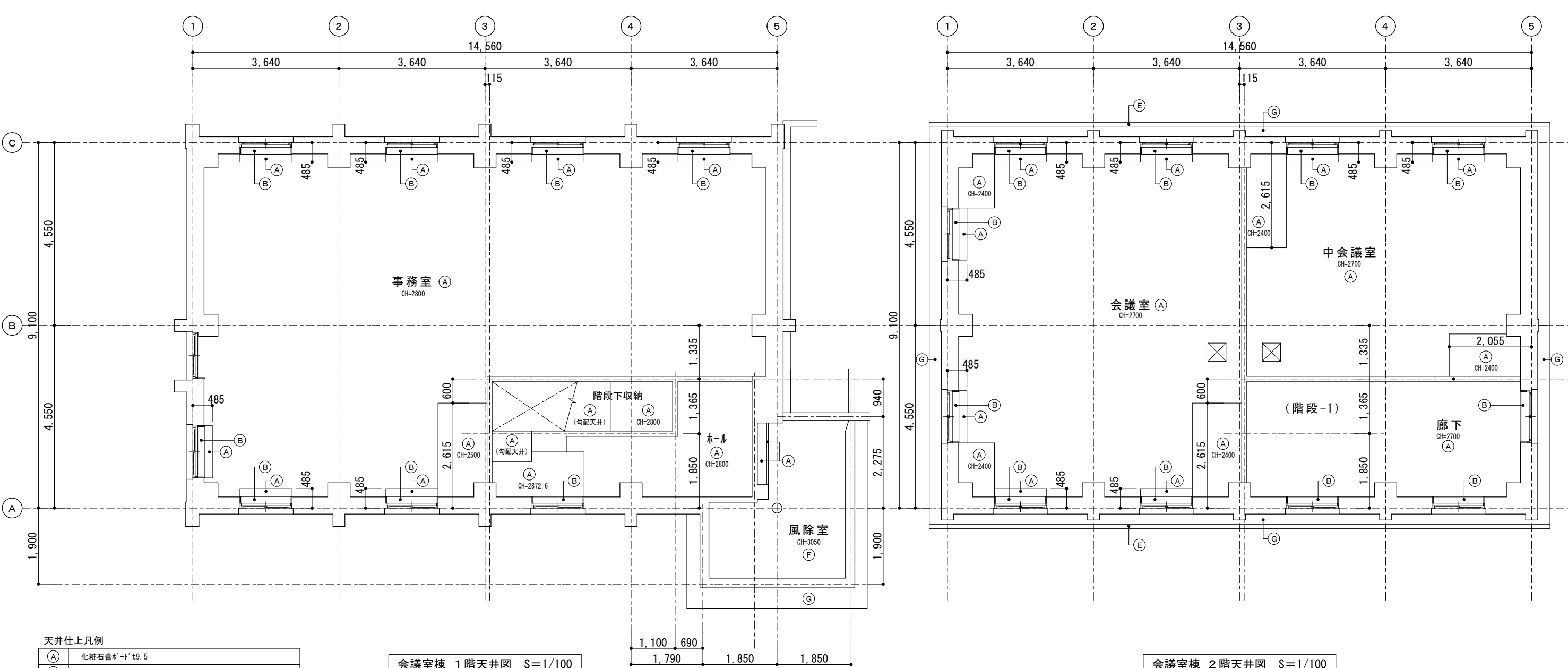
■ 凡例

 : 新設建具記号を示す

▮▮ : 木下地 (45x105@910, 30x105@910)

風 除 室		
	下 地	仕 上
床	土間コンクリート t=120 モルタル下地 t=20	磁器質タイル 100角
巾木		磁器質タイル 100角
壁	RC壁部分：モルタル塗り t=20 木製間仕切り	EP-G 窯業系サイディング t=14
天井	RCスラブ（既存）	既存 吹付塗装
備考	取合いシーリング：変性シリコン 10 x 10	

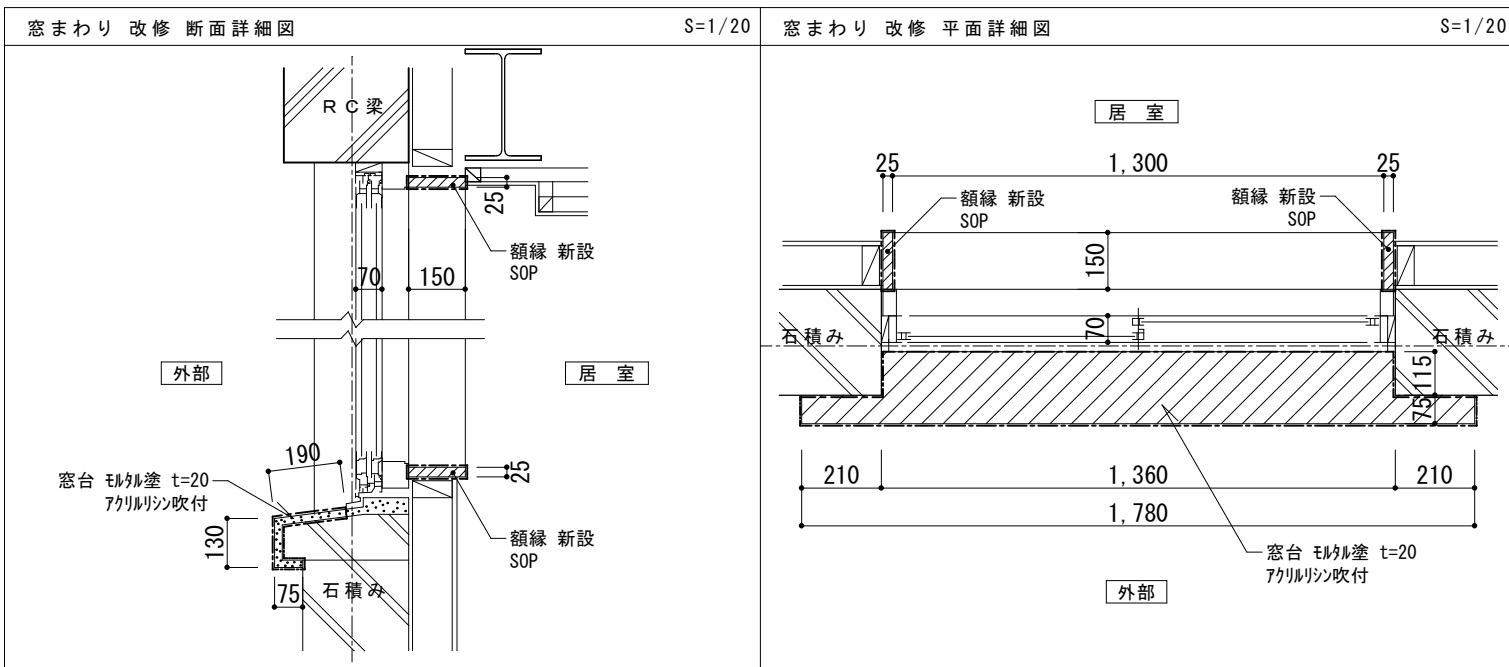




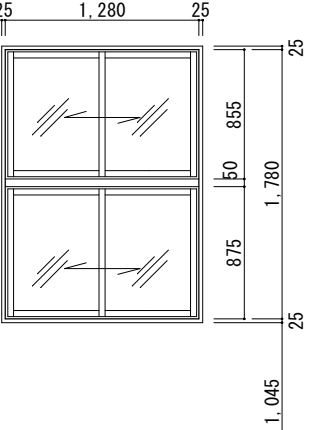
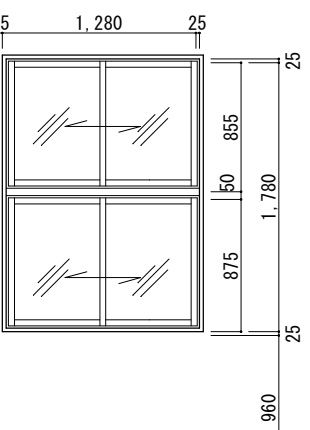
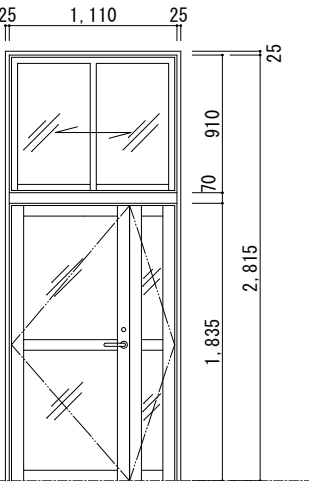
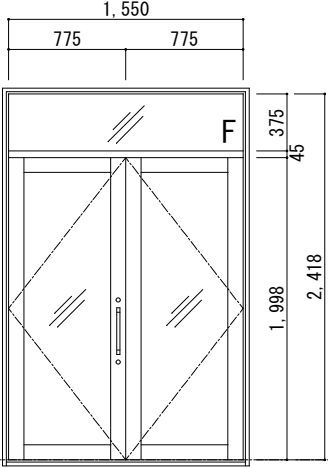
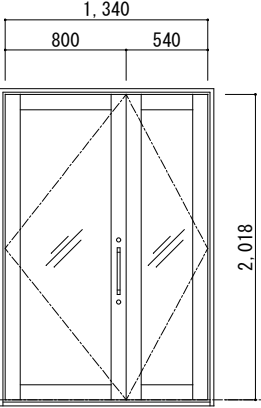
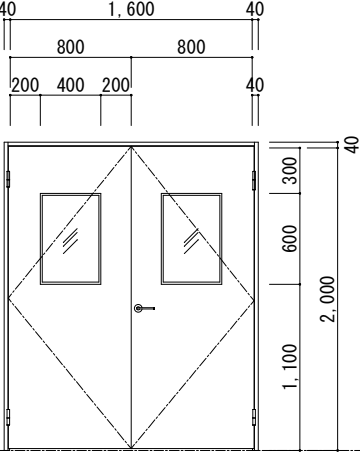
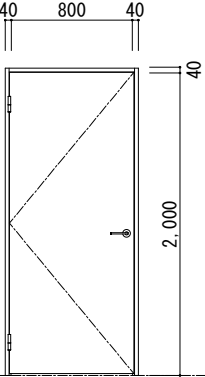
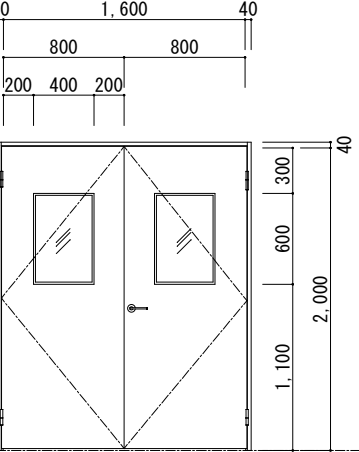
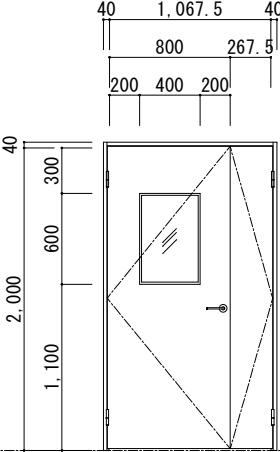
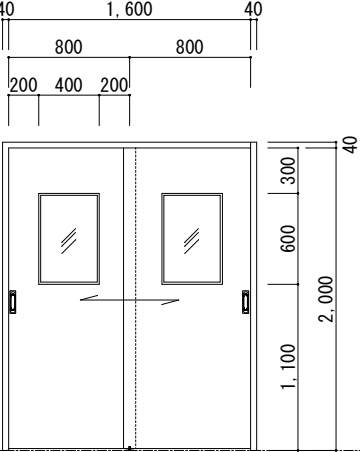
天井仕上凡例	
(A)	化粧石膏ボード t9.5
(B)	木部：SOP
(C)	折板：ガルバリウム塗装鋼板
(D)	鉄部：SOP
(E)	軒樋：ガルバリウム鋼板（支持金物共）
(F)	既存 吹付塗装
(G)	既存外壁・軒天仕上のまま
☒	天井点検口 450角（高気密・高断熱型）

会議室棟 1階天井図 S=1/100

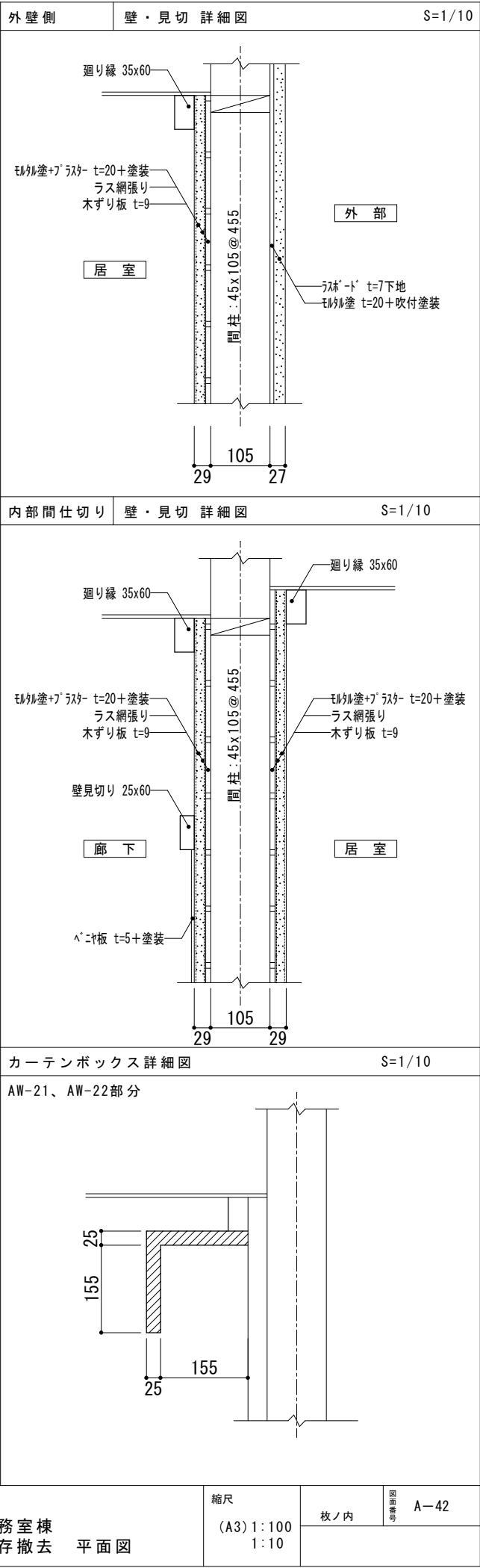
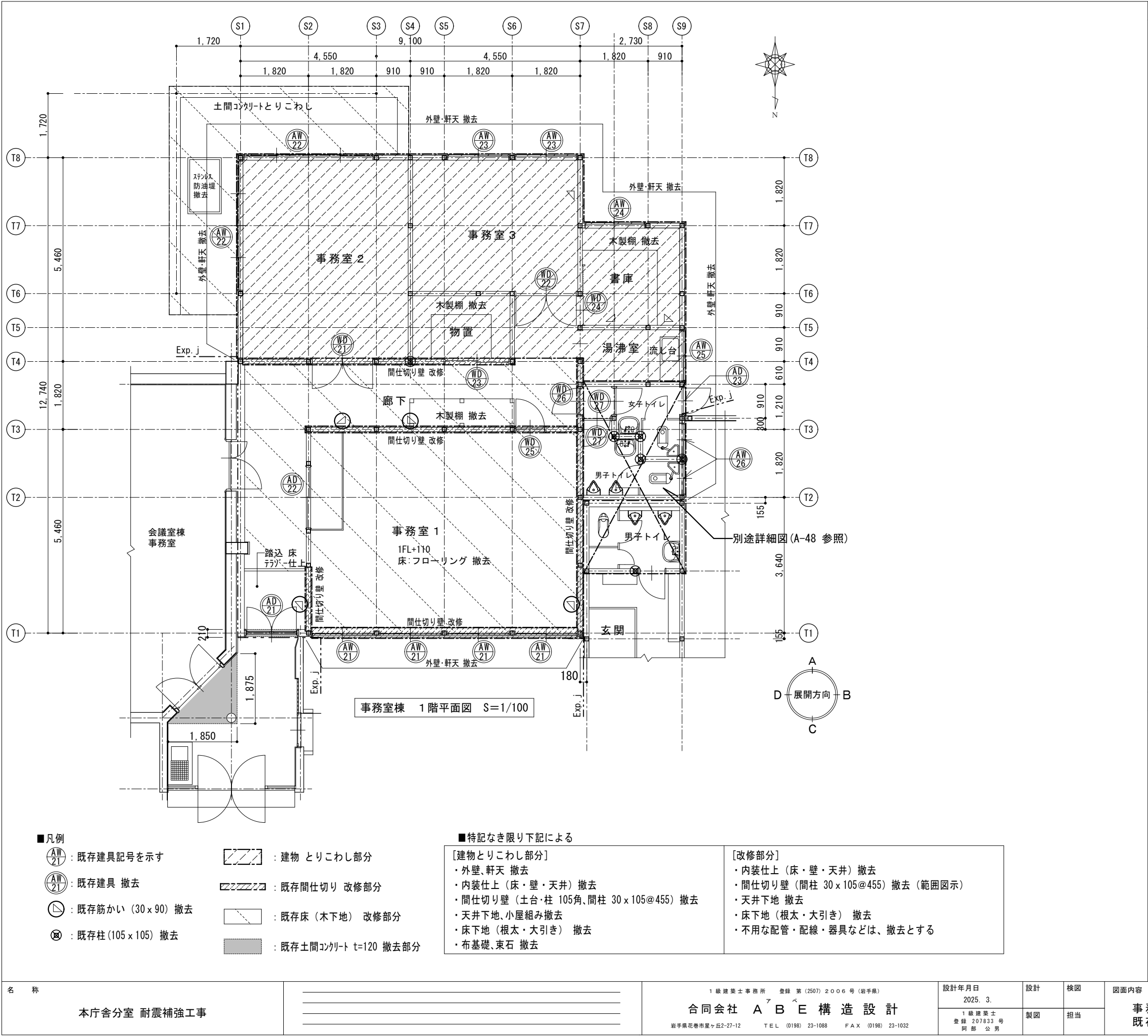
会議室棟 2階天井図 S=1/100

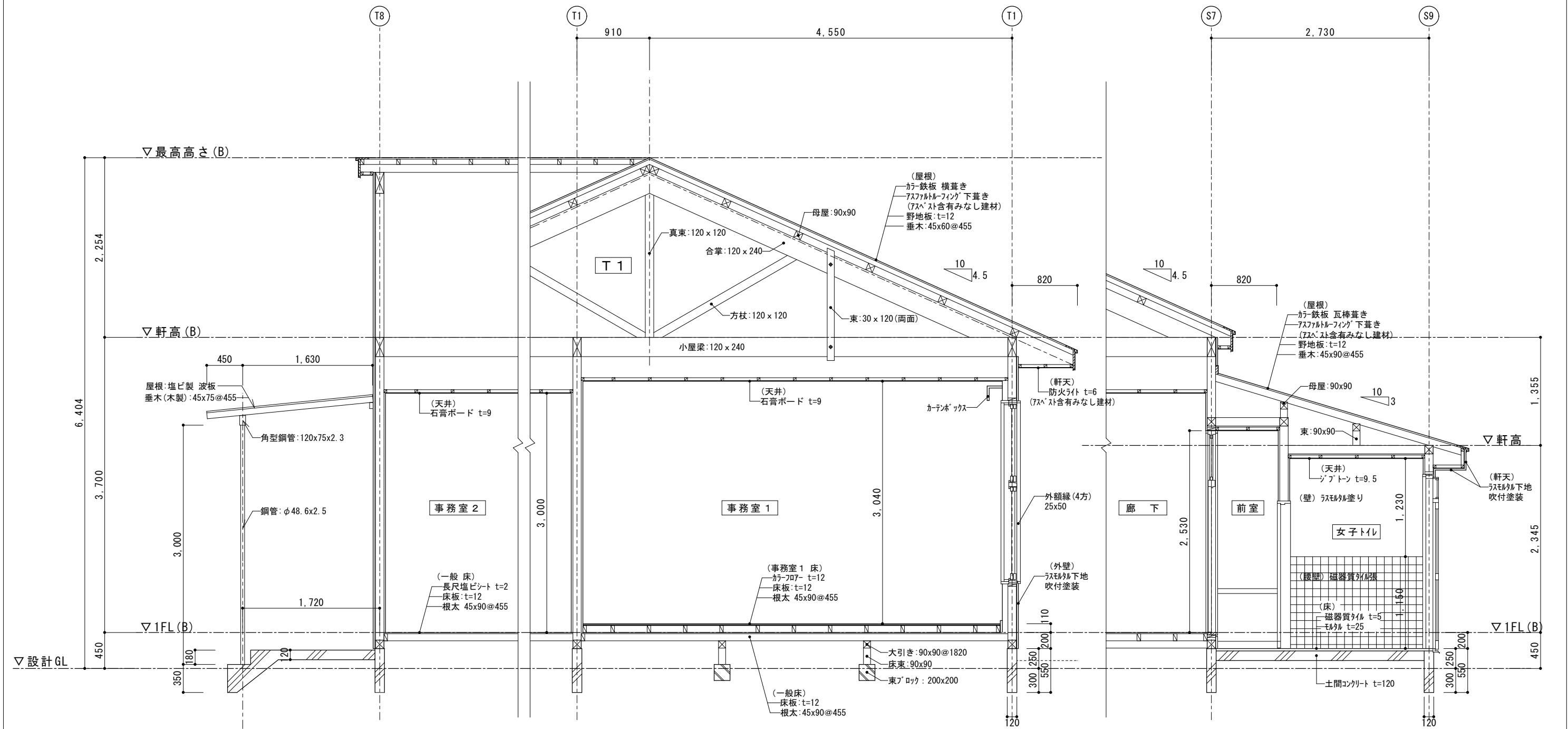


名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 会議室棟 改修 天井伏図 窓まわり詳細図	縮尺 (A3) 1:100 (A3) 1: 20	枚ノ内 A-40	図面番号
			1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				

符号・数量	AW-11 → 額縁新設 (8ヶ所)	AW-12 → 額縁新設 (1 1ヶ所)	AD-11 → 額縁新設 (1ヶ所)	AD-1 → 新設 (1ヶ所)	AD-2 → 新設 (1ヶ所)
取付位置	1 階 事務室・階段	2 階 会議室・中会議室・廊下	1 階 事務室		
姿 図 寸 法					
	▼1FL				
形 式	引き違い段窓	引き違い段窓	親子ドア／欄間：引き違い窓	FIX欄間付き 両開きドア	親子開きドア
材 種	アルミ	アルミ	アルミ、沓摺：SUS HL	7ℓミ、沓摺：ｶﾊﾞｰ材 水返し型、額縁：D=152 化粧ｼｰﾄ張り	7ℓミ、沓摺：ｶﾊﾞｰ材 水返し型、額縁：D=102 化粧ｼｰﾄ張り
仕 上	メーカー仕様	メーカー仕様	メーカー仕様	メーカー仕様	メーカー仕様
ガラス	フロートガラス t=3	フロートガラス t=3	フロートガラス t=3	ﾊﾞｰｱｶﾞﾗｽ (下:FL5+A12+Low-E5、上:FL3+A12+Low-E3)	ﾊﾞｰｱｶﾞﾗｽ (FL5+A12+Low-E5)
金物	鍵	クレセント	本締錠	本締錠	本締錠
	丁 番	標準仕様	ステンレス丁番、ドアクローザー（ストップ付）	ステンレス丁番、ドアクローザー（ストップ付）	ステンレス丁番、ドアクローザー（ストップ付）
	その他	標準仕様	付属金物一式、レバーハンドル、フランス落し	付属金物一式、ブッシュ錠(ﾊﾞｰﾀｲﾌﾟ)、フランス落し、戸当り	付属金物一式、ブッシュ錠(ﾊﾞｰﾀｲﾌﾟ)、フランス落し、戸当り
備 考	※ 既存第一額縁周りに4方枠取付（木製 見込み150+SOP）	※ 既存第一額縁周りに4方枠取付（木製 見込み150+SOP）	※ 既存第一額縁周りに4方枠取付（木製 見込み170+SOP）	見込70、SAT、YKKAP:7TD同等品	見込70、SAT、YKKAP:7TD同等品
符号・数量	WD-1 → 新設 (1ヶ所)	WD-2 → 新設 (1ヶ所)	WD-3 → 新設 (1ヶ所)	WD-4 → 新設 (1ヶ所)	WD-5 → 新設 (1ヶ所)
取付位置	1 階 事務室	1 階 階段下収納	2 階 中会議室	2 階 会議室	2 階 会議室
姿 図 寸 法					
	▼1FL				
形 式	両開きドア	片開きドア	両開きドア	親子開きドア	引き違いドア
材 種	枠：、扉：木製ﾌﾗｯｼｭ(断熱材充填)、床見切り：SUS HL	枠：、扉：木製ﾌﾗｯｼｭ(断熱材充填)、床見切り：SUS HL	枠：、扉：木製ﾌﾗｯｼｭ(断熱材充填)、床見切り：SUS HL	枠：、扉：木製ﾌﾗｯｼｭ(断熱材充填)、床見切り：SUS HL	枠：、扉：木製ﾌﾗｯｼｭ、ﾚｰﾙ：SUS HL
仕 上	枠：SOP、扉：ﾏﾗﾐﾝ化粧板	枠：SOP、扉：ﾏﾗﾐﾝ化粧板	枠：SOP、扉：ﾏﾗﾐﾝ化粧板	枠：SOP、扉：ﾏﾗﾐﾝ化粧板	枠：SOP、扉：ﾏﾗﾐﾝ化粧板
ガラス	型板ｶﾞﾗｽ t=4	型板ｶﾞﾗｽ t=4	型板ｶﾞﾗｽ t=4	型板ｶﾞﾗｽ t=4	型板ｶﾞﾗｽ t=4
金物	鍵	本締錠・サムターン	本締錠・サムターン	本締錠・サムターン	本締錠錠
	丁 番	ステンレス丁番、ドアクローザー（ストップ付）	ステンレス丁番、ドアクローザー（ストップ付）	ステンレス丁番、ドアクローザー（ストップ付）	掘込み引手、戸車、ソフトクロス
	その他	付属金物一式、レバーハンドル、フランス落し、戸当り	付属金物一式、レバーハンドル、フランス落し、戸当り	付属金物一式、レバーハンドル、フランス落し、戸当り	付属金物一式、戸当り
備 考	枠見込 t=154、扉見込 t=40	枠見込 t=154、扉見込 t=40	枠見込 t=154、扉見込 t=40	枠見込 t=154、扉見込 t=40	枠見込 t=154、扉見込 t=40

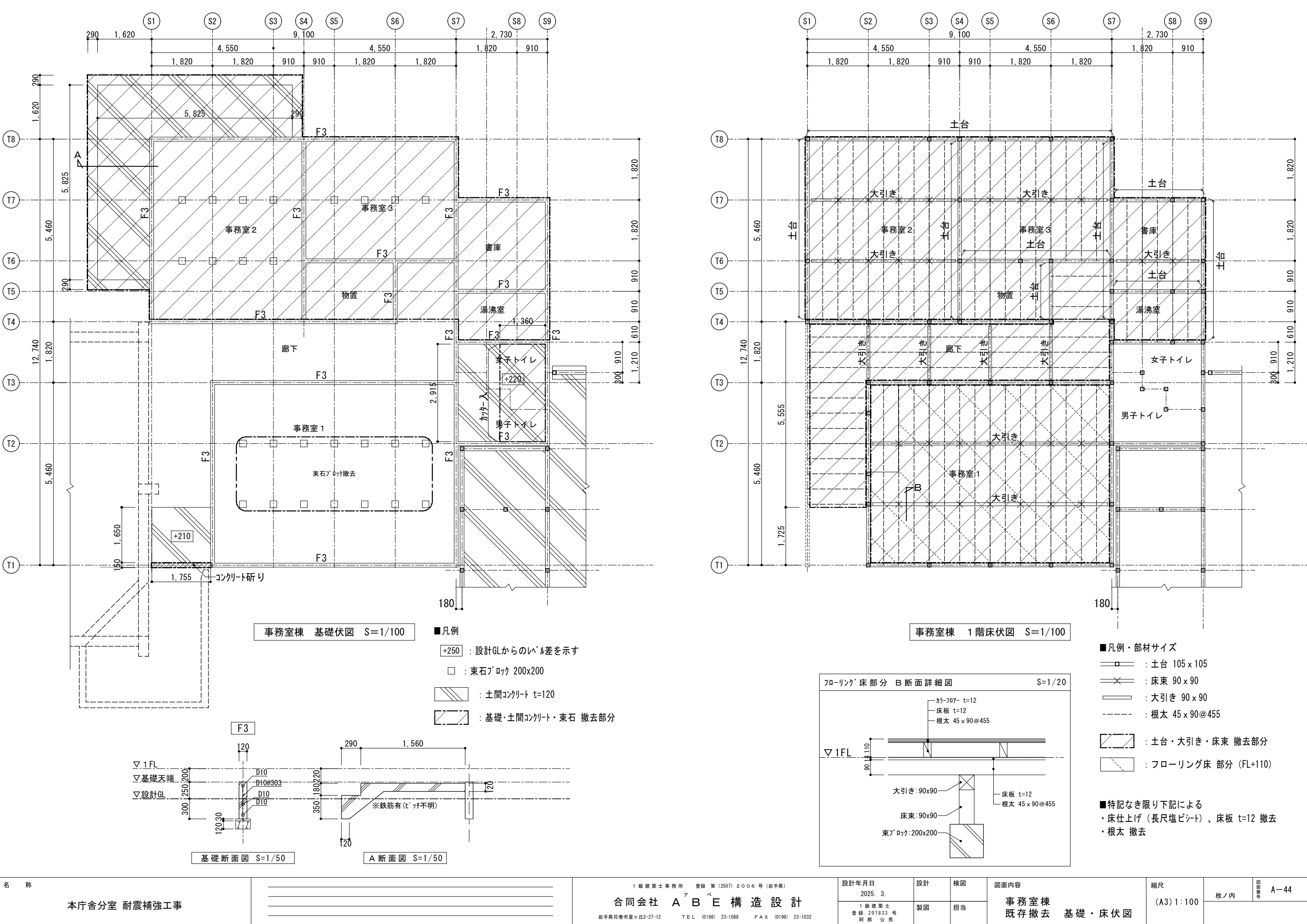
名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 会 議 室 棟 新 設 ・ 改 修 建 具 表	縮尺 (A3) 1:50	枚ノ内	図面番号 A-41
			1 級 建 築 士 登 録 2 0 7 8 3 3 号 阿 部 公 男	製図	担当				



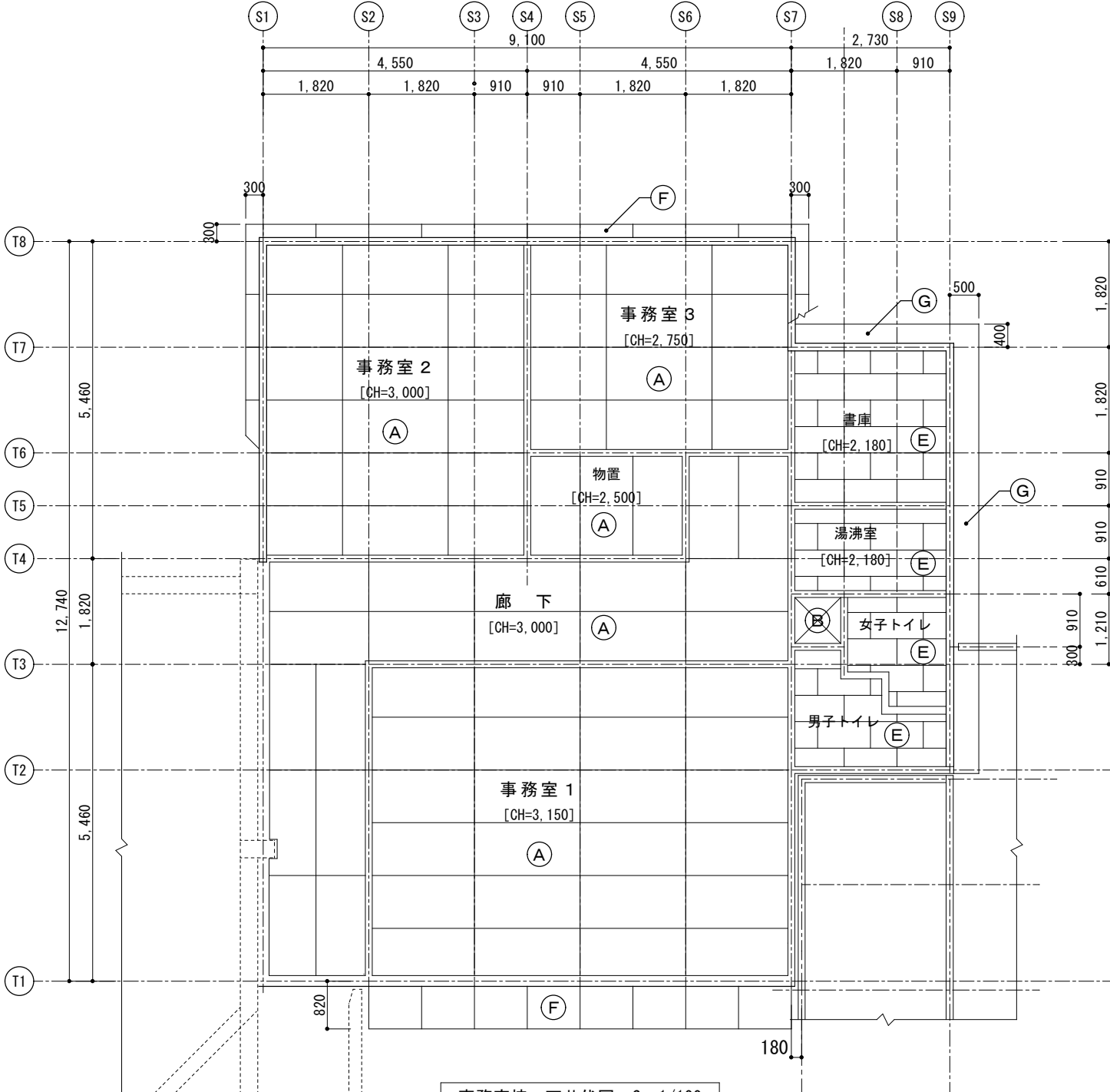


事務室棟 既存矩計図 1/50

名称 本庁舎分室 耐震補強工事		1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号(岩手県) 合同会社 A B E 構造設計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日	設計	検図	図面内容 事務室棟 既存 矩計図	縮尺 (A3) 1:50	枚ノ内	図面番 A-43
			1級建築士 登録 207833号 阿部 公男	製図	担当				



名 称		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県)			設計年月日	設計	検図	図面内容	縮尺	枚ノ内	図面番号
		合同会社 A B E 構 造 設 計			2025. 3.						
		岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 T E L (0198) 23-1088 F A X (0198) 23-1032			1 級 建 築 士 登 録 2 0 7 8 3 3 号 阿 部 公 男	製図	担当				
本庁舎分室 耐震補強工事								事務室棟 既存撤去 基礎・床伏図	(A3) 1:100		A-44

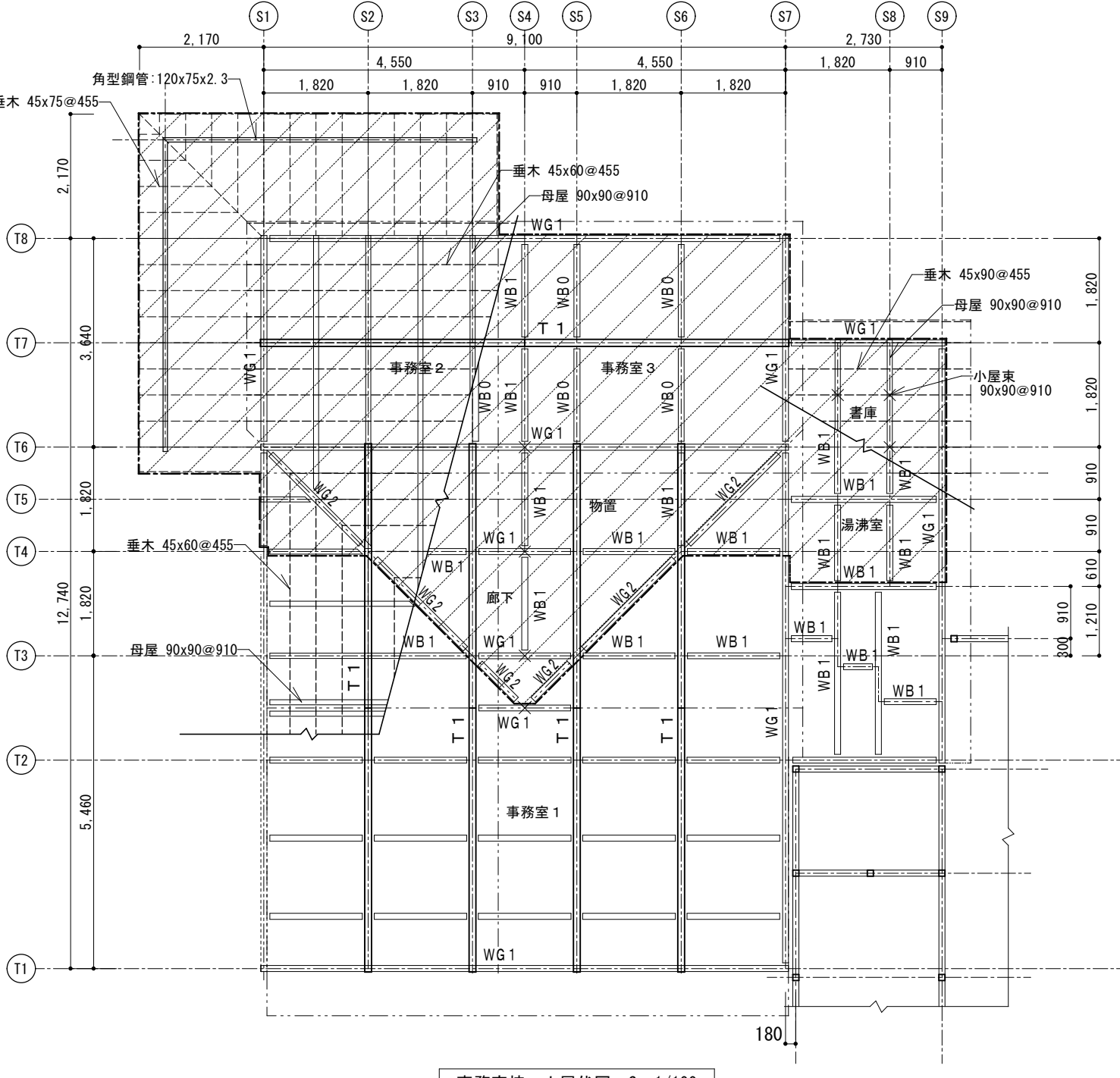


事務室棟 天井伏図 S=1/100

■ 既存天井仕上

	仕 上	廻り縁	下 地
A	石膏ボード t=9 塗装仕上	木製 25 x 60	木製野縁 36 x 36@455
E	化粧石膏ボード (ｼﾌﾟﾄｰﾝ) t=9.5	木製 25 x 60	木製野縁 36 x 36@455
F	防火ライト t=6 (ﾌﾗﾍﾞﾙ含有みなし建材)		木製野縁 36 x 36@455
G	ラスモルタル下地 吹付塗装		木製野縁 36 x 36@455

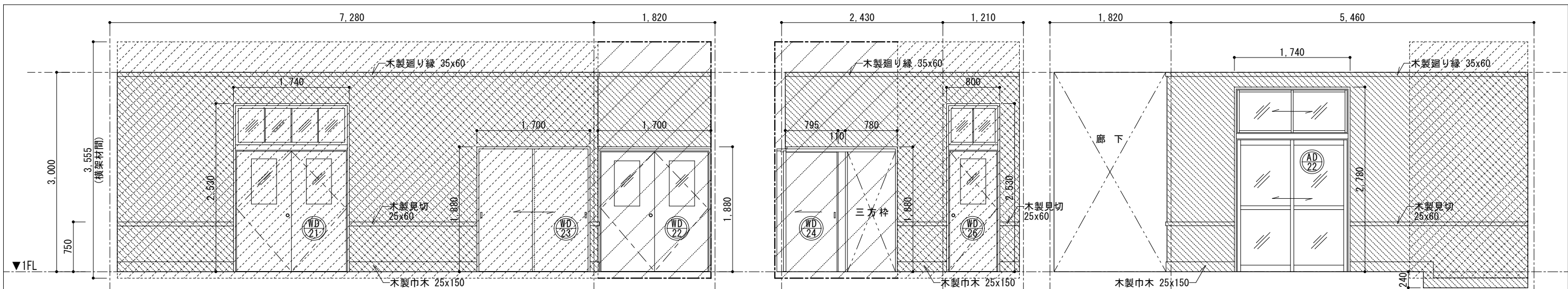
■ 特記なき限り、天井仕上ボード・下地撤去



事務室棟 小屋伏図 S=1/100

■ 凡例・部材サイズ

- ・ T 1 : ｷﾝｸﾞﾎﾞｽﾄﾗｽ (矩計図参照)
- ・ WG 1 : 桁梁 105 x 150
- ・ WG 2 : 隅木 105 x 150
- ・ WB 1 : 小屋梁 105 x 105
- ・ WB 0 : 丸太 φ120
- : 母屋 105 x 180@910
- X— : 小屋束 90 x 90@910
- - - : 垂木 60 x 60@455
45 x 90@455
- ▨ : 小屋組み 撤去部分

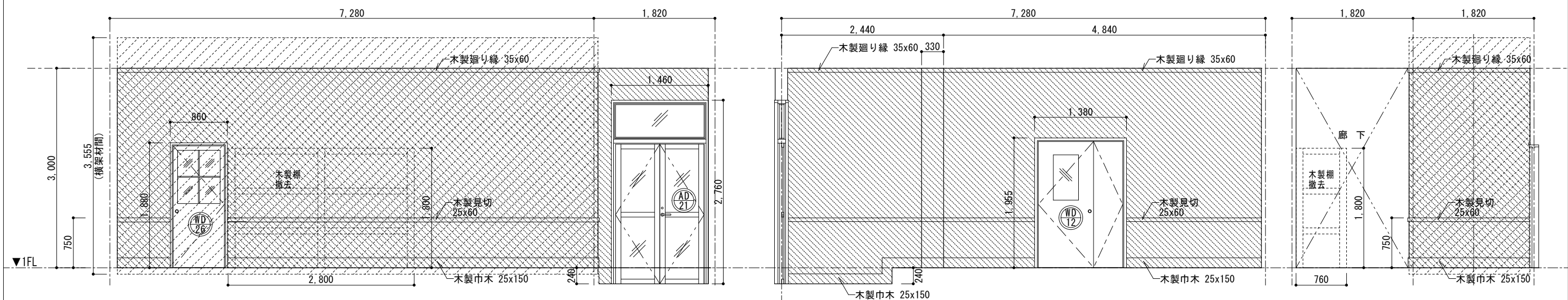


1階廊下

(A面)

(B面)-1

(B面)-2

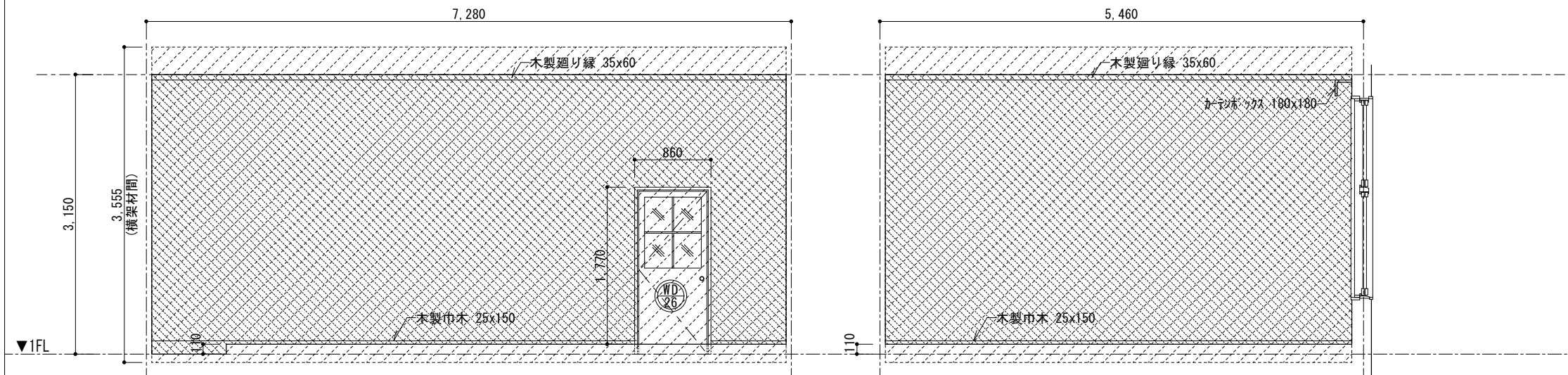


1階廊下

(C面)

(D面)-1

(D面)-2

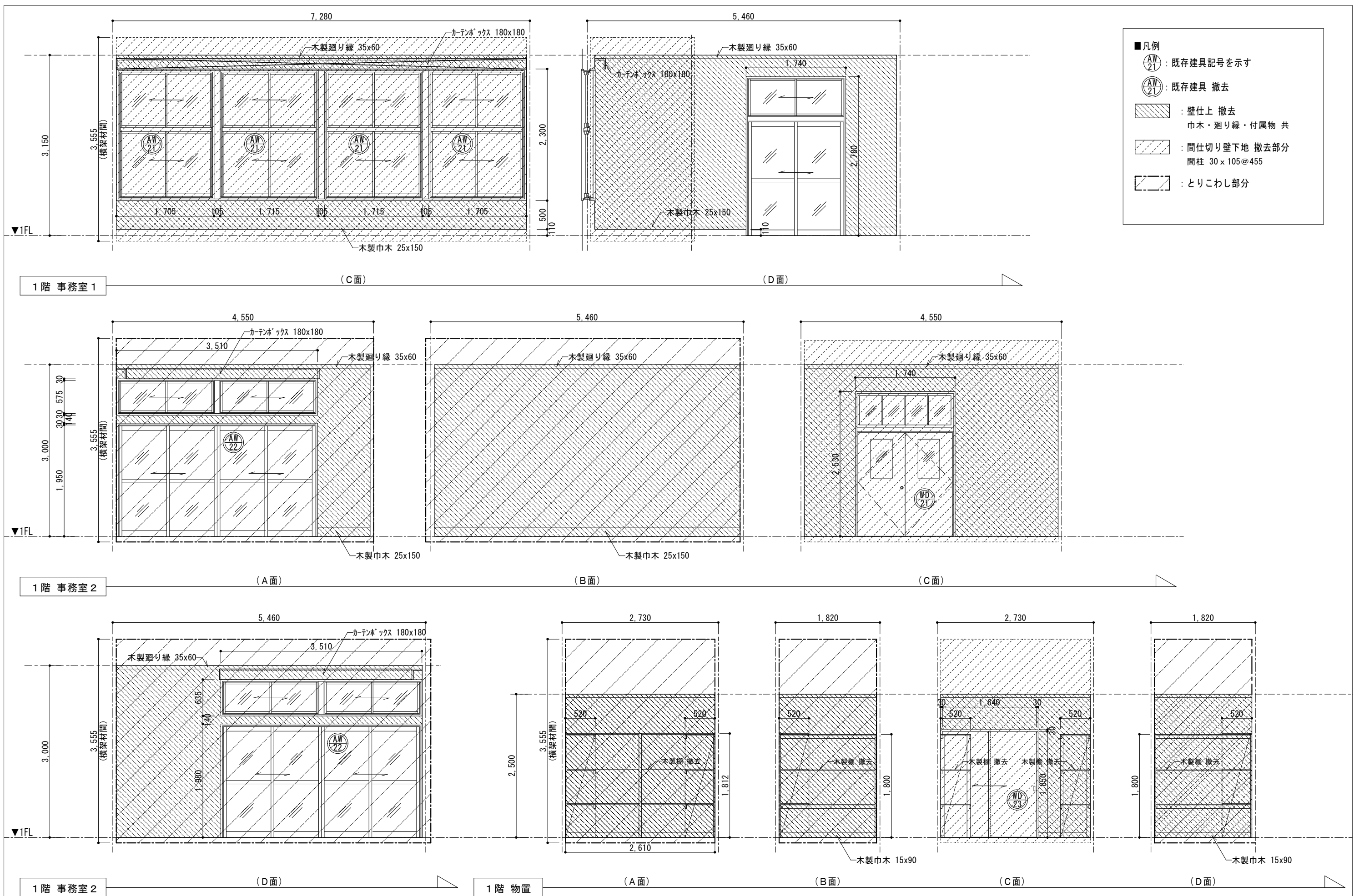


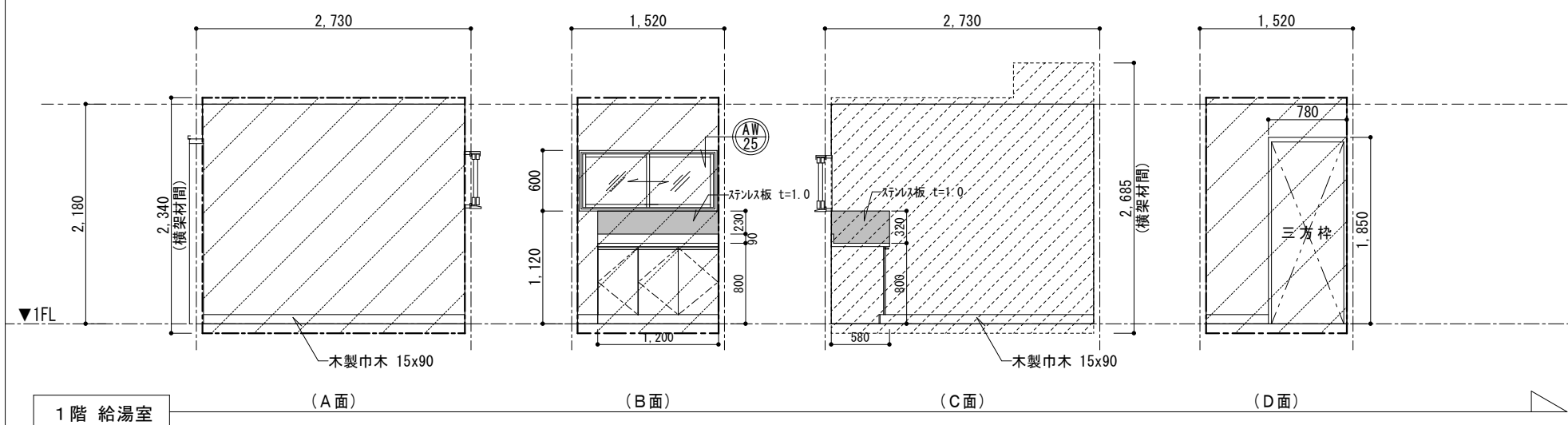
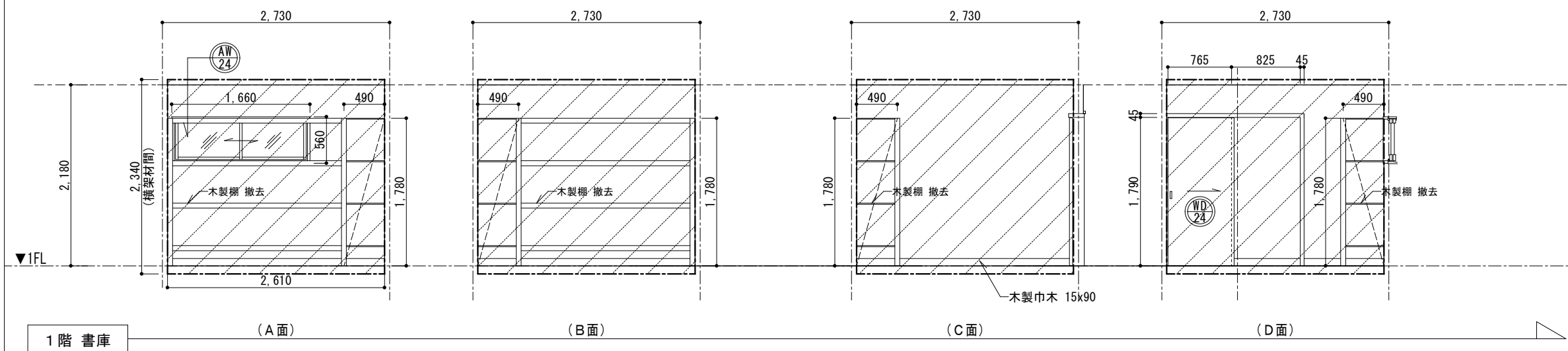
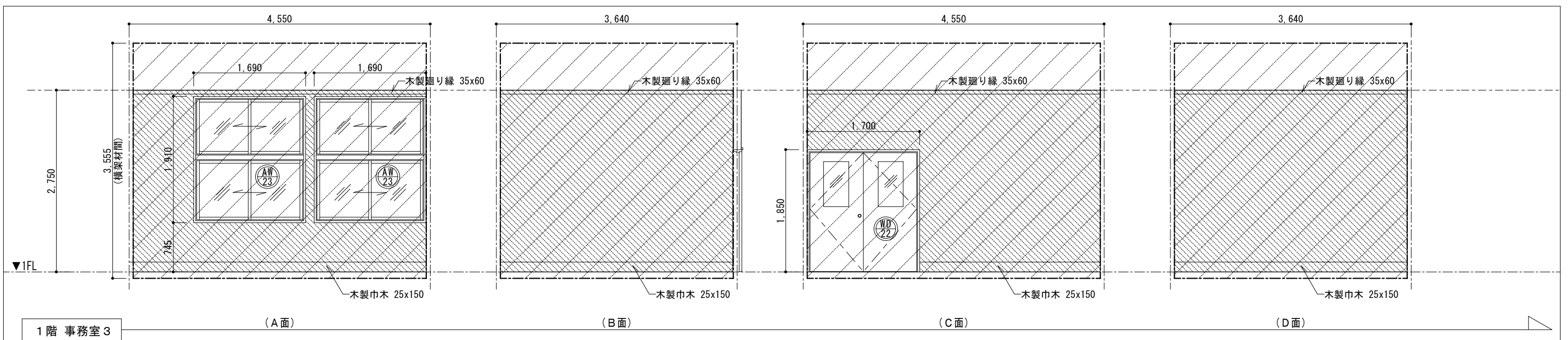
1階事務室1

(A面)

(B面)

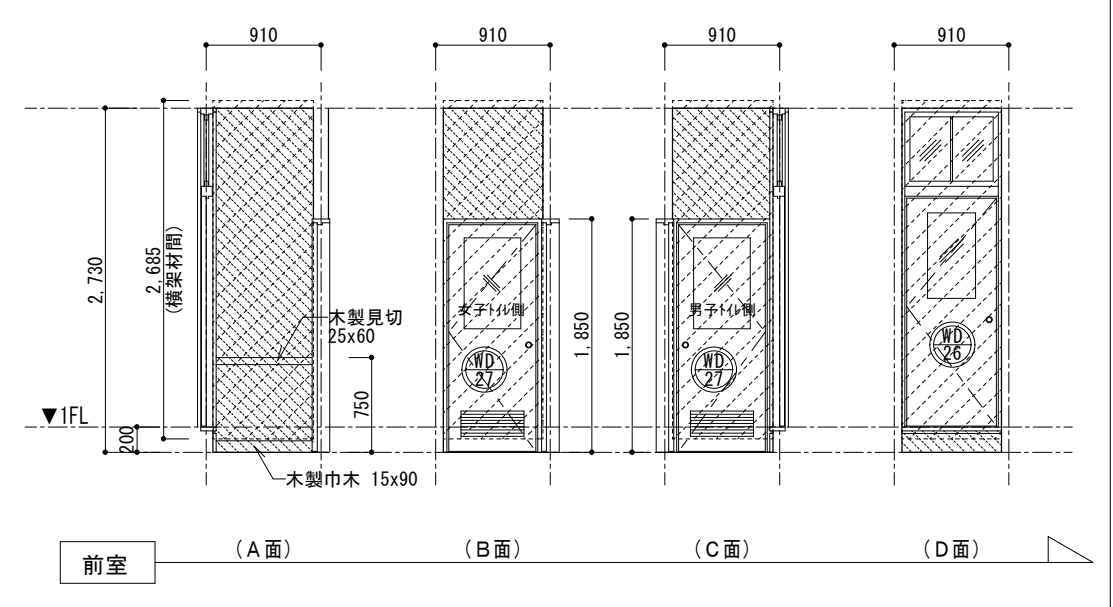
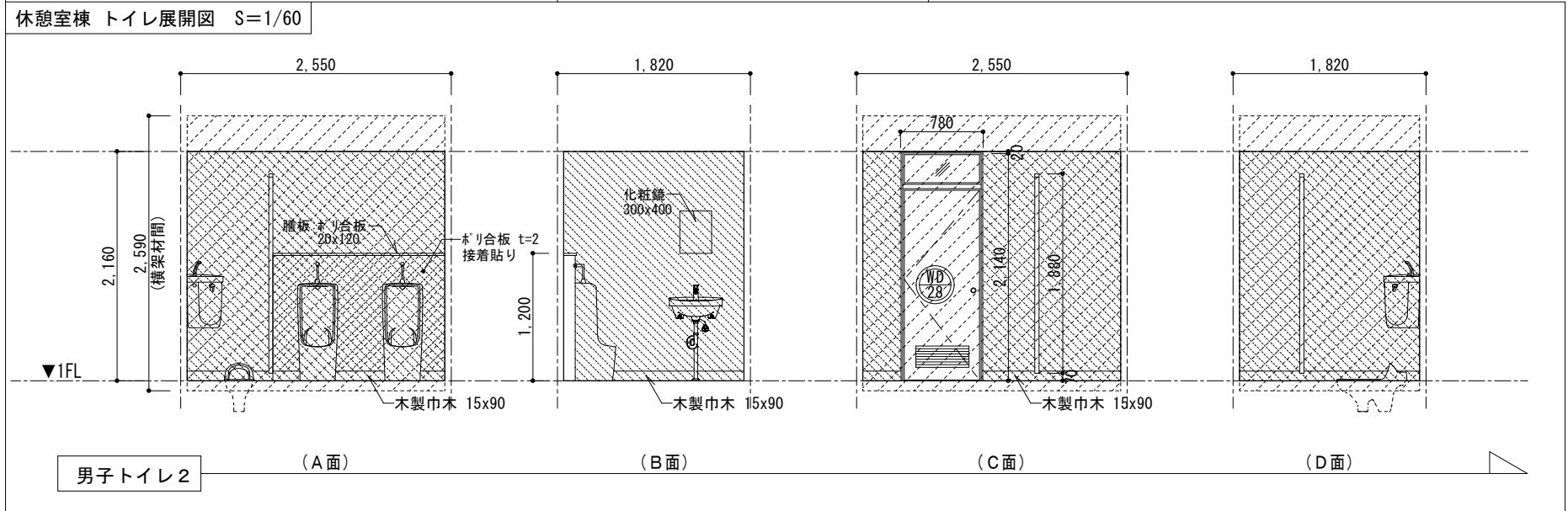
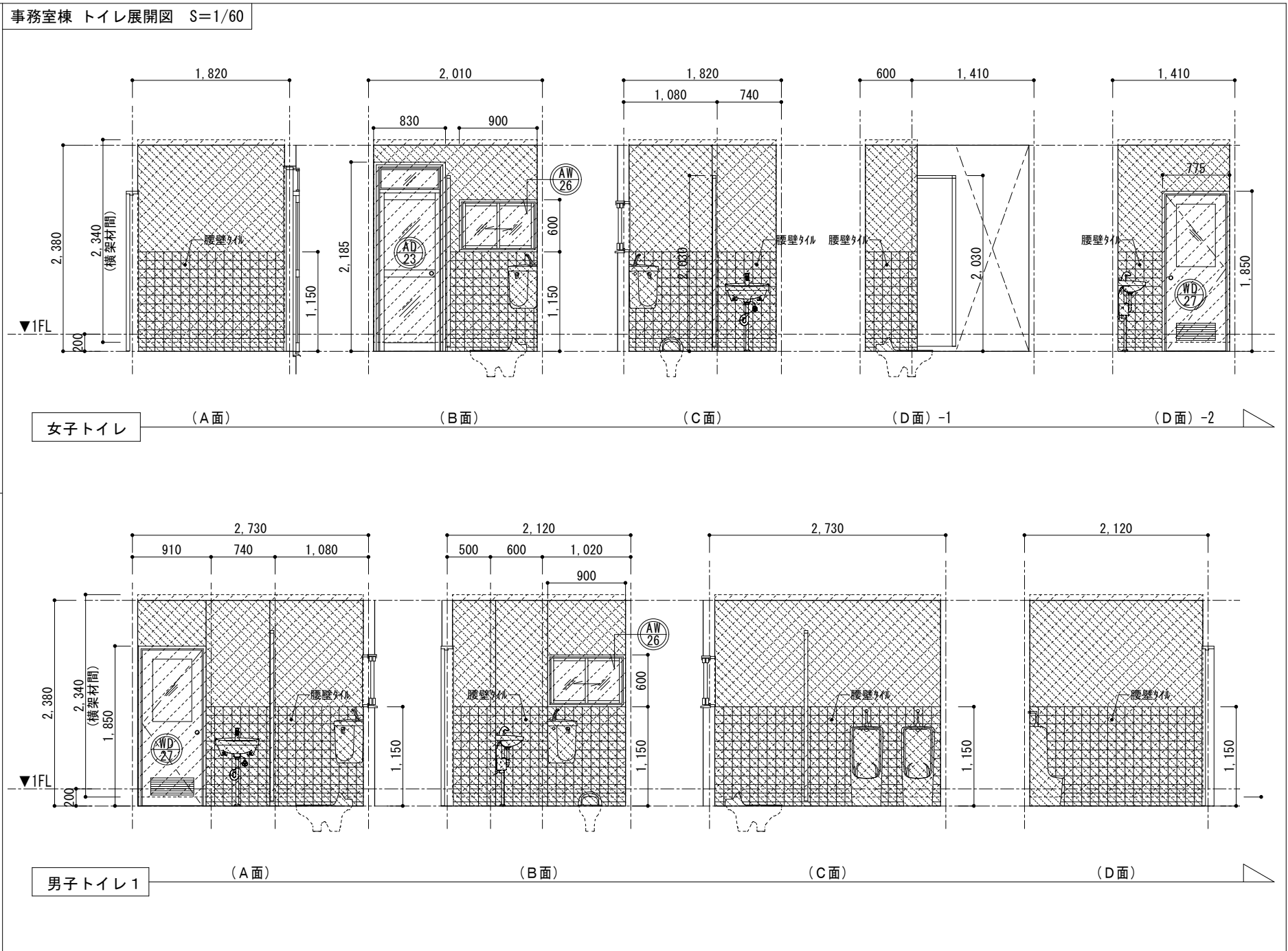
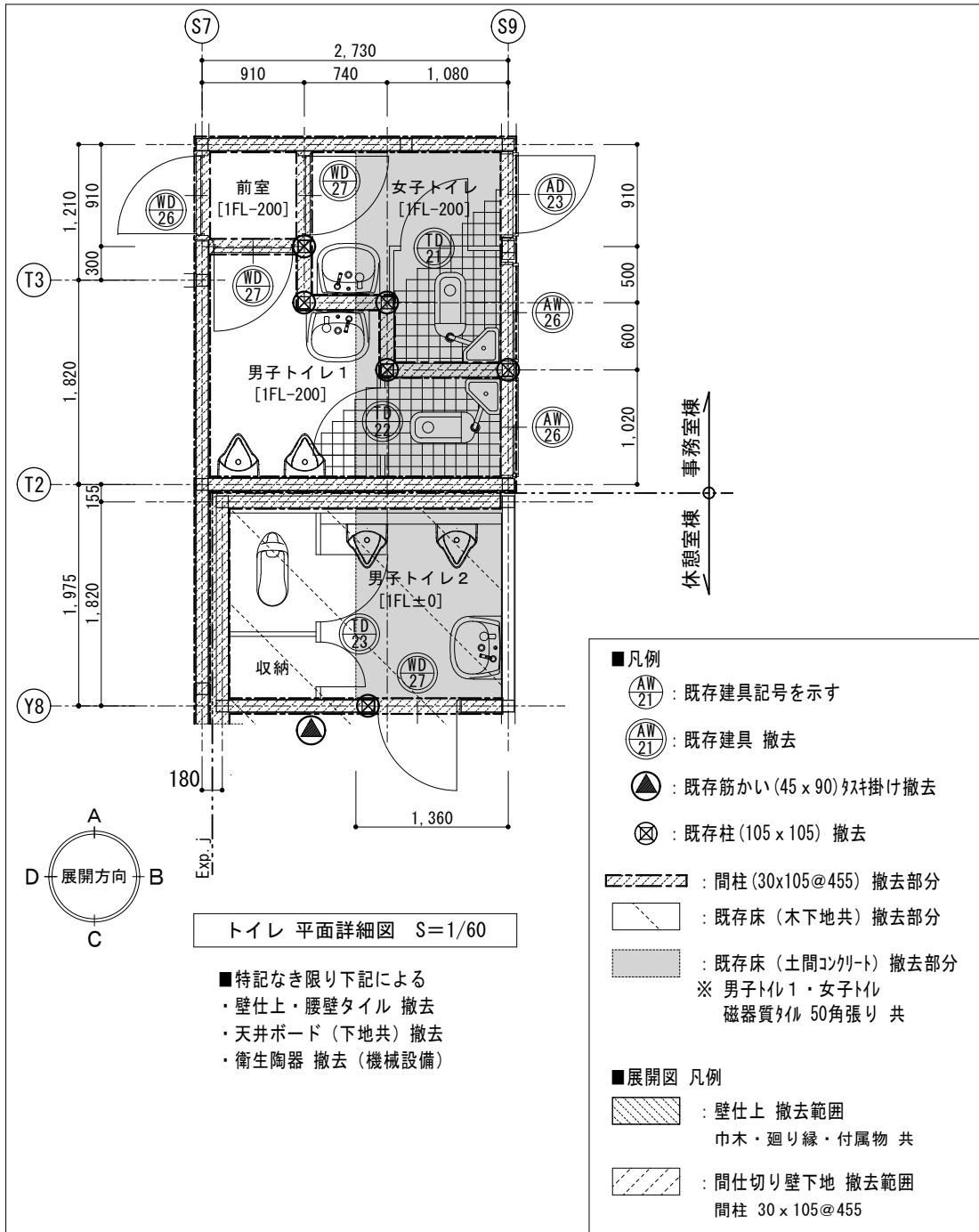
- 凡例
- AW 21 : 既存建具記号を示す
 - AW 21 : 既存建具 撤去
 - 壁仕上 撤去範囲
巾木・廻り縁・付属物 共
 - 間仕切り壁下地 撤去範囲
間柱 30 x 105 @ 455
 - とりこわし部分

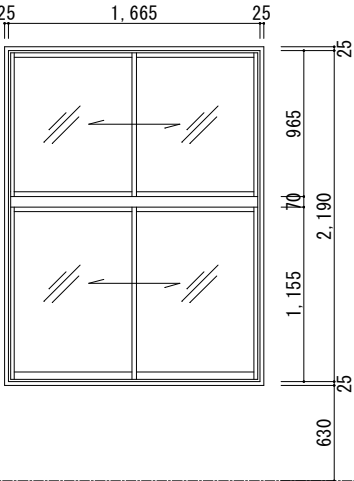
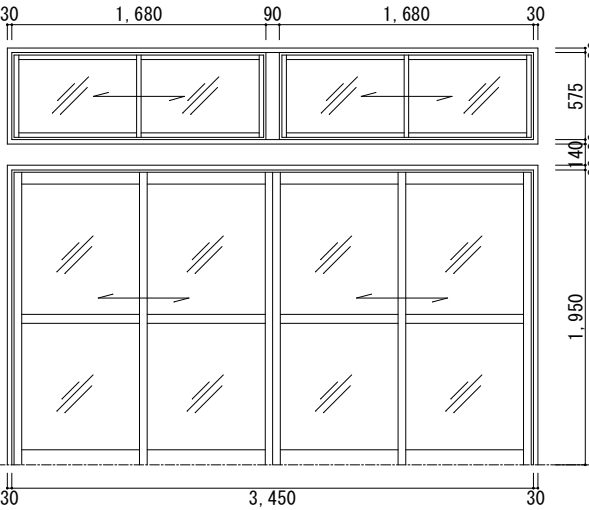
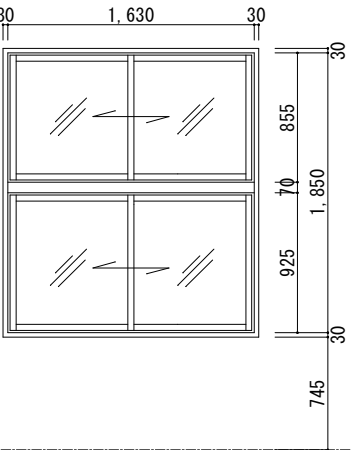
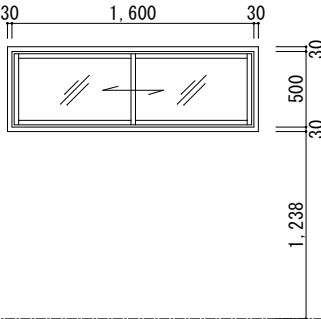
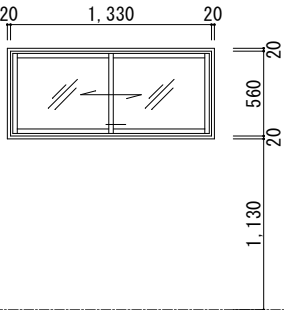
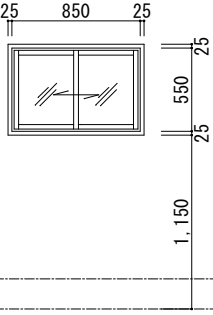
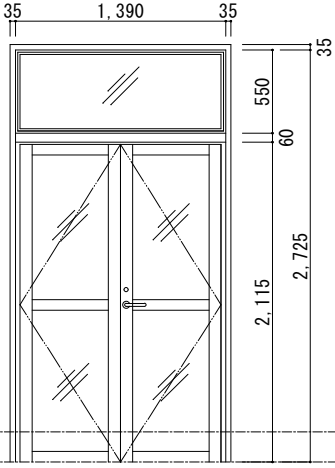
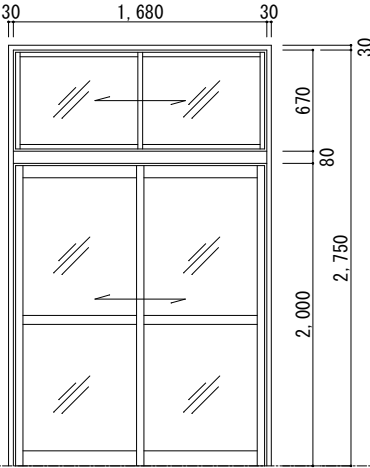
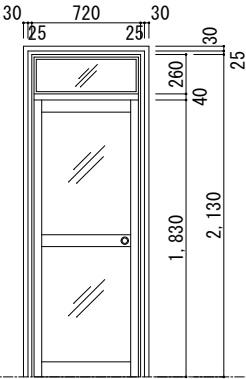


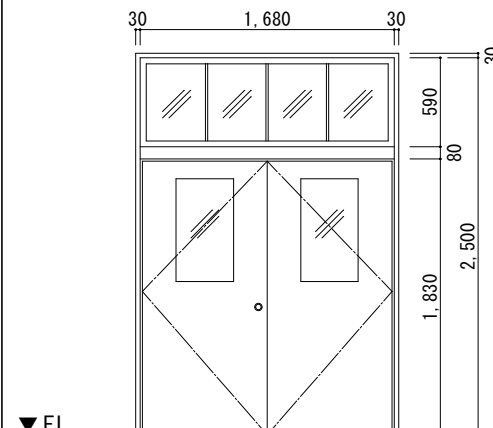
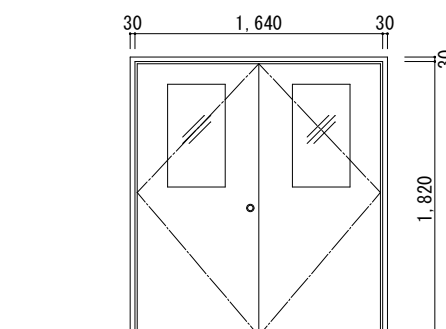
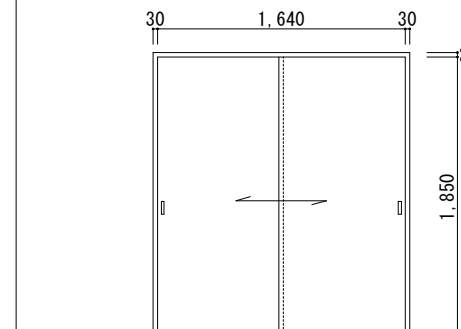
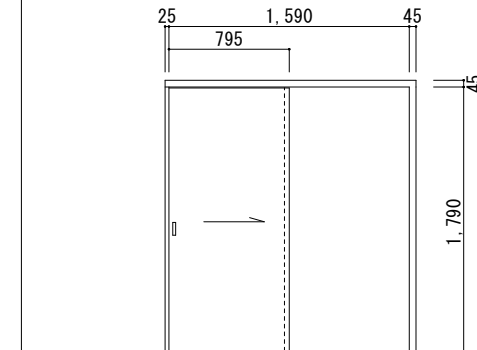
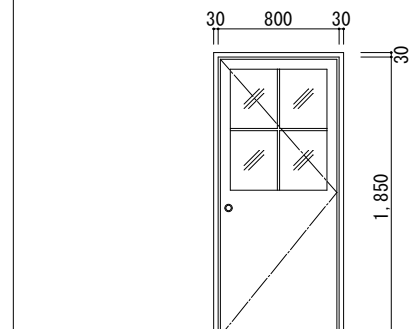
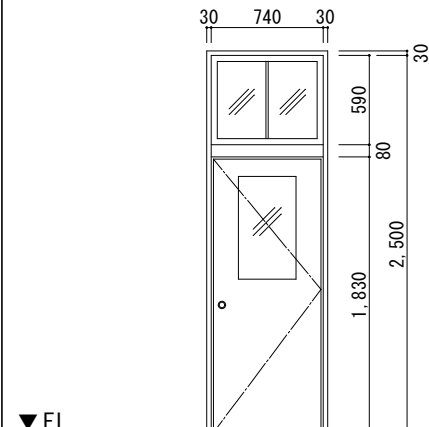
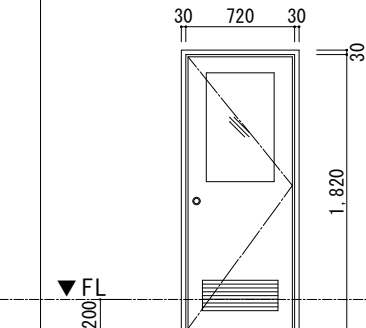
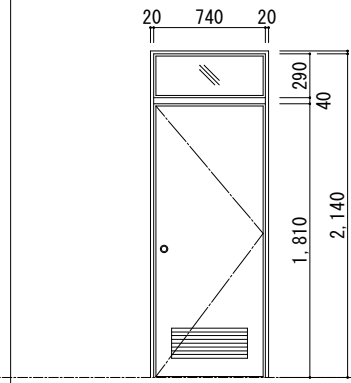
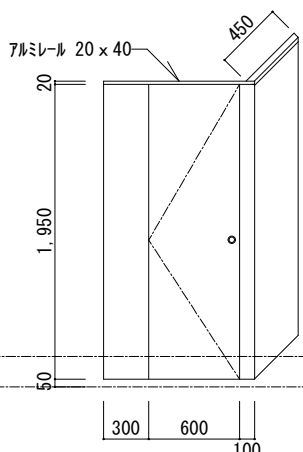
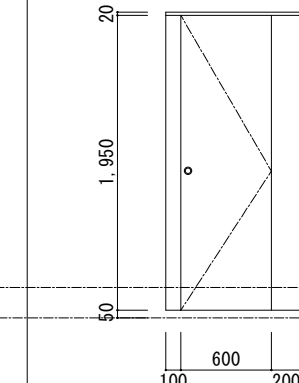
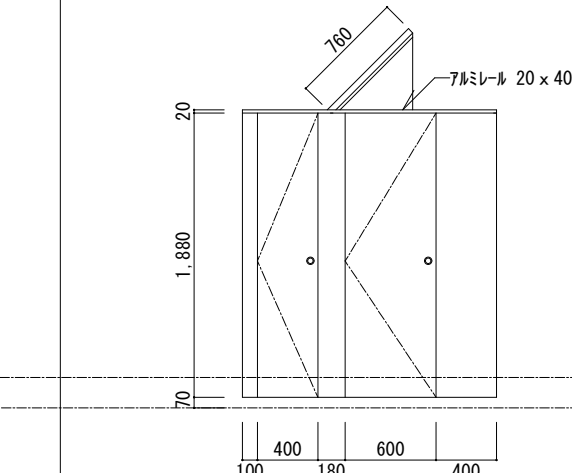


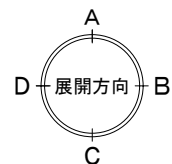
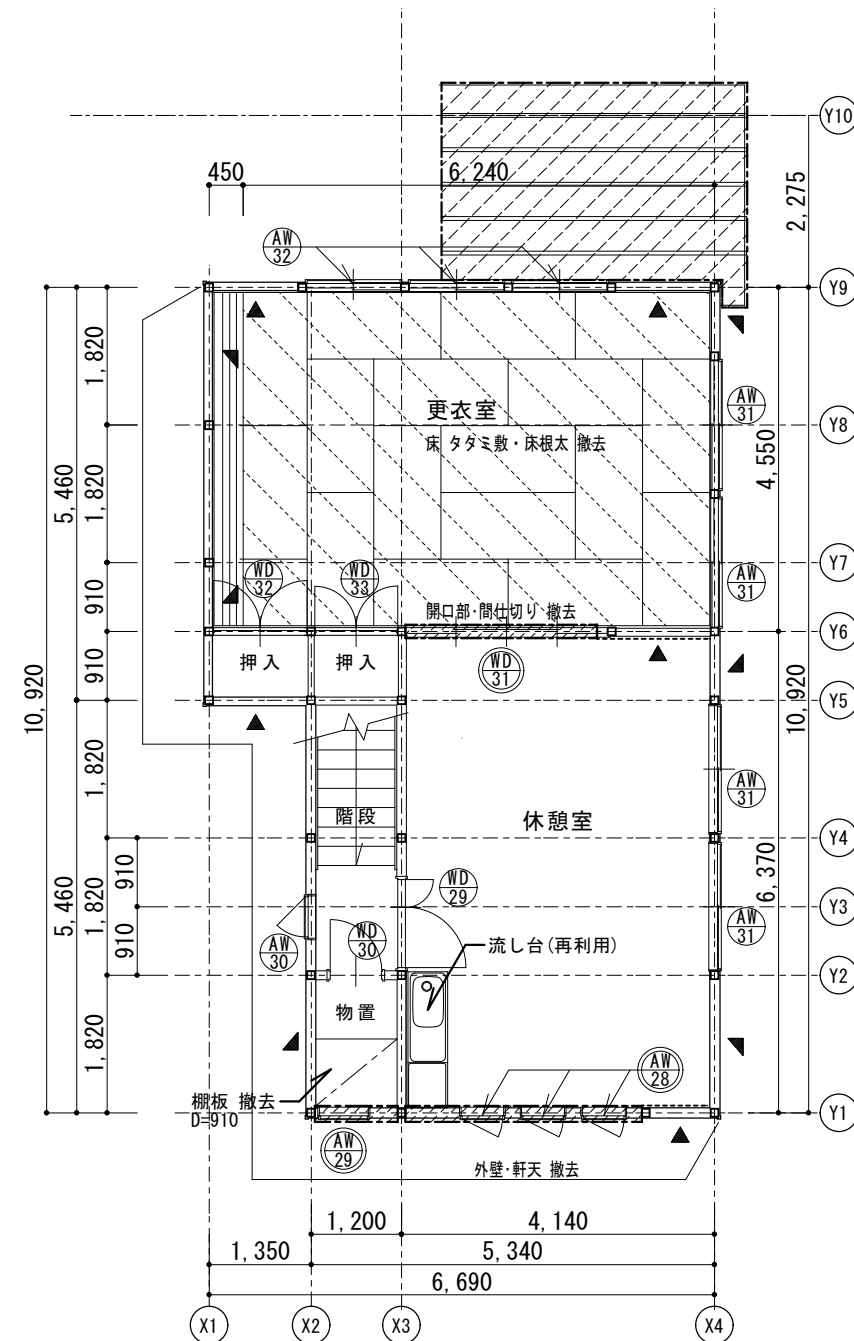
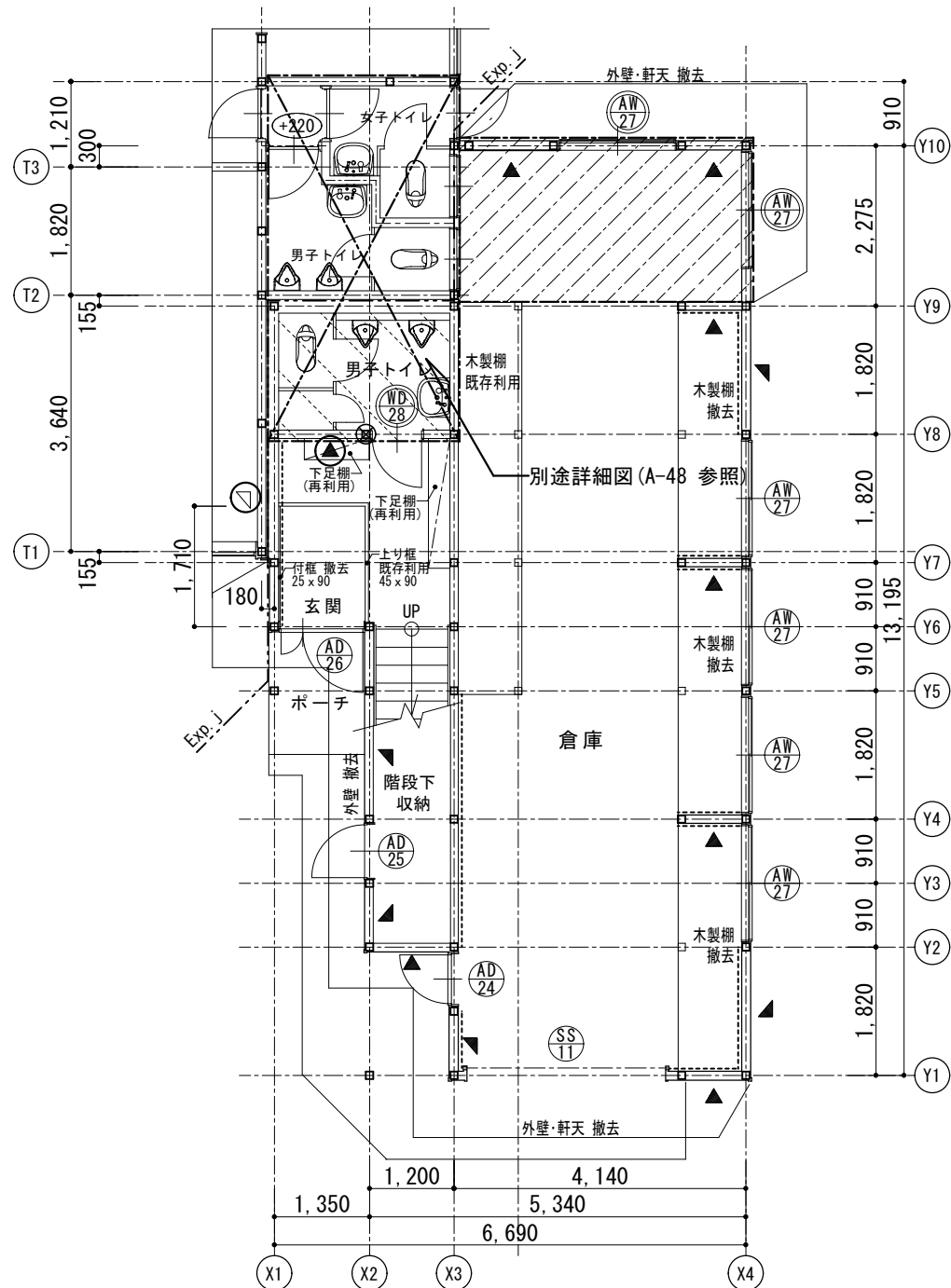
- 凡例

 -  : 既存建具記号を示す
 -  : 既存建具 撤去
 -  : 壁仕上 撤去範囲
巾木・廻り縁・付属物 共
 -  : 間仕切り壁下地 撤去範囲
間柱 30×105@455
 -  : とりこわし部分



符号・数量	AW-21 → 撤去 (4ヶ所)		AW-22 → 撤去 (2ヶ所)		AW-23 → 撤去 (2ヶ所)		AW-24 → 撤去 (1ヶ所)		AW-25 → 撤去 (1ヶ所)	
取付位置	事務室 1		事務室 2		事務室 3		書庫		給湯室	
姿 図 寸 法										
形 式	引き違い段窓		引き違い窓／欄間：引き違い窓		引き違い段窓		引き違い窓		引き違い窓	
材 種	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
仕 上	メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様	
ガラス	フロートガラス t=3		フロートガラス t=3		フロートガラス t=3		型板ガラス t=4		型板ガラス t=4	
金 物	鍵	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント
	丁 番	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様
	その他	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様
備 考	額縁：木製 30 x 90 (4方)		額縁：木製 30 x 90 (3方)／欄間：30 x 90 (4方)		額縁：木製 30 x 90 (4方)		額縁：木製 30 x 90 (4方)		額縁：木製 30 x 90 (4方)	
符号・数量	AW-26 → 撤去 (2ヶ所)		AD-21 → 撤去 (1ヶ所)		AD-22 → 撤去 (1ヶ所)		AD-23 → 撤去 (1ヶ所)			
取付位置	男子トイレ・女子トイレ		風除室		事務室 1		女子トイレ			
姿 図 寸 法										
形 式	引き違い窓		両開きドア／欄間：はめ殺し窓		引き違い段窓		片開きドア／欄間：はめ殺し窓			
材 種	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ			
仕 上	メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様			
ガラス	型板ガラス t=4		フロートガラス t=3		フロートガラス t=3		型板ガラス t=4			
金 物	鍵	クレセント	シリンダー錠（レバーハンドル）	シリンダー錠（レバーハンドル）	クレセント	クレセント	シリンダー錠（ドアノブ）	シリンダー錠（ドアノブ）		
	丁 番	標準仕様	ステンレス	ステンレス	標準仕様	標準仕様	ステンレス	ステンレス		
	その他	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様		
備 考	額縁：木製 25 x 90 (4方)		額縁：木製 35 x 90 (3方)		額縁：木製 30 x 90 (3方)		額縁：木製 25 x 90 (3方)			

符号・数量		WD-21 → 撤去 (1ヶ所)		WD-22 → 撤去 (1ヶ所)		WD-24 → 撤去 (1ヶ所)		WD-24 → 撤去 (1ヶ所)		WD-25 → 撤去 (1ヶ所)			
取付位置		事務室 2		事務室 3		物置		書庫		事務室 1			
姿 図 寸 法													
形 式		両開きドア／欄間：はめ殺し窓		両開きドア		引き違い戸		片引き戸		片開きドア			
材 種		木製フラッシュ 見込：40mm		木製フラッシュ 見込：40mm		木製フラッシュ 見込：40mm		木製フラッシュ 見込：40mm		木製フラッシュ 見込：40mm			
仕 上		ベニヤ t=4		ベニヤ t=4		ベニヤ t=4		ベニヤ t=4		ベニヤ t=4			
ガラス		フロートガラス 380×680／欄間：フロートガラス t=3		フロートガラス 380×680						フロートガラス 380×680（中棧）			
金物	鍵	シリンダー（ドアノブ）		シリンダー（ドアノブ）						シリンダー（ドアノブ）			
	丁 番	ステンレス		ステンレス		ステンレス		ステンレス		ステンレス			
	その他												
備 考		ドア枠：木製 30×165、ステンレス沓ずり		ドア枠：木製 30×165、ステンレス沓ずり		ドア枠：木製 30×165、ステンレス沓ずり		ドア枠：木製 30×165、ステンレス沓ずり		ドア枠：木製 30×165、ステンレス沓ずり			
符号・数量		WD-26 → 撤去 (1ヶ所)		WD-27 → 撤去 (2ヶ所)		WD-28 → 撤去 (1ヶ所)		TD-21 → 撤去 (1ヶ所)		TD-22 → 撤去 (1ヶ所)			
取付位置		トイレ前室		男子トイレ・女子トイレ		休憩室棟 男子トイレ		女子トイレ		男子トイレ			
姿 図 寸 法													
形 式		片開きドア／欄間：はめ殺し窓		片開きドア		片開きドア／欄間：はめ殺し窓		トイレブース		トイレブース			
材 種		木製フラッシュ 見込：40mm		木製フラッシュ 見込：40mm		木製フラッシュ 見込：40mm		木製フラッシュ 見込：40mm		木製フラッシュ 見込：40mm			
仕 上		ベニヤ t=4		ベニヤ t=4		ベニヤ t=4		ベニヤ t=4		ベニヤ t=4			
ガラス		フロートガラス 380×680／欄間：フロートガラス t=3		フロートガラス 450×720		欄間：フロートガラス t=3							
金物	鍵	シリンダー（ドアノブ）		シリンダー（ドアノブ）		シリンダー（ドアノブ）		表示錠（ドアノブ）		表示錠（ドアノブ）			
	丁 番	ステンレス		ステンレス		ステンレス		ステンレス		ステンレス			
	その他												
備 考		ドア枠：木製 30×165、ステンレス沓ずり		ドア枠：木製 30×165、ステンレス沓ずり		ドア枠：木製 30×165、ステンレス沓ずり							



■ 凡例

Ⓐ₁₁ : 既存建具記号を示す

AW
11 : 既存建具 撤去

▲ : 既存筋かい (45×90) 釘掛けを示す : 既存床 (木下地) 撤去部分

▲ : 既存筋かい (45 x 90) 撤去

⬆ : 既存筋かい 撤去

⊗ : 既存柱 (105 x 105) 撤去

 : 建物 とりこわし部分

 : 既存壁仕上げ 撤去部分

 : 既存床（木下地） 撤去部分

■特記なき限り下記による

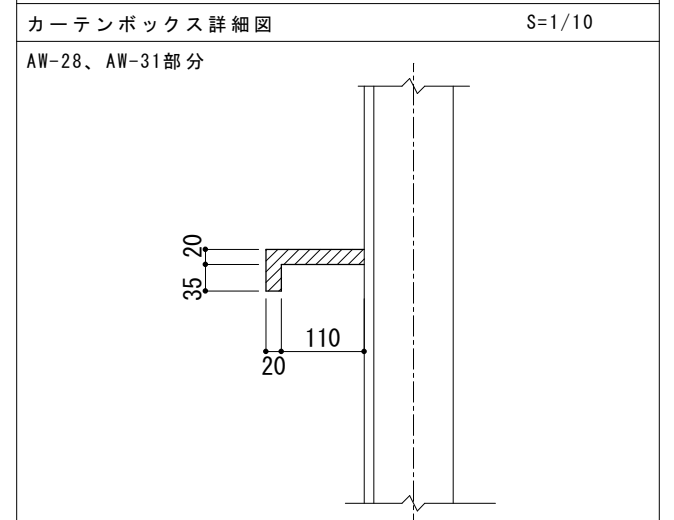
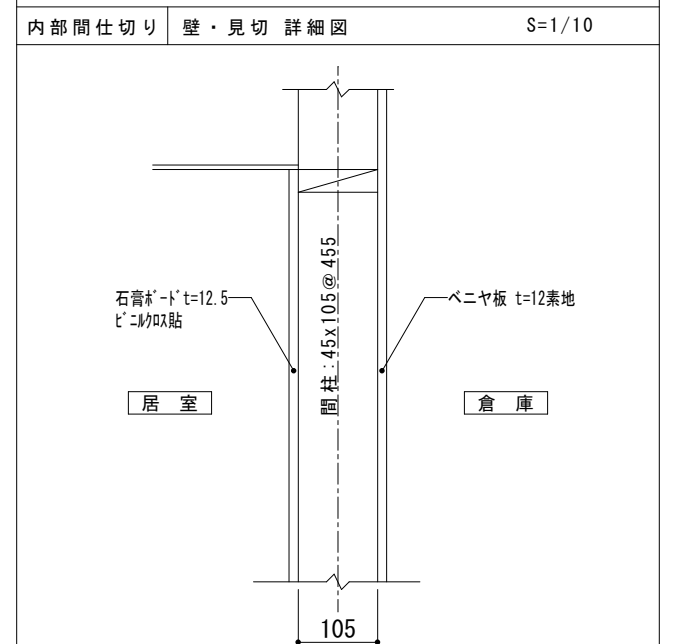
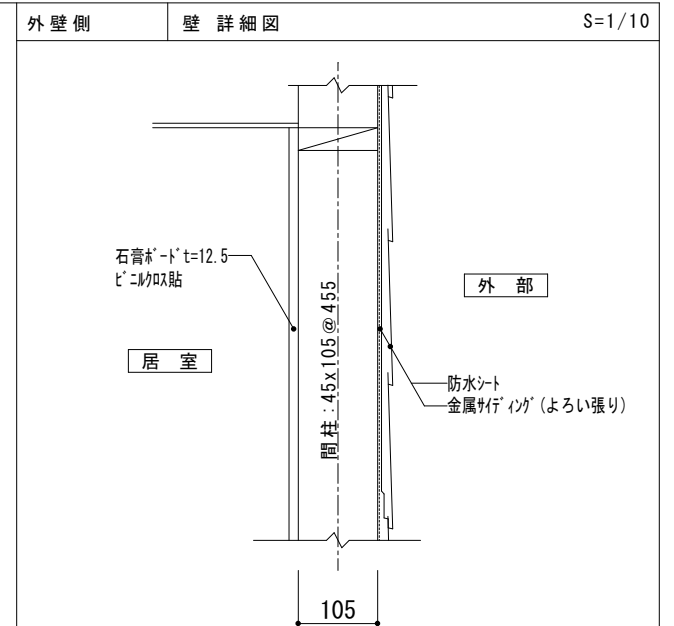
[建物とりこわし部分]

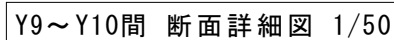
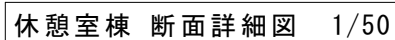
- ・外壁、内壁、軒天 撤去
- ・間仕切り下地（土台・柱 105角、間柱 30 x 105@455）撤去
- ・小屋組み撤去
- ・床 土間コンクリート、布基礎 撤去

[改修部分]

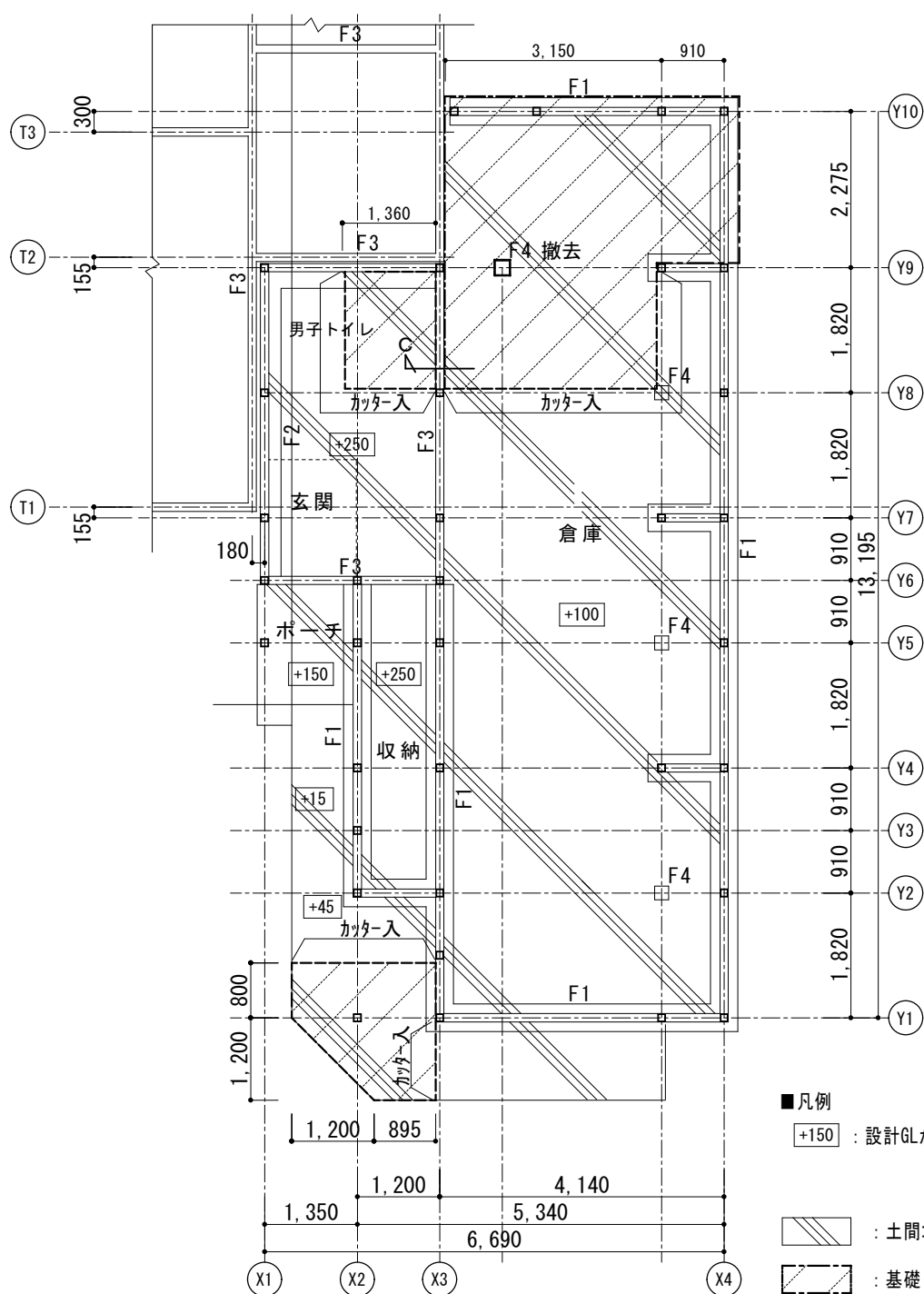
- ・外壁・軒天 撤去（範囲図示）
- ・内装仕上（床・壁・天井）撤去（範囲図示）
- ・床下地（根太・大引き）撤去（範囲図示）
- ・下足棚、流し台 取外し→再取付

- ・ 不用な配管・配線・器具などは、撤去とする

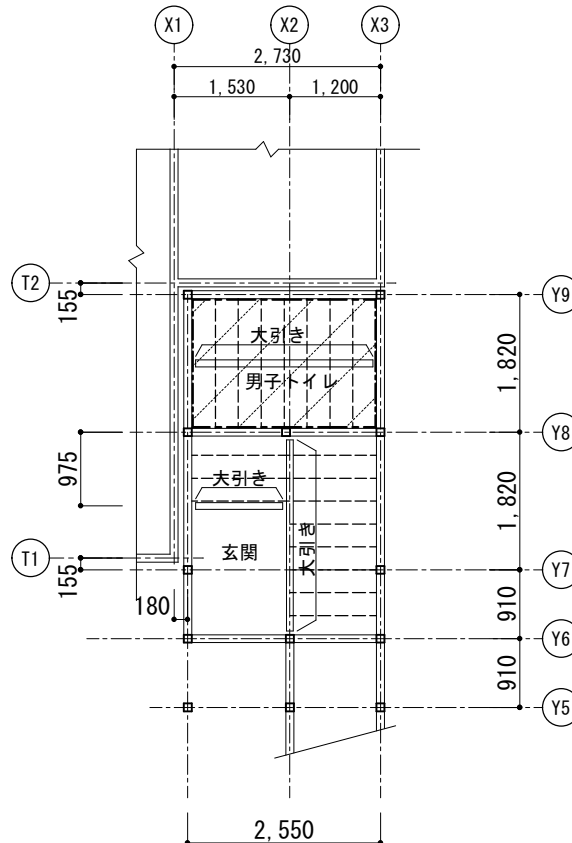




名 称 本庁舎分室 耐震補強工事	_____ _____ _____ _____	1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県)		設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 休憩室棟 既存 矩計図	縮尺 (A3) 1:50	枚ノ内	図面番号 A-53
		合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市丘ヶ丘2-27-12 T E L (0198) 23-1088 F A X (0198) 23-1032		1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				



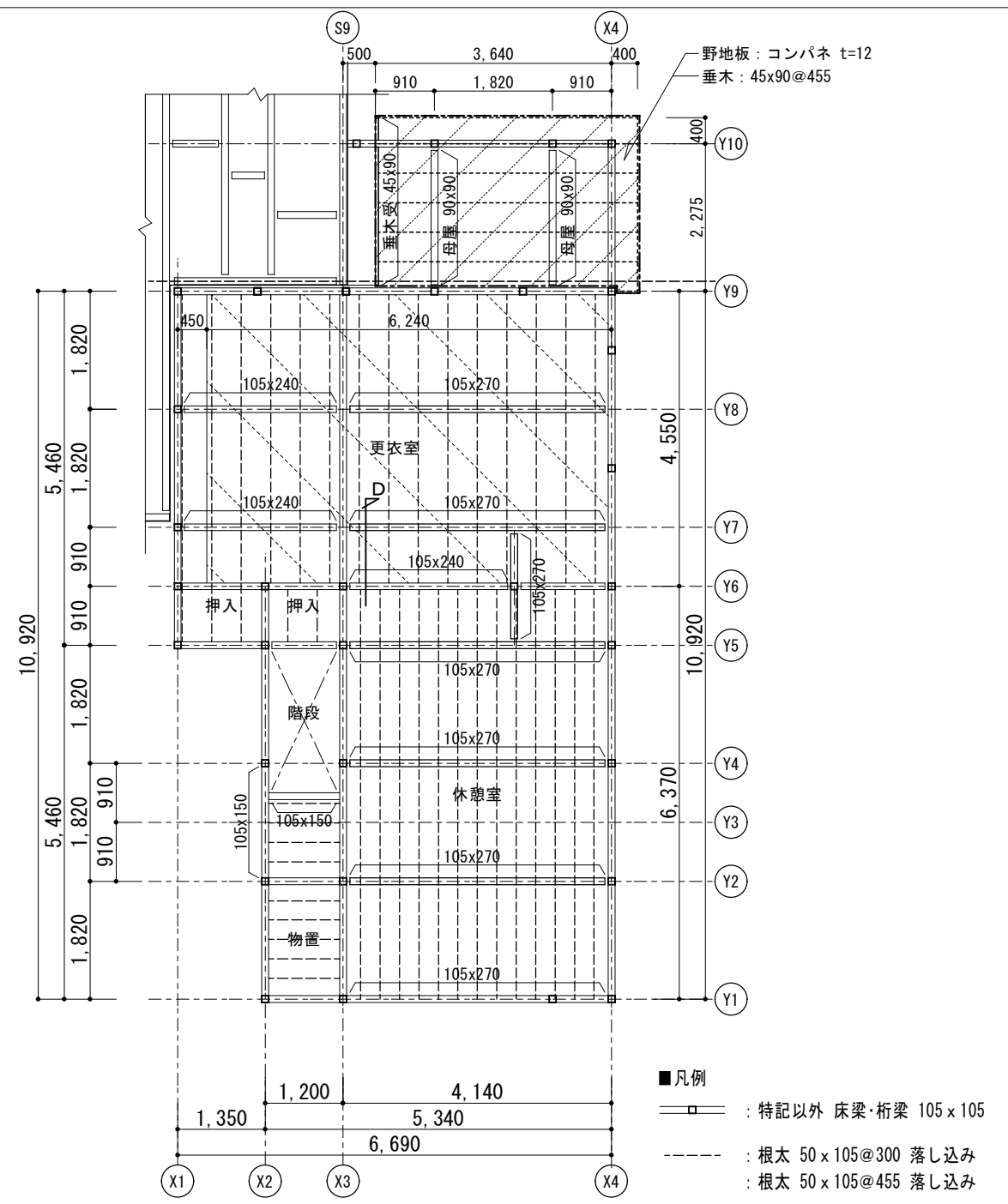
休憩室棟 基礎伏図 S=1/100



休憩室棟 1階床伏図 S=1/100

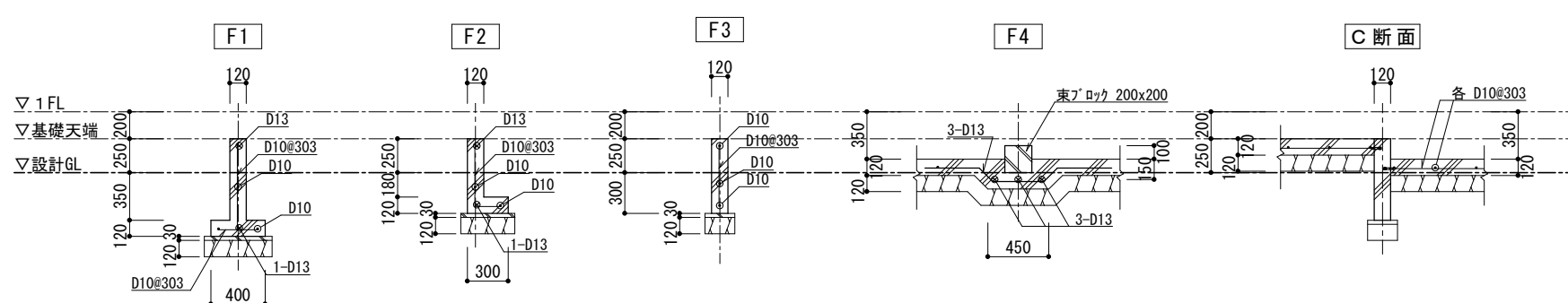
- 凡例
- : 大引き 90 x 90
 - - - : 根太 45 x 60 @ 303
 - ▨ : 床組み・合板 撤去部分

- 凡例
- +150 : 設計GLからのハ'差を示す
 - ▨ : 土間コンクリート t=120
 - ▨ : 基礎・土間コンクリート 撤去部分

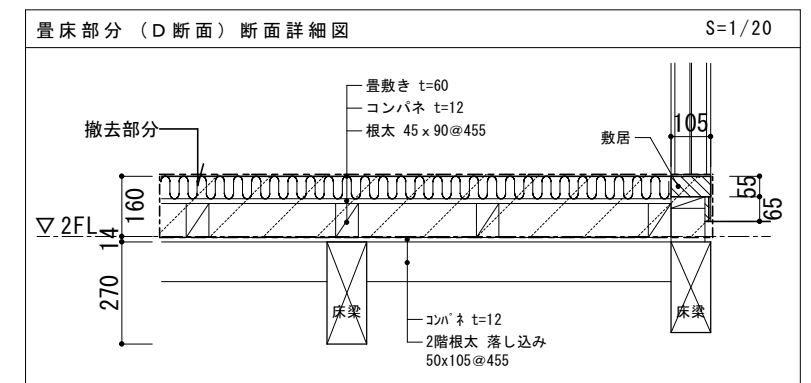


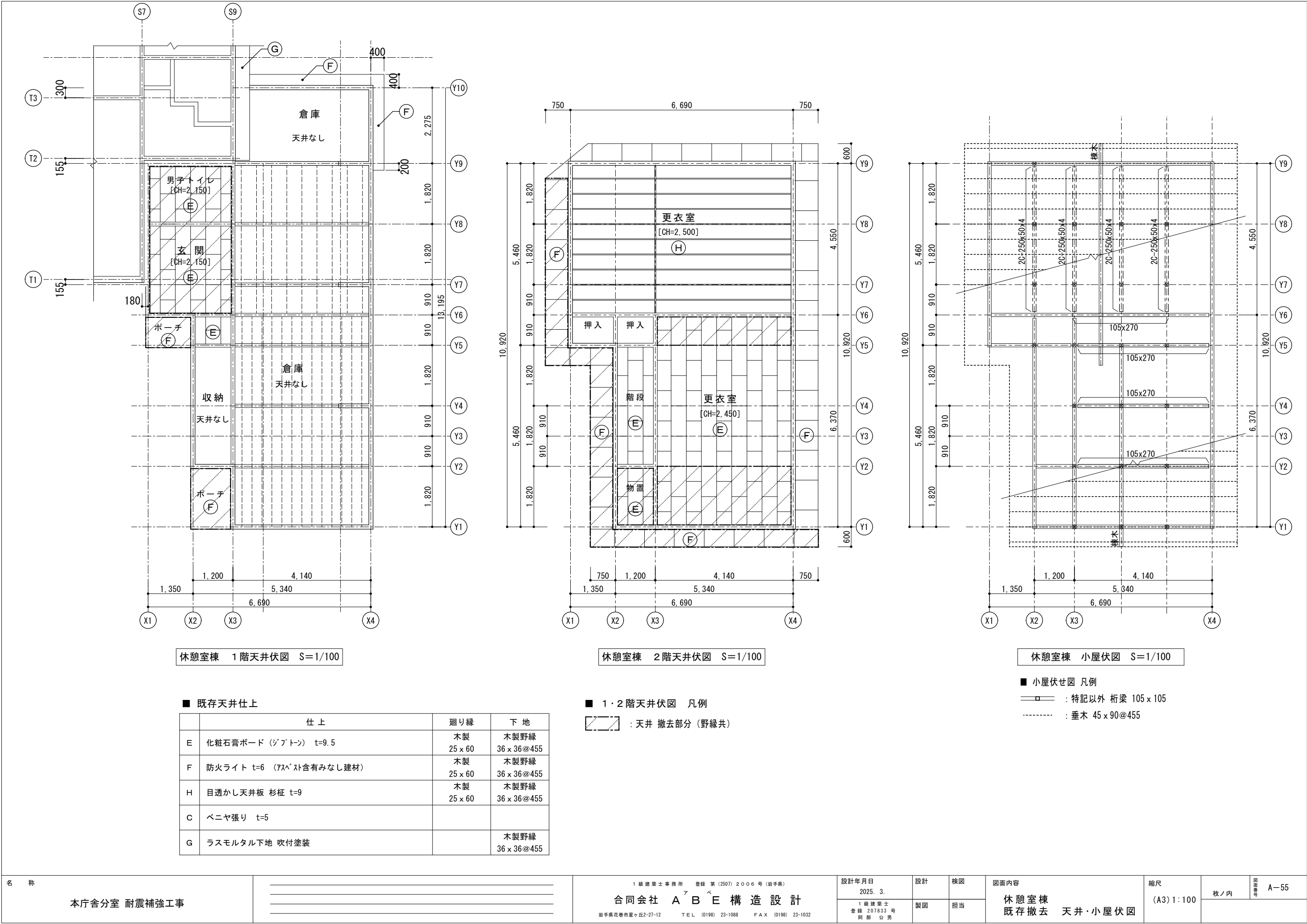
休憩室棟 2階床伏図 S=1/100

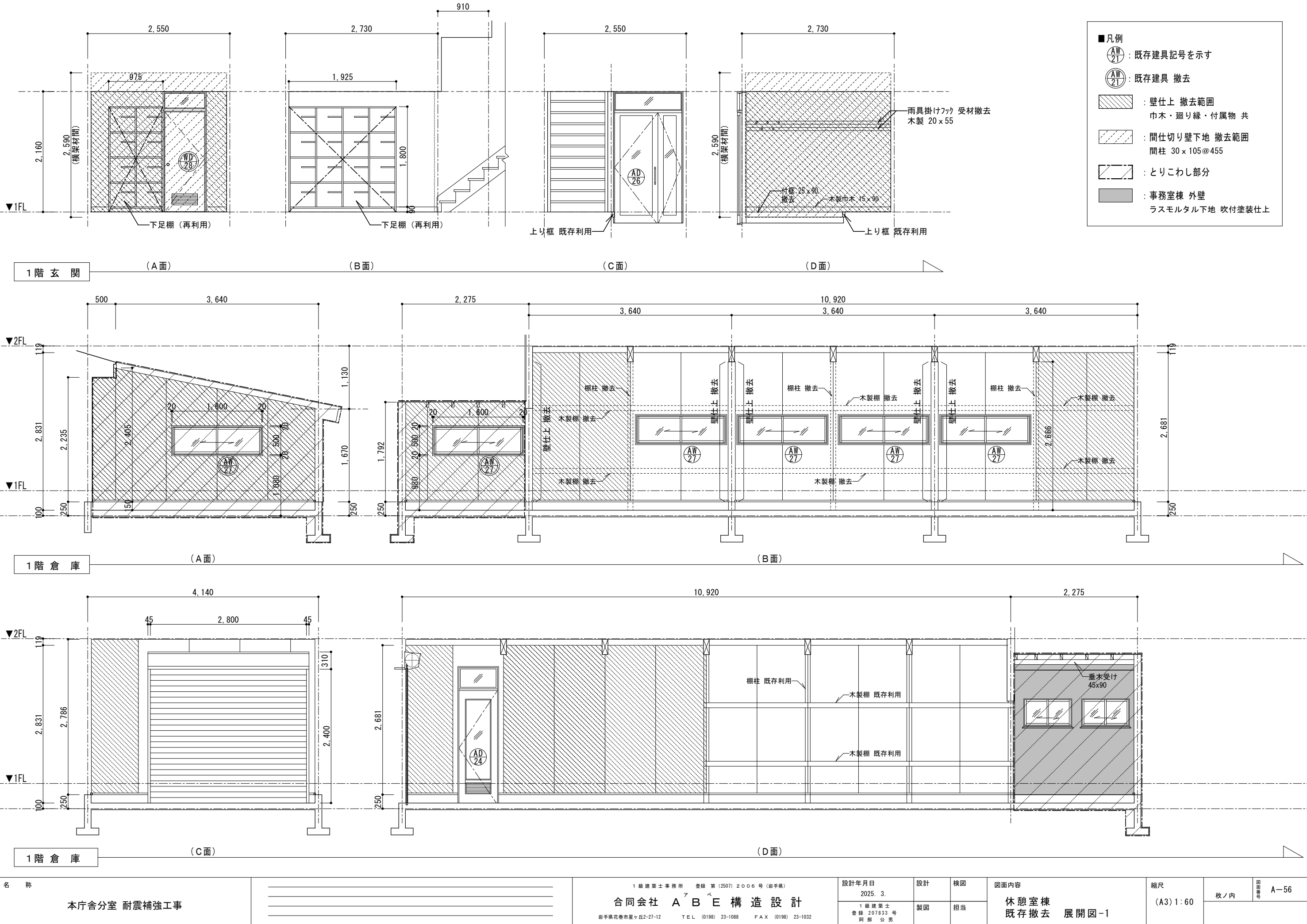
- 凡例
- : 特記以外 床梁・桁梁 105 x 105
 - - - : 根太 50 x 105 @ 300 落し込み
 - - - : 根太 50 x 105 @ 455 落し込み
 - ▨ : 畳床・下地 撤去部分 (FL+160)
 - ▨ : 小屋組み 撤去部分



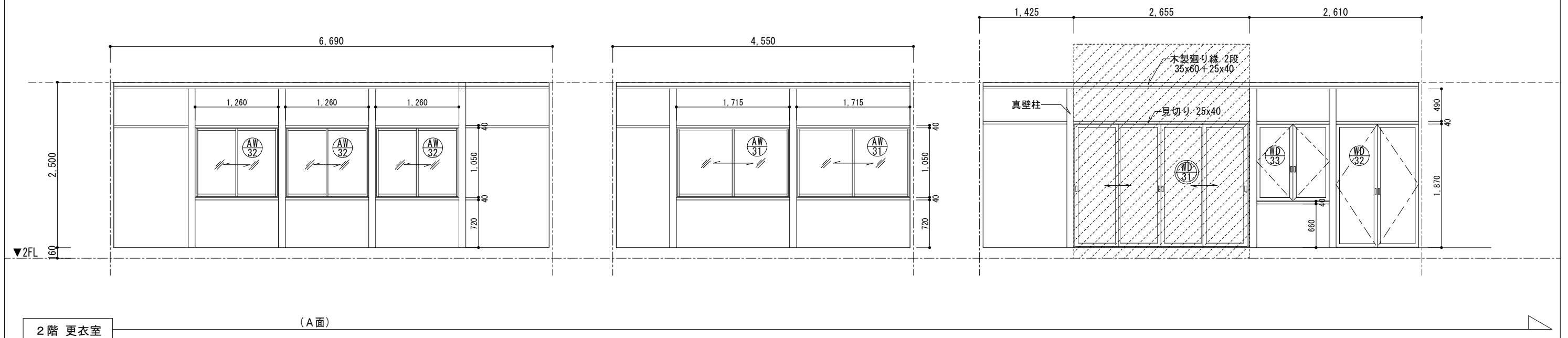
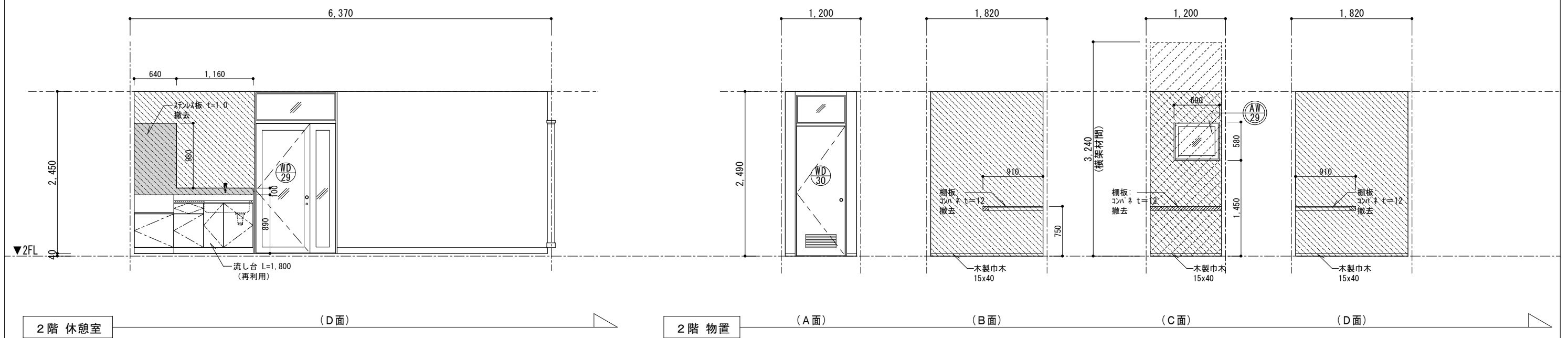
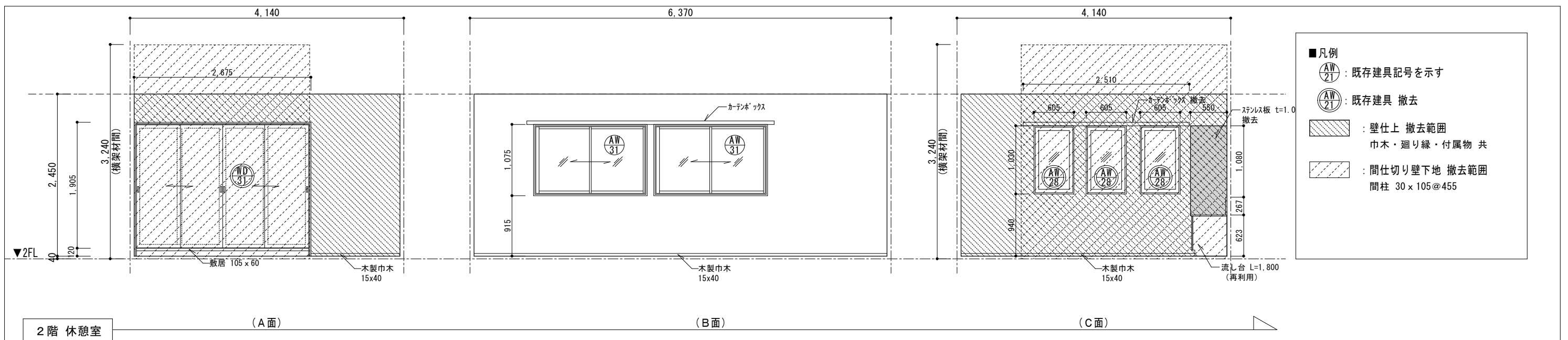
休憩室棟 基礎断面図 S=1/50

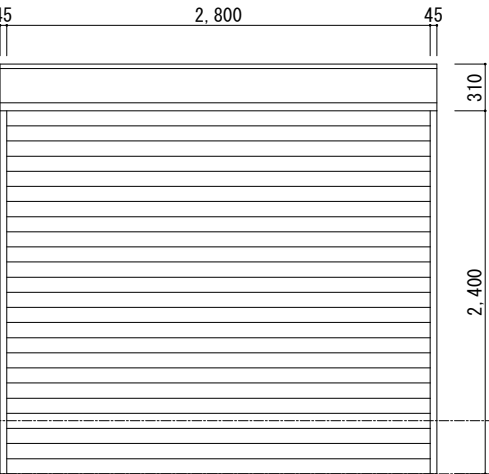
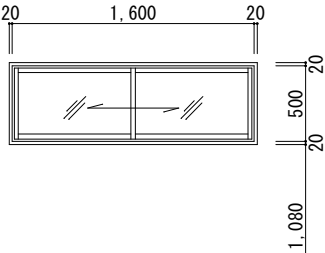
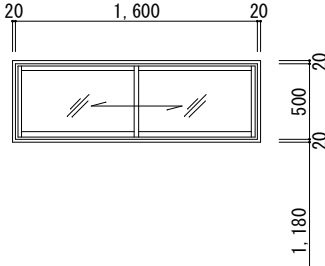
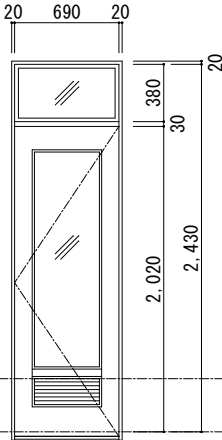
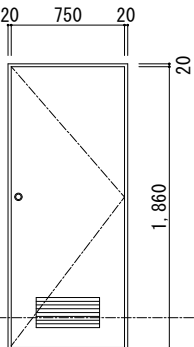


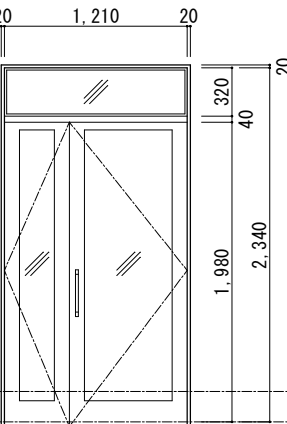
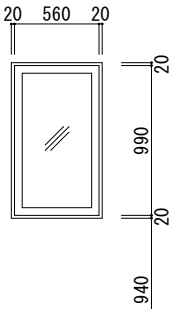
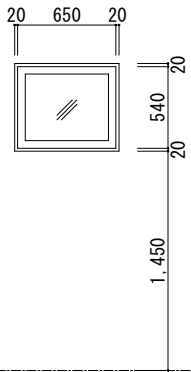
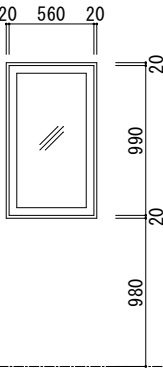
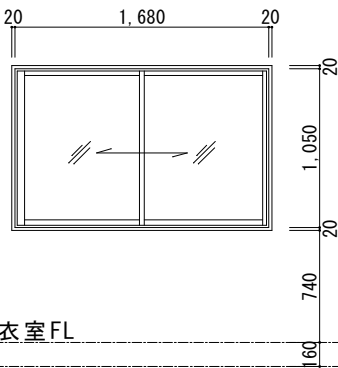
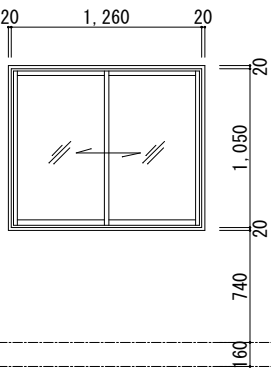


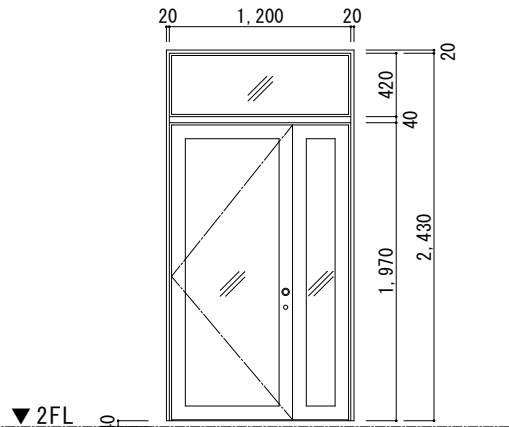
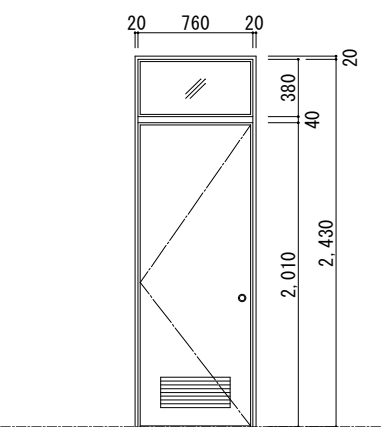
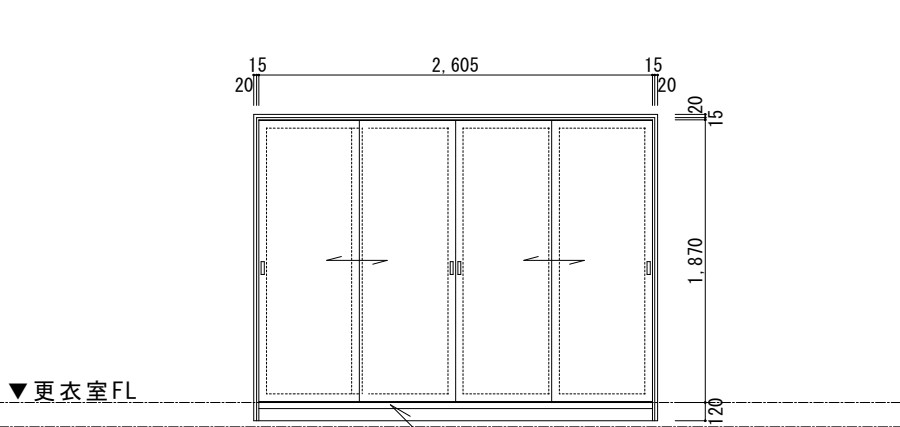
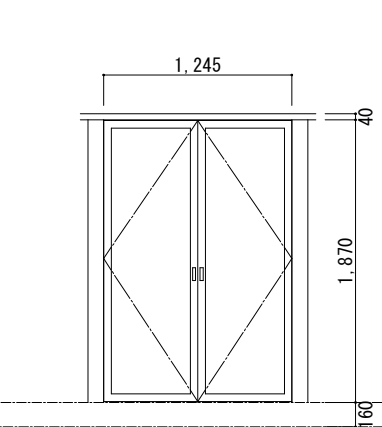
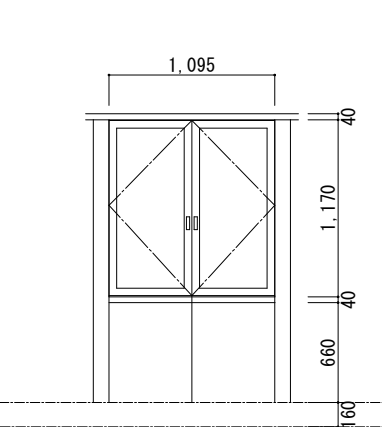


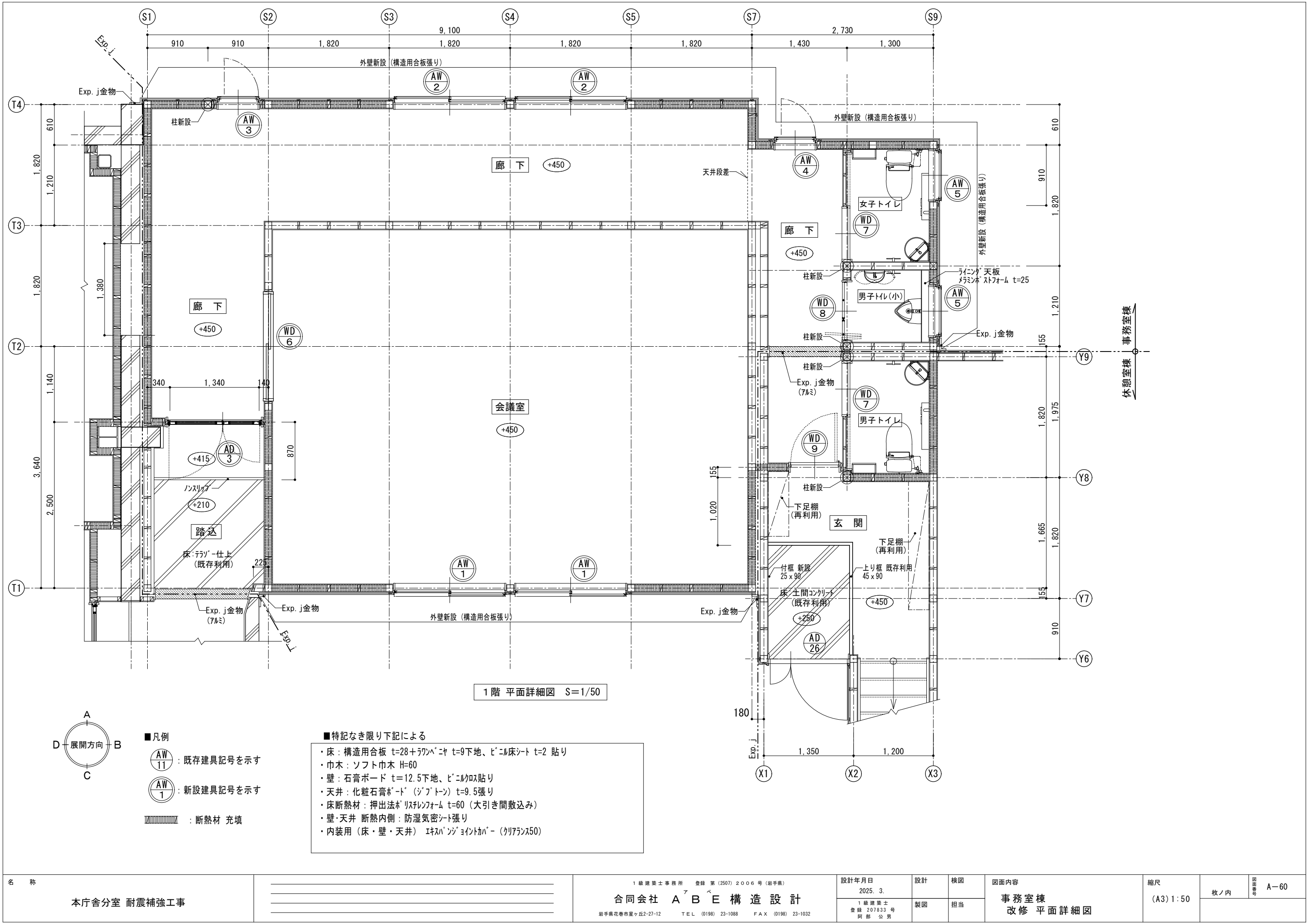
名称 本庁舎分室 耐震補強工事		1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号(岩手県) 合同会社 A B E 構造設計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 休憩室棟 既存撤去 展開図-1	縮尺 (A3) 1:60	枚ノ内	図面番号 A-56
			1級建築士 登録 207833号 阿部 公男	製図	担当				



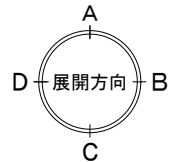
符号・数量		SS-11 → 既存利用 (1ヶ所)		AW-27 → 撤去 (2ヶ所)		AW-27 → 既存利用 (4ヶ所)		AD-24 → 既存利用 (1ヶ所)		AD-25 → 既存利用 (1ヶ所)	
取付位置		1 階 倉庫		1 階 倉庫		1 階 倉庫		1 階 倉庫		1 階 階段下収納	
姿 図 寸 法											
形 式		軽量シャッター 手動		引き違い窓		引き違い窓		片開きドア／欄間：はめ殺し窓		片開きドア	
材 種		スチール		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
仕 上		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様	
ガラス				フロートガラス t=3		フロートガラス t=3		フロートガラス t=3			
金 物	鍵	片面シリンダー		クレセント		クレセント		シリンダー錠（ドアノブ）		シリンダー錠（ドアノブ）	
	丁 番			標準仕様		標準仕様		ステンレス		ステンレス	
	その他			標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様	
備 考				額縁：木製 30×90(4方)		額縁：木製 30×90(4方)		額縁：木製 30×90(3方)		額縁：木製 30×90(3方)	

符号・数量		AD-26 → 既存利用 (1ヶ所)		AW-28 → 撤去 (3ヶ所)		AW-29 → 撤去 (1ヶ所)		AW-30 → 既存利用 (1ヶ所)		AW-31 → 既存利用 (4ヶ所)		AW-32 → 既存利用 (3ヶ所)	
取付位置		1 階 玄関		2 階 休憩室		2 階 物置		2 階 階段		2 階 休憩室、更衣室		2 階 更衣室	
姿 図 寸 法													
形 式		親子ドア／欄間：はめ殺し窓		たてすべり窓		よこすべり窓		たてすべり窓		引き違い窓		引き違い窓	
材 種		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
仕 上		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様		メーカー仕様	
ガラス		フロートガラス t=3		フロートガラス t=3		フロートガラス t=3		フロートガラス t=3		フロートガラス t=3		フロートガラス t=3	
金 物	鍵	シリンダー錠（ドアノブ）		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント	
	丁 番	ステンレス		標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様	
	その他	標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様	
備 考		額縁：木製 30×90(3方)		額縁：木製 30×90(4方)		額縁：木製 30×90(4方)		額縁：木製 30×90(4方)		額縁：木製 30×90(4方)		額縁：木製 30×90(4方)	

符号・数量	WD-29 → 既存利用 (1ヶ所)	WD-30 → 既存利用 (1ヶ所)	WD-31 → 撤去 (1ヶ所)	WD-32 → 既存利用 (1ヶ所)	WD-33 → 既存利用 (1ヶ所)
取付位置	2階 休憩室	2階 物置	2階 休憩室	2階 更衣室	2階 更衣室
姿 図 寸 法					
形 式	親子ドア／欄間：はめ殺し窓	片開きドア／欄間：はめ殺し窓	4枚引き戸	両開き戸	両開き戸
材 種	木製框戸 見込：40mm	木製フラッシュ 見込：40mm	木製フラッシュ 見込：40mm	木製フラッシュ 見込：40mm	木製フラッシュ 見込：40mm
仕 上			(休憩室側) 化粧ペニヤ、(更衣室側) 襖紙	襖紙	襖紙
ガラス	型板ガラス t=4／欄間：フロートガラス t=3	欄間：フロートガラス t=3			
金 物	鍵	シリンダー	空錠		
	丁 番	ステンレス			
	その他	ドアノブ	ドアノブ		
備 考	ドア枠：木製 30 x 165	ドア枠：木製 30 x 165	三方枠：木製 30 x 165、敷居：130 x 90	枠：木製 30 x 165	枠：木製 30 x 165



1階 平面詳細図 S=1/50



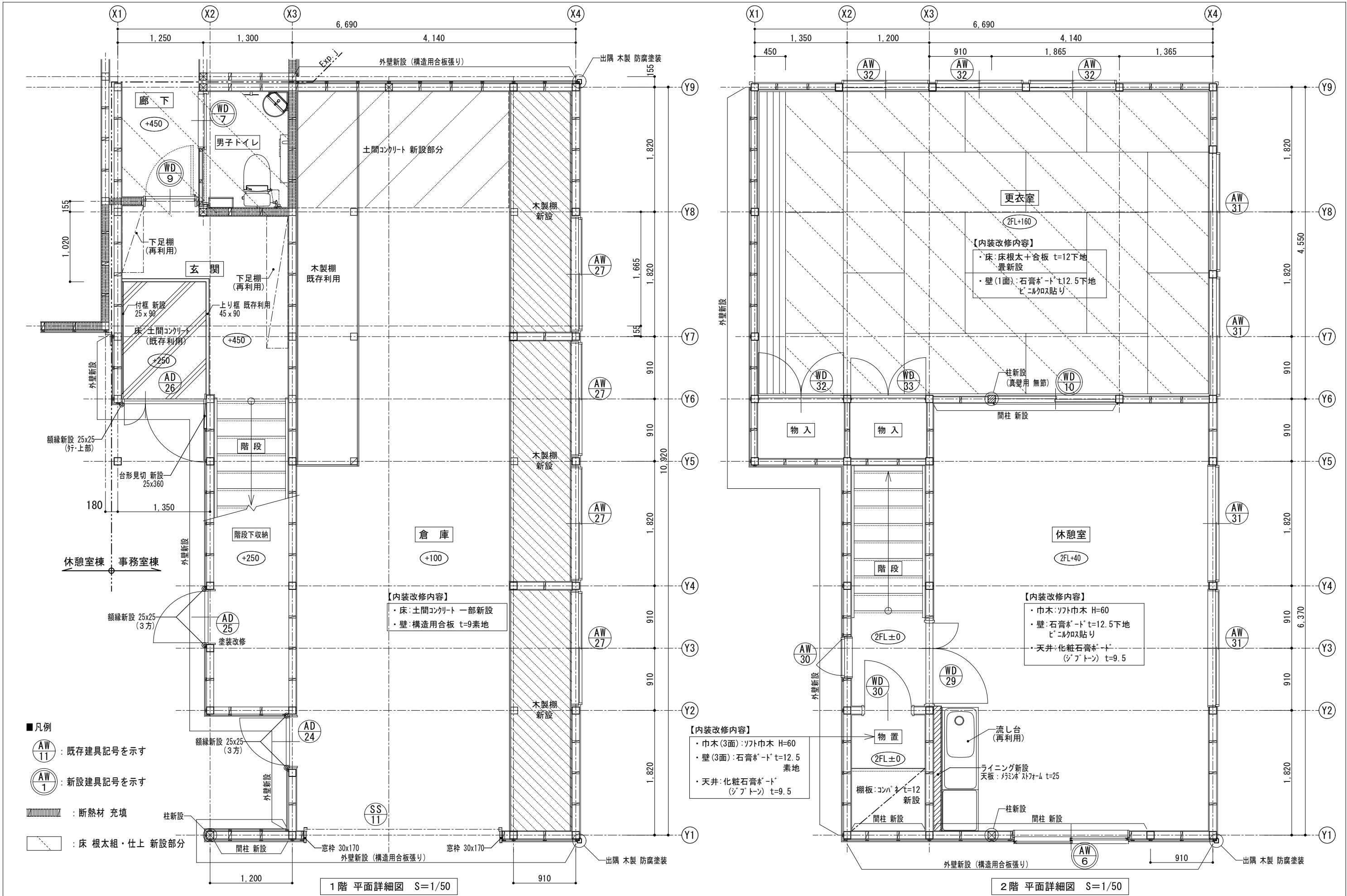
■ 凡例

- AW 11 : 既存建具記号を示す
- AW 1 : 新設建具記号を示す
- 断熱材 充填

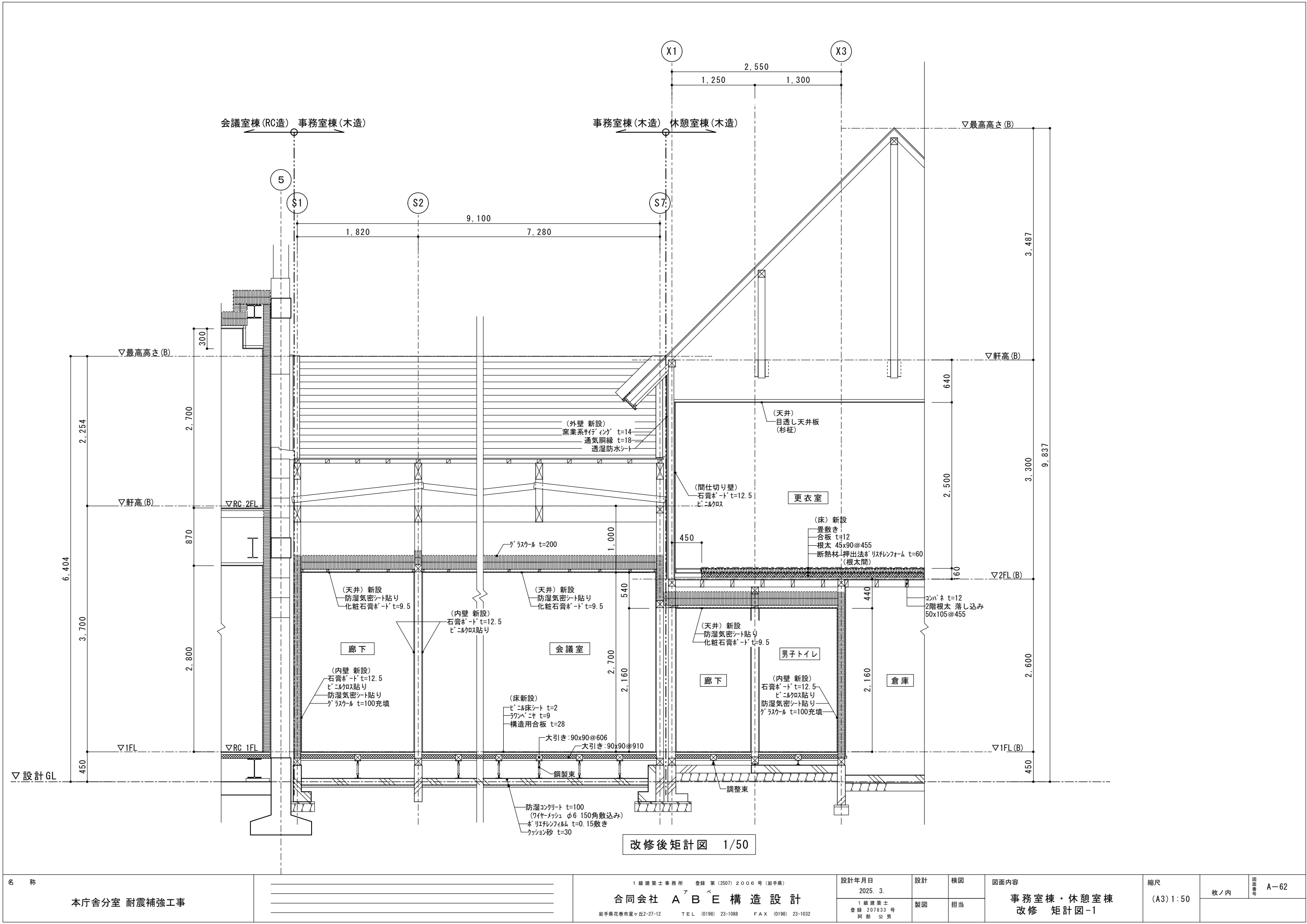
■ 特記なき限り下記による

- 床 : 構造用合板 t=28+ラワンベニヤ t=9下地、ビニル床シート t=2 貼り
- 巾木 : ソフト巾木 H=60
- 壁 : 石膏ボード t=12.5下地、ビニルクロス貼り
- 天井 : 化粧石膏ボード (ジフトン) t=9.5張り
- 床断熱材 : 押出法ポリスチレンフォーム t=60 (大引き間敷込み)
- 壁・天井 断熱内側 : 防湿気密シート張り
- 内装用 (床・壁・天井) エキスパンジョイントカバー (クリアス50)

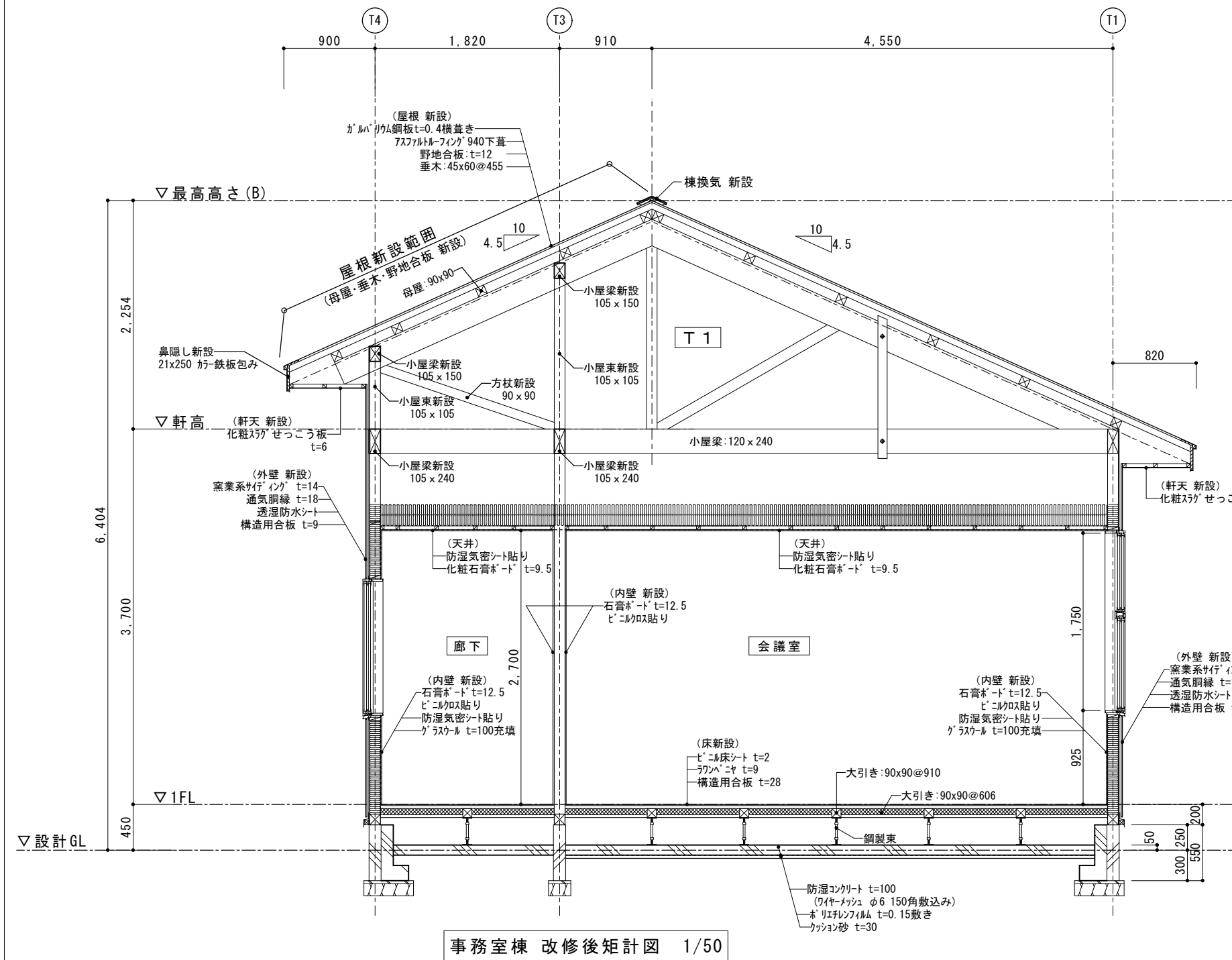
名称 本庁舎分室 耐震補強工事		1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号(岩手県) 合同会社 A B E 構造設計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 事務室棟 改修 平面詳細図	縮尺 (A3) 1:50	枚ノ内	図面番号 A-60
			1級建築士 登録 207833号 阿部 公男	製図	担当				



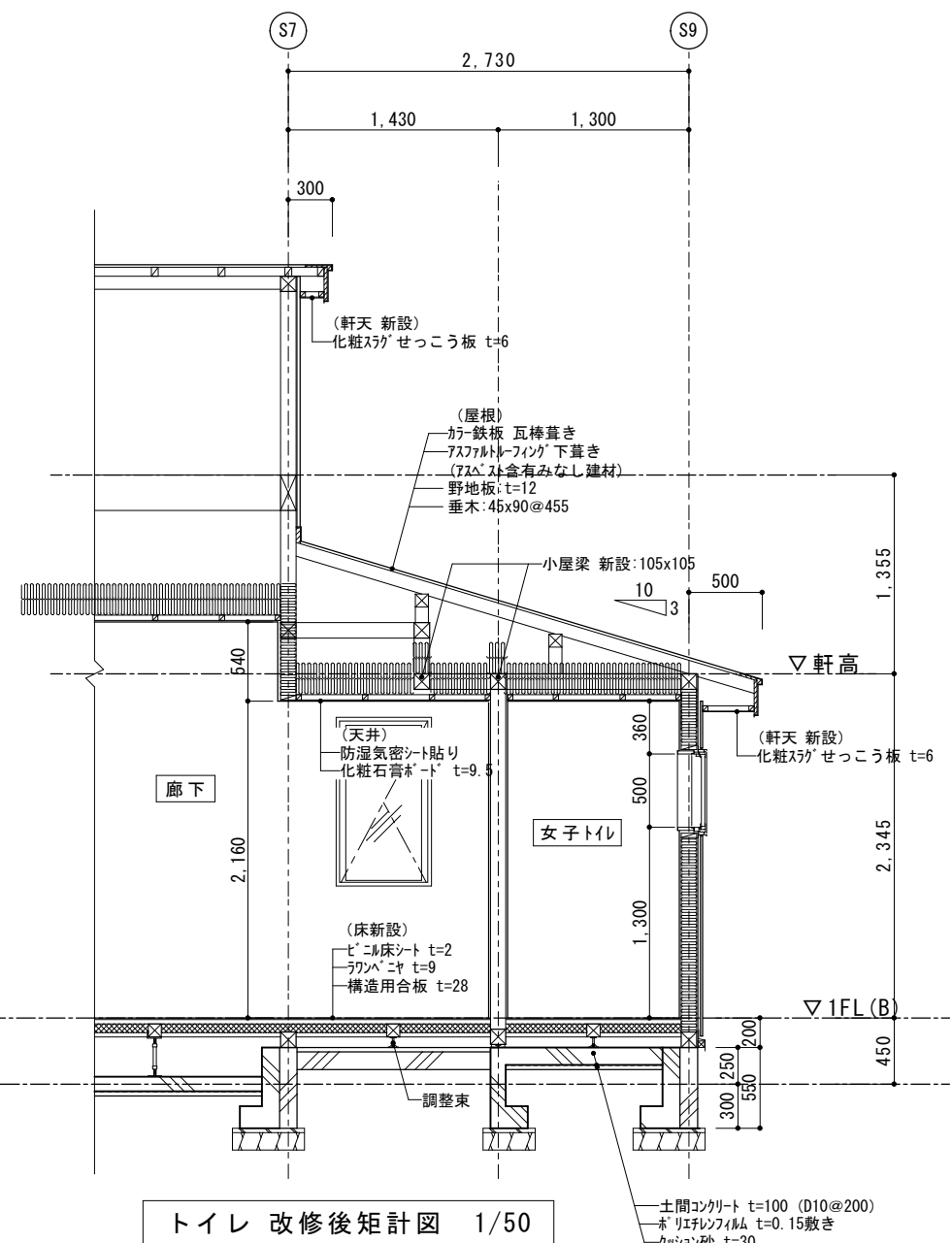
名称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 休憩室棟 改修 平面詳細図	縮尺 (A3) 1:50	枚ノ内 4	図面番号 A-61
			1 級 建築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				



名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 事務室棟・休憩室棟 改修 矩計図-1	縮尺 (A3) 1:50	枚ノ内	図面番 A-62
			1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				

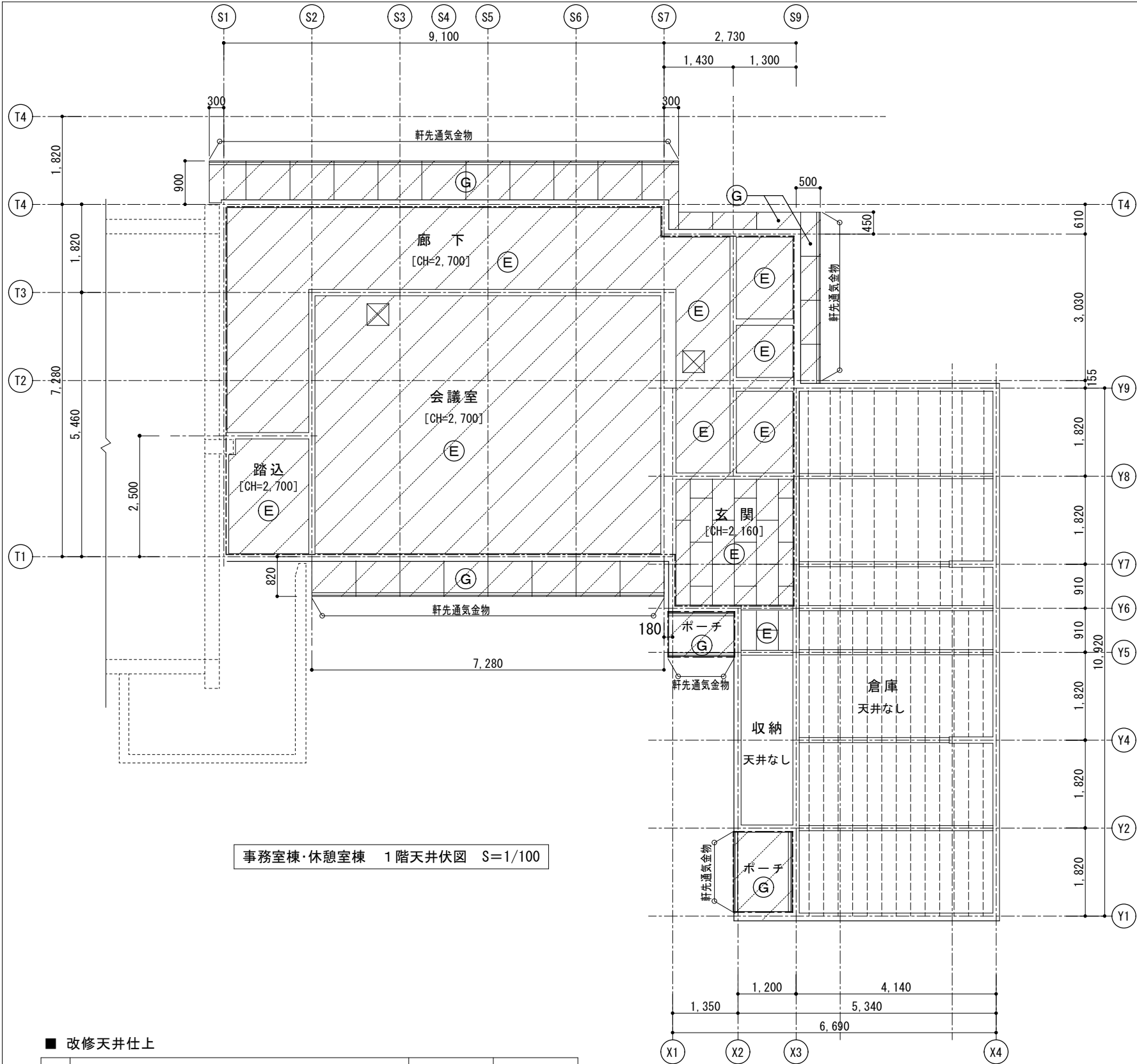


事務室棟 改修後矩計図 1/50



トイレ 改修後矩計図 1/50

名称 本庁舎分室 耐震補強工事		1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号(岩手県) 合同会社 A B E 構造設計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 事務室棟 改修 矩計図-2	縮尺 (A3) 1:50	枚ノ内 図面番 A-63
			1級建築士 登録 207833号 阿部 公男	製図	担当			



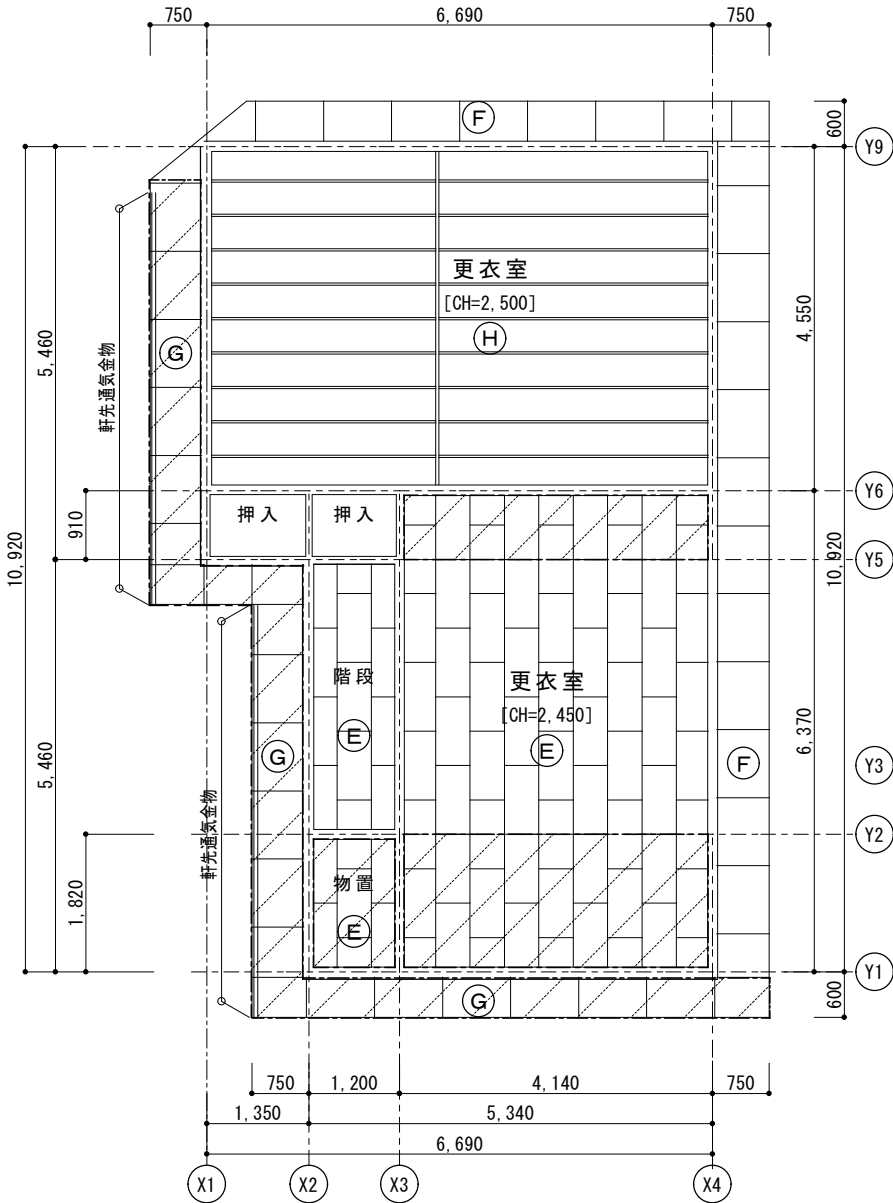
事務室棟・休憩室棟 1階天井伏図 S=1/100

■ 改修天井仕上

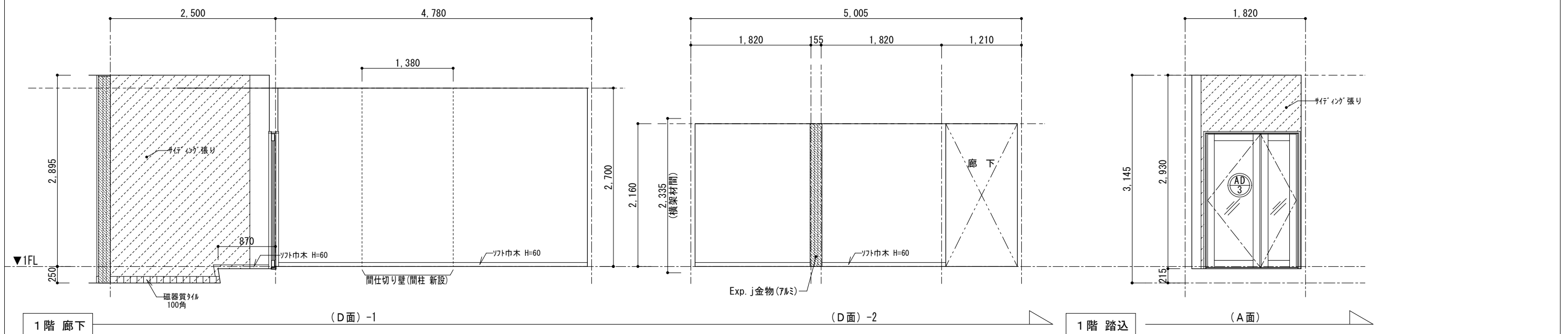
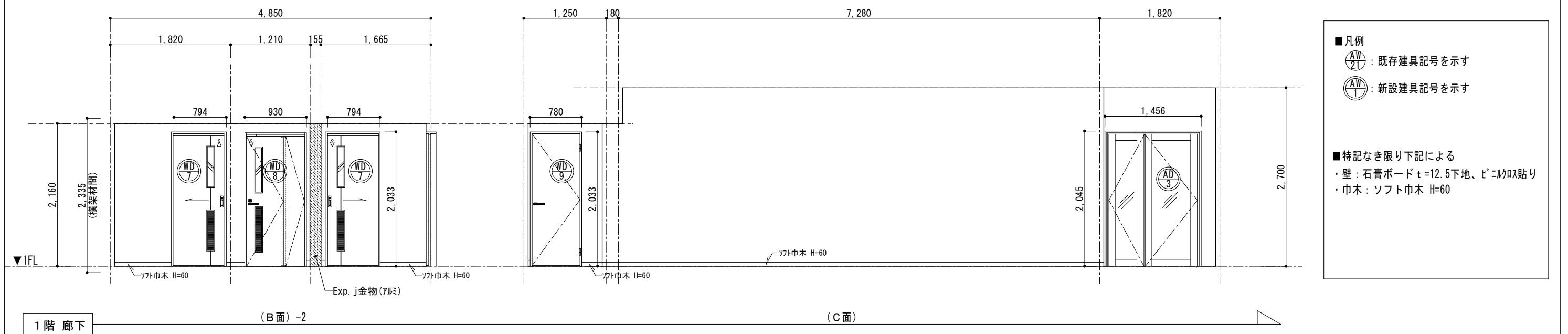
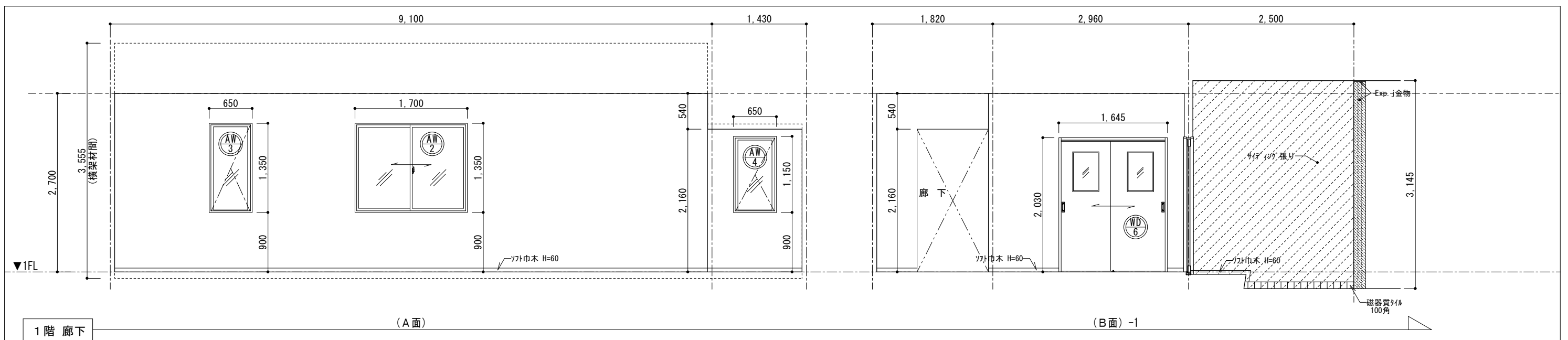
	仕 上	廻り縁	下 地
E	化粧石膏ボード (ジブトン) t=9.5	塩ビ	木製野縁 36 x 36@455
F	【既存部分】 防火ライト t=6 (7スﾊﾞｽ含有みなし建材)	塩ビ	木製野縁 36 x 36@455
G	化粧スラグ石こう板 t=6 軒先通気金物	塩ビ	木製野縁 36 x 36@455
H	目透かし天井板 杉証 t=9	木製 25 x 60	木製野縁 36 x 36@455

■ 1・2階天井伏図 凡例

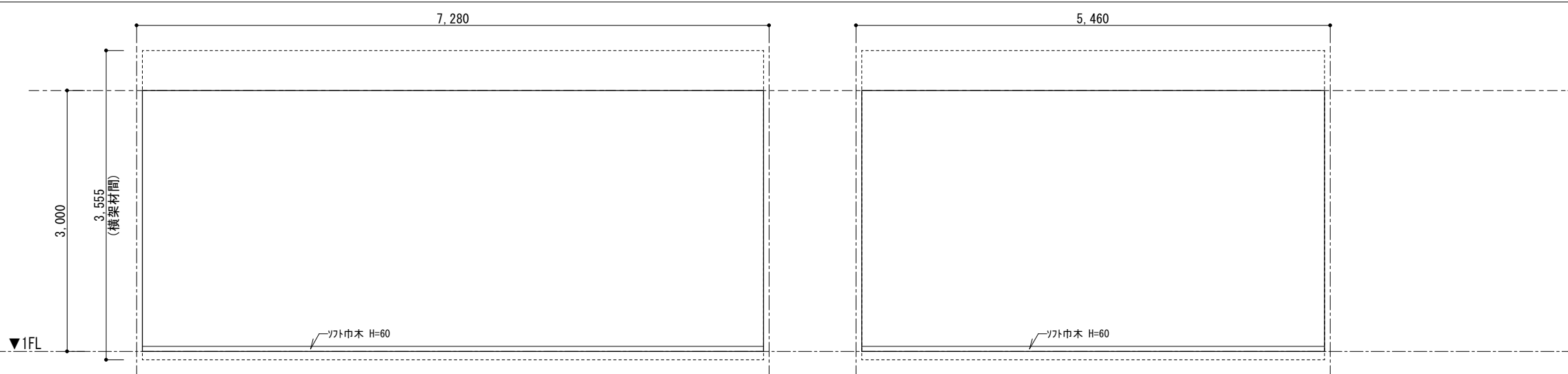
- : 天井 改修部分 (野縁共)
- : 天井点検口 450角 (高気密・高断熱型)
- : 軒先通気金物 (ｶﾗｰGL鋼板) 新設



休憩室棟 2階天井伏図 S=1/100



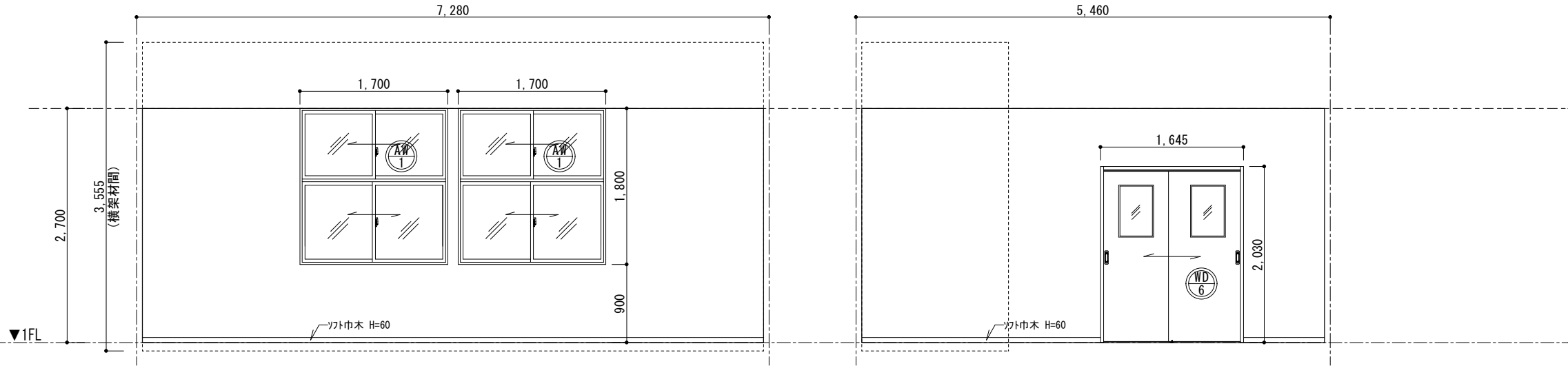
名 称		1 級 建 築 士 事 務 所 登録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) ア ベ 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 事務室棟・休憩室棟 改修 展開図-1	縮尺 (A3)1:60	枚ノ内	図面番号 A-65
			1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				



1階 会議室

(A面)

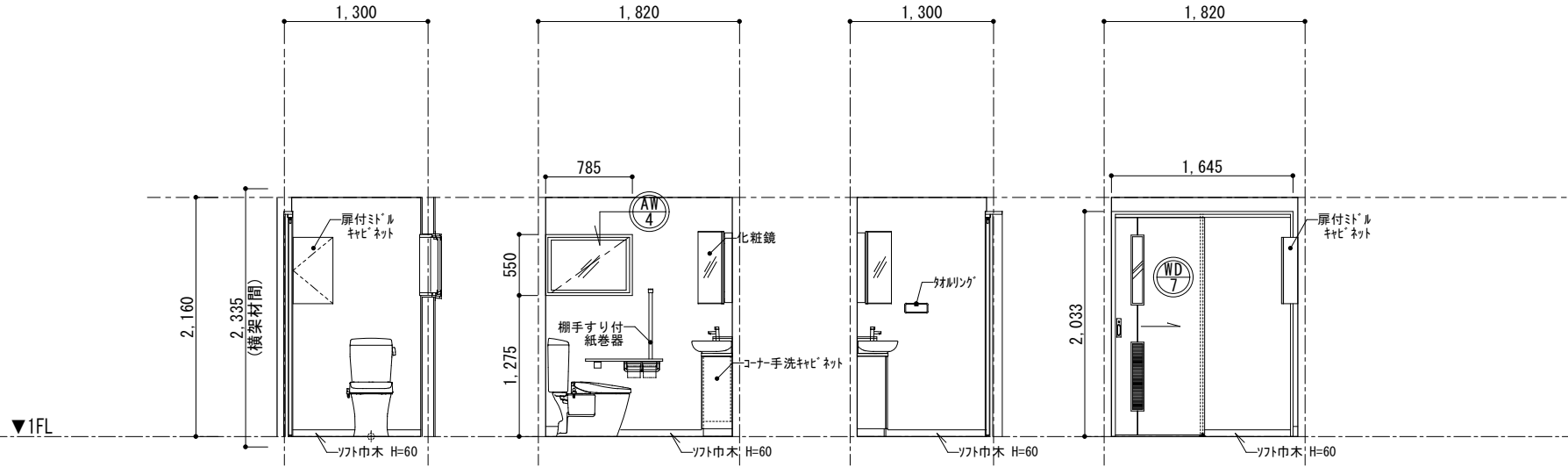
(B面)



1階 会議室

(C面)

(D面)



1階 女子トイレ

(A面)

(B面)

(C面)

(D面)

■凡例

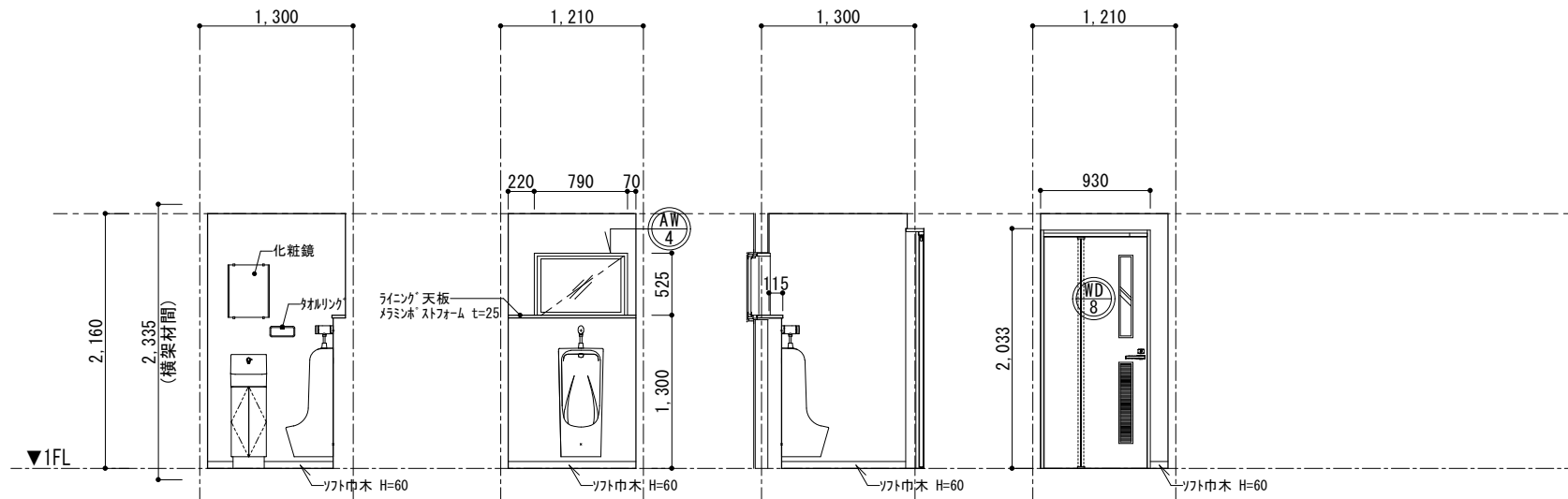
AW 21 : 既存建具記号を示す

AW 1 : 新設建具記号を示す

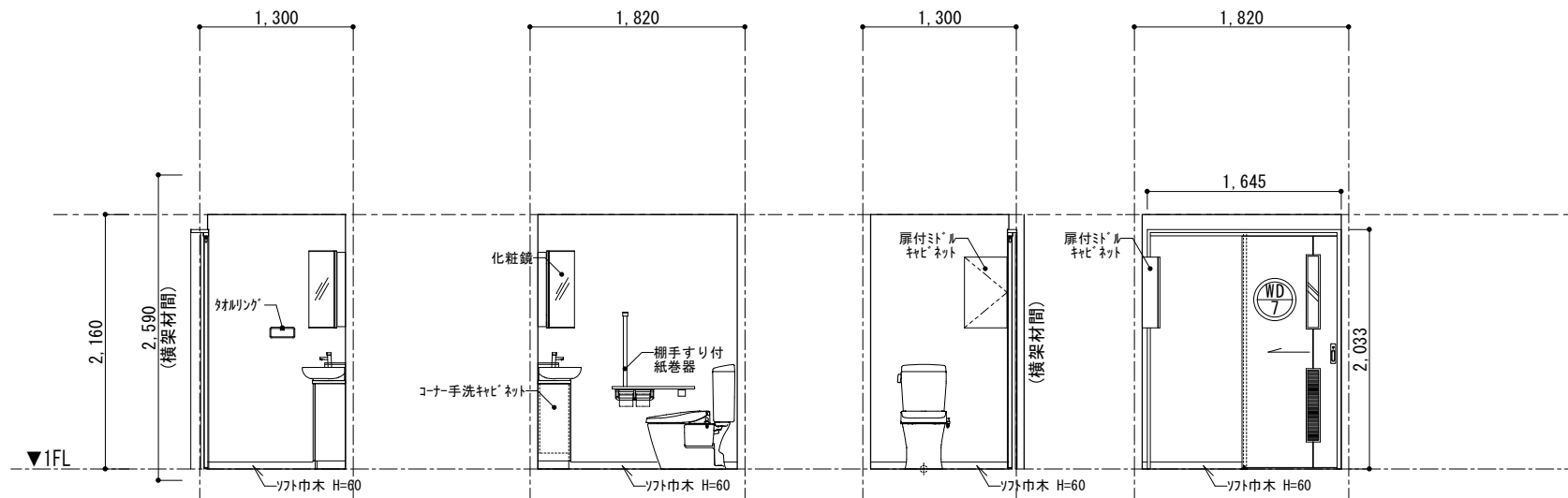
■特記なき限り下記による

- ・壁：石膏ボード t=12.5下地、ビニルクロス貼り
- ・巾木：ソフト巾木 H=60

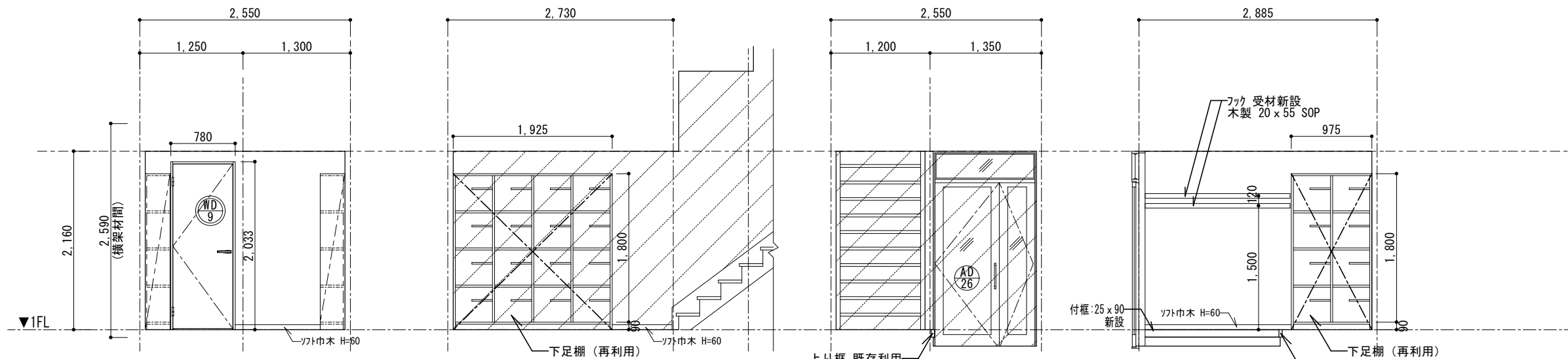
名 称	1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県)	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容	縮尺 (A3) 1:60	枚ノ内	図面番号 A-66
本庁舎分室 耐震補強工事	合同会社 A B E 構 造 設 計	1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当	事務室棟・休憩室棟 改修 展開図-2			



1階 男子トイレ(小) (A面) (B面) (C面) (D面)



1階 男子トイレ (A面) (B面) (C面) (D面)



1階 玄関 (A面) (B面) (C面) (D面)

■凡例

⊙
AW
21
: 既存建具記号を示す

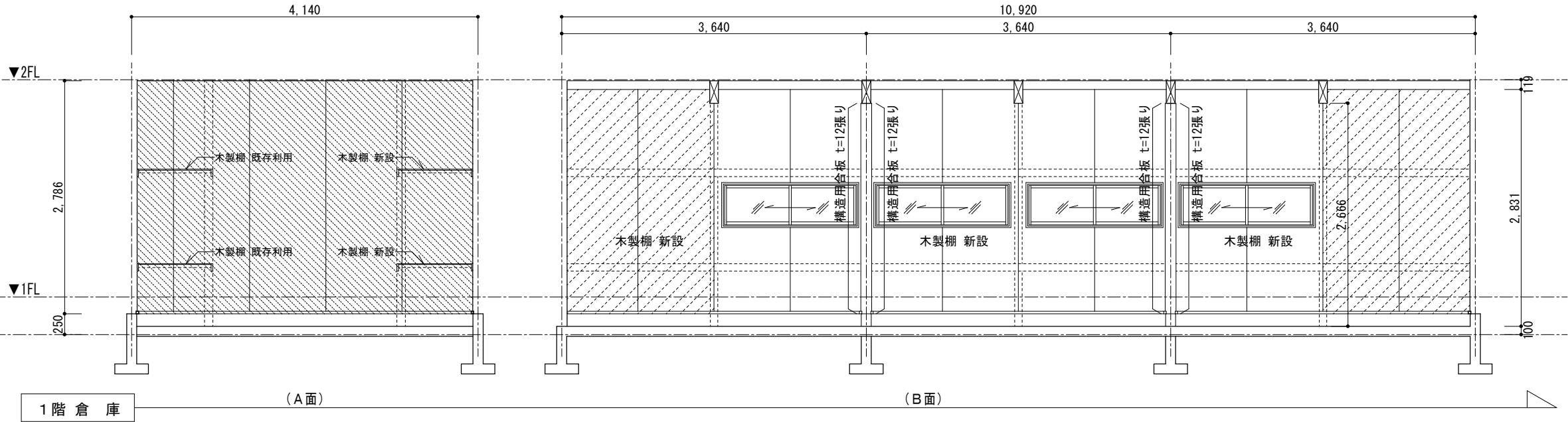
⊙
AW
1
: 新設建具記号を示す

▨ : 内装 既存利用部分

■特記なき限り下記による

- ・壁: 石膏ボード t=12.5 下地、ビニルクロス貼り
- ・巾木: ソフト巾木 H=60

名 称		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県)	設計年月日	設計	検図	図面内容	縮尺	枚ノ内	図面番号	A-67		
	本庁舎分室 耐震補強工事		2025. 3.									
		合同会社 A B E 構 造 設 計			1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男						製図	担当
		岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032										



■凡例

AW

21

既存建具記号を示す

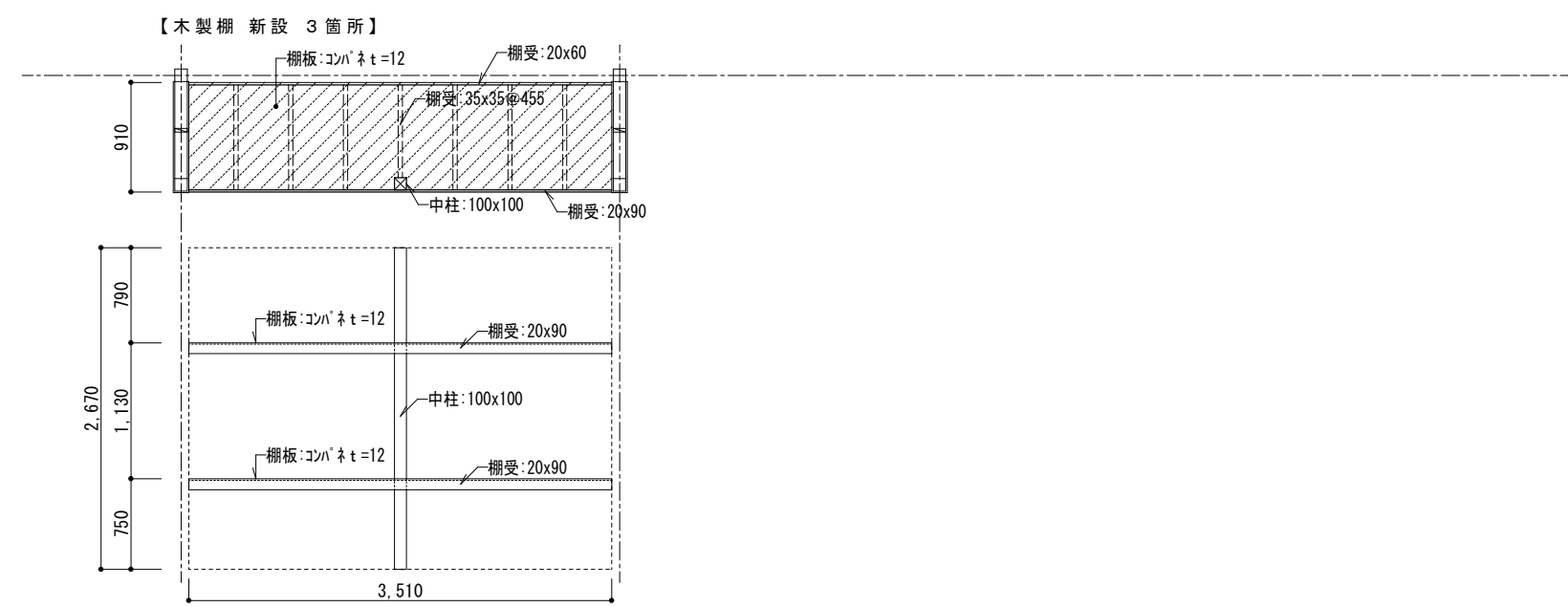
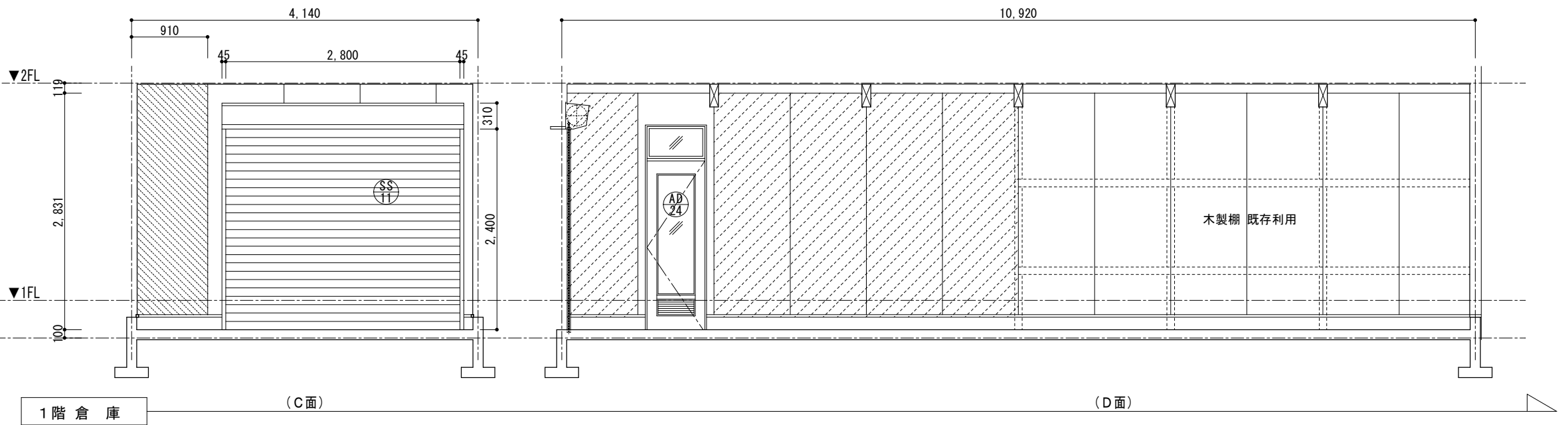
AW

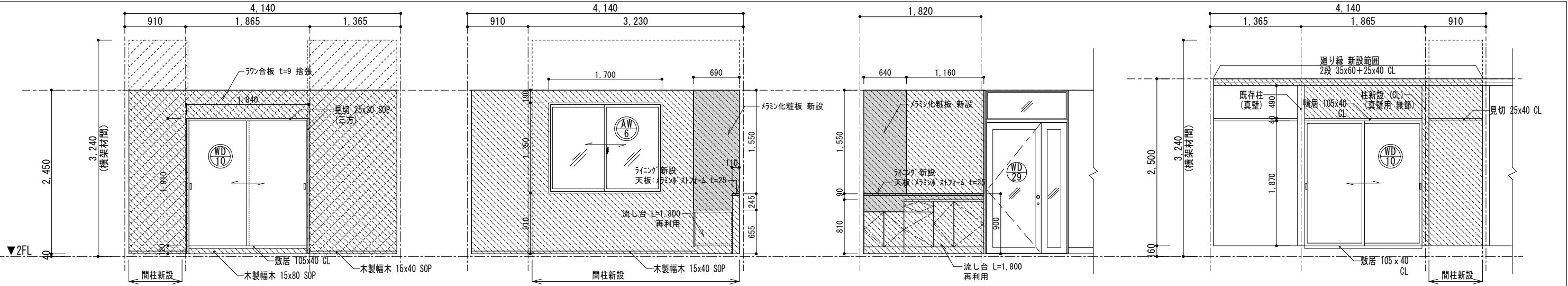
+

新設建具記号を示す

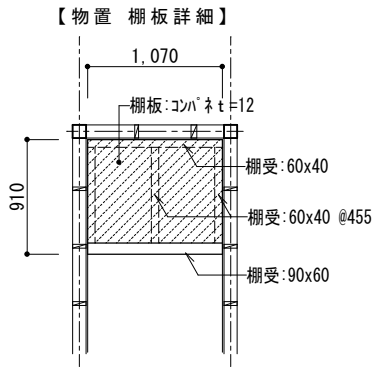
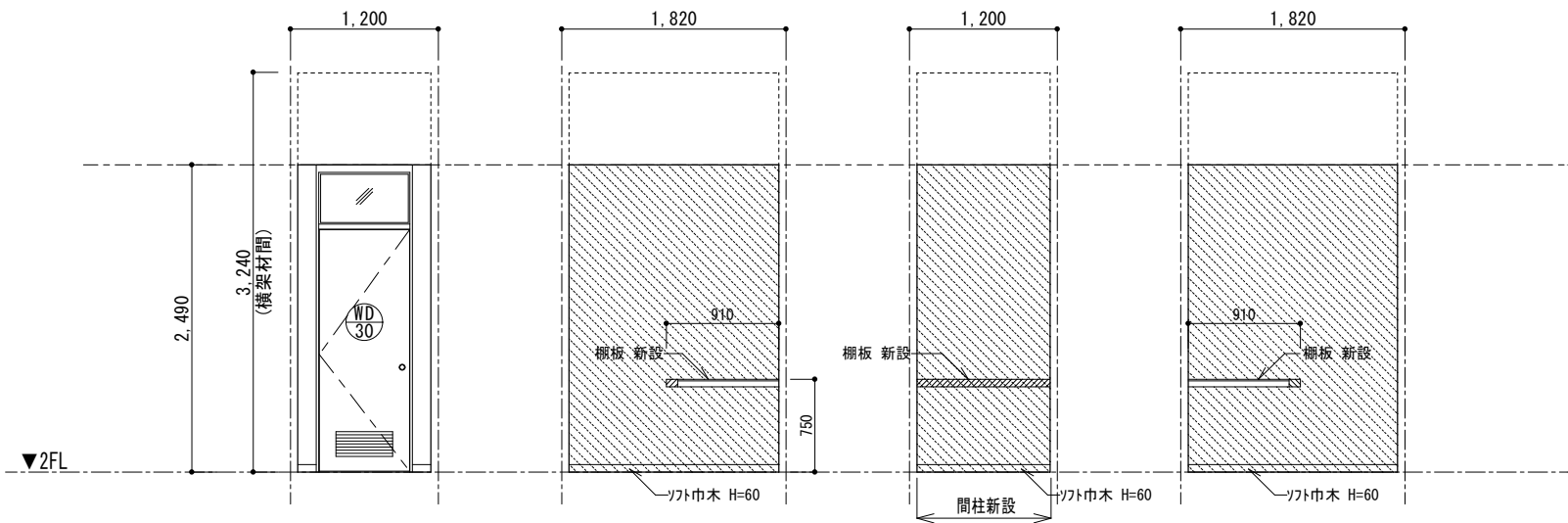
壁 ヲ合板 t=9 新設部分

面材耐力壁 構造用合板 t =9



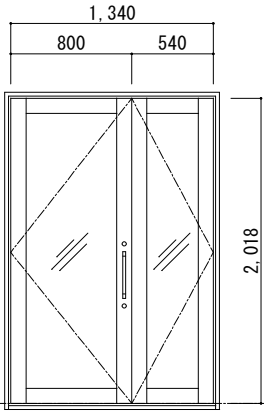
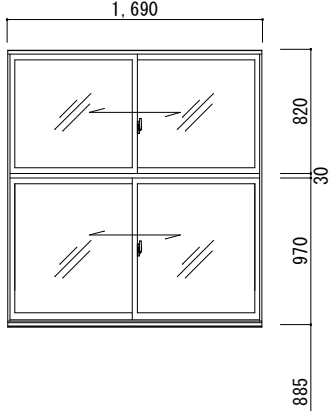
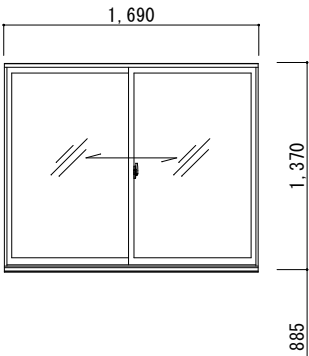
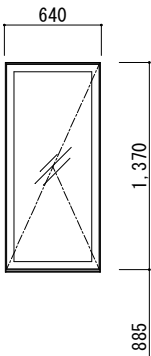
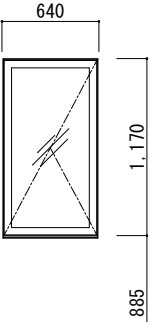
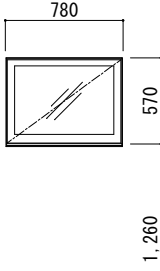
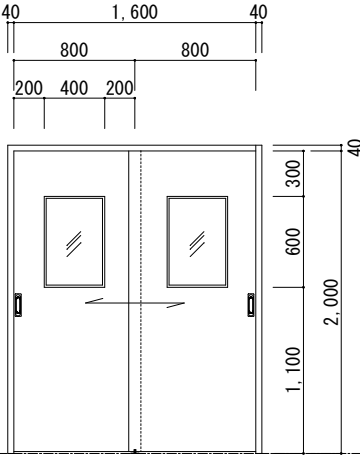
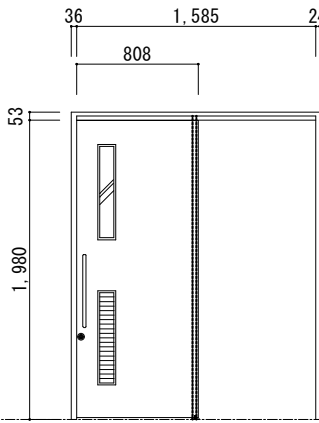
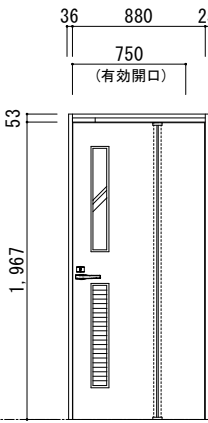
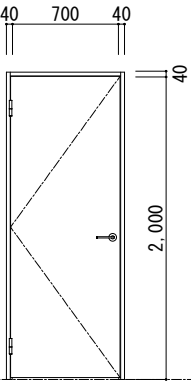


2階 休憩室 (A面) (C面) (D面) 2階 更衣室 (C面)



- 凡例
- AW 21 : 既存建具記号を示す
 - AW 1 : 新設建具記号を示す
 - 壁仕上 新設範囲
巾木・廻り縁・付属物 共
 - 面材耐力壁 構造用合板 t=9

2階 物置 (A面) (B面) (C面) (D面)

符号・数量	AD-3 → 新設 (1ヶ所)	AW-1 → 新設 (2ヶ所)	AW-2 → 新設 (2ヶ所)	AW-3 → 新設 (1ヶ所)	AW-4 → 新設 (1ヶ所)
取付位置	1 階 踏込	1 階 会議室	1 階 廊下	1 階 廊下	1 階 廊下
姿 図 寸 法					
	形 式	親子開きドア	引き違い段窓 (C×T-165-S×A 高強度タイプ)	引き違い窓	縦すべりだし窓
	材 種	7mm、沓摺：カー材 水返し型、額縁：D=102 化粧シート張り	7mm樹脂複合、額縁：D=102 化粧シート張り	7mm樹脂複合、額縁：D=102 化粧シート張り	7mm樹脂複合、額縁：D=102 化粧シート張り
	仕 上	メーカー仕様	メーカー仕様	メーカー仕様	メーカー仕様
	ガラス	ペアガラス (FL5+A12+Low-E5)	ペアガラス (FL5+A12+Low-E5)	ペアガラス (FL5+A12+Low-E5)	ペアガラス (FL5+A12+Low-E5)
金 物	鍵	本締錠	クレセント	カムラッチハンドル	カムラッチハンドル
	丁 番	ステンレス丁番、ドアクロザー（ストップ付）			
	その他	附属金物一式、ブラッシュ錠（バータイプ）、フラス落し、戸当り	付属金物一式、網戸	付属金物一式、ロール網戸	付属金物一式、ロール網戸
備 考	見込70、SAT、YKKAP:エピソードⅡ NEO 同等品	見込70、SAT、YKKAP:エピソードⅡ NEO 同等品	見込70、SAT、YKKAP:エピソードⅡ NEO 同等品	見込70、SAT、YKKAP:エピソードⅡ NEO 同等品	見込70、SAT、YKKAP:エピソードⅡ NEO 同等品
符号・数量	AW-5 → 新設 (2ヶ所)	WD-6 → 新設 (1ヶ所)	WD-7 → 新設 (2ヶ所)	WD-8 → 新設 (1ヶ所)	WD-9 → 新設 (1ヶ所)
取付位置	1 階 廊下	1 階 会議室	1 階 男子トイレ・女子トイレ	1 階 男子トイレ（小）	1 階 廊下
姿 図 寸 法					
	形 式	横すべりだし窓	引き違いドア	折戸ドア（メーカー品）	片開きドア
	材 種	7mm樹脂複合、額縁：D=102 化粧シート張り	枠：木製 SOP、扉：木製フラッシュ、レール：SUS HL	木製フラッシュ（メーカー仕様）	枠：木製 SOP、扉：木製フラッシュ（断熱材充填）、床見切り：SUS HL
	仕 上	メーカー仕様	枠：SOP、扉：ラミネ化粧板	枠・扉共：SOP	枠：SOP、扉：ラミネ化粧板
	ガラス	型板ペアガラス (FL4+A12+Low-E5)	型板ガラス t=4	採光窓	
金 物	鍵	カムラッチハンドル	本締鎌錠	セパレートカム錠・表示錠	両側 本締錠
	丁 番		握込み引手、戸車、ソフトクローズ	握りバー引手、吊戸金具、ソフトクローズ	ステンレス丁番、ドアクロザー（ストップ付）
	その他	付属金物一式、ロール網戸	付属金物一式、戸当り	付属金物一式、レバーハンドル、戸当り	付属金物一式、レバーハンドル、戸当り
備 考	見込70、SAT、YKKAP:エピソードⅡ NEO 同等品	枠見込 t=154、扉見込 t=40	枠見込 t=154、扉見込 t=40	枠見込 t=154、扉見込 t=40	枠見込 t=154、扉見込 t=40

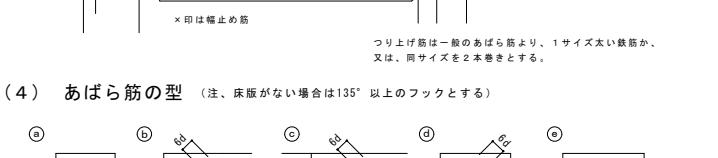
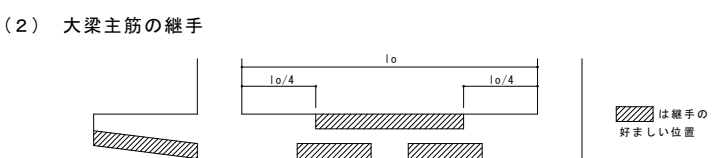
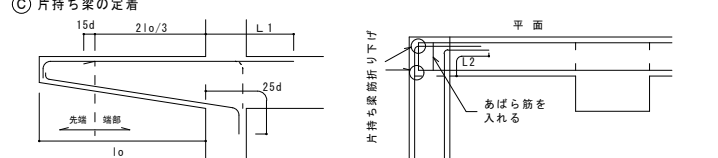
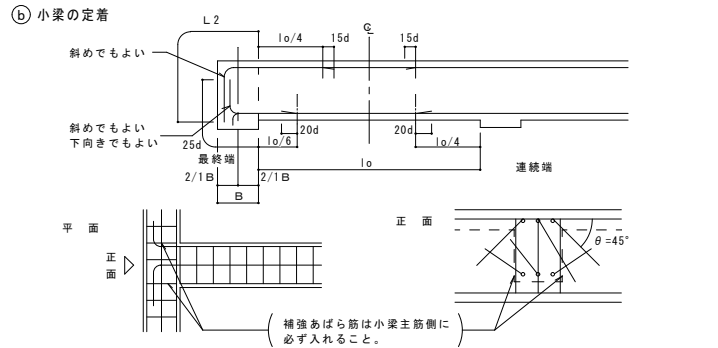
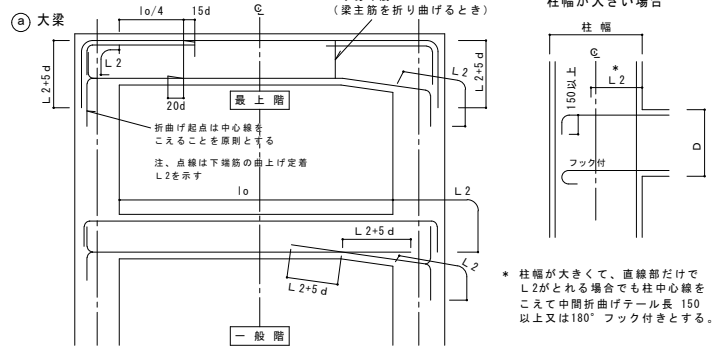
符号・数量		SS-11 → 改修 (1 ヶ所)			AW-6 → 新設 (1 ヶ所)	WD-10 → 新設 (1 ヶ所)
取付位置		1 階 倉庫			1 階 休憩室	1 階 休憩室
姿 図 寸 法						
	▼1FL			▼休憩室FL		▼更衣室FL
	350					
形 式		軽量シャッター 手動			引き違い窓	引き違いドア
材 種		スチール			7mm樹脂複合、額縁：D=102 化粧シート張り	枠：木製 SOP、扉：木製フラッシュ、レール：SUS HL
仕 上		メーカー仕様			メーカー仕様	枠：SOP、扉：(洋室側)メラミン化粧板・(和室側)襖紙
ガラス					ペアガラス (FL5+A12+Low-E5)	
金 物	鍵	片面シリンダー			クレセント	
	丁 番					掘込み引手、戸車、ソフトクロス
	その他	外側額縁：木製 30 x 170 ガーデリア包み 新設			付属金物一式、網戸	付属金物一式、戸当り
備 考					見込70、SAT、YKKAP:エピソードⅡ NEO 同等品	敷居 105x40 CL、鴨居 105x30 CL、扉見込 t=40、休憩室側 見切(三方) 25 x 25 SOP
符号・数量		AD-24 → 既存利用 (1 ヶ所)	AD-25 → 既存利用 (1 ヶ所)	AD-26 → 既存利用 (1 ヶ所)		
取付位置		1 階 倉庫	1 階 階段下収納	1 階 玄関		
姿 図 寸 法						
	▼1FL			▼1FL		▼1FL
	350			200		200
形 式		片開きドア／欄間：はめ殺し窓	片開きドア	親子ドア／欄間：はめ殺し窓		
材 種		アルミ	アルミ	アルミ		
仕 上		メーカー仕様	メーカー仕様	メーカー仕様		
ガラス		フロートガラス t=3		フロートガラス t=3		
金 物	鍵	シリンダー錠 (ドアノブ)	シリンダー錠 (ドアノブ)	シリンダー錠		
	丁 番	ステンレス	ステンレス	ステンレス		
	その他	標準仕様	標準仕様	標準仕様、押し棒		
備 考		額縁：木製 25x25新設／木材保護塗料 塗布	額縁：木製 25x25新設／木材保護塗料 塗布	額縁：木製 25x25新設／木材保護塗料 塗布		

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

L＝鉄筋コンクリート構造配筋
標準図（１）の２～（３）による。

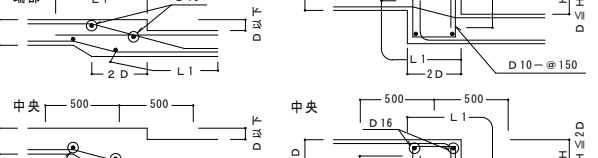
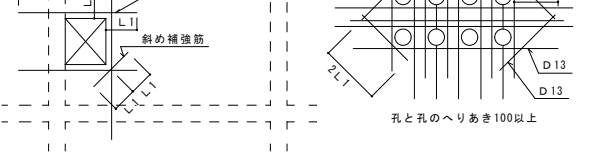
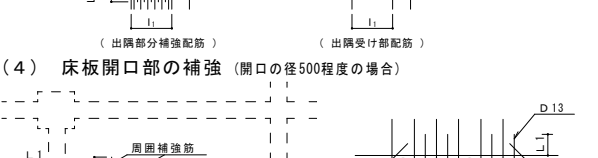
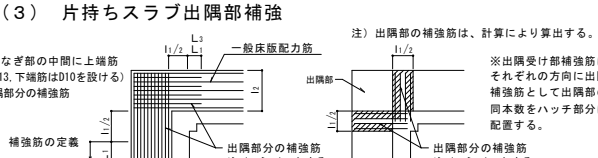
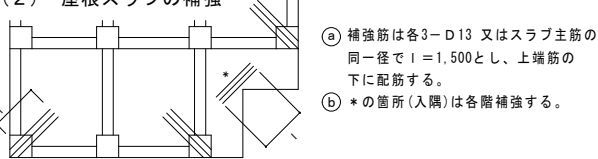
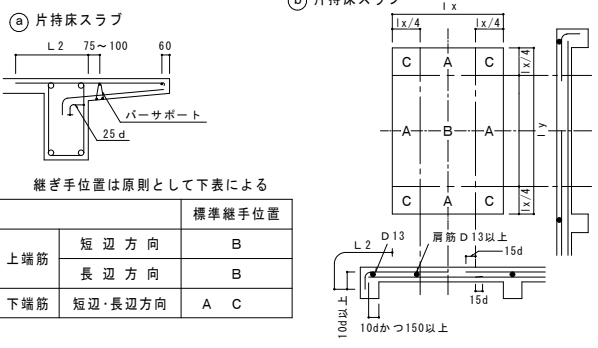
７．大梁、小梁、片持梁

（１）定着



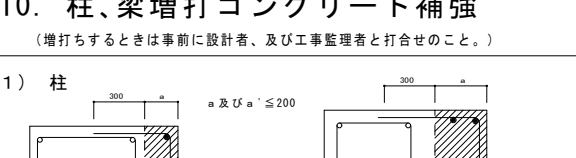
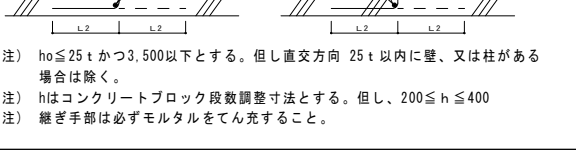
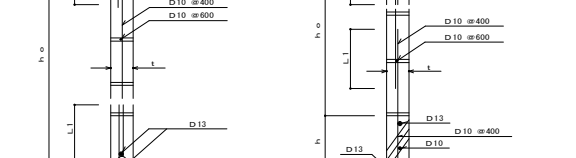
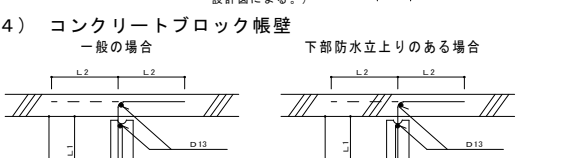
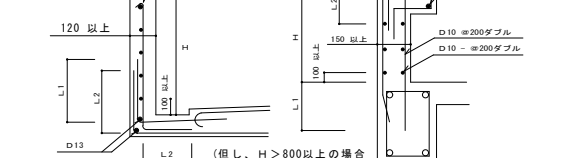
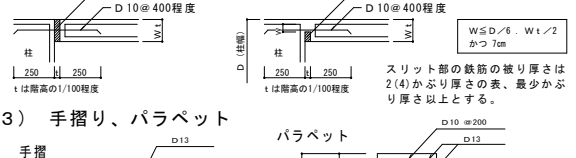
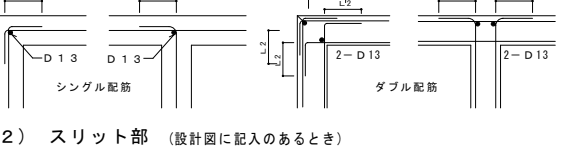
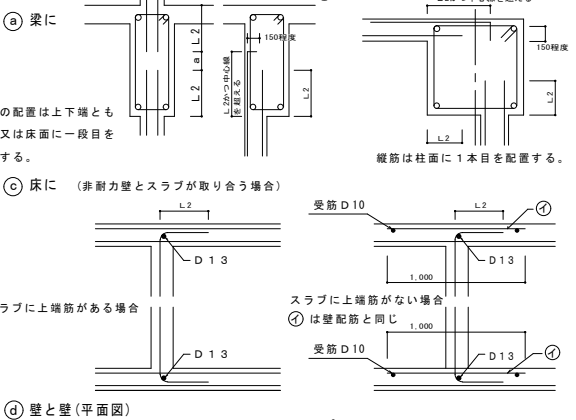
８．床板

（１）定着及び継手

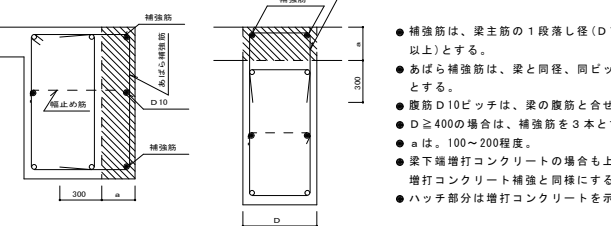


９．壁

（１）定着

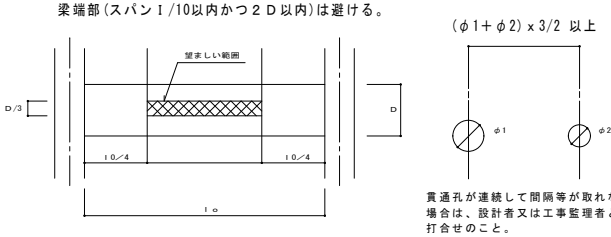


（２）梁

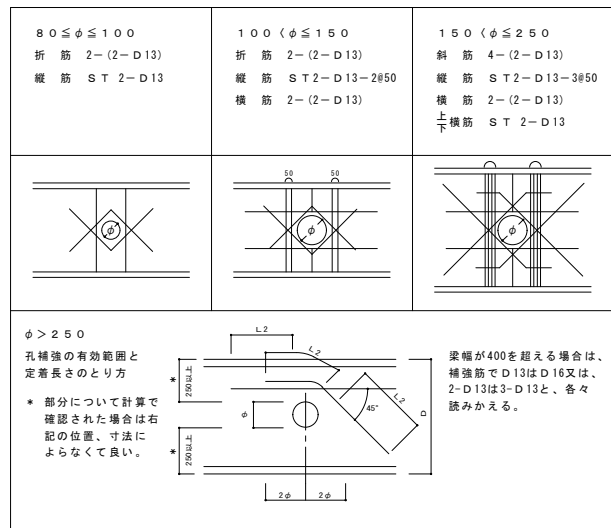


11．梁貫通孔補強

（１）設置可能範囲



（２）鉄筋標準配筋



12．増築予定



鉄骨構造標準図（１）

１．一般事項

（１）材料及び検査

- （a）構造設計仕様による
- （b）適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- （c）社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

（２）工作一般

- （a）鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- （b）鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- （c）抗張力鋼の歪矯正は、冷間矯正とする

（３）高力ボルト接合

- （a）本締め使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

（４）溶接接合

（a）溶接技術者

溶接技術者は施工する溶接に適用する J A S Z 3801(手溶接)又 J I S Z 3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする

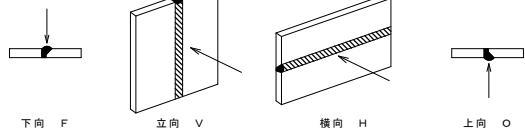
（b）溶接機器

- （イ）交流アーク溶接機 300 A ～ 500 A
- （ロ）炭酸ガスアーク半自動溶接機
- （ハ）アークエア－ガウジング機(直流)
- （ニ）溶接電流を測定する電流計
- （ヘ）サブマージアーク溶接機 1 式
- （ホ）溶接棒乾燥機

（c）溶接方法

アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエア－ガウジング(AAG)

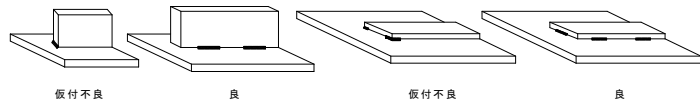
（d）溶接姿勢



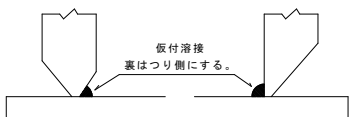
（e）仮付溶接技術者は、原則として本工事に従事する者が行う

（イ）仮付位置

仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



（ロ）突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する。



（d）溶接姿勢

（イ）エンドタブ

（Ⅰ）突合せ溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で、同開先形状のエンドタブを取り付ける。エンドタブの材質は、母材と同質とする。

（Ⅱ）エンドタブの長さは、MC：35 mm 以上
NGC、GC：40mm 以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10 mm 程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。

（Ⅲ）プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る。

（ロ）裏あて金

材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9 mm 以上とする。

（ハ）スカーラップ 半径は30～35mmとする。

（ニ）裏はつり

規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークをつける。

（ホ）現場溶接の開洗面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に養生を行う。

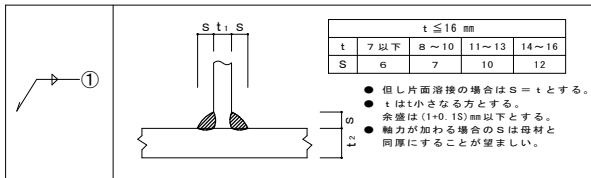
（５）塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

２．溶接規準図

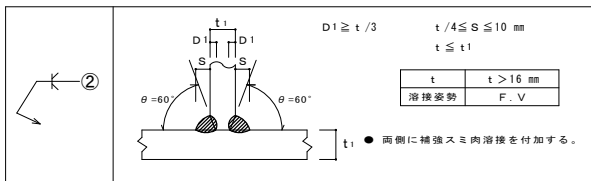
（注） f：余盛 G：ルート開削 R：フェース S：脚長
単位(mm)

（１）スミ肉溶接



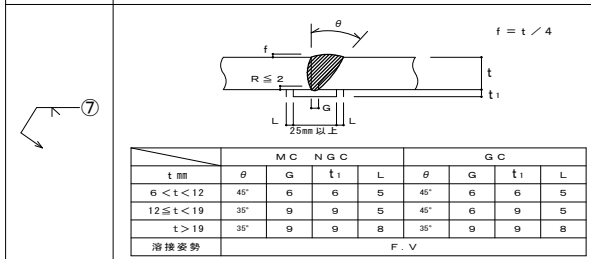
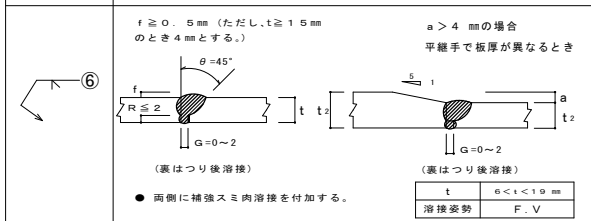
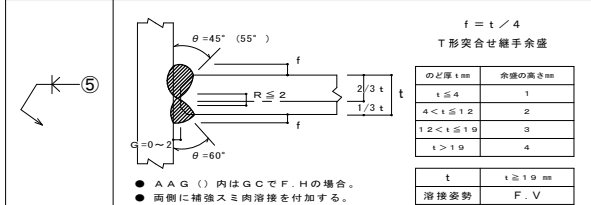
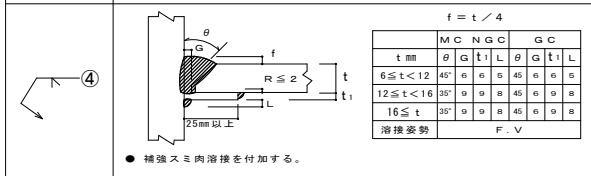
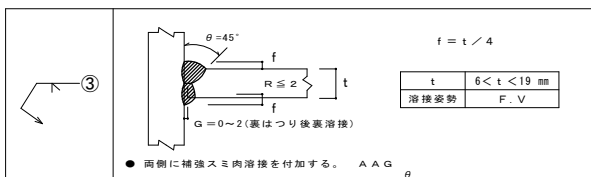
（２）部分溶け込み溶接

（使用箇所に注意）

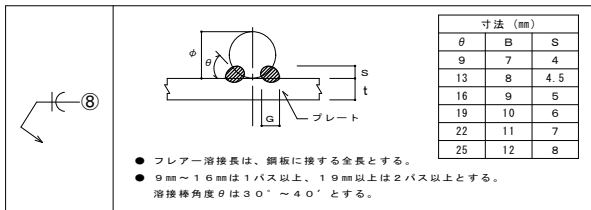


（３）突合せ溶接

（平継手 T形継手）

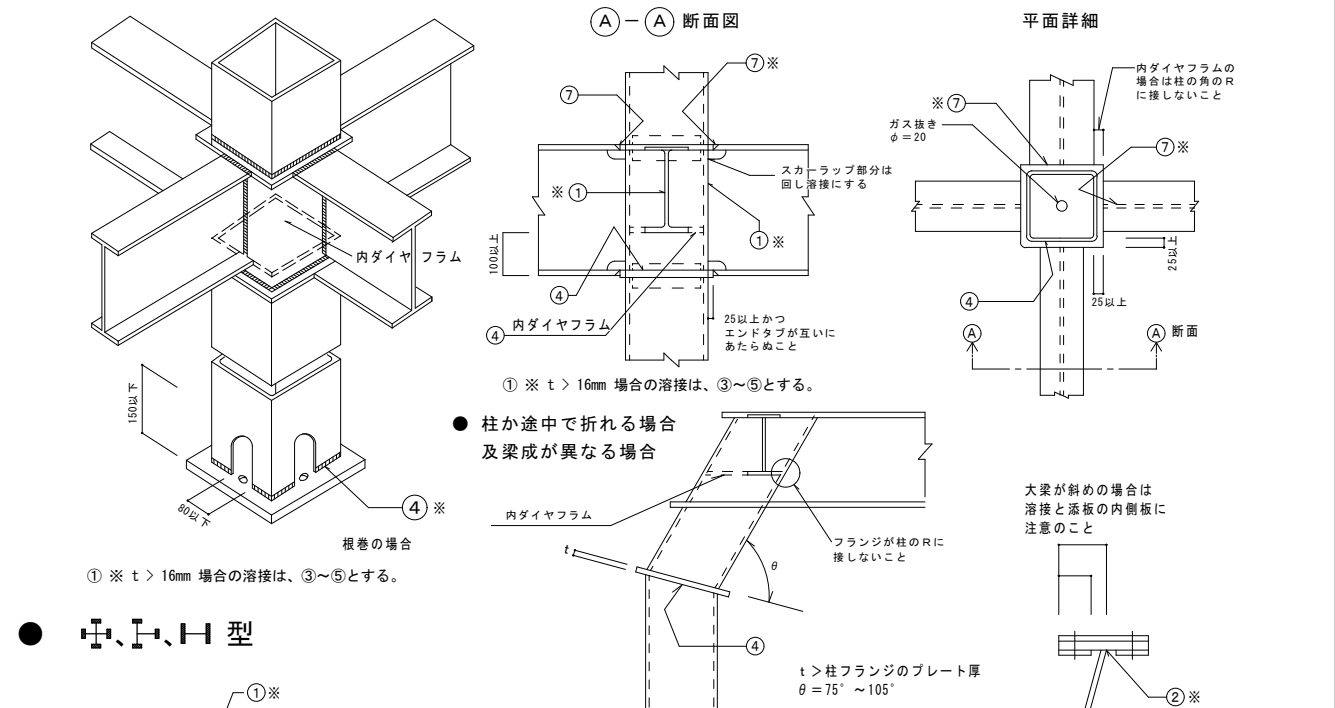


（４）フレアー溶接

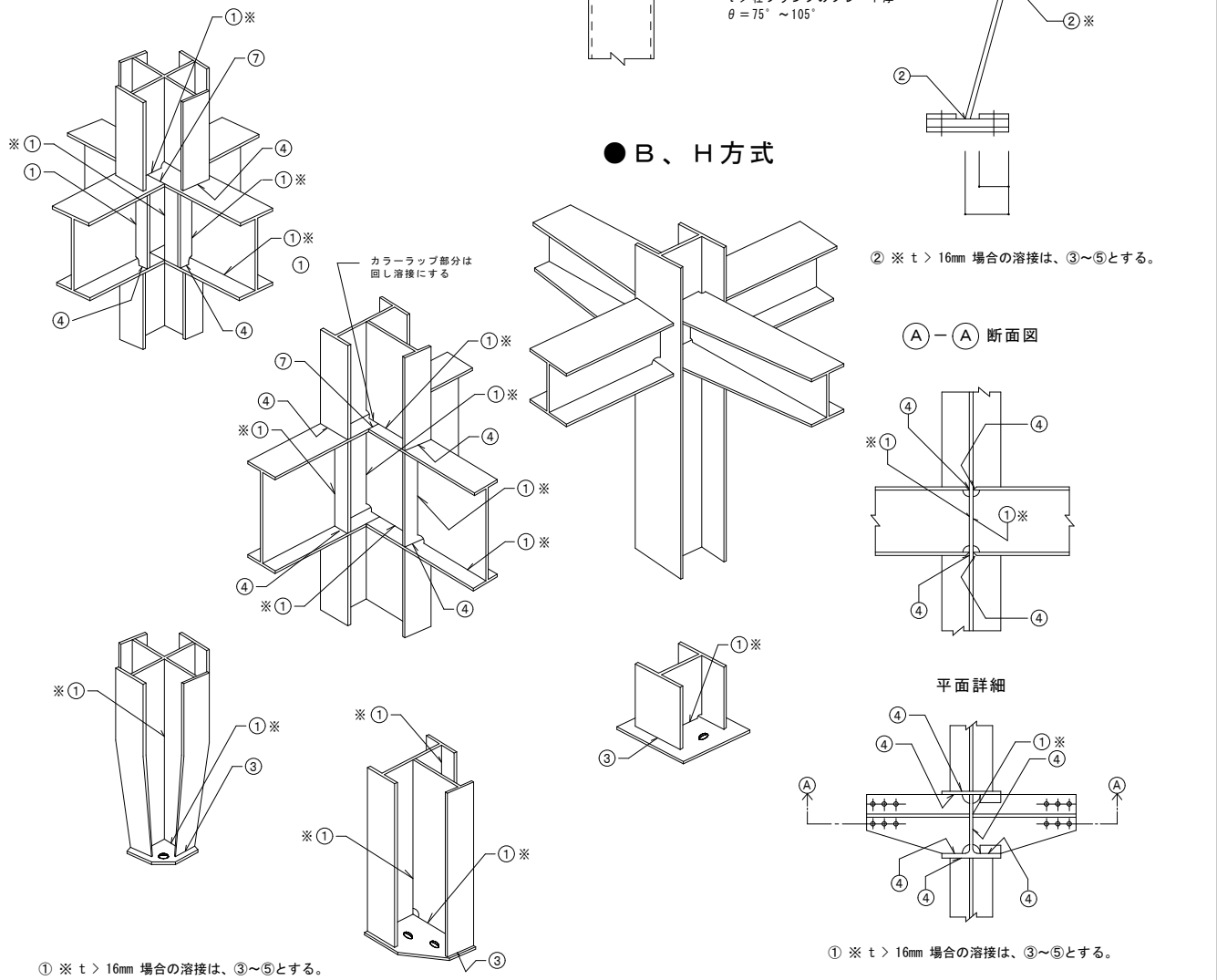


○ 溶接記号番号を○中に記入のこと

● B O X 型 （通しダイヤフラムの場合）



● ㄧ、ㄥ、H 型



3. 継ぎ手規準図、その他

呼 び	ポルト 穴 径	最 少 緑 端 記 録 (e)				ピ ッ チ (P)		
		(1)	(2)	(3)	(2) (3) の 差	最 小	標 準	
M 16	17.0	40	28	22	40	40	60	
M 20	21.5	50	34	26	40	50	60	
M 22	23.5	55	38	28	40	55	60	
M 24	25.5	60	44	30	45	60	70	

Figure 1 consists of two schematic diagrams, TYPE-1 and TYPE-2, illustrating the structure of double-plate type magnetic flux leakage detection probes. Both diagrams show a cross-section of the probe assembly with a central gap (N) and a gap width (φ). TYPE-1 shows a probe with a coil (P L-(2)) and a core (P L-(1)) with a gap (N) and a gap width (φ). TYPE-2 shows a probe with a coil (P L-(1)) and a core (P L-(2)) with a gap (N) and a gap width (φ).

[illegible][illegible]

ハンチ勾配は普通 1 : 4 程度であるが構造面による

The image displays technical drawings for three types of metal plate heat exchangers: A Type, B Type, and C Type. Each type has multiple configurations based on plate count and dimensions.

Table 1: Dimensions for A Type (Plate Count 1 to 400)

B 1	B 2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	115
350	140
400	170

Table 2: Dimensions for B Type (Plate Count 1 to 400)

B 1	B 2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	115
350	140
400	170

Table 3: Dimensions for C Type (Plate Count 1 to 400)

B 1	B 2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	115
350	140
400	170

The drawings include detailed views of the heat exchanger plates, showing the arrangement of ports, gaskets, and the overall structure. Dimensions are provided for various components, including plate thickness, port diameter, and overall size. The table provides the specific dimensions for each plate count, allowing for the selection of the appropriate heat exchanger type and size for a given application.

[illegible]

ねじの呼び (d)		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d l	最 大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最 小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ S		100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差 +0 -0.5mm R		13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき(最少) (2) e l		35	40	45	50	50	55	50
切 板 製	へりあき (最小) (1) e 2	22	28	28	34	34	38	38
	板 厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
平 鋼 製	へりあき (最小) (1) e 2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
	板 厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト 穴心あき(最小) e 3		47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ(最小) l		40	50	55	60	75	85	85
(2) 取付ボルト	種 類	JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中8 10.9						
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本 数	1	1	1	1	1	1	2

1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県)

合 同 会 社 ^ア A ^ベ B E 構 造 設 計

花 巻 市 星 丘 2-27-12 T E L (0198) 23-1088 F A X (0198) 23-1032

符 号	部 材	P L-(1)	N 1-径	I

羽子板ボルト

形鋼ブレス

F B-55x9 中ボルト M16

梁との溶接およびコネクター

アークスポット溶接
16φ× π 200

水平ブレース

梁上通しの場合

既製品面戸（鉄板）

折り曲加工

梁上切断の場合

あて板（鉄板）

あて板（非金属材料）

スラブ端部の補足材

補足受材

① 50-200

L型鋼

P L-(3)

50-400

P L-1.6

50

30

⑥

P L-50x6

① 50-400

P L-1.6

① 50-400

P L-3.2

L-50x50x6 $\phi \geq 600$

300以下

600以下

図1 ALC壁パネルの補強構造

左図：挿入筋構法 (Insert Reinforcement Method)

右図：スライド構法 (Slide Method)

共通の部品：

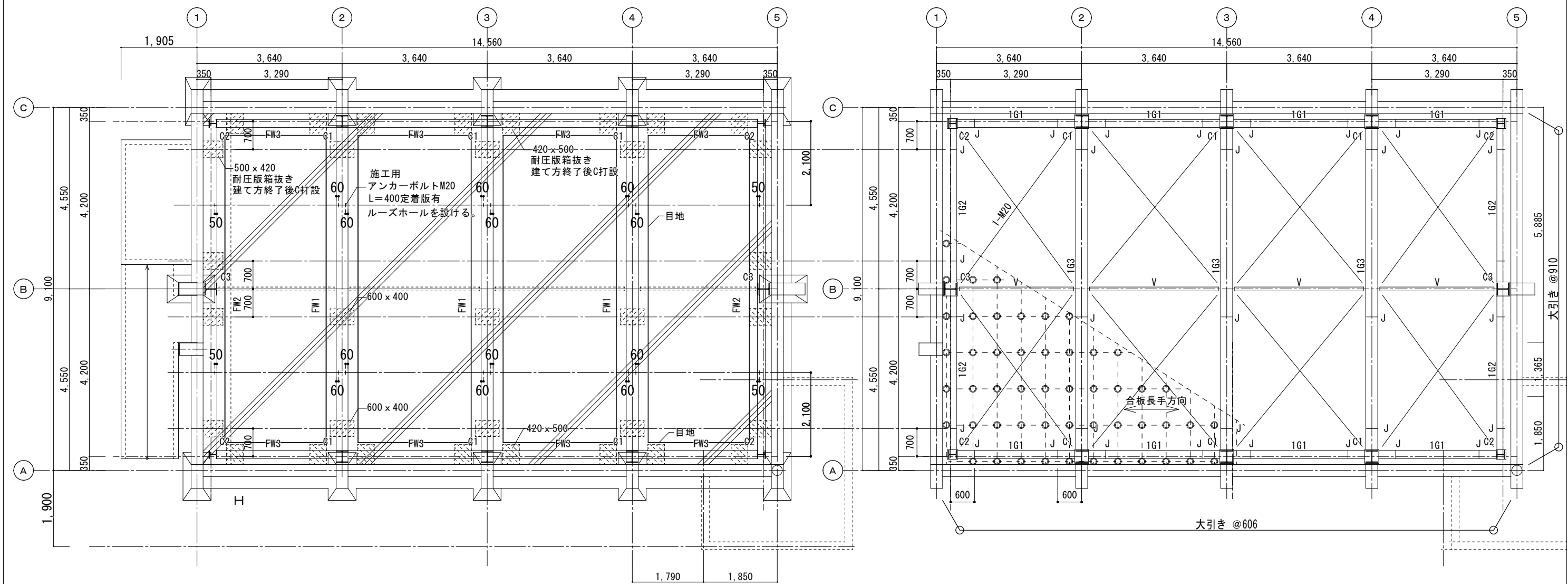
- 鉄骨 9φ $l=1000$
- ALC壁パネル
- 受け金物 ⑦6
- スライドハタ金物
- 鉄骨梁
- シーリング材
- L-65x65x6 以上

	スタット 材				
	呼び名	軸心 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm	溶接後の長さ L mm
		φ 13mm	13.0	22.0	10.0
12.7			25.4	7.9	
	φ 16mm	16.0	29.0	10.0	80, 100, 130
		15.8	31.7	7.9	
	φ 19mm	19.0	32.0	10.0	80, 100, 130, 150
		19.0	31.7	9.5	
	φ 22mm	22.0	35.0	10.0	100, 130, 150
		22.2	34.9	9.5	

The diagrams illustrate various reinforcement techniques for structural components:

- Top Left:** A plan view of a rectangular plate with a central circular hole. The hole has a diameter of 2ϕ . A label ① points to the plate material.
- Top Middle:** A side view of a vertical pipe with a horizontal plate (labeled ①) attached to its exterior.
- Top Right:** A side view of a vertical pipe with a horizontal plate (labeled ①) attached to its interior.
- Bottom Left:** A plan view of a rectangular plate with a central circular hole. A label ① points to the plate material.
- Bottom Middle:** A side view of a vertical pipe with a horizontal plate (labeled ①) attached to its exterior. The plate has a thickness ϕ and a diameter D . Two vertical arrows labeled 10 indicate a specific condition or force.
- Bottom Right:** A 3D perspective view of a rectangular plate with a central circular hole. A label ① points to the plate material. Two vertical arrows labeled 10 indicate a specific condition or force.

(11) その他



基礎 1 階伏図

■凡例

耐圧版 t=200 を示す

耐圧版 目地: 15 x 10 x 10 (上辺 x 高さ x 底辺)

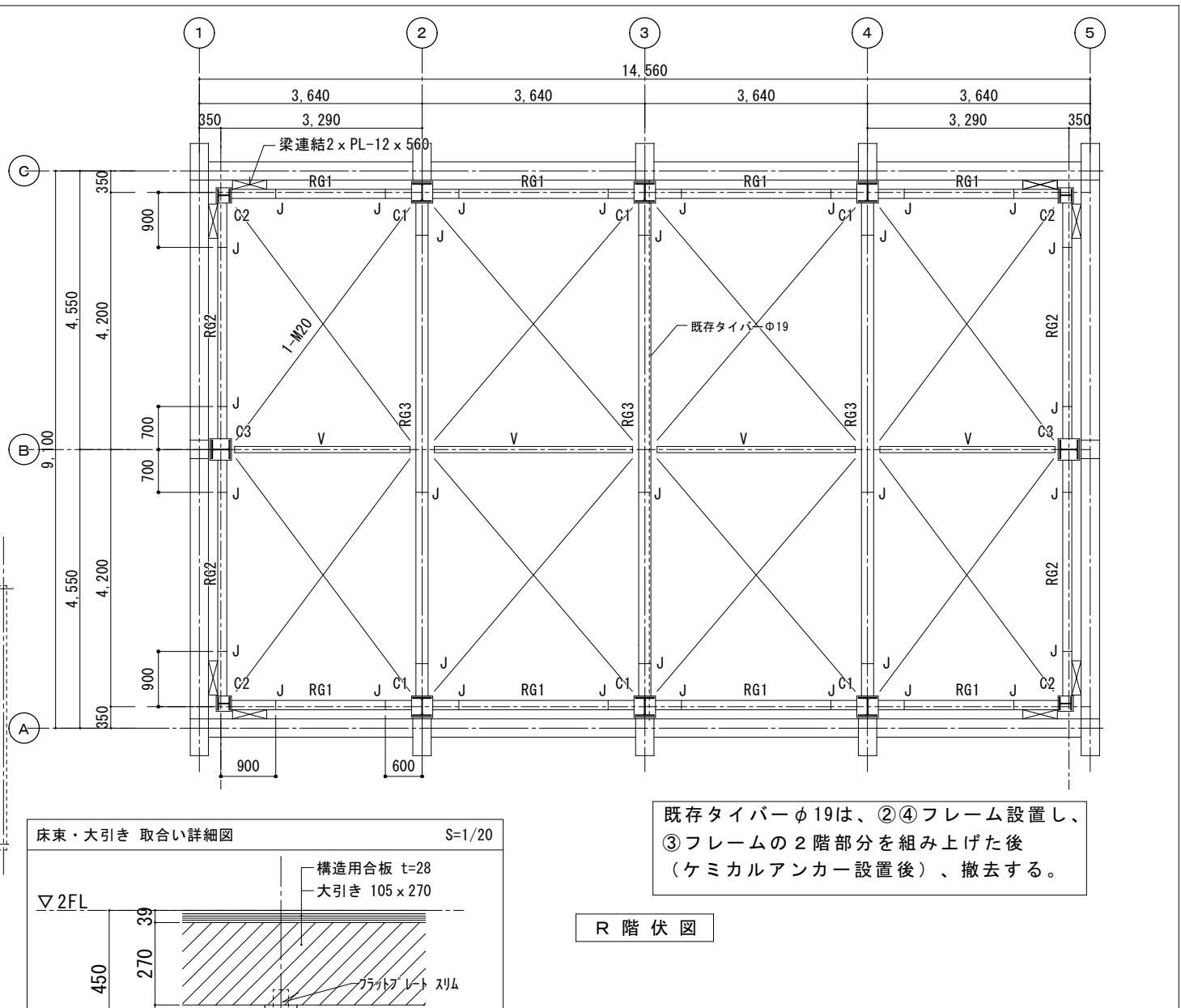
1 階床伏図

■凡例

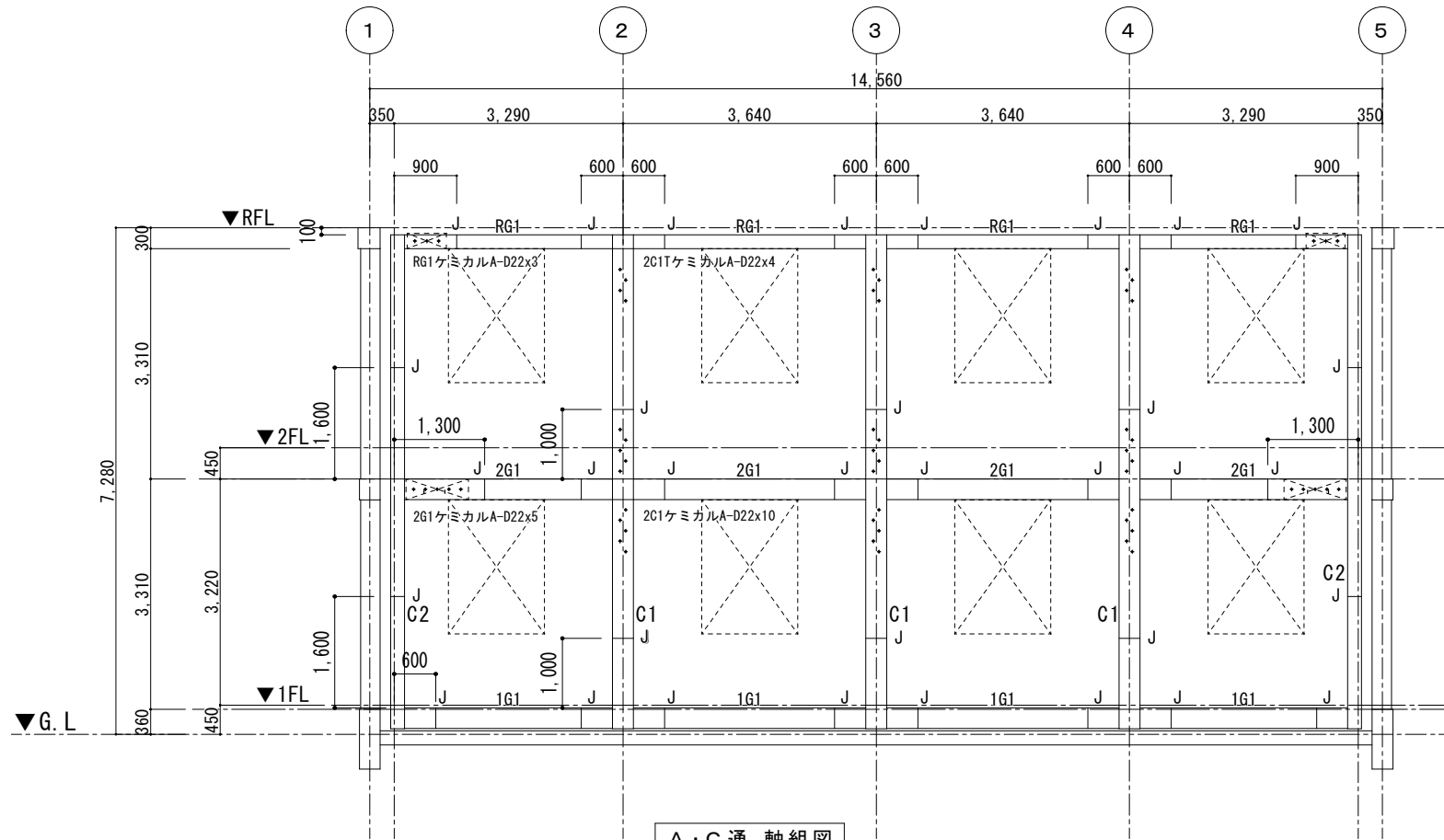
○ : 鋼製束 (YR束 YR-2438 同等品)

--- : 大引き べいまつ 90 x 90

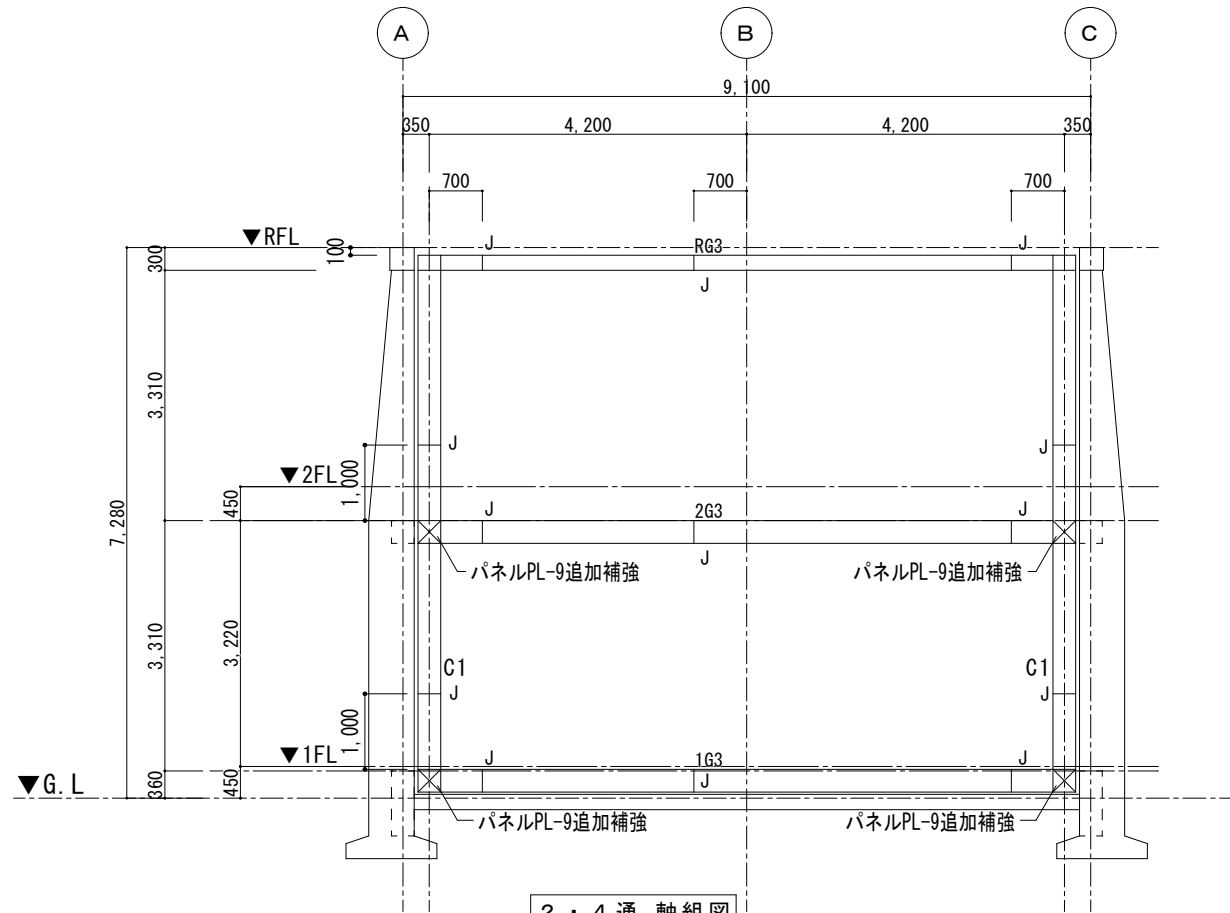
名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合同会社 A ^ア B ^ベ E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 RC造補強 基礎伏図・1階床伏図	縮尺 (A3) 1:100	枚ノ内	図面番号 S-06
			1 級建築士 登録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				



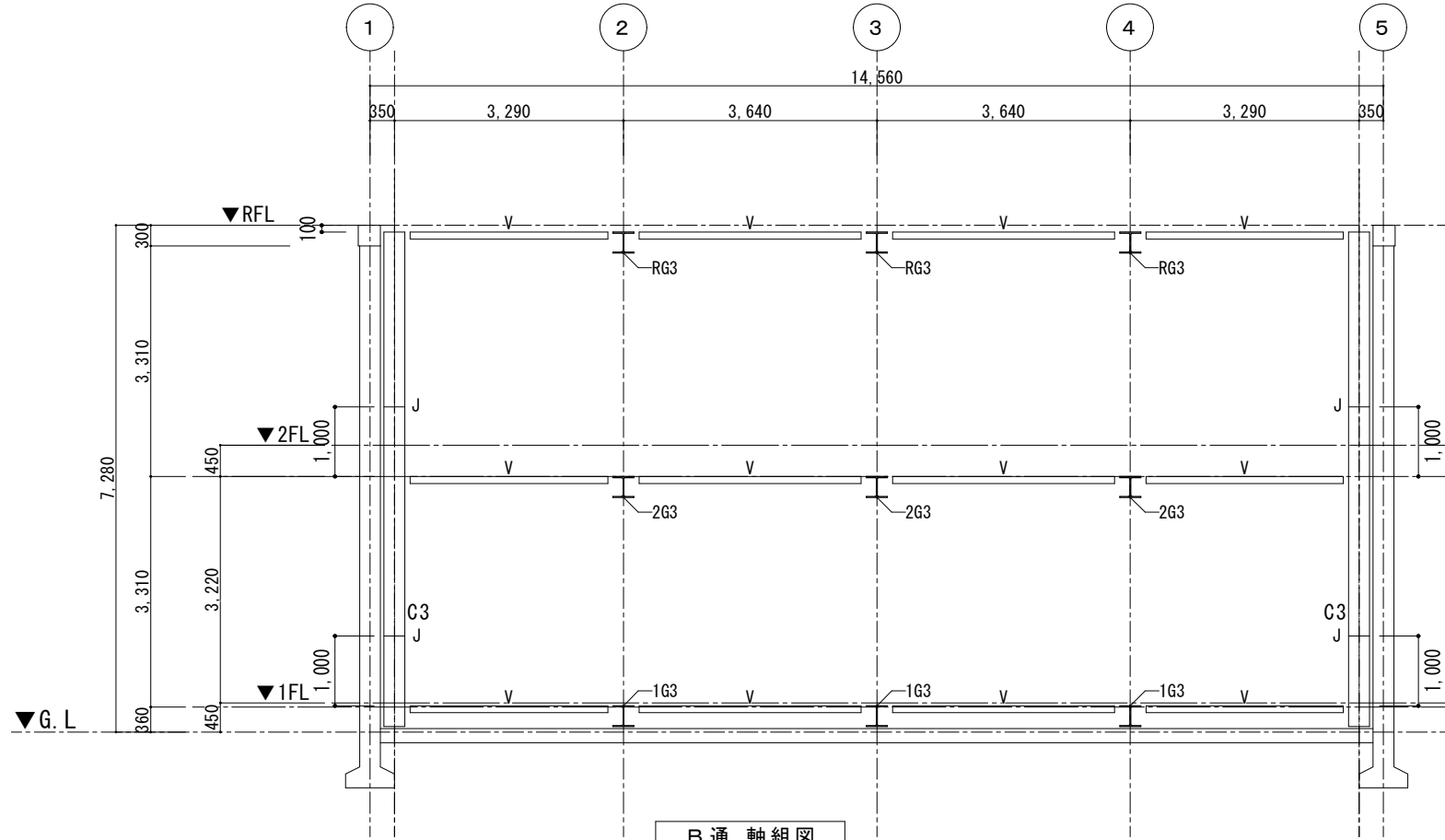
符 号	部 材	備 考
B V	H-100×100×6×8	GPL-9 , HTB 2-M20
V	2C-100×50×20×3.2	GPL-6 , HTB 2-M16
水平ブレース	M20 (JIS) 1階床面	GPL-9 , HTB 1-M20
水平ブレース	M20 (JIS) R階	GPL-9 , HTB 1-M20
水平ブレース	M30 (JIS) 2階 B-C間 4か所	GPL-12 , HTB 2-M22
水平ブレース	M30 (JIS) 2階 A-B間 3か所	GPL-12 , HTB 2-M22
ケミカルアンカー	D22 L=180 ナット及び座金使用 梁部64本+柱112本 合計176本	
	D16 L=150 ナット及び座金使用 梁部4本	



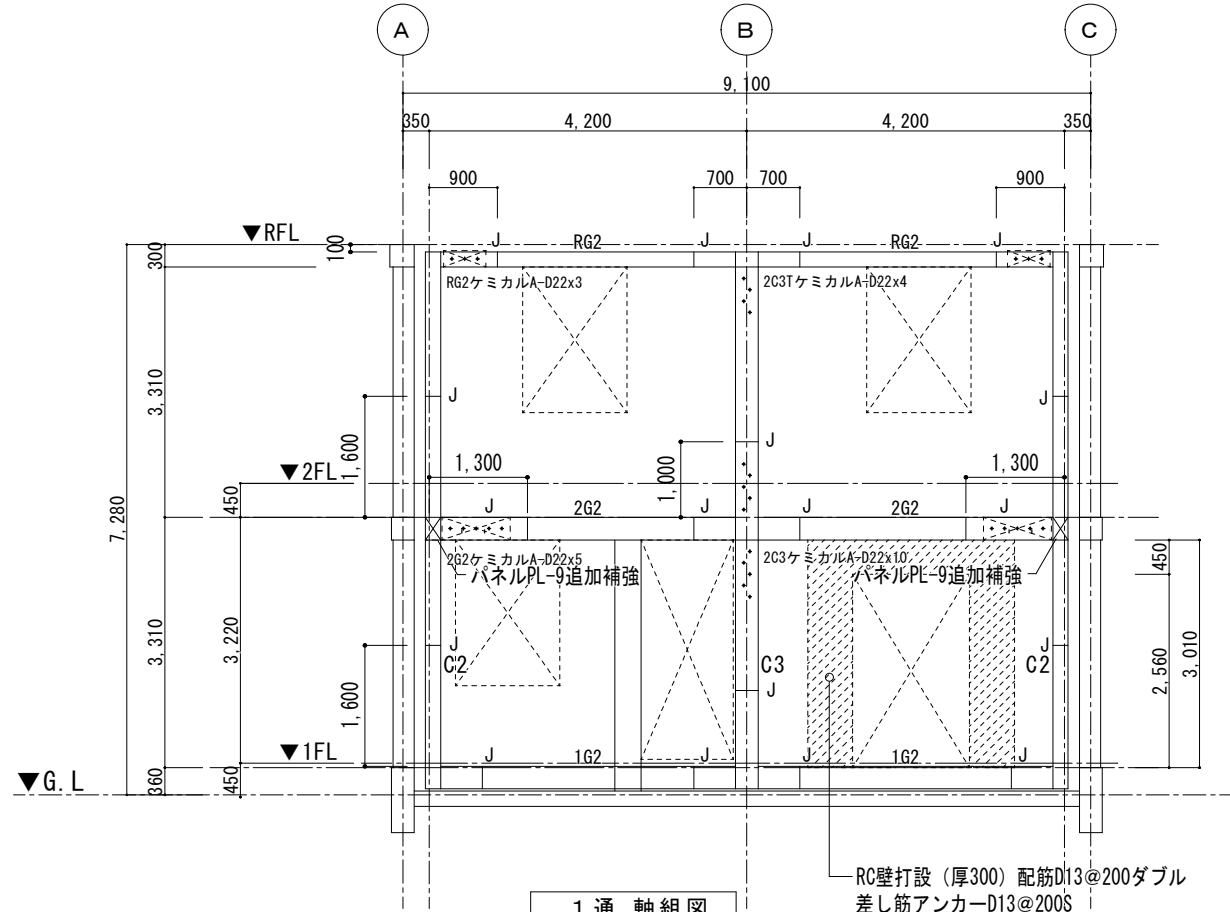
A・C 通 軸組図



2・4 通 軸組図



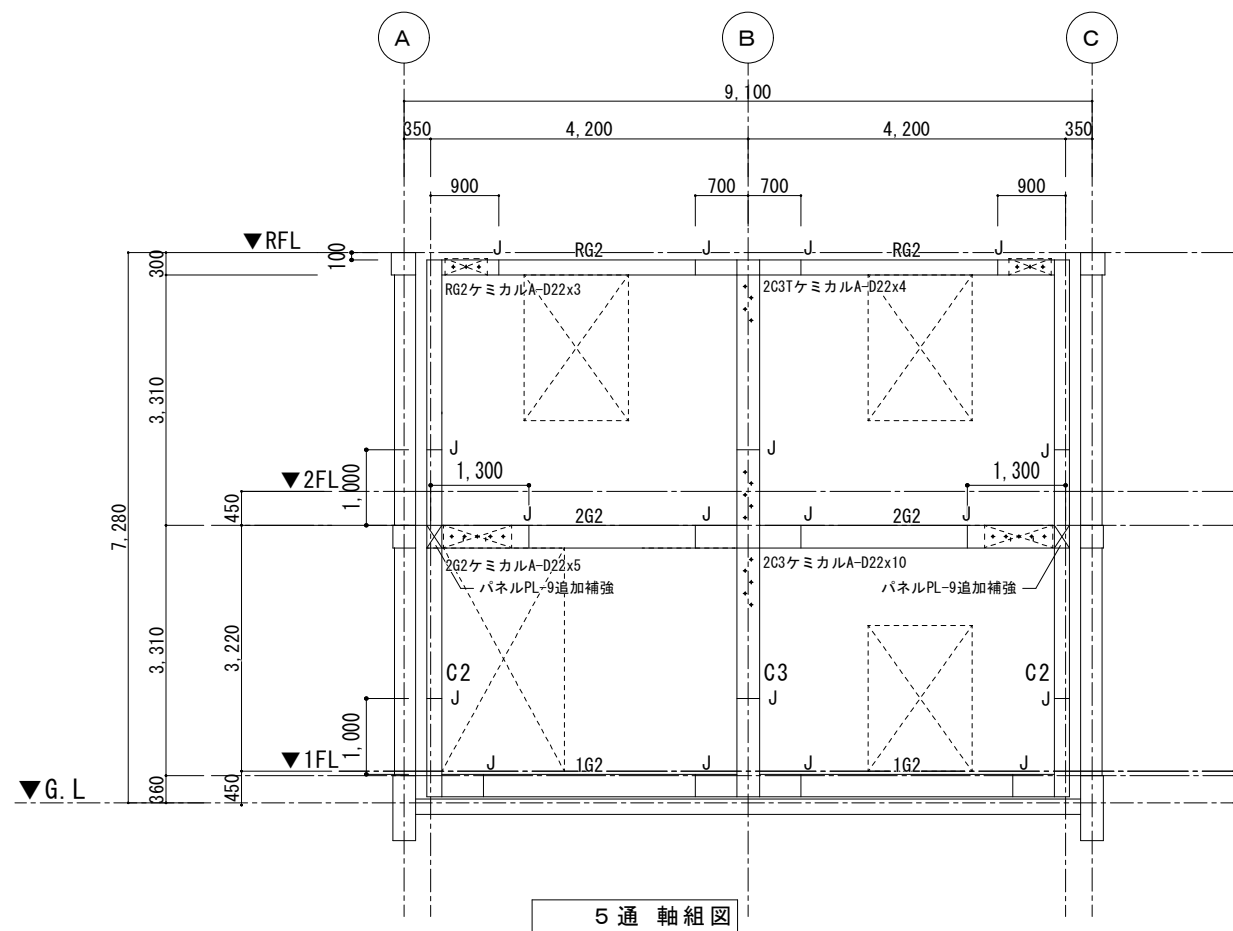
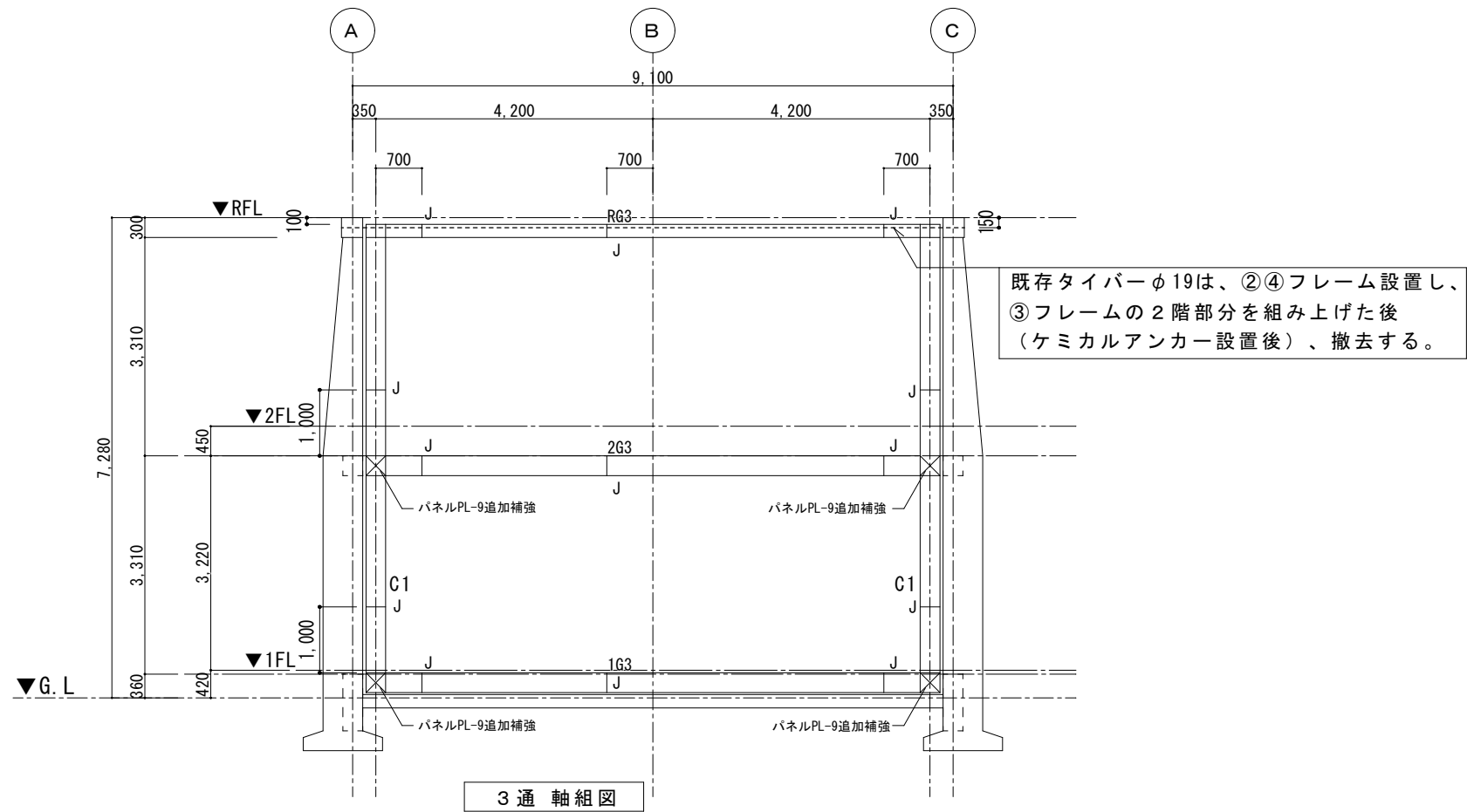
B 通 軸組図



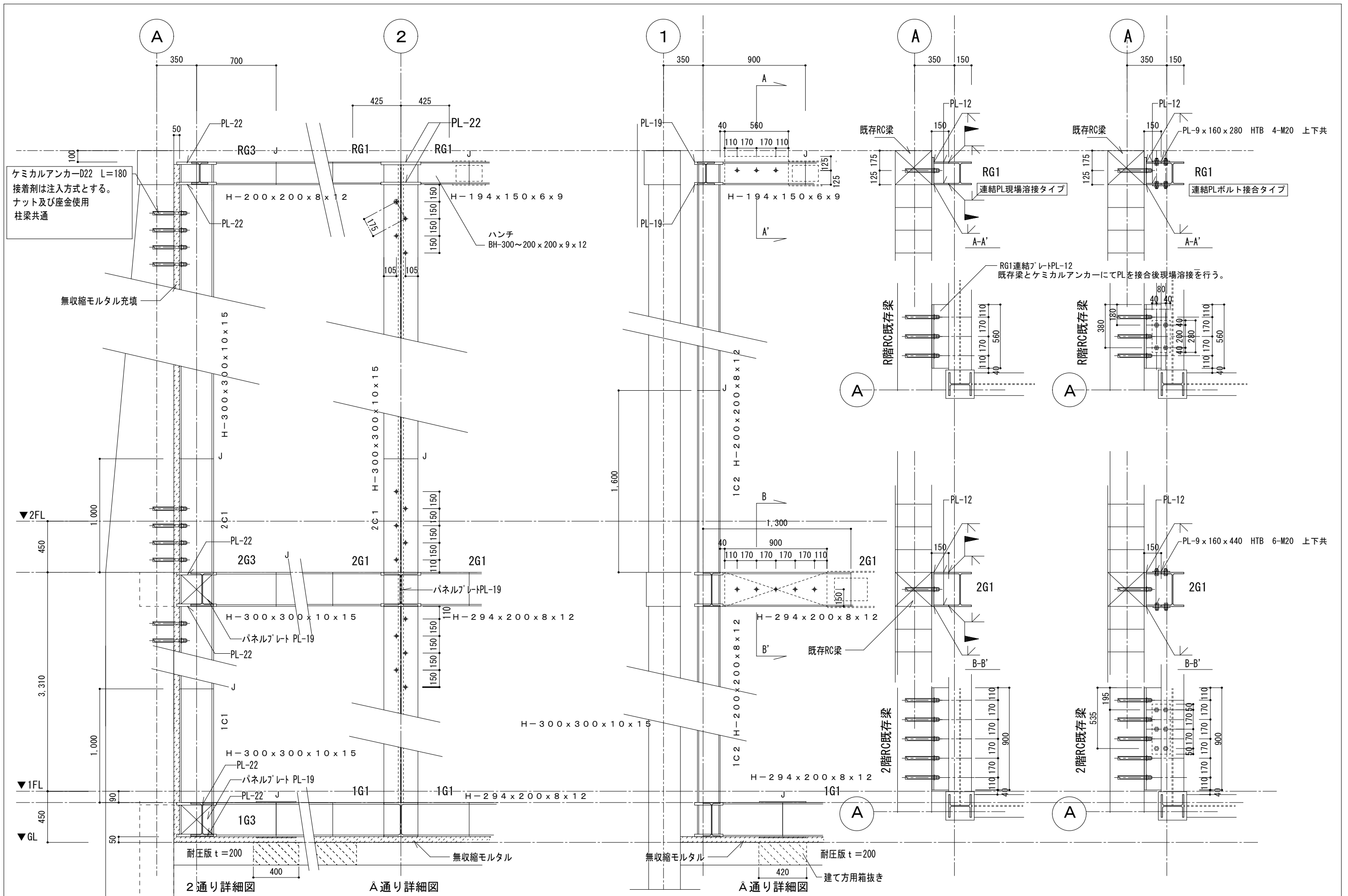
1 通 軸組図

RC壁打設（厚300）配筋D13@200ダブル
差し筋アンカーD13@200S

名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検閲	図面内容 RC造補強 軸組図 (1)	縮尺 (A3) 1:100	枚ノ内	図面番号 S-08
			1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				

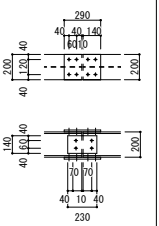
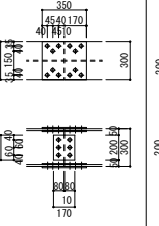
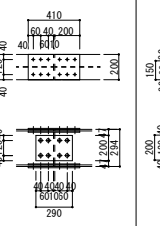
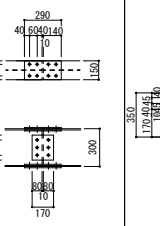
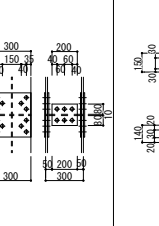
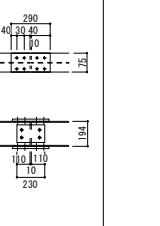


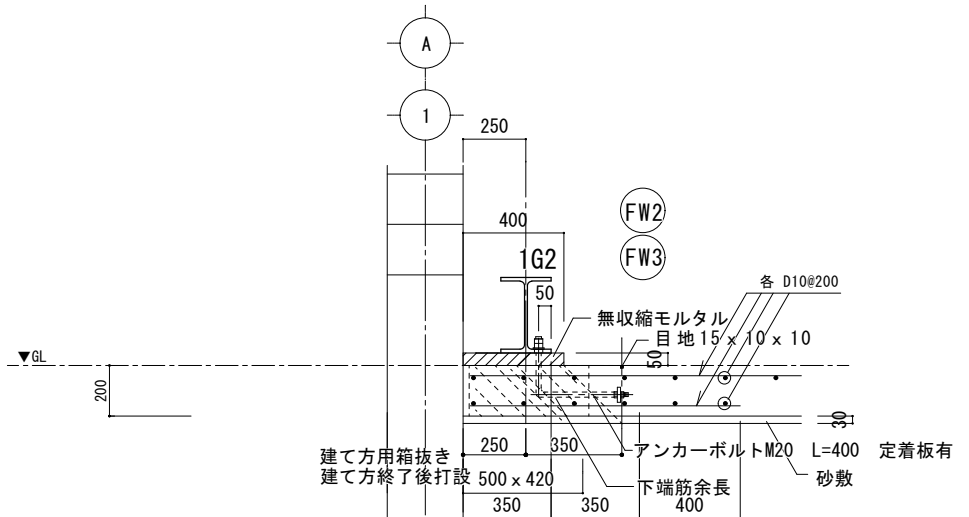
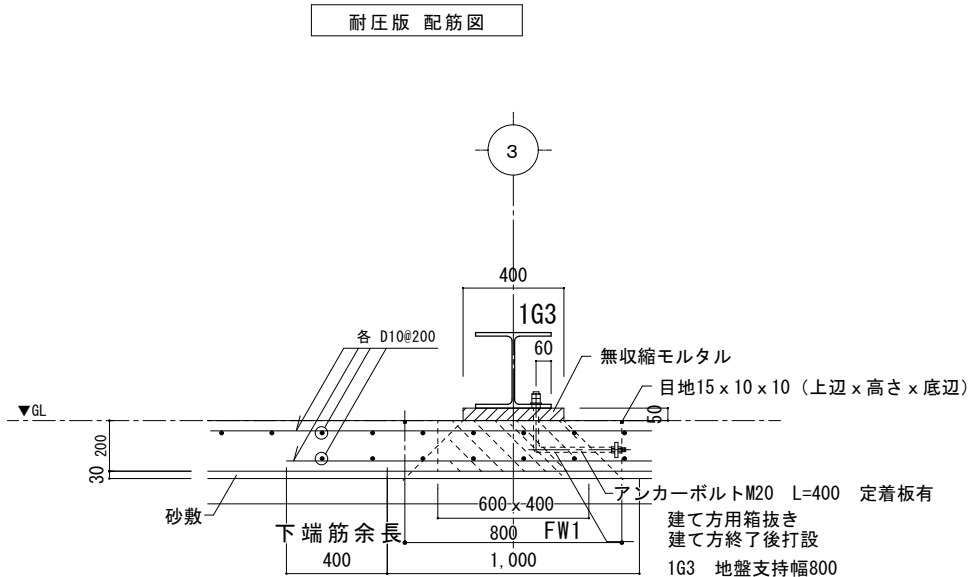
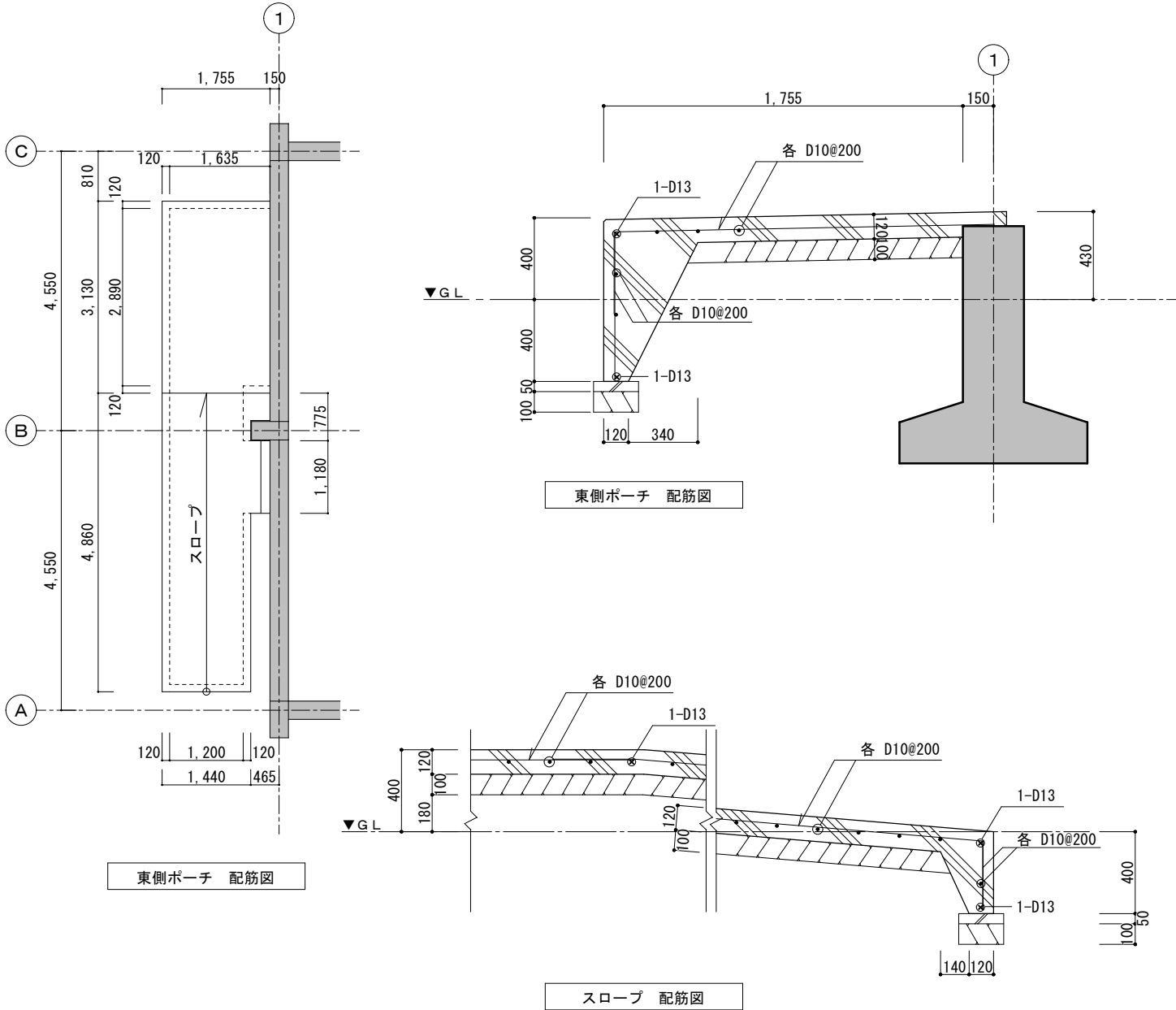
名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 RC造補強 軸組図(2)	縮尺 (A3) 1:100	枚ノ内	図面番号 S-09
			1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				



名 称		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県)	設計年月日	設計	検図	図面内容	縮尺	枚ノ内	図面番号
	本庁舎分室 耐震補強工事		合同会社 A B E 構 造 設 計	2025. 3.					
		岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	1 級 建 築 士 登 録 2 0 7 8 3 3 号 阿 部 公 男	製図	担当	RC造補強鉄骨詳細図			

継手リスト ※ SCSS-H97による

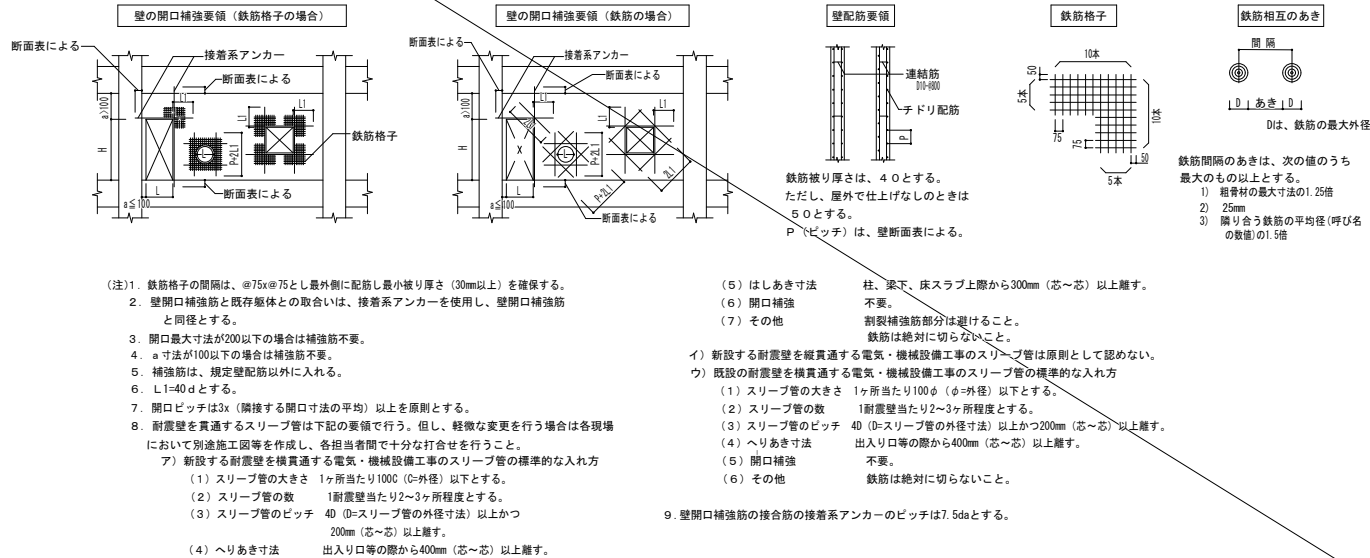
符 号		C2・RG3	1G3・2G3	1G1・1G2・2G1	2G2	C1・C3	RG1・RG2
主 材		H-200x200x8x12x13	H-300x300x10x15x13	H-294x200x8x12x13	H-300x150x6.5x9x13	H-300x300x10x15x13	H-194x150x6x9
断 面							
フランジ	S P L	2 R- 9x200x290 4 R- 9x 80x290	2 PL- 9x300x350 4 PL-12x110x350	2 PL- 9x200x410 4 PL- 9x 80x410	2 PL- 9x150x290 4 PL- 9x 60x290	2 PL- 9x300x350 4 PL-12x110x350	2 PL-9x150x290
	H T B	16-M20 : L=60	24-M22 : L=70	24-M20 : L=60	16-M16 : L=50	24-M22 : L=70	16-M20
ウェブ	S P L	2 PL- 6x140x230	2 PL- 9x200x170	2 PL- 6x200x290	2 PL- 6x200x170	2 PL- 9x200x170	2 PL- 6x140x230
	H T B	4-M20 : L=50	6-M22 : L=65	8-M20 : L=50	6-M16 : L=45	6-M22 : L=65	4-M20
備 考							



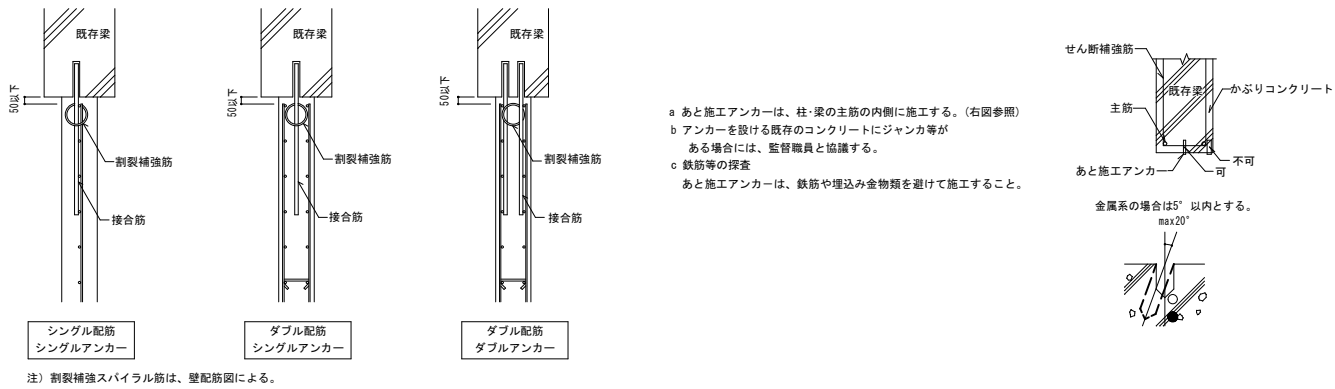
耐震補強基準要領

壁断面表

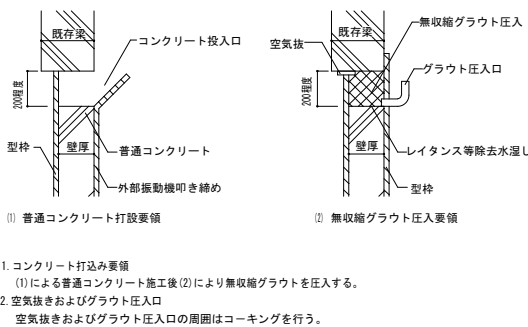
符号	新設 壁厚	主筋 たて、よこ筋	接合筋	壁開口補強筋			割製補強スパイラル筋		備 考
				たて・よこ筋	たて・よこ筋 アンカー筋	ななめ筋	鉄筋	スパイラル径	



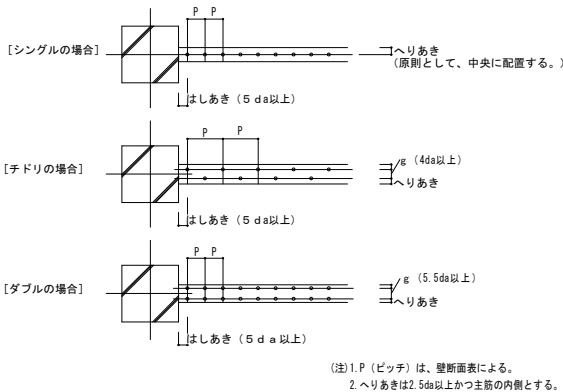
あと施工アンカー要領図



コンクリート打込み工法（流し込み工法）

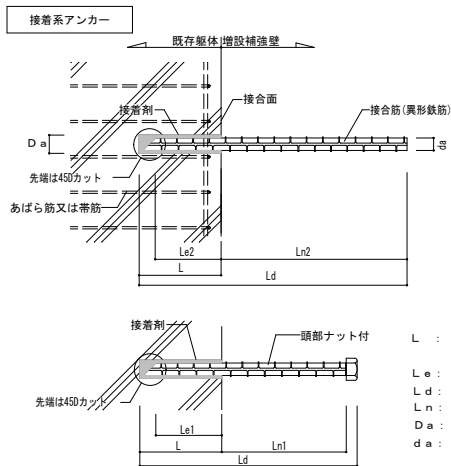


あと施工アンカーの位置と間隔



あと施工アンカーの形状と接合筋

注）有効埋込み深さは、あばら筋又は帯筋外側からかぶり厚さを加えた部分からの寸法とする。



アンカー関係共通事項	
接着系アンカーの有効埋込み長さ	一般部 : $L e 1 = 8 d a$ 開口補強筋 : $L e 2 = 11 d a$ シヤコネクタ : $L e 3 = 7 d a$ 外付補強ブレース部 : $L e = 13 d a$
接着系アンカーの有効定着長さ	一般部 : $L n 1 = 20 d a$ 開口補強筋 : $L n 2 = L 1 + 5 d a$ （補強筋との離手長さ+77.5d）
アンカー筋形状	ナット付き異形棒鋼（開口補強筋用はナット無し）とし、ナットからねじ山が2山以上出ること。 又、先端形状は45°以上カットする。

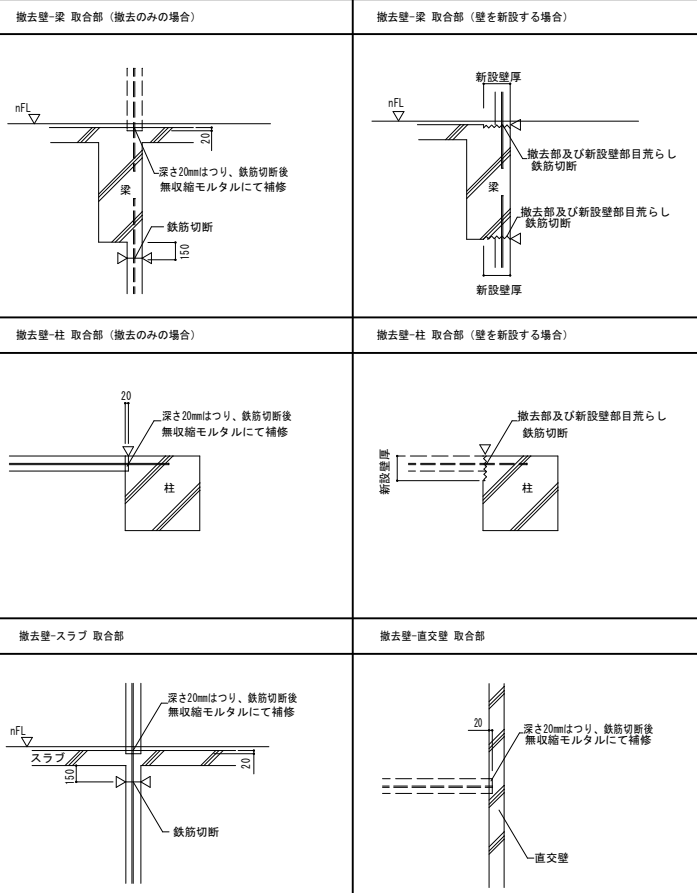
既存壁等撤去要領図

注記）特記なき壁等の撤去は下図による。

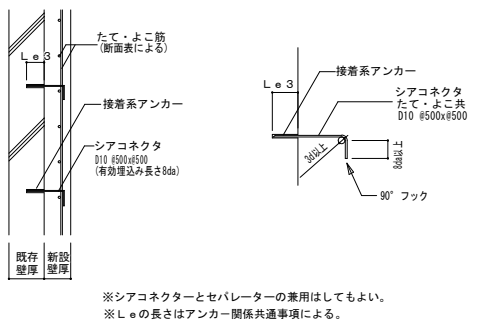
注記）△印は、コンクリートカッター位置を示す。

注記）鉄筋切断部には、錆止め塗装を行う。

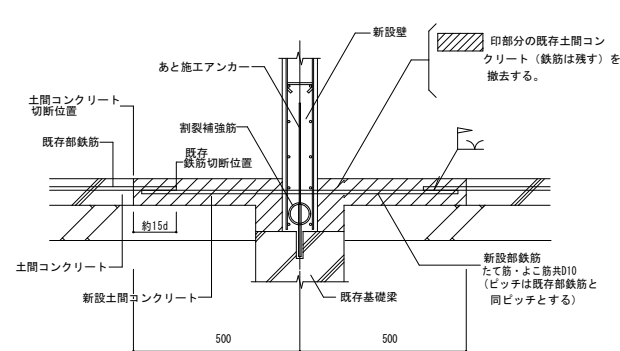
注記）鉄筋はつり出しは、特記による。



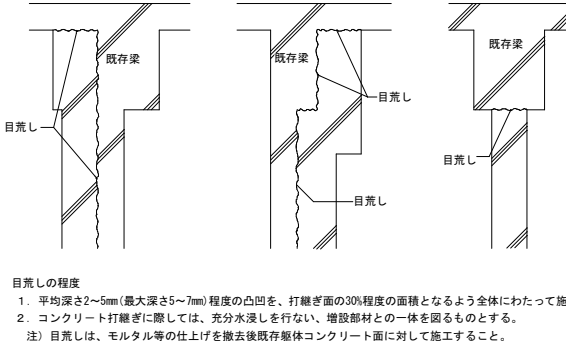
既存壁とのシアコネクター



新設壁と土間コンクリート部分の取合

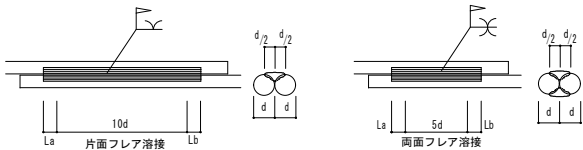


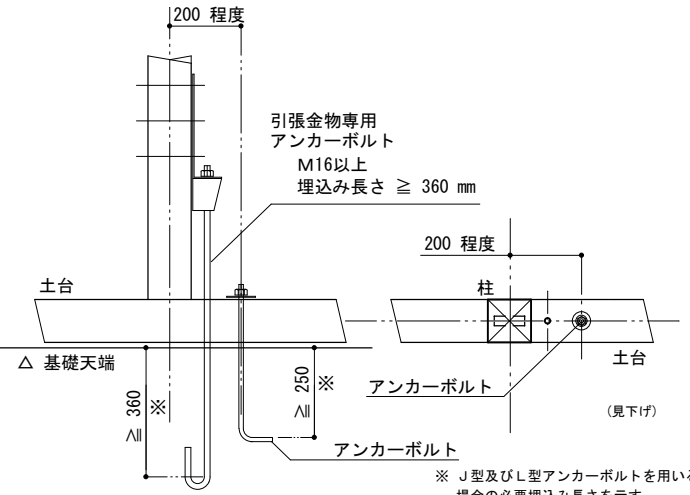
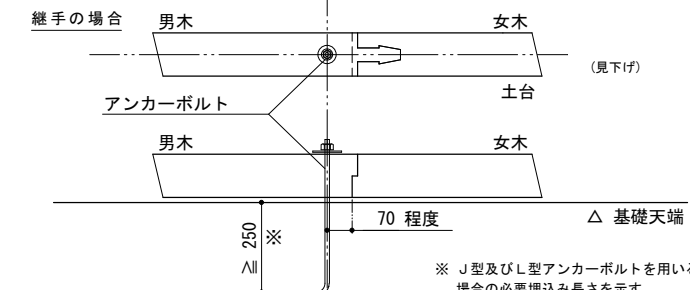
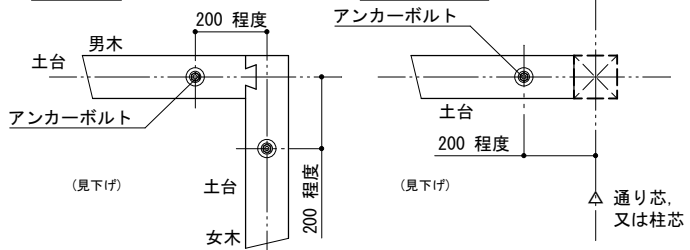
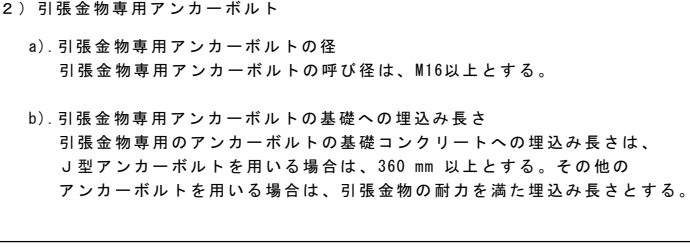
既存部材の目荒し処理



鉄筋フレア溶接要領

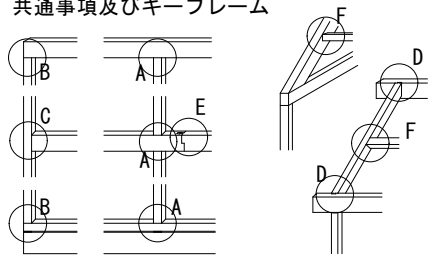
- 鉄筋のフレア溶接は、特記なき限り下図の片面または両面とする。
- 鉄筋のフレア溶接の溶接長さは、ビードの始点(La)及び、クレータ(Lb)を除いた部分の長さとする。但し、La及びLbは1d以上とする。



木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図（１）													
１． 一般事項		２． 材料		３． アンカーボルト			４． 接合一般						
（１）適用範囲 ※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。 木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。 （２）設計図書 設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。 （３）準拠する図書 設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。） 「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修） 「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修） 「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修） 「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」 （日本住宅・木材技術センター） 「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」（2015年改訂版） 上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。 （４）設計図書の優先順位 設計図書の優先順位は下記による。 1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書） 2. 設計図 3. 特記仕様書 4. 本標準図 （５）疑義 疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。 （６）製作要領書及び施工計画書の作成・提出 工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。 （７）施工図及びプレカット図の提出 工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。 （８）製作工場の選定、承諾 設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける （９）各種試験・検査報告書の提出 施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。 （10）接合工法 本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。 ・継手仕口による在来工法 ・梁受け金物、及びホゾパイプ等による金物工法 なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。 また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。 本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。 （11）加工部材に関する留意事項 本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。 ・梁:部材断面が幅90mm～150mm、梁成が幅と同等～450mm、及び材長6 m以下 ・柱:90角～150角の正方形断面、長さ6m以下 これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。		（１）木材及び木質材料 主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。 （２）接合具 a)くぎ 主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。 b)木質構造用ビス 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。 使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。 c)ボルト・ナット・座金 1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。 ・ボルトはJIS B 1051 ,ナットはJIS B 1052 に規定される機械的性質を満たす炭素鋼 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット 【 Zマーク表示金物 】 【 Dマーク表示金物 】 【 Sマーク表示金物 】 ・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット 2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。 3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。 ※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。 d)ドリフトピン・ラグスクリュー 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。 e)木栓・木ダボ 主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。 樹種・径等については、特記仕様書で指定する。 節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。 （３）接合金物 a)規格金物 構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。 ・JIS A 5531；木構造用金物 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物；Zマーク表示金物、又は Cマーク表示金物 ・同等認定金物；Dマーク表示金物 ・性能認定金物；Sマーク表示金物 上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。 使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。 b)製作金物 製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。 （４）接着剤 原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。 建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。 （５）防腐防蟻処理及び耐候処理 防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。 土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。		※共通事項 ・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。 （１）土台固定用アンカーボルト a). アンカーボルトの埋設位置； アンカーボルトの埋設位置は以下による。 -1. 耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部； 耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置（柱芯より200mm内外）とする。  ※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。 -2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口； 土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。  ※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。 仕口の場合  ※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。 土台切れの場合（柱勝ち収まり等）  ※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。 -3. その他； 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。 （２）引張金物専用アンカーボルト a). 引張金物専用アンカーボルトの径 引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。 b). 引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ 引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。			（１）釘接合 ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。 ・面材表面に対し、釘頭がめり込んではならない。 ・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。 ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 ・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。 （２）木質構造用ビス接合 ・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。； 比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 % 上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 % ※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2／3程度とする。 （３）ボルト接合 ・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。 ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。 ・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。 （４）ラグスクリュー接合 ・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。 ・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。； 比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 % 上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 % ※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。 ・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。 ・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。 ・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。 ・呼び径 M12以下；+1.0mm ・呼び径 M16以上；+1.5mm （５）ドリフトピン接合 ・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。 ・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、孔に対しテーパのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。 （６）木栓接合 ・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。 ・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。 ・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。 （７）グルードインロッド接合 ・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。 ・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。						
名 称		 _____ _____ _____ _____		1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号(岩手県) 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032			設計年月日 2025. 3. 1級建築士 登録 207833号 阿部 公 男	設計	検図	図面内容 木造軸組接合部標準図(1)	縮尺 —	枚ノ内 —	図面番号 S-14
本庁舎分室 耐震補強工事							製図		担当				

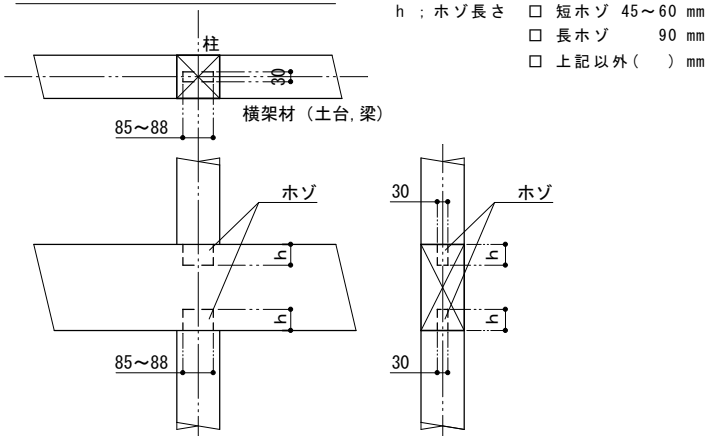
木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (2)

(1) 共通事項及びキーフレーム

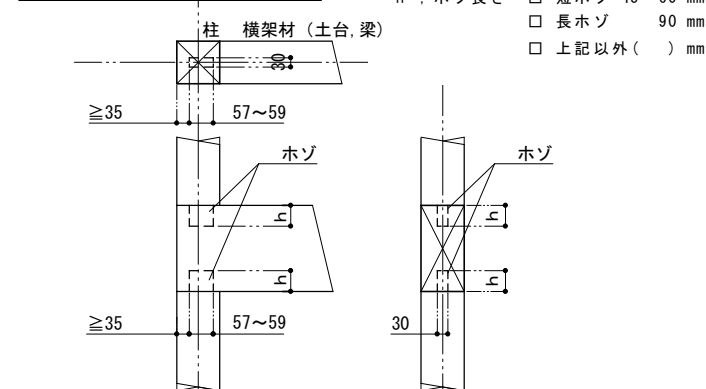


(2) 標準的な継手仕口 (mm)

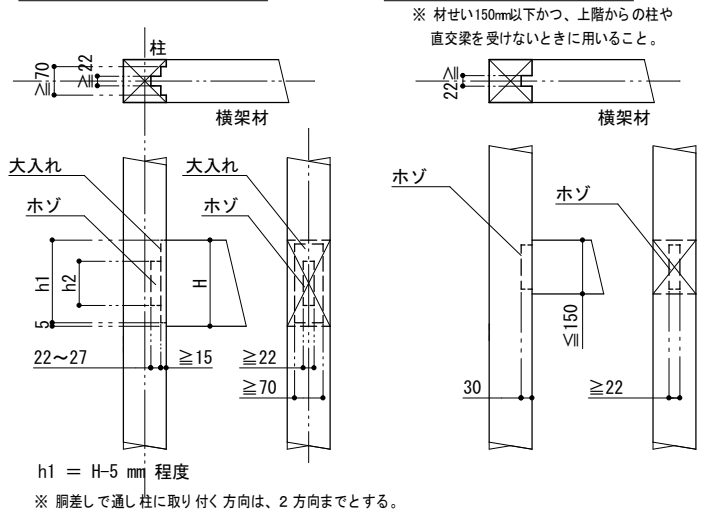
A 柱-横架材仕口：一般部 (土台・梁)



B 柱-横架材仕口：出隅部 (土台・梁)

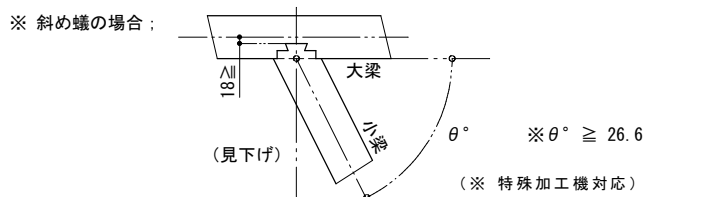
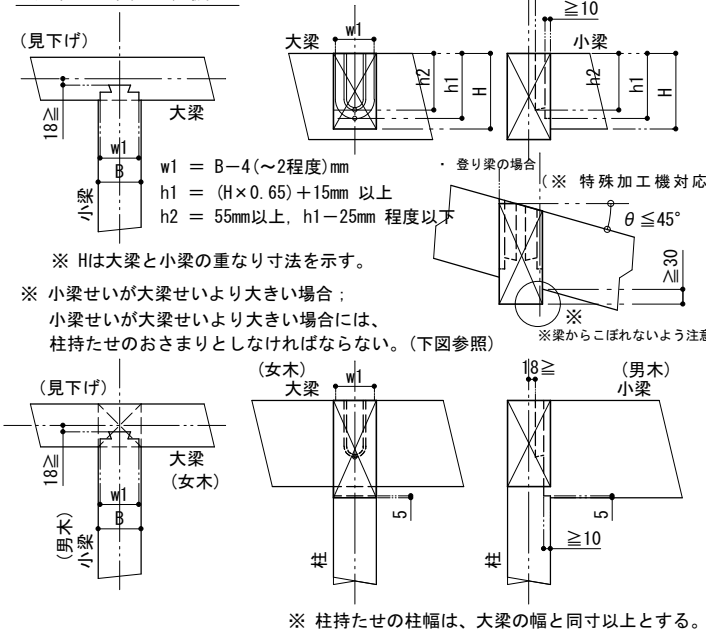


C 通柱-横架材仕口：胴差し

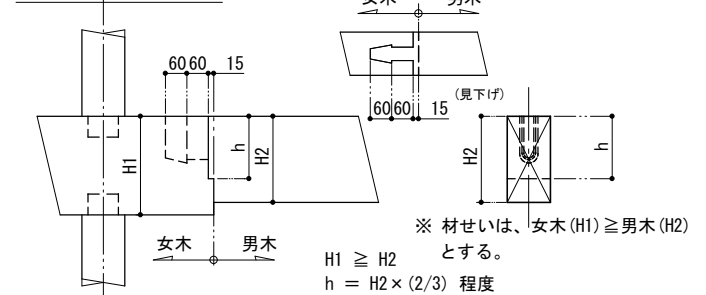


※ 胴差しで通し柱に取り付け方向は、2方向までとする。

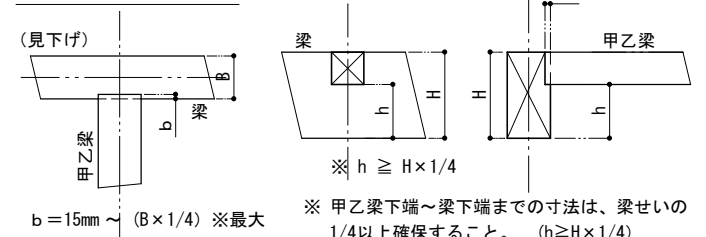
D 大梁-小梁仕口：蟻仕口



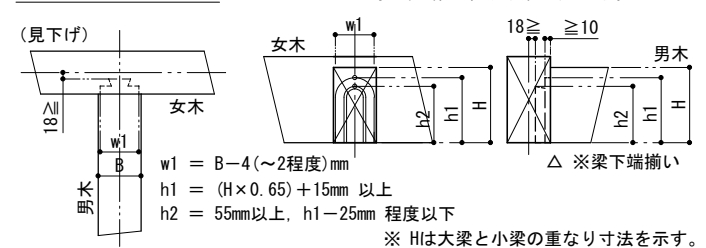
E 梁-梁継手：腰掛継ぎ



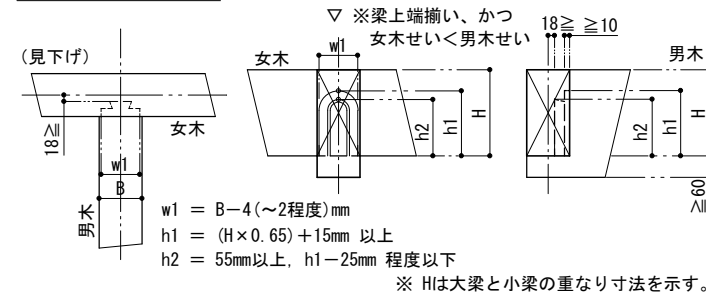
F 梁-甲乙梁仕口：大入れ



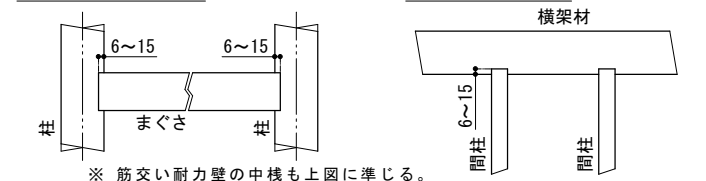
G 梁-梁仕口：逆蟻仕口



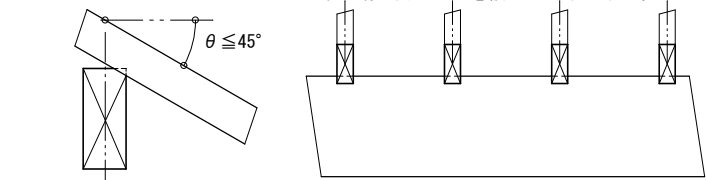
H 梁-梁仕口：茶臼仕口



I その他：まぐさ欠き



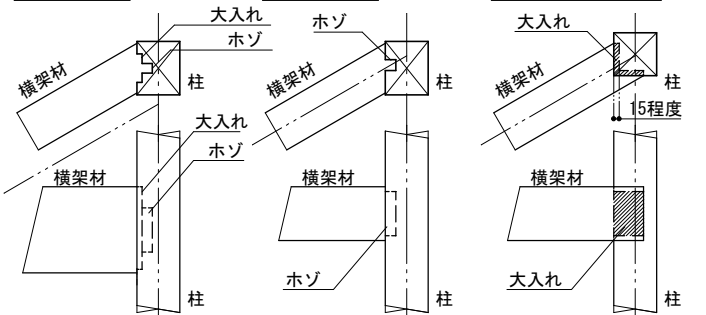
K その他：垂木欠き



(3) 特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

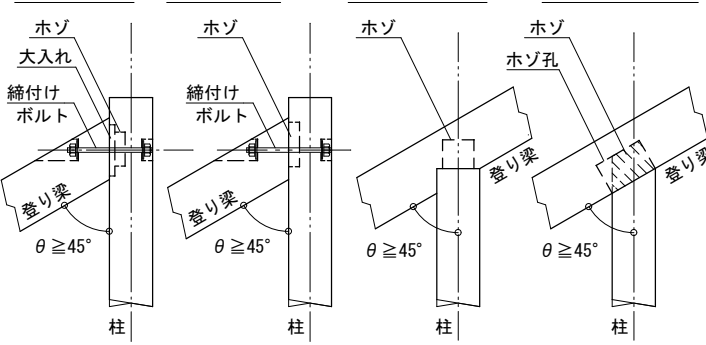
特殊加工機を用いることにより対応が可能な継手仕口の一例を、本節に示す。
特殊加工機を用いた継手仕口は、加工工場が限定されるので注意すること。
特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

L 斜め胴差し



※ L, Mともに、梁幅が柱からこぼれない範囲で用い、柱断面を調整して使用すること。
※ L, Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナー金物を横使いとする。
使用するコーナー金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。

O 登り胴差し

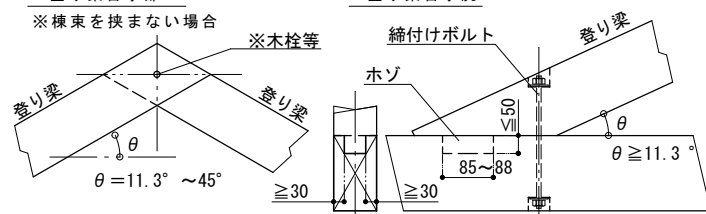


P 登り桁差し

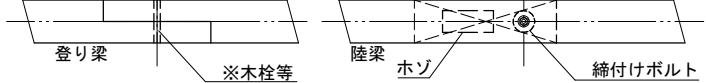
Q 登り斜めホゾ

R 登り座付きホゾ

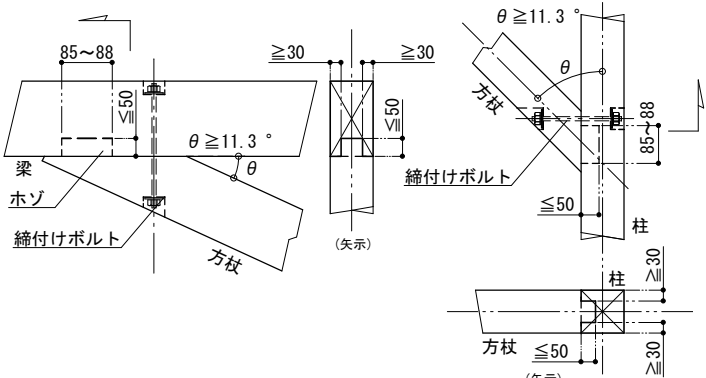
S 登り梁合掌部



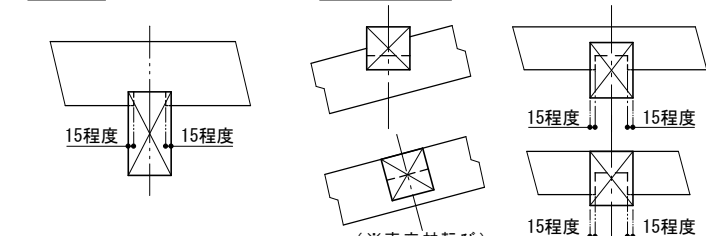
(見下げ)



U 方杖-梁仕口

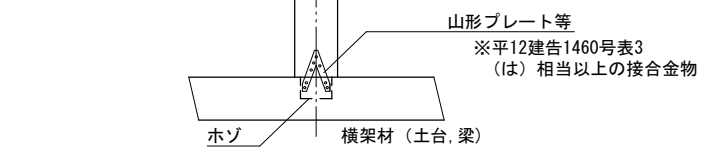


W 渡り頭

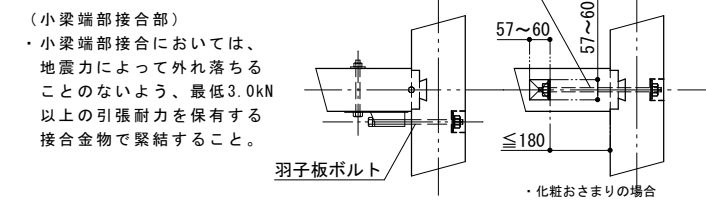


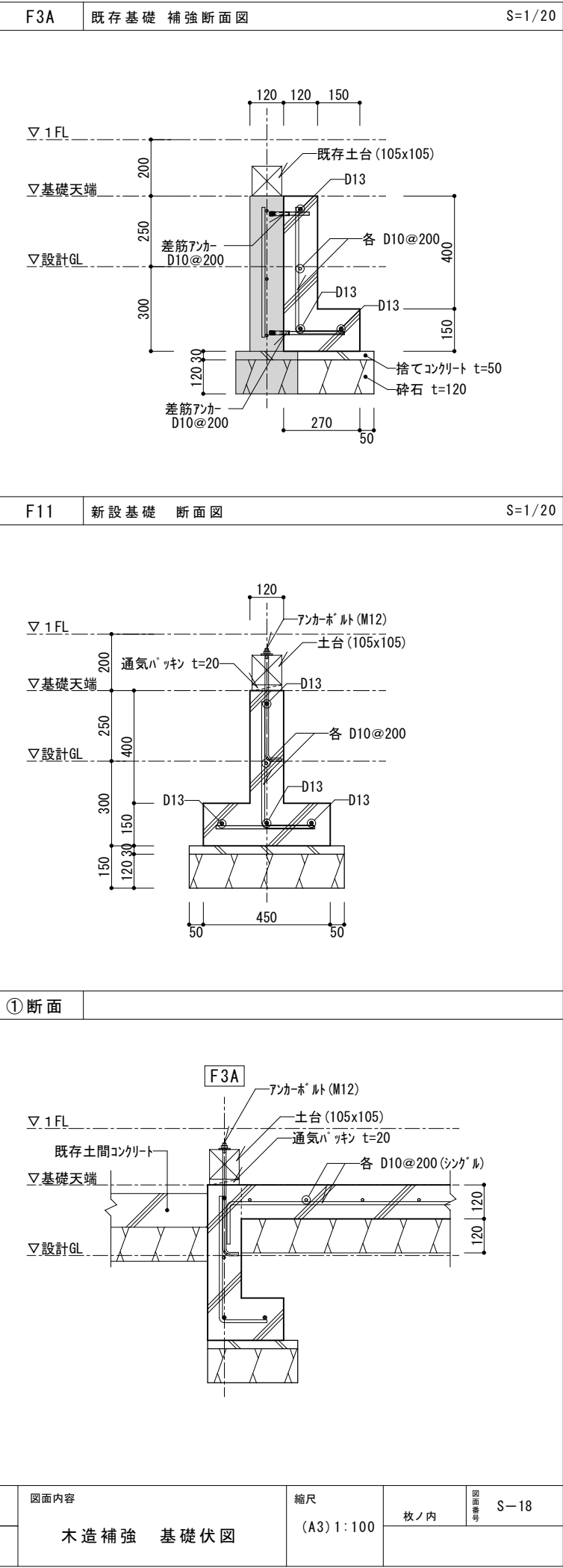
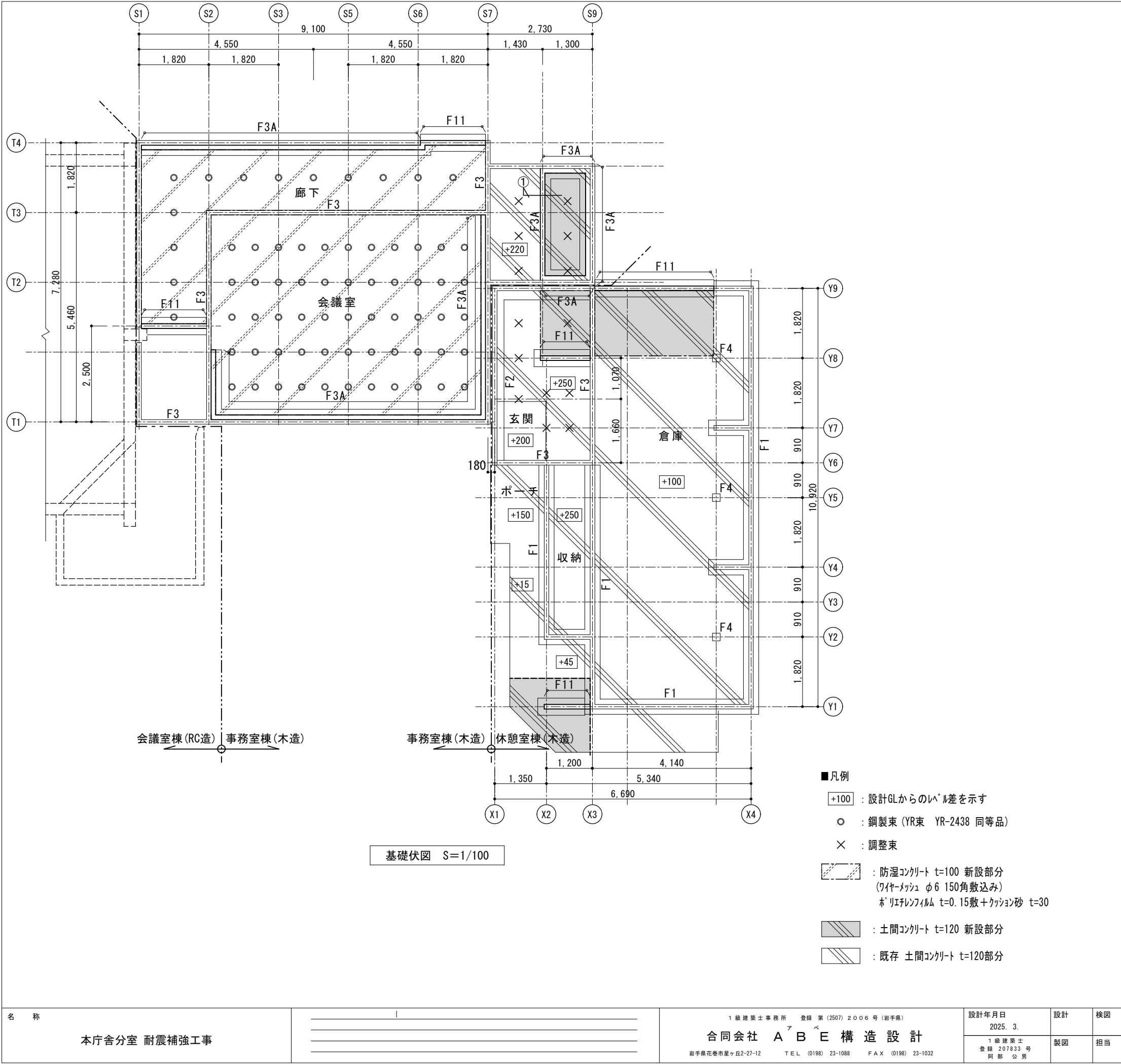
(4) 継手・仕口の補強金物

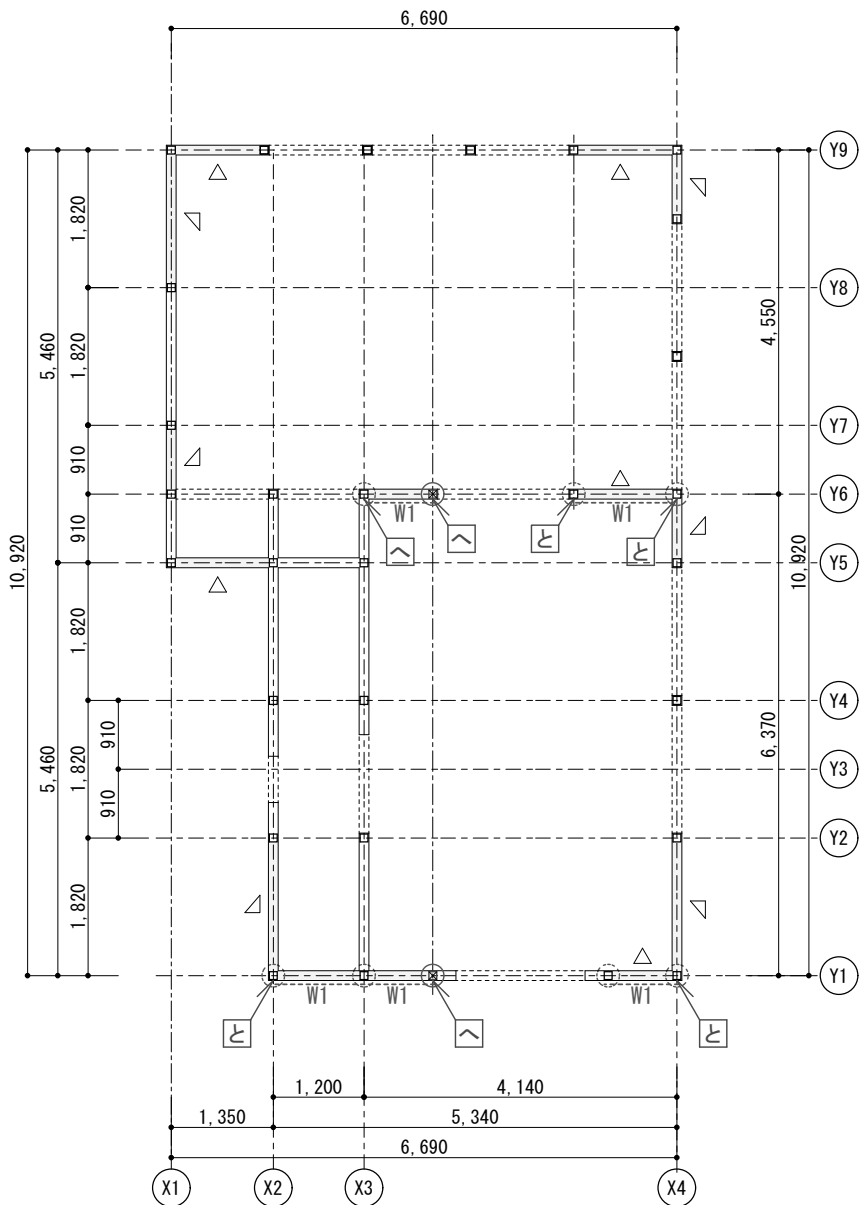
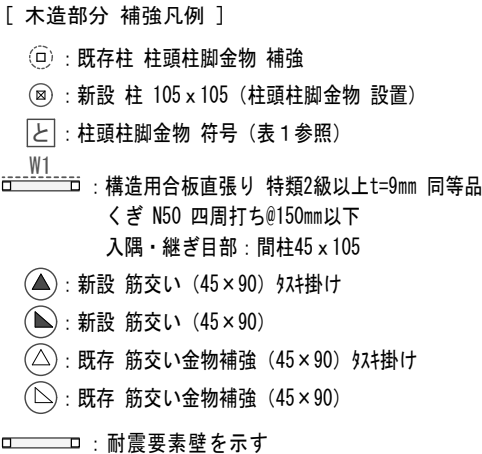
・耐力壁枠柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
・上記以外の柱脚接合部には、5.1kN以上の引張耐力を保有する接合金物 (平12建告1460号表3に対応する表符号の"は"相当以上) を使用すること。



(梁-梁 接合部)
・水平構面の外周部横架材接合部においては、床水平構面による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
・上記以外の接合部には、7.5kN以上の引張耐力を保有する接合金物を使用すること。(右図参照)



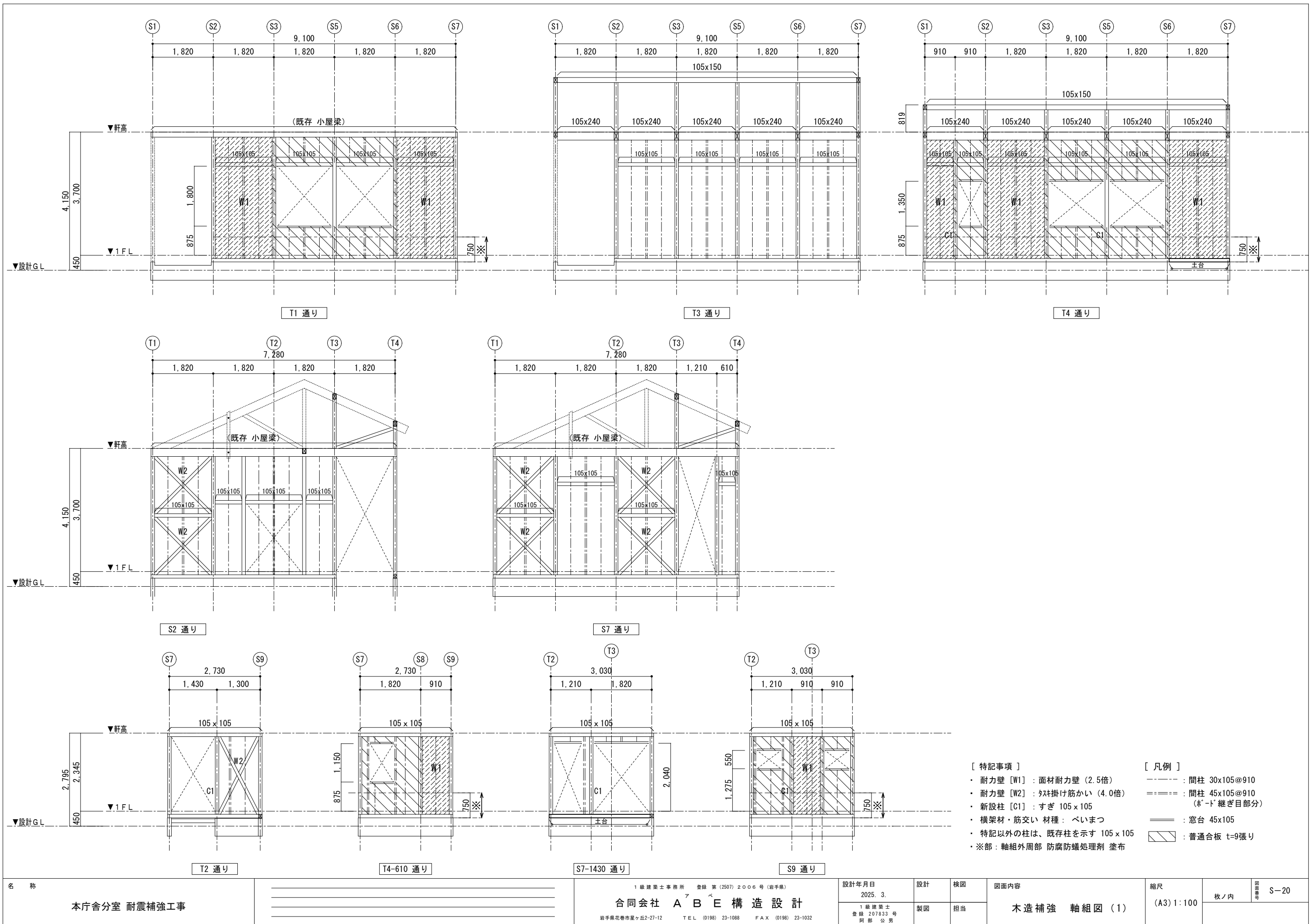


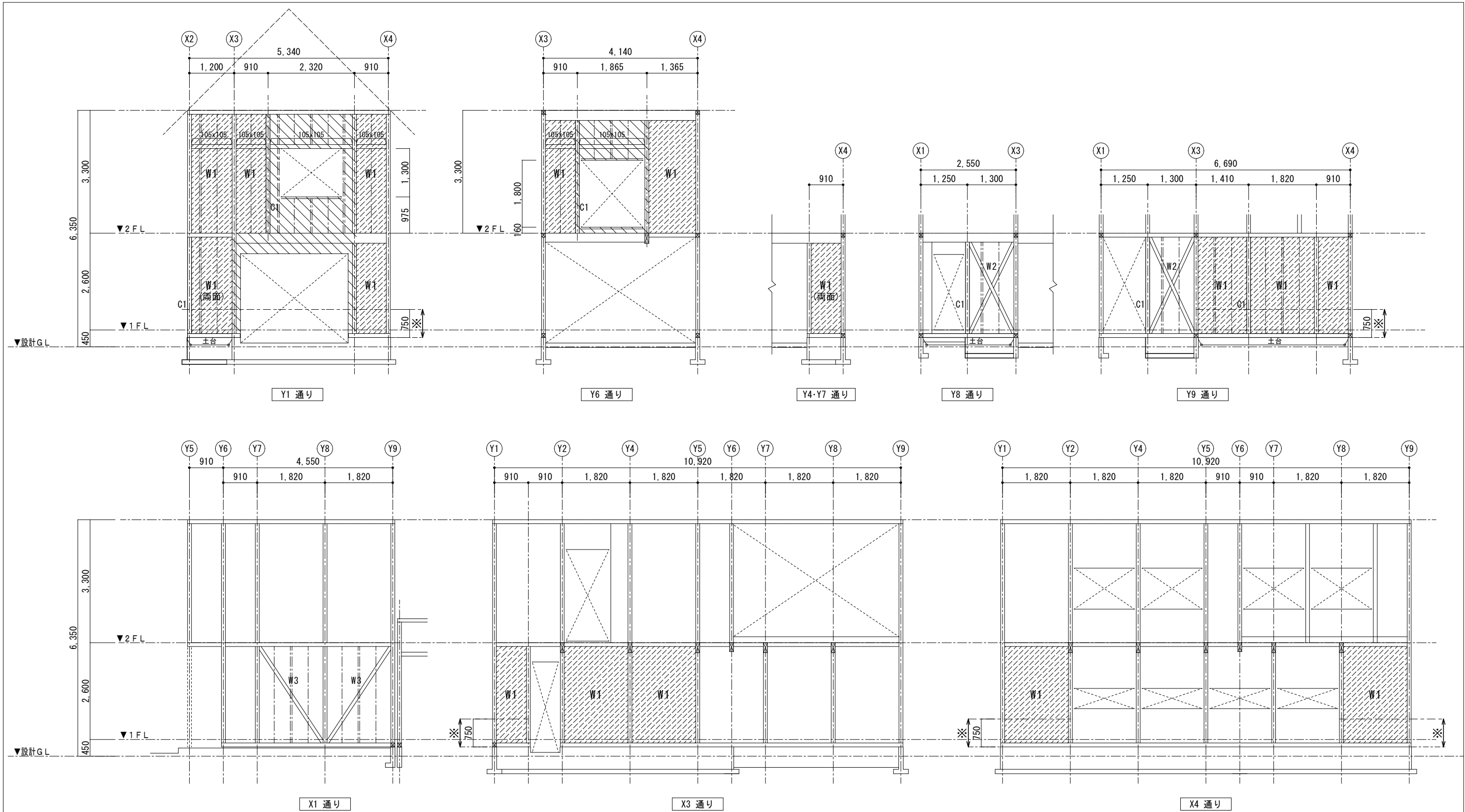


2階 耐力壁配置・柱頭柱脚金物 $S=1/100$

表 1. 接合部の仕様と倍率

部位	符号	接合部の仕様	接合部 倍率	必要耐力
筋交い	45 × 90	筋交いプレート (BP-2) 同等品		
	30 × 90	筋交いプレート (BP) 同等品		
柱頭・柱脚	い	短ぼぞ差し 又は かすがい打ち	0 以下	1.08 kN
	は	V 字型金物	1.0 以下	5.1 kN
		T 字型金物		
	へ	1 0 kN 引き寄せ金物	1.8 以下	10.0 kN
接合部	と	1 5 kN 引き寄せ金物 同等品	2.8 以下	15.0 kN
	ち	1 0 kN 引き寄せ金物 同等品 2 個使い	3.6 以下	20.0 kN



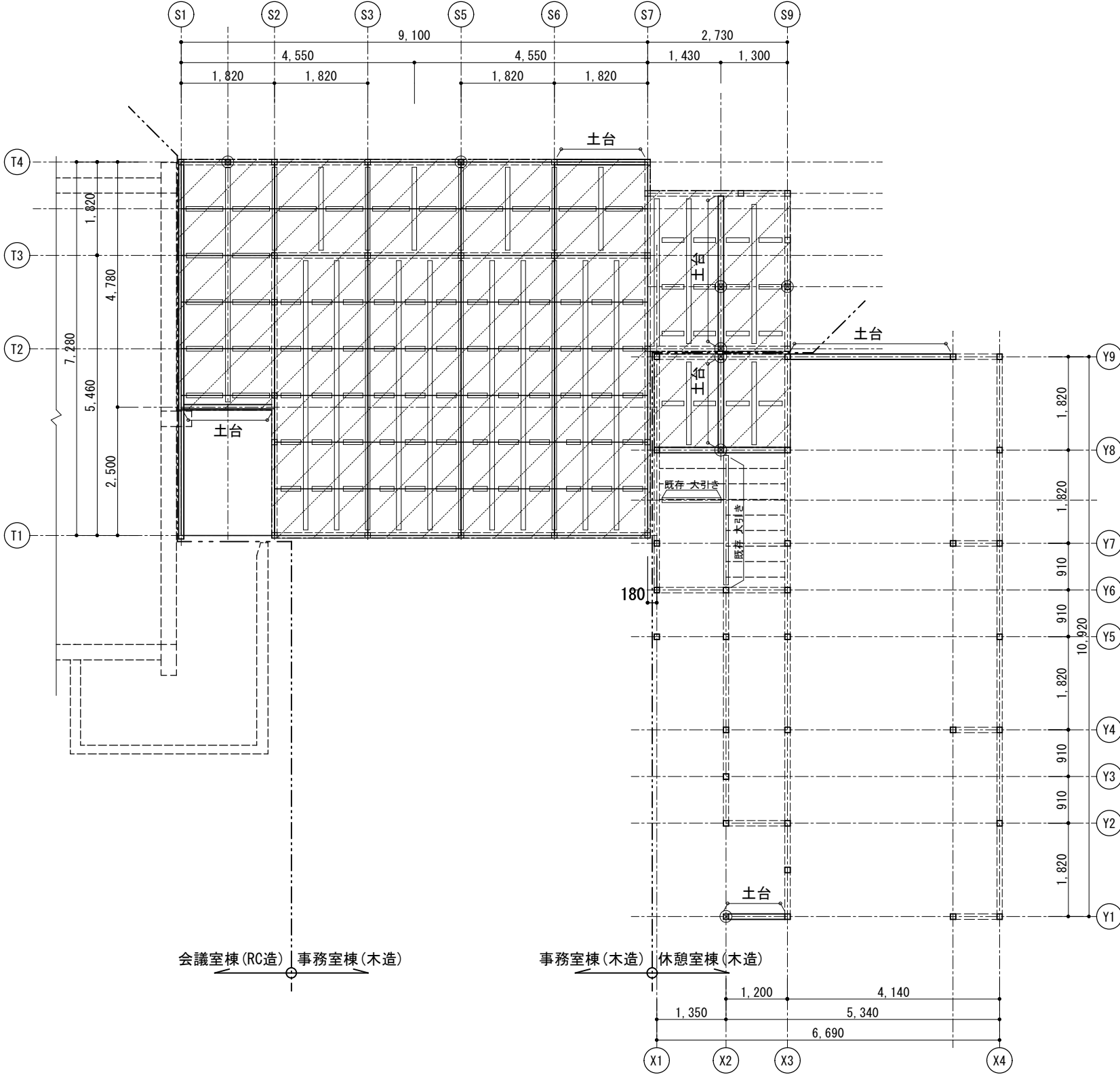


- [特記事項]

 - ・ 耐力壁 [W1] : 面材耐力壁 (2.5倍)
 - ・ 耐力壁 [W2] : 珞掛け筋かい (4.0倍)
 - ・ 新設柱 [C1] : すぎ 105 x 105
 - ・ 横架材・筋交い 材種 : べいまつ
 - ・ 特記以外の柱は、既存柱を示す 105 x 105
 - ・ 間柱 30 x 105@455
 - ・ ※部 : 軸組外周部 防腐防蟻処理剤 塗布
- [凡例]

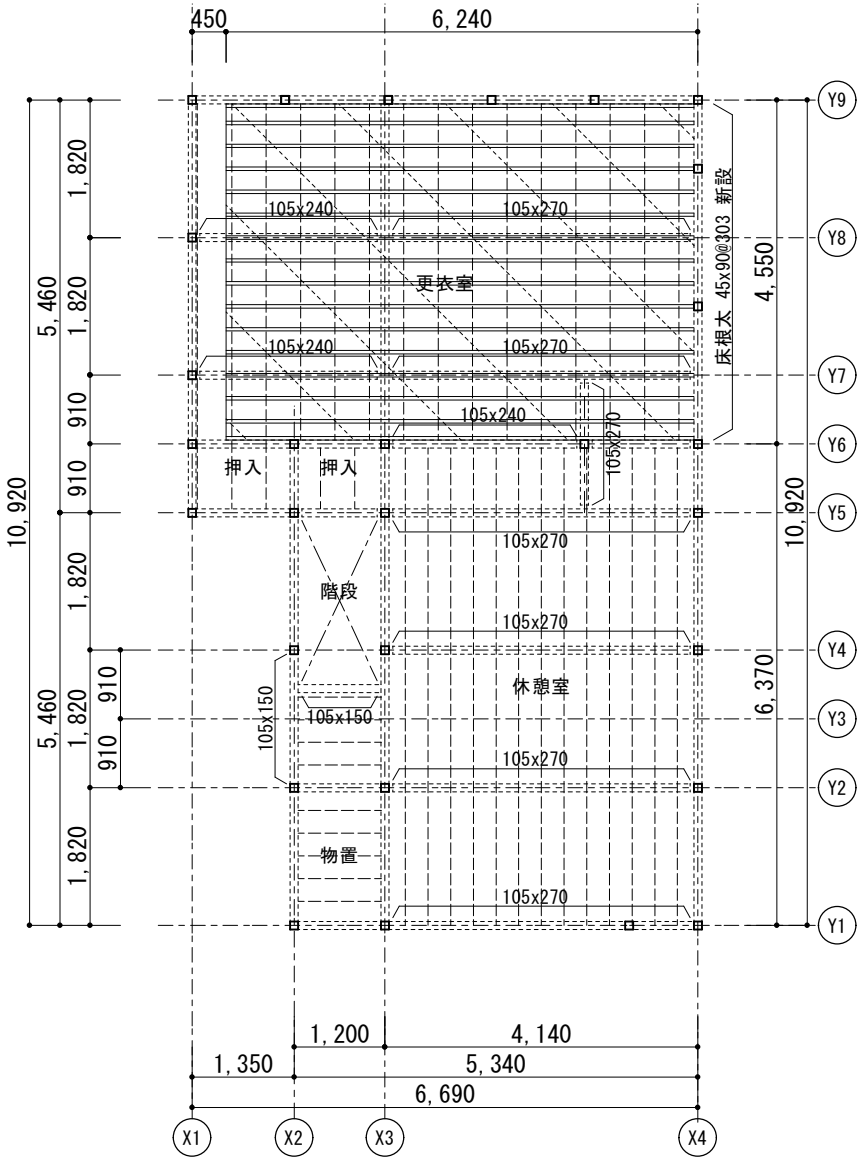
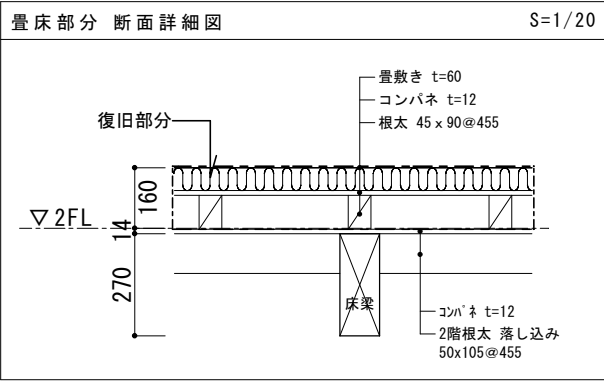
 - : 間柱 30x105@910
 - ===== : 間柱 45x105@910 (木-ト 継ぎ目部分)
 - ===== : 窓台 45x105
 - ▨ : 普通合板 t=9張り

名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩 手 県 花 巻 市 星 ケ 丘 2-27-12 T E L (0198) 23-1088 F A X (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	図面内容 木造補強 軸組図 (2)	縮尺 (A3) 1:100	枚ノ内	図面番号 S-21
			1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図				
				担当				



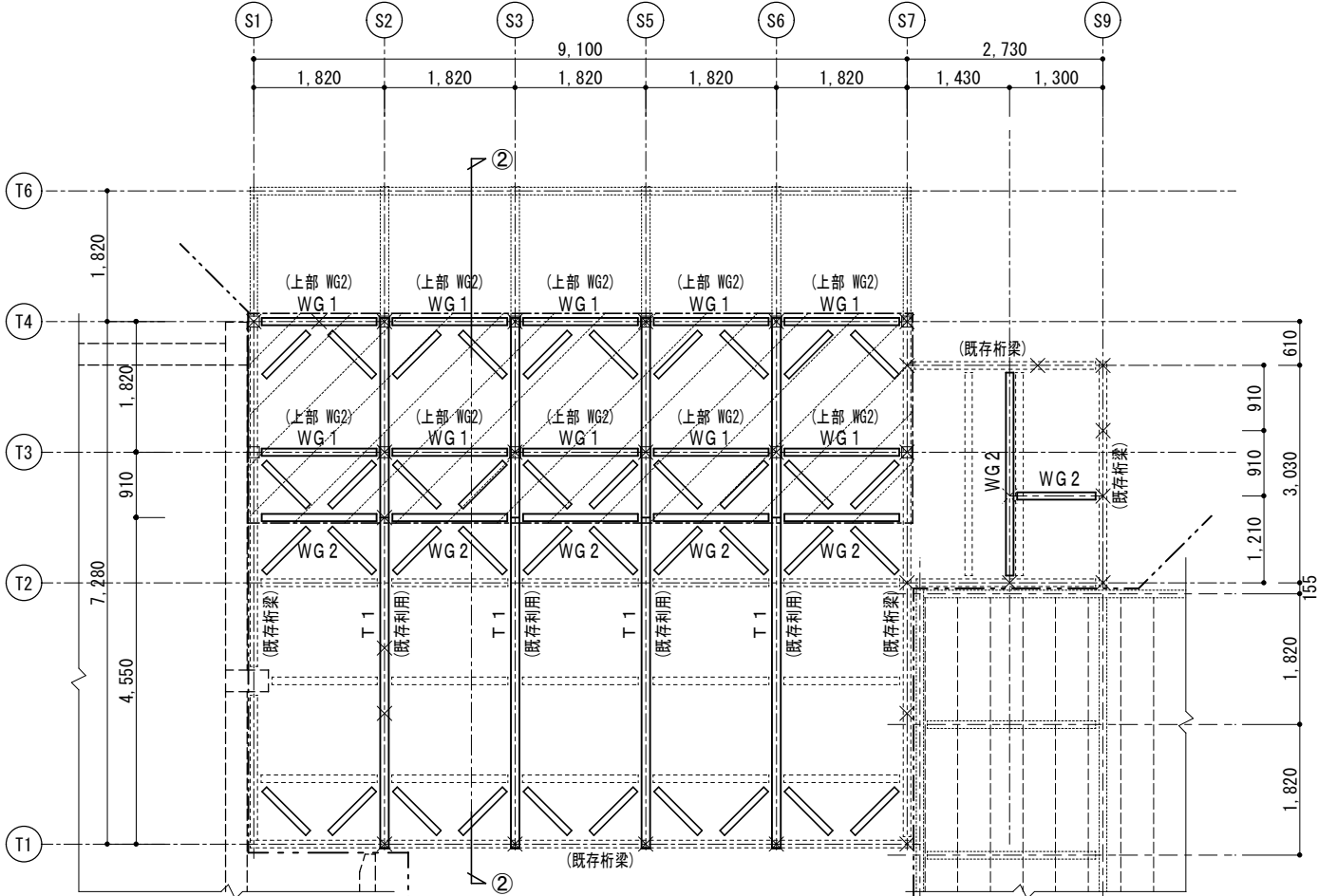
- [木造部分 補強凡例]
- ◎ : 新設 柱(すぎ) 105 x 105
 - 土台 : 新設 防腐土台 105 x 105
 - : 新設 大引き 90 x 90
 - ▨ : 新設 床部分
構造用合板 t=28+57mm合板 t=9張り
大引き間 押出法* リスフレフォーム t=60
 - ===== : 既存土台 (防腐防蟻処理)

1階 床伏図 S=1/100



休憩室棟 2階床伏図 S=1/100

- 凡例
- : 既存床梁を示す
特記以外 105 x 105
 - : 根太 50 x 105@300 落し込み
----- : 根太 50 x 105@455 落し込み
 - ▨ : 量床 部分 (FL+160)

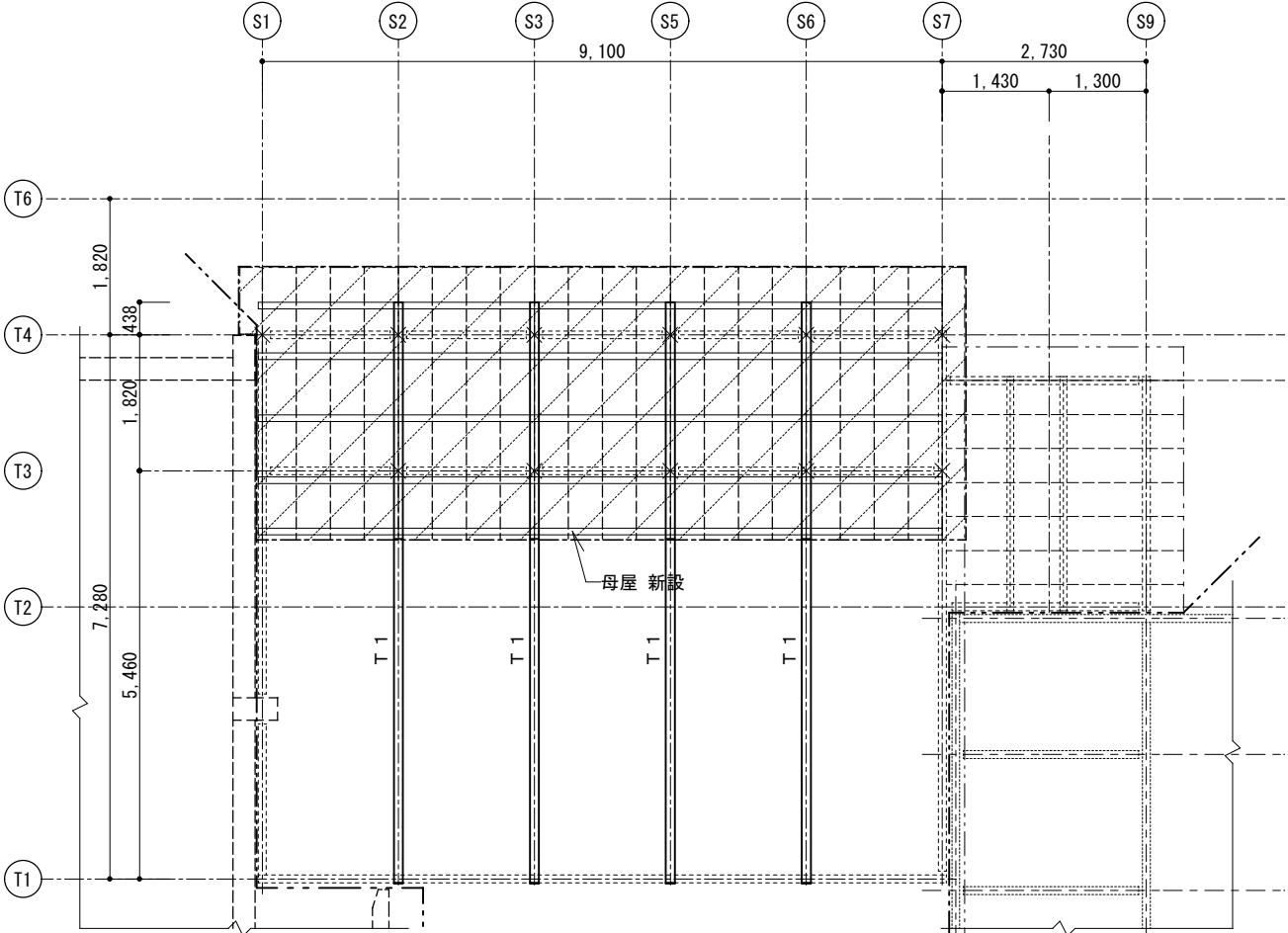


会議室棟 (RC造) 事務室棟 (木造)

事務室棟 (木造) 休憩室棟 (木造)

事務室棟 小屋伏図 S=1/100

- 凡例
- ×— : 1階柱位置
 - : 新設 小屋束 105 x 105@910
 - ▨ : 小屋組み 新設部分
 - ▧ : 火打ち 新設



会議室棟 (RC造) 事務室棟 (木造)

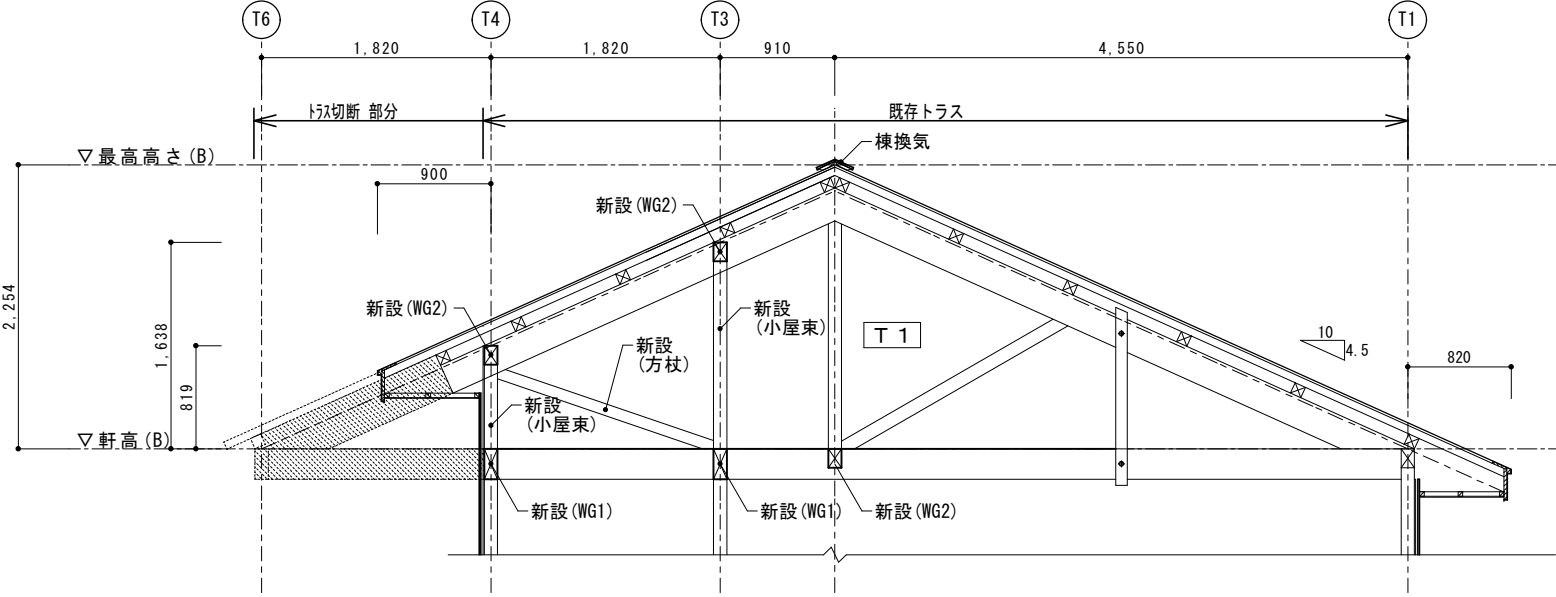
事務室棟 (木造) 休憩室棟 (木造)

事務室棟 垂木伏図 S=1/100

- 垂木伏図 凡例
- ×— : 小屋束位置
 - : 母屋 90 x 90@910
 - - - : 垂木 45 x 60@455
 - ▨ : 小屋組み 新設部分

■小屋伏図・垂木伏図 部材リスト

T 1	キングポスト
WG 1	べいまつ 105 x 240
WG 2	べいまつ 105 x 150
小屋束	すぎ 105 x 105
方 杖	べいまつ 90 x 90
母 屋	べいまつ 90 x 90
垂 木	べいまつ 45 x 60
火打ち	火打ち金物 HB 又は べいまつ 90 x 90



[②断面] トラス改修図 S=1/60

名 称

本庁舎分室 耐震補強工事

1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号(岩手県)

合同会社 A B E 構 造 設 計

岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032

設計年月日

2025. 3.

1級建築士
登録 207833号
阿部 公男

設計

検図

図面内容

木造補強
小屋伏図・垂木伏図

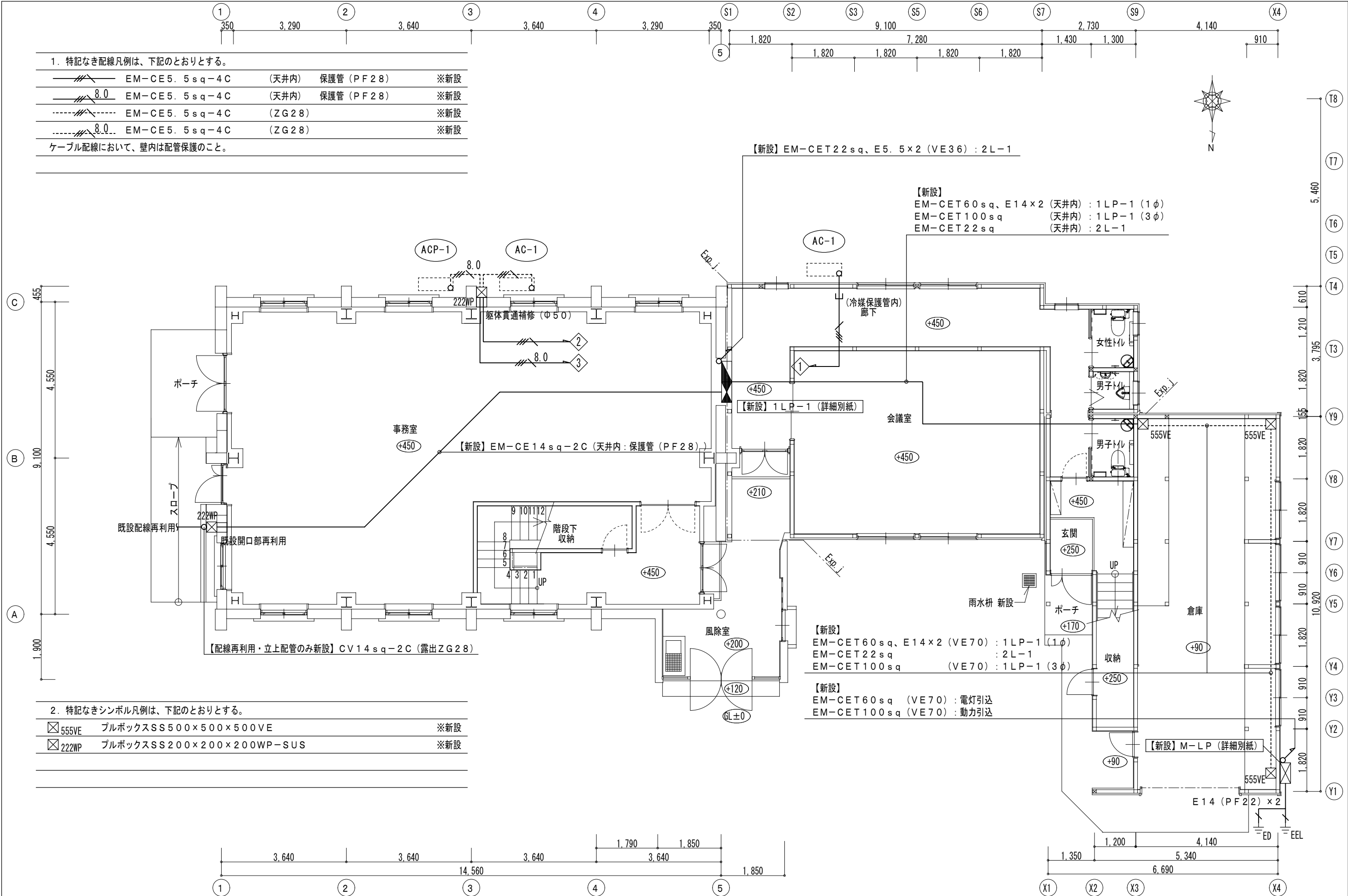
縮尺

(A3) 1:100
1: 60

枚ノ内

S-23

[illegible]



1. 特記なき配線凡例は、下記のとおりとする。

	EM-CE5. 5sq-4C	(天井内)	保護管 (PF28)	※新設
	EM-CE5. 5sq-4C	(天井内)	保護管 (PF28)	※新設
	EM-CE5. 5sq-4C	(ZG28)		※新設
	EM-CE5. 5sq-4C	(ZG28)		※新設

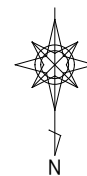
ケーブル配線において、壁内は配管保護のこと。

2. 特記なきシンボル凡例は、下記のとおりとする。

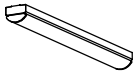
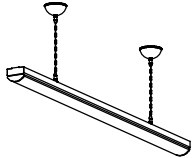
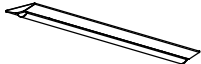
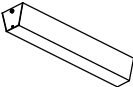
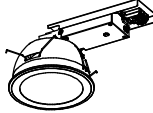
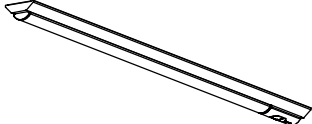
	ブルボックスSS500×500×500VE	※新設
	ブルボックスSS200×200×200WP-SUS	※新設

——//—— EM-EEF2.0-3C (天井内) 保護管 (PF22) ※新設

ケーブル配線において、壁内は配管保護のこと。



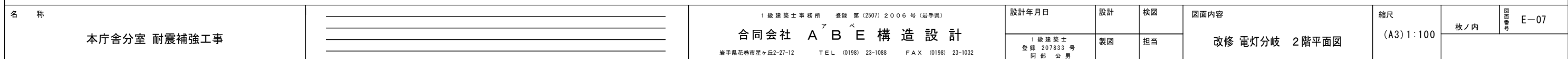
(A3)

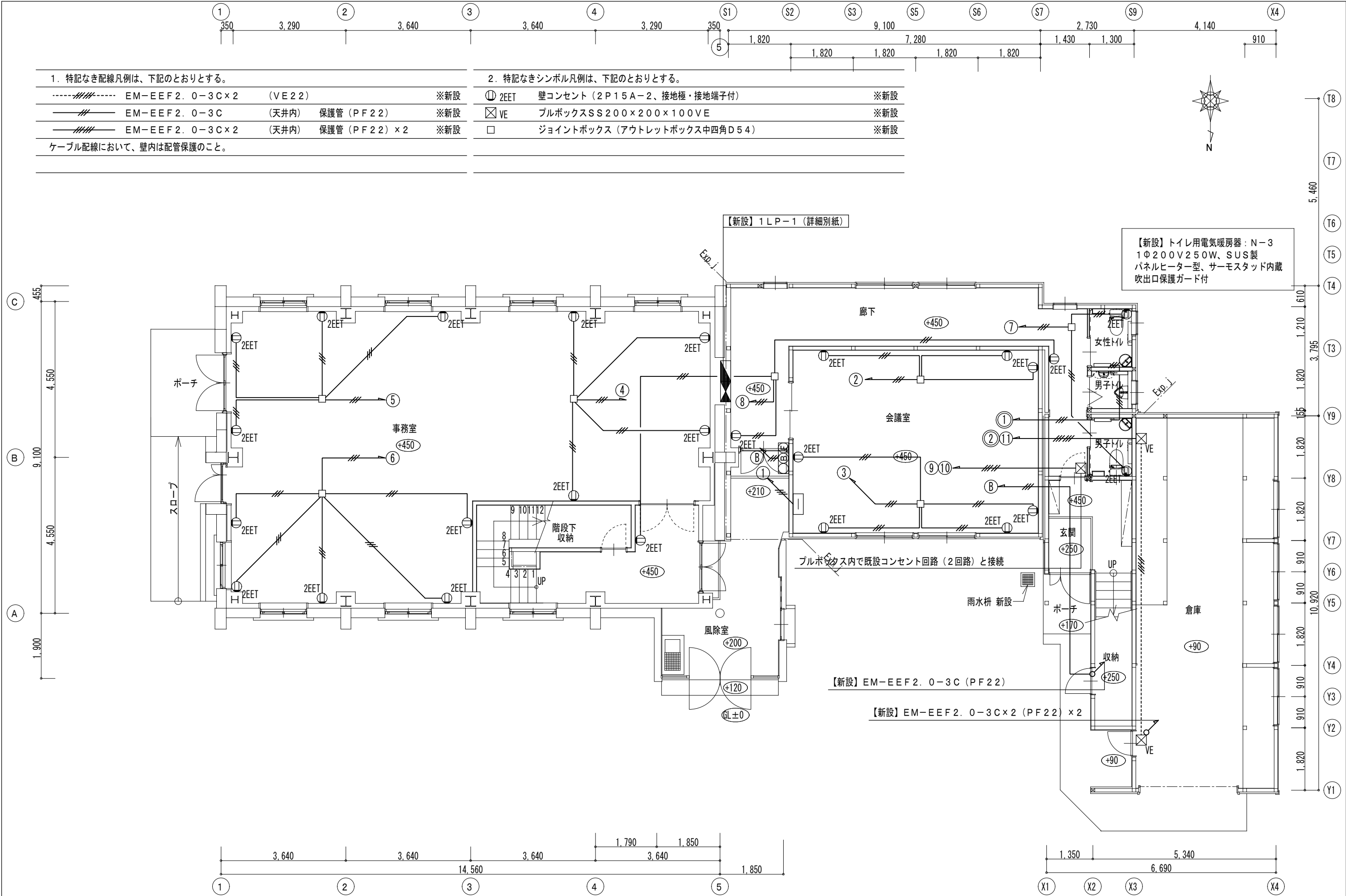
A	露出形ＬＥＤ照明器具	B	吊下形ＬＥＤ照明器具	C	露出形ＬＥＤ照明器具	D	露出形ＬＥＤ照明器具	E	露出形ＬＥＤ照明器具	F	露出形ＬＥＤ照明器具（防湿・防雨形）
	LED21.6W 3,200 lm 5000K		LED19.5W 3,200 lm 5000K		LED21.6W 3,200 lm 5000K	D1	LED19.5W 3,200 lm 5000K	E1	LED32.5W 5,200 lm 5000K		LED10.6W 1,000 lm 5000K 防雨
						D2	LED32.5W 5,200 lm 5000K	E2	LED43.0W 6,900 lm 5000K		
						D3	LED43.0W 6,900 lm 5000K				
											
公：LSS1-2-30LN		LEKT407323N-LS9+PW-415CK 相当品		公：LSS9-2-30LN		D1 公：LSS9-4-30LN D2 公：LSS9-4-48LN D3 公：LSS9-4-65LN		E1 公：LSS10-4-48LN E2 公：LSS10-4-65LN		公：LBF3MP/RP-2-06LN	
G	ＬＥＤ小形シーリングライト	H	ＬＥＤ小形シーリングライト	I	露出形ＬＥＤ照明器具	J	埋込形ＬＥＤ照明器具 軒下用				
	LED7.8W 860 lm 5000K		LED8.1W 830 lm 5000K ON/OFFセンサー 防雨		LED28.7W 2,500 lm 5000K		LED7.9W 1,030 lm 5000K				
							既設開口部再利用				
											
LEDG87003N-LS 相当品		LEDG87904YN-LS 相当品		LEDB83110N+LDL40S¥U+FF65N/19/25-G2 相当品		公：LRS1RP-08LN					
a	ＬＥＤ避難口誘導灯片面 C級 壁・天井直付形	b	露出形ＬＥＤ非常用照明器具	d	露出形ＬＥＤ非常用照明器具	e	露出形ＬＥＤ非常用照明器具				
	LED1.4W		LED13.2W 1,600 lm 5000K		LED21.0W 3,200 lm 5000K		LED12.6W 870 lm 5000K				
型式認定番号：1AS111-3570		非常灯評定番号：L A L E-023 型式認定番号：3AE-1054		非常灯評定番号：L A L E-023 型式認定番号：3AE-1054		非常灯評定番号：L A L E-051 型式認定番号：3AE-1056					
											
公：SH1-FSF20-C		公：K1-LSS9-2-15LN		公：K1-LSS9-4-30LN		LEDTC31688N-LS1 相当品					

中會議室	
D 2	× 6
a	× 1

1. 特記なき配線凡例は、下記のとおりとする。				
	EM-E E F 1. 6-2 C	(天井内)	保護管 (P F 1 6)	※新設
	EM-E E F 1. 6-3 C	(天井内)	保護管 (P F 1 6)	※新設
	EM-E E F 1. 6-2 C + 3 C	(天井内)	保護管 (P F 2 2)	※新設
	EM-E E F 2. 0-3 C	(天井内)	保護管 (P F 2 2)	※新設
ケーブル配線において、壁内は配管保護のこと。				

物置	
G	× 1





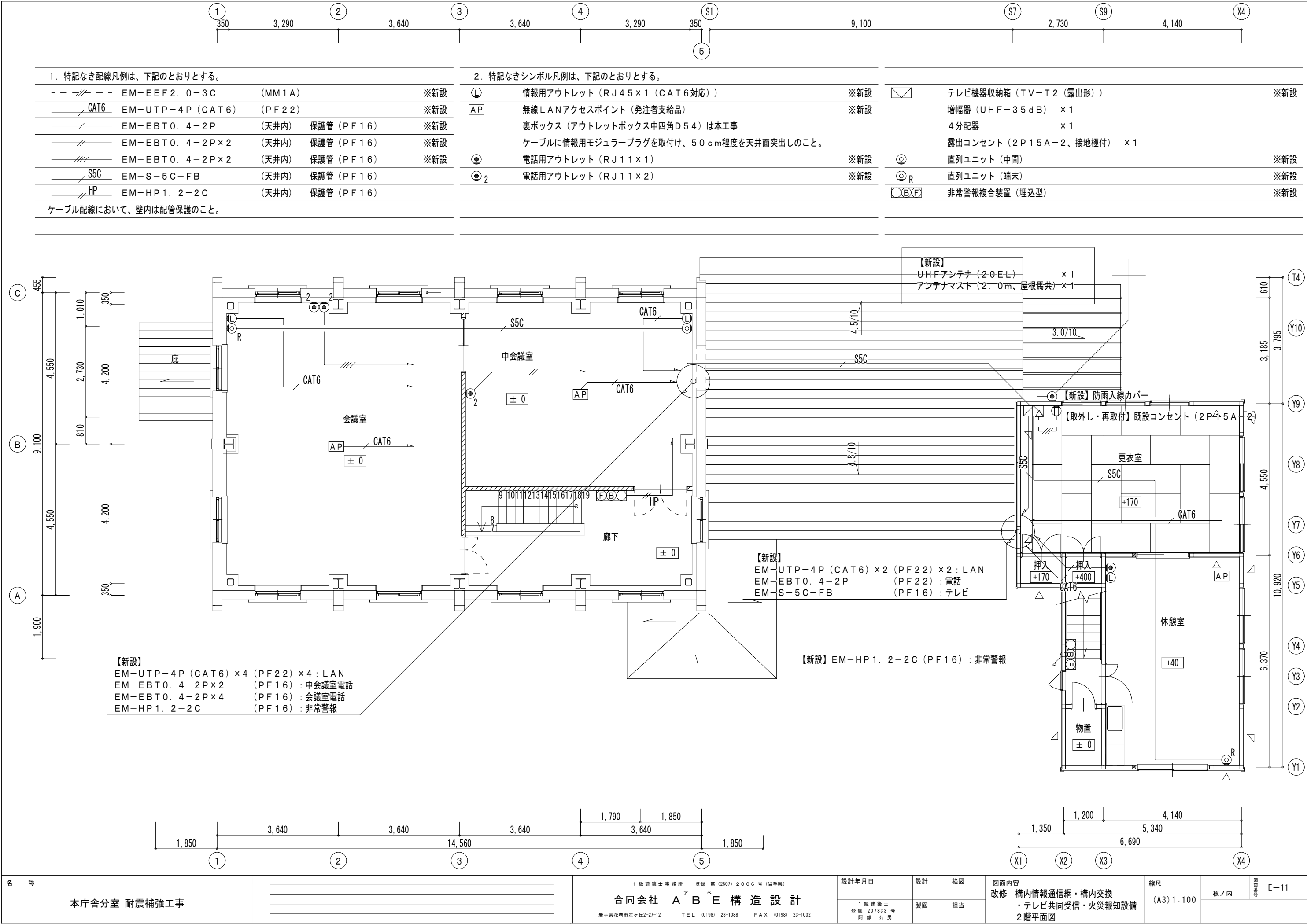
1. 特記なき配線凡例は、下記のとおりとする。

-----//-----	EM-EEF2. 0-3C×2	(VE22)	※新設
-----//-----	EM-EEF2. 0-3C	(天井内) 保護管 (PF22)	※新設
-----//-----	EM-EEF2. 0-3C×2	(天井内) 保護管 (PF22) × 2	※新設

ケーブル配線において、壁内は配管保護のこと。

2. 特記なきシンボル凡例は、下記のとおりとする。

Ⓛ	2EET	壁コンセント (2P15A-2、接地極・接地端子付)	※新設
⊠	VE	プルボックスSS200×200×100VE	※新設
□		ジョイントボックス (アウトレットボックス中四角D54)	※新設



女子トイレ・前室

露出形FCL30W-1

×

1

白熱灯シーリングIL60W

×

1

男子トイレ

露出形FL20W-1

×

1

白熱灯シーリングIL60W

×

1

事務室

吊下形FL40W-2

×

16

事務室(階段)

露出形FL20W-1

×

1

事務室前廊下・階段

露出形FL20W-1

×

1

露出形FL40W-1

×

1

風除室

露出形FL20W-1

×

2

露出形FL40W-1

×

2

事務室

露出形FL40W-2

×

6

廊下

露出形FL20W-1

×

3

露出形FCL30W-1

×

1

事務室

露出形FL40W-2

×

4

事務室

露出形FL40W-2

×

4

物置

露出形FL40W-1

×

1

書庫

露出形FL20W-1

×

1

露出形FL40W-1

×

1

湯沸室

露出形FL20W-1

×

1

露出形FL40W-1

×

1

女子トイレ

露出形FCL30W-1

×

1

男子トイレ

露出形FCL30W-1

×

1

男子トイレ

露出形FL40W-1

×

1

玄関

露出形FCL30W-1

×

1

ポーチ

埋込FDL13W-1

×

1

収納

白熱灯シーリングIL100W

×

1

倉庫

露出形FL40W-2

×

4

①

②

③

④

⑤

X1

X2

X3

X4

女子トイレ

前室

男子トイレ

事務室

事務室

事務室

物置

書庫

湯沸室

女子トイレ

男子トイレ

廊下

風除室

女子トイレ

男子トイレ

玄関

ポーチ

収納

倉庫

1. 特記なきシンボル凡例は、下記のとおりとする。

●

タンブラスイッチ (1P15A-1)

※撤去

●₃

タンブラスイッチ (3W15A-1)

※撤去

○

パイロットランプ (PL15A-1)

※撤去

㊦

壁コンセント (2P15A-1)

※撤去

2. 照明器具は、全て撤去のこと。

3. 建築工事改修に影響がある配管・配線・配線器具などは、原則撤去のこと。

また、再利用できない配管・配線・配線器具などは撤去のこと。

1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号 (岩手県)

合同会社 A B E 構造設計

岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032

設計年月日

設計

検図

図面内容

縮尺

枚ノ内

図面番号

1級建築士 登録 207833号 阿部 公男

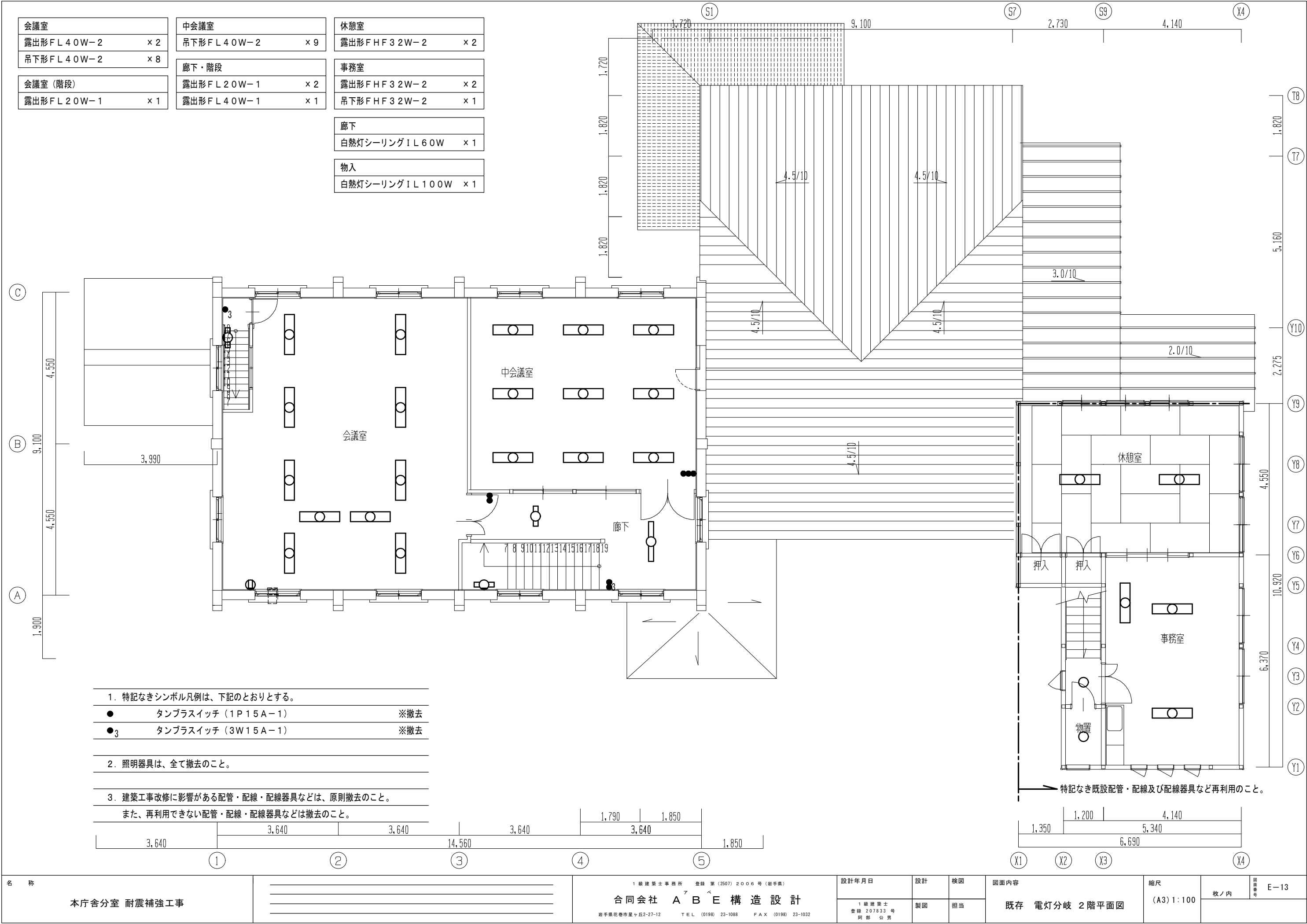
製図

担当

既存 電灯分岐 1階平面図

(A3)1:100

E-12



廊下

白熱灯シーリングIL60W

× 1

物入

白熱灯シーリングIL100W

× 1

1. 特記なきシンボル凡例は、下記のとおりとする。

●	タンブラスイッチ (1P15A-1)	※撤去
● ₃	タンブラスイッチ (3W15A-1)	※撤去

2. 照明器具は、全て撤去のこと。

3. 建築工事改修に影響がある配管・配線・配線器具などは、原則撤去のこと。
また、再利用できない配管・配線・配線器具などは撤去のこと。

特記なき既設配管・配線及び配線器具など再利用のこと。

名称

本庁舎分室 耐震補強工事

1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号 (岩手県)

合同会社 A B E 構造設計

岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032

設計年月日

設計

検図

図面内容

縮尺

枚ノ内

図番

1級建築士 登録 207833号 阿部 公男

製図

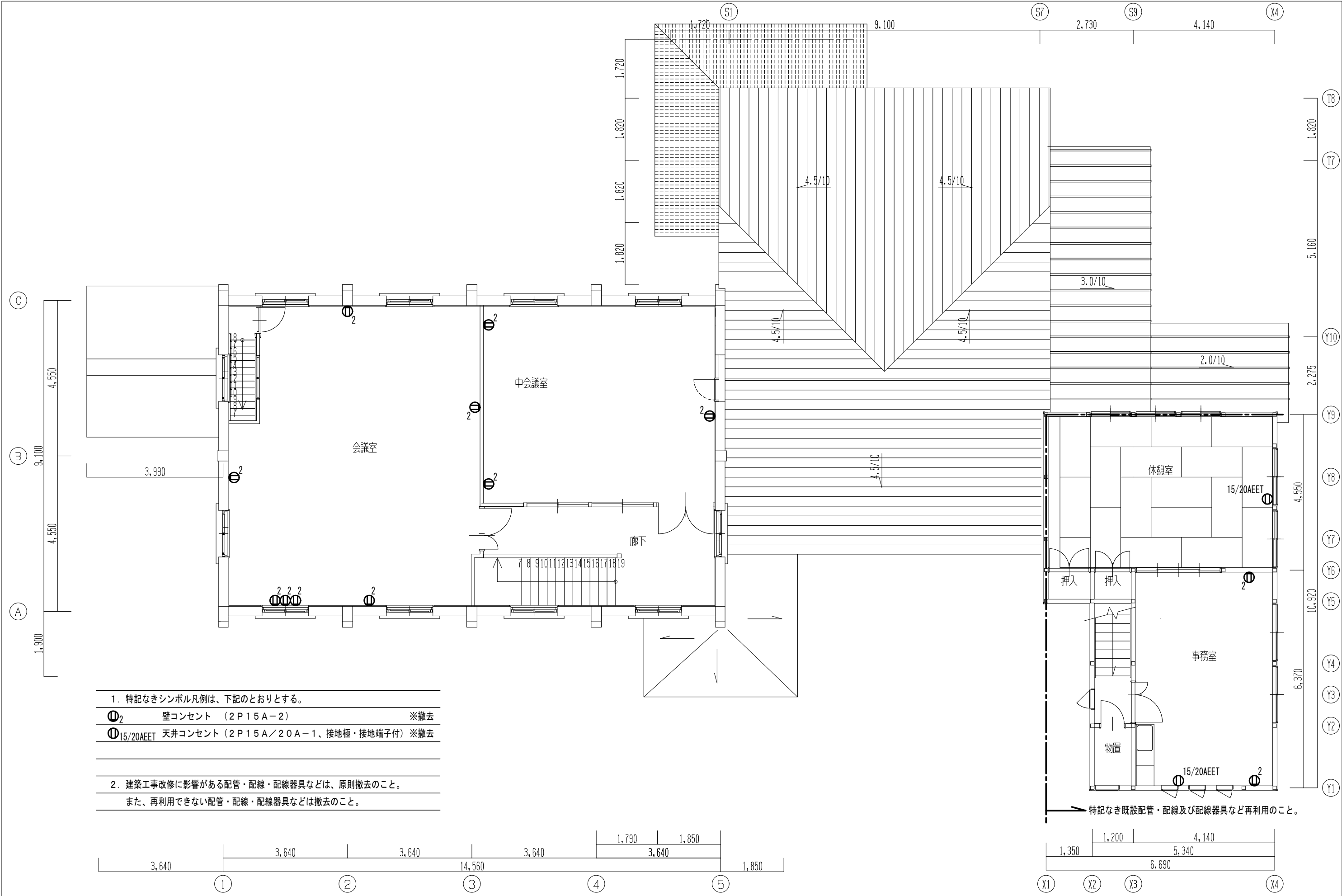
担当

既存 電灯岐 2階平面図

(A3) 1:100

1

E-13



1. 特記なきシンボル凡例は、下記のとおりとする。

⓪₂

壁コンセント (2P15A-2)

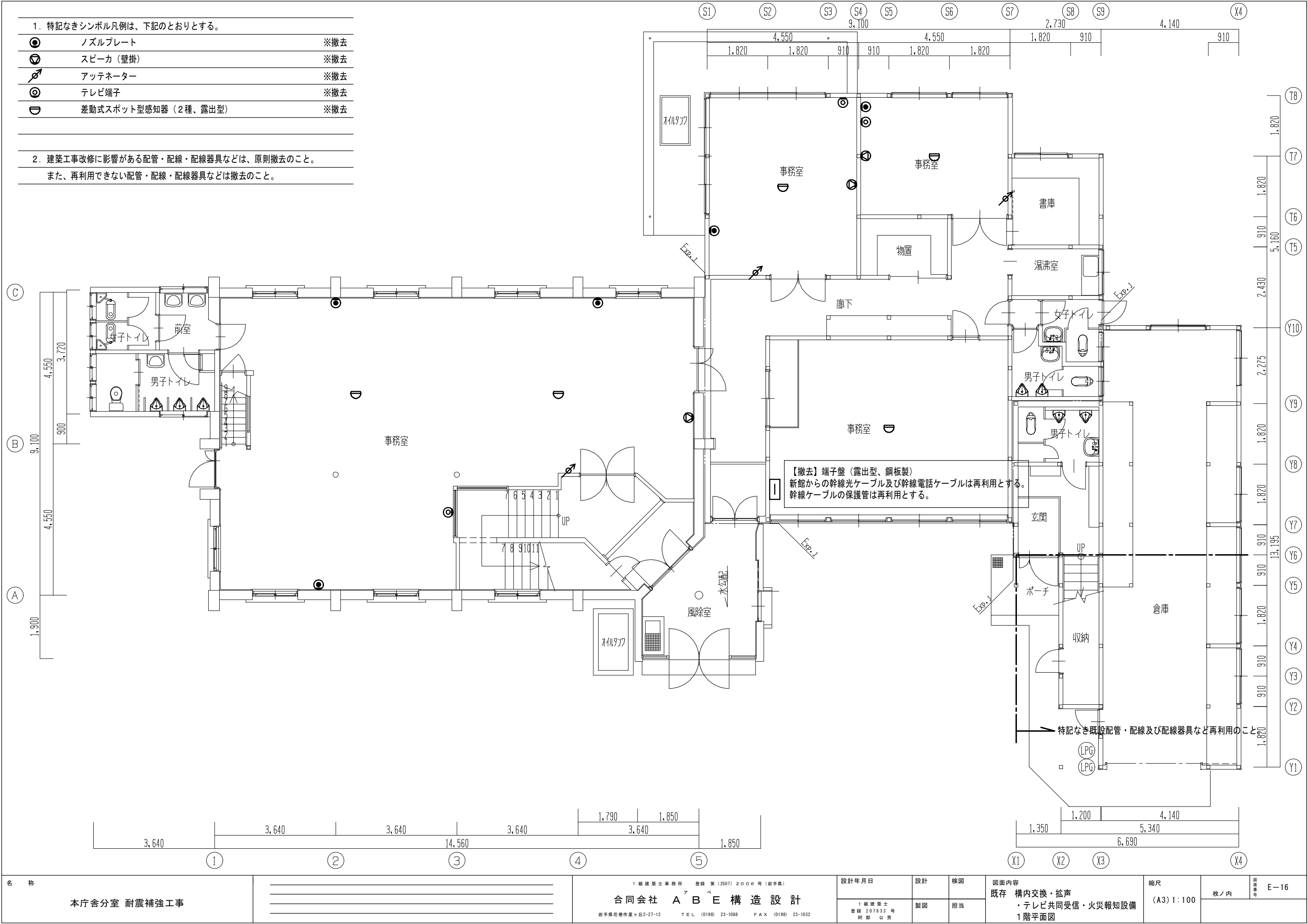
※撤去

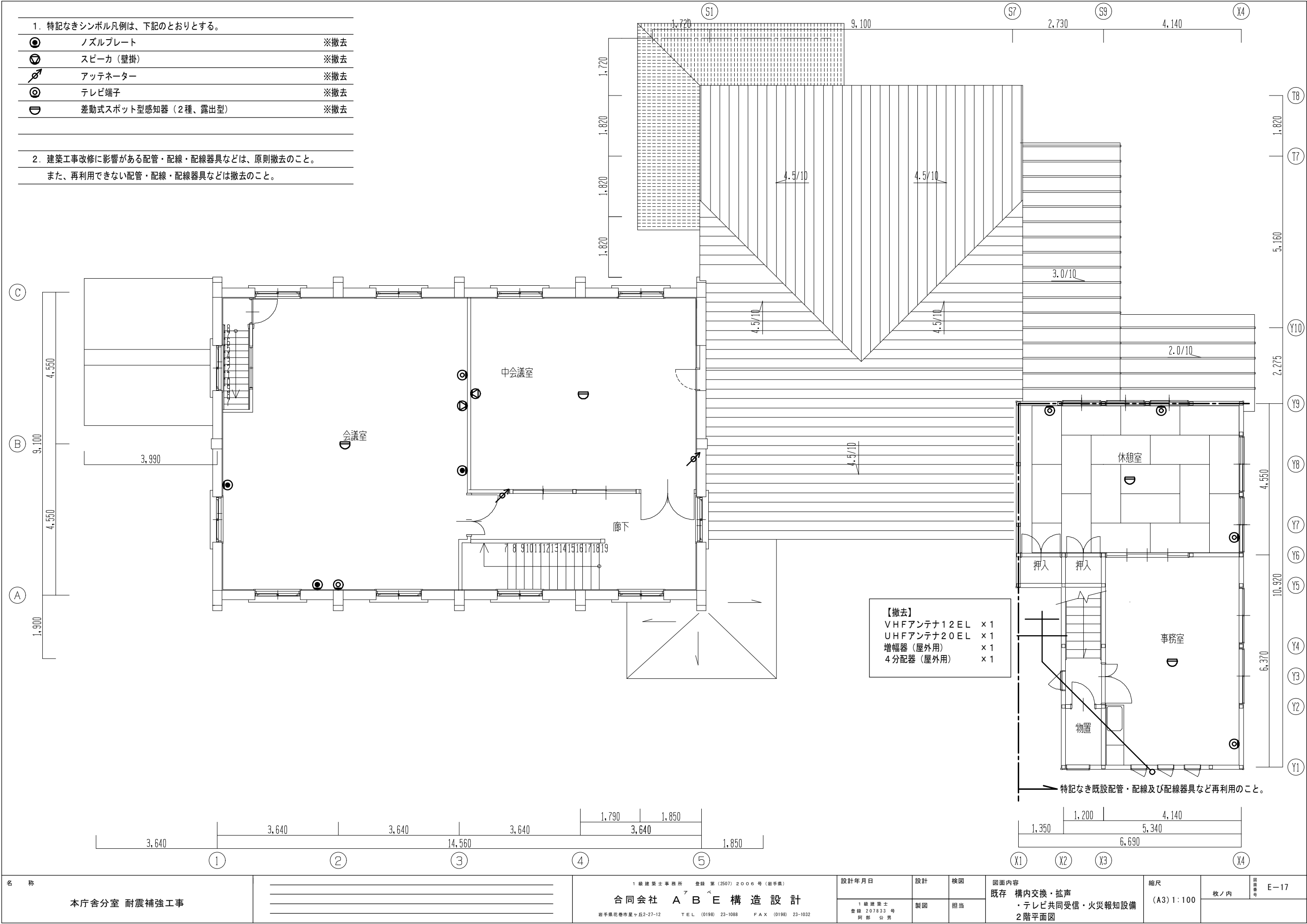
⓪_{15/20AET}

天井コンセント (2P15A/20A-1、接地極・接地端子付) ※撤去

2. 建築工事改修に影響がある配管・配線・配線器具などは、原則撤去のこと。

また、再利用できない配管・配線・配線器具などは撤去のこと。
- | | | | | | | | | | | |
|-----|--------------|---|--|---------------------------|----|----|------|------------------|-----|--------------|
| 名 称 | 本庁舎分室 耐震補強工事 | <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> | 1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号(岩手県)
合同会社 A B E 構 造 設 計
岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032 | 設計年月日 | 設計 | 検図 | 図面内容 | 縮尺
(A3) 1:100 | 枚ノ内 | 標準図面
E-15 |
| | | | | 1級建築士 登録 207833号
阿部 公男 | 製図 | 担当 | | | | |





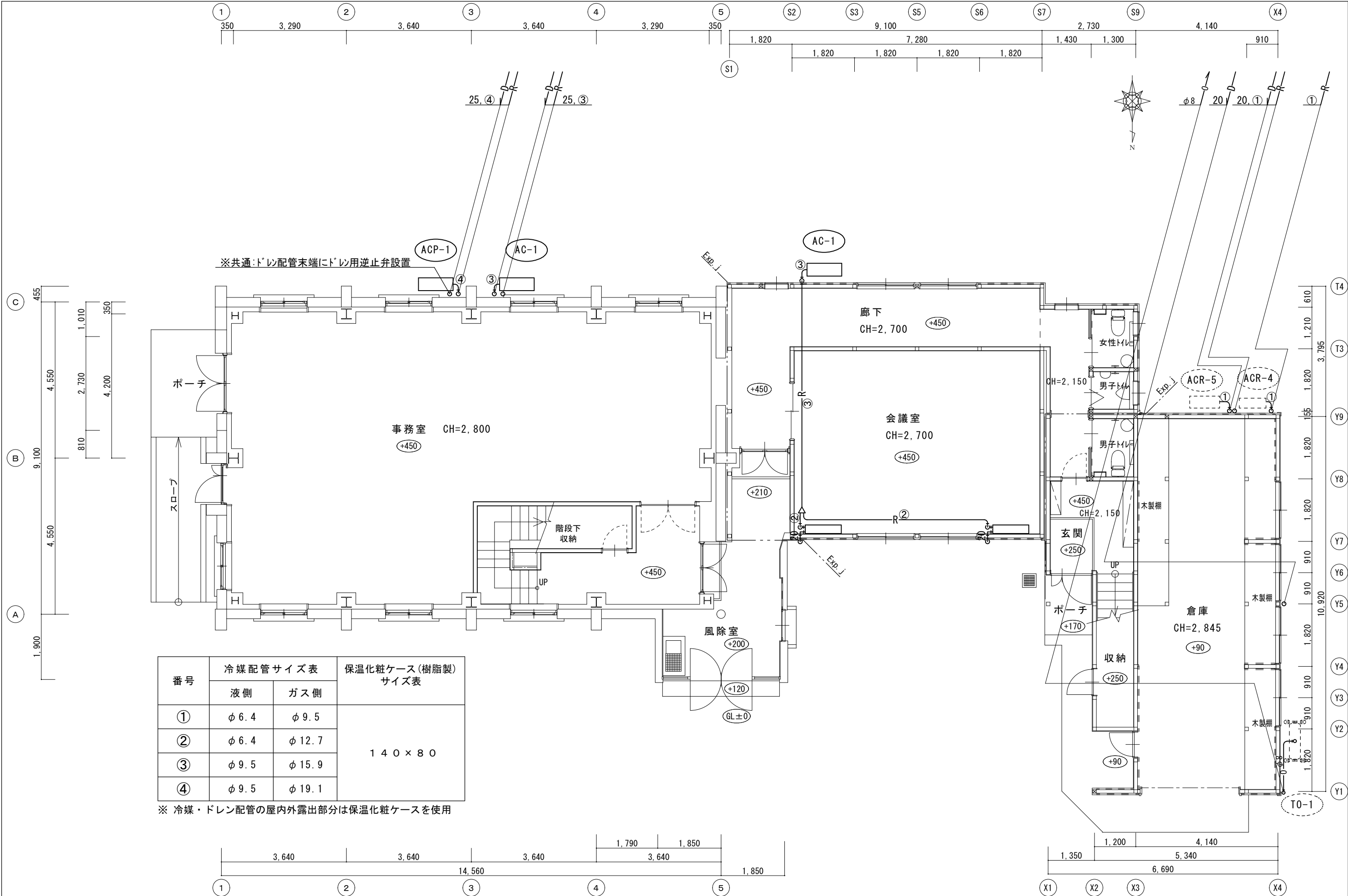
機械設備工事 特記仕様書															
Ⅰ. 工 事 概 要															
1. 工事名称 本庁舎分室 耐震補強工事															
2. 工事場所 花巻市内1-43															
3. 建物概要															
建 物 名 称構造階数延面積（㎡）消防法施行令（別表）備 考															
本庁舎分室S造・木造2階478.69・															
4. 工事種目（○印のついたものを適用する）															
建 物 別 及 屋 外工 事 種 別備 考															
工 事 種 目屋内屋外															
○空気調和設備															
○換気															
・排煙															
・自動制御															
○衛生器具															
○給水															
○排水															
○給湯															
・消火															
・ガス															
・し尿浄化槽															
○撤去工事															
○発生材処理															
5. 設備概要（○印のついたものを適用する）															
空気調和方式等															
○空気調和															
・全空気方式・ファンコイル・ダクト併用方式															
○パッケージ方式															
・温風暖房															
・全空気方式・ファンコイル・ダクト併用方式															
・直接暖房															
・蒸気暖房															
・温水暖房															
給水方式															
○水道直結方式															
・高置タンク方式															
・加圧送水方式															
建物内の汚水及び雑排水（○分流式・合流式）															
排水先汚水															
○下水道直接放流															
・し尿浄化槽															
雑排水															
○下水道直接放流															
・し尿浄化槽															
・側溝															
給湯方式															
○局所式															
・中央式															
消火設備方式															
・屋内消火栓															
・連結送水管															
・屋外消火栓															
・スプリンクラー															
・二酸化炭素消火															
・連絡放水															
・粉末消火															
・泡消火															
・その他															
Ⅱ. 工 事 仕 様															
1. 共通仕様															
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）による。															
2. 特記仕様															
1）項目番号に○印のついたものを適用する。															
2）特記事項															
○印の付いたものを適用する。															
○印の付かない場合は ※ 印の付いたものを適用する。															
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。															
章 項 目 特 記 事 項															
① 適用基準等															
・工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編（平成30年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修															
・機械設備工事監理指針（令和元年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修															
工事現場における電気保安技術者は、当該施設の電気技術員及び当該施設を保守管理する東北電気保安協会等を補佐し、工事期間中の電気工作物の保安及び工事監理の業務を行うものとする。															
③ 技 能 者															
○配管施工技能士 ○熱絶縁施工技能士 ・塗装施工技能士															
○冷凍空調組立技能士 ○材料加工技能士 ・建設業施工技能士															
本工事に使用する機器及び材料は新品とし、設計図書に定める品質及び性能を有するものとするほか、同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は監督員の承認を受ける。															
検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書による。															
④ 機 材															
工事用仮設電力・水の費用、官公署等への諸手続等の費用、及び本電源受電引渡又は、使用開始までの電気料金は、関係各請負業者において協議の上負担すること。															
※別契約の関係請負者の定置する足場、さん橋の類は、無償で使用できる。															
※本工事で定置する															
○構内に作ることが ○出来る ・出来ない															
○構内に駐車を ○出来る ・出来ない															
○構内に作ることが ○出来る ・出来ない															
※構外搬出適切処理 ・構内指示の場所 ・構内指示の場所にたい積															
イ）引渡しを要するもの ※なし ・あり（ ）															
ロ）特別管理産業廃棄物 ※なし ・あり（ ）															
ハ）上記イ）ロ）以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化等を図るものとし、処理方法は監督員と協議する。															
二）現場において再利利用を図るもの															
現場における分別一保存材は、機器・配管・ダクト等と分別する。															
ホ）本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場（中間処理施設を経由を含む）に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。															
各機器の個別運転調整後に下記の総合調整を行う。															
・風量調整 ○水量調整 ・室内外空気の温度測定															
・室内 airflow 及び塵埃の測定 ・騒音の測定 ・初期運転状態の記録															
・機器の絶縁抵抗の測定															
イ）電動機出力などは、表示された出力以下の容量とする。															
ロ）冷熱源機器等及び防災機器の能力、容量はその数値以上とする。															
ハ）電源の周波数は、50Hzとする。															
耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）」による。															
設置場所															
特定の施設															
一般の施設															
重要機器															
一般機器															
上層階、屋上及び塔屋															
2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5)															
中 間 階															
1.5(1.5) 1.0(1.5) 1.0(1.5) 0.6(1.0)															
1階及び地階															
1.0(1.0) 0.6(1.0) 0.6(1.0) 0.4(0.6)															
注1）設置場所の区分は標準仕様書による。															
注2）（ ）内の設備は防振支持の機器の場合に適用する。															
イ）本工事は施設は、（※一般の施設 ・特定の施設）とする。															
ロ）地域係数は、1.0とする。															
ハ）10.0kg以下の軽重量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらずともよい。															
二）重要機器類（高架タンク、受水タンクは機器表による。）															
① 総合調整															
③ 容量の表示															
13. 耐 震 施 工															
設計用標準水平震度															
特定施設															
一般施設															
重要機器															
一般機器															
上層階、屋上及び塔屋															
2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5)															
中 間 階															
1.5(1.5) 1.0(1.5) 1.0(1.5) 0.6(1.0)															
1階及び地階															
1.0(1.0) 0.6(1.0) 0.6(1.0) 0.4(0.6)															
注1）設置場所の区分は標準仕様書による。															
注2）（ ）内の設備は防振支持の機器の場合に適用する。															
イ）本工事は施設は、（※一般の施設 ・特定の施設）とする。															
ロ）地域係数は、1.0とする。															
ハ）10.0kg以下の軽重量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらずともよい。															
二）重要機器類（高架タンク、受水タンクは機器表による。）															

Ⅲ. 工 事 実 績 情 報															
1. 工事実績情報															
(工事カルテ)															
2. 施工条件															
※ 適用する															
・本工事は建物を使用しながらの工事であること。															
1. 温 湿 度 調整目標値															
外 気															
一 般 系 統															
温度湿度															
冬季															
夏季															
(DB) (RH) (DB) (RH) (DB) (RH) (DB) (RH)															
2. ばい煙濃度計															
取得付															
取得付 (測定口80 フランジ止)															
取得付															
3. 燃 火															
別 途															
鋼板厚 3.0以下は 3.2mm、3.0を超えるものは 4.5mmとする。															
図示による (410以上の煙道には、排出口に緩衝を取付ける)															
・アングル工法															
・低 速															
・パイラルダクト															
取得付場所は図示による。取得付は監督員の指示による。															
便導方式															

改 修 空 気 調 和 設 備 機 器 表									
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様 (参考型番)	設 置 場 所	電 気 仕 様				台 数	備 考
				φ	V	k W (最大消費電力)	k W (定格消費電力)		
A C - 1	パッケージエアコン (寒冷地仕様)	暖房能力 11.2 kW 冷房能力 10.0 kW 壁掛型(同時ツイン)・ワイヤードリモコン・ドレンアップメカ 防雪屋根・平置架台(H500)・コンクリート入固定ブロック×2・室外機転倒防止 他標準付属品一式 G K H B 1 1 2 1 1 M U B	外部 会議室(1階) 中会議室	3	200	暖房 6.40	暖房 2.95 冷房 3.05	2	
A C P - 1	マルチエアコン (室外機) (寒冷地仕様)	暖房能力 18.0 kW 冷房能力 16.0 kW 防雪屋根・平置架台(H500)・コンクリート入固定ブロック×2・室外機転倒防止 分岐管 他標準付属品一式 室外機: 1.01×0.37×1.55H・163kg M C Y - M A P 1 6 0 1 H N	外部	3	200	暖房 8.50	暖房 4.90 冷房 4.50	1	
A C P - 1 - 1	マルチエアコン (室内機)	暖房能力 6.3 kW 冷房能力 5.6 kW 壁掛型・ドレンアップメカ付・ワイヤードリモコン×1 他標準付属品一式 M M K - U P 5 6 1 H	会議室(2階)	1	200		0.032	3	

冷房・暖房能力及び電気特性は（J I S B 8616）に規定された定格条件による。
各エアコンの室内外機の連絡配線と操作配線は冷媒配管に共巻とし本工事とする。
アクティブフィルター必要機種は対応を行う

再 使 用 空 気 調 和 設 備 機 器 表									
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	設置場所	電 気 仕 様				台 数	備 考
				φ	V	k W (最大消費電力)	k W (定格消費電力)		
A C R - 4	ルームエアコン	暖房能力 5.0 kW 冷房能力 4.0 kW 壁掛型・リモコン、壁掛架台再使用	外部 休憩室	1	200	暖房 2.285 冷房 1.54	暖房 1.46 冷房 1.33	1	既存事務室設置機器を再使用 冷媒、ドレン配管は新規とする
A C R - 5	ルームエアコン	暖房能力 5.0 kW 冷房能力 4.0 kW 壁掛型・リモコン、壁掛架台再使用	外部 更衣室	1	200	暖房 2.355 冷房 1.45	暖房 1.30 冷房 1.16	1	既存休憩室設置機器を再使用 冷媒、ドレン配管は新規とする
F F - 4	FF式石油暖房機	暖房出力: 7.41kW 灯油コック・給排気筒再使用	休憩室 更衣室	1	100	0.107		2	既存事務室設置機器を再使用 既存休憩室設置機器を再使用
O S - 2	オイルサーパー	灯油用・15L／h・最大揚程: 8m	休憩室	A C	100	0.01		1	既存事務室設置機器を再使用
T O - 1	オイルタンク	200型						1	既存外部設置機器を再使用

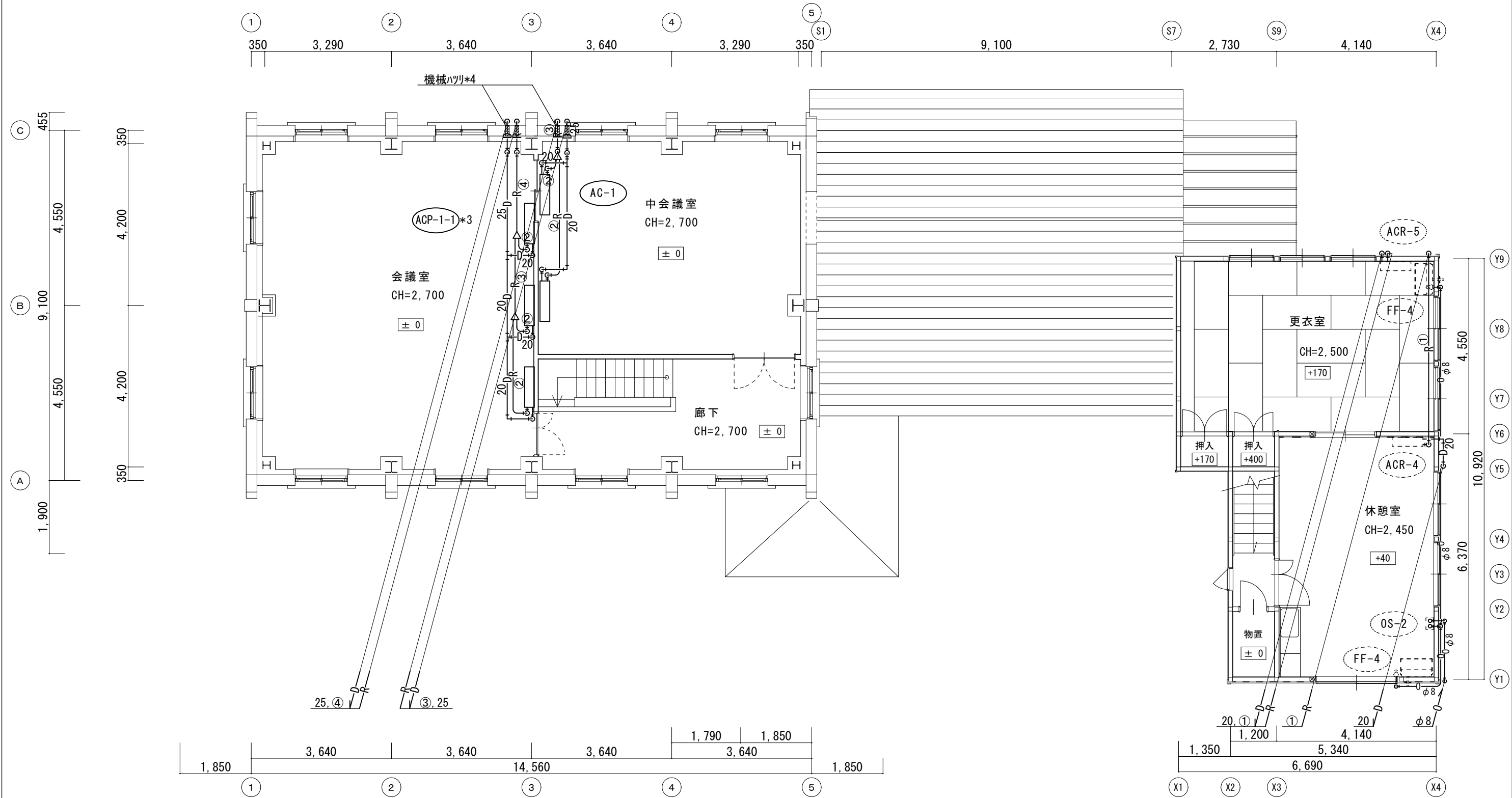
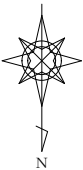


番号	冷媒配管サイズ表		保温化粧ケース(樹脂製) サイズ表
	液側	ガス側	
①	φ 6.4	φ 9.5	140 × 80
②	φ 6.4	φ 12.7	
③	φ 9.5	φ 15.9	
④	φ 9.5	φ 19.1	

※ 冷媒・ドレン配管の屋内外露出部分は保温化粧ケースを使用

番号	冷媒配管サイズ表		保温化粧ケース(樹脂製) サイズ表
	液側	ガス側	
①	φ 6.4	φ 9.5	1 4 0 × 8 0
②	φ 6.4	φ 12.7	
③	φ 9.5	φ 15.9	
④	φ 9.5	φ 19.1	

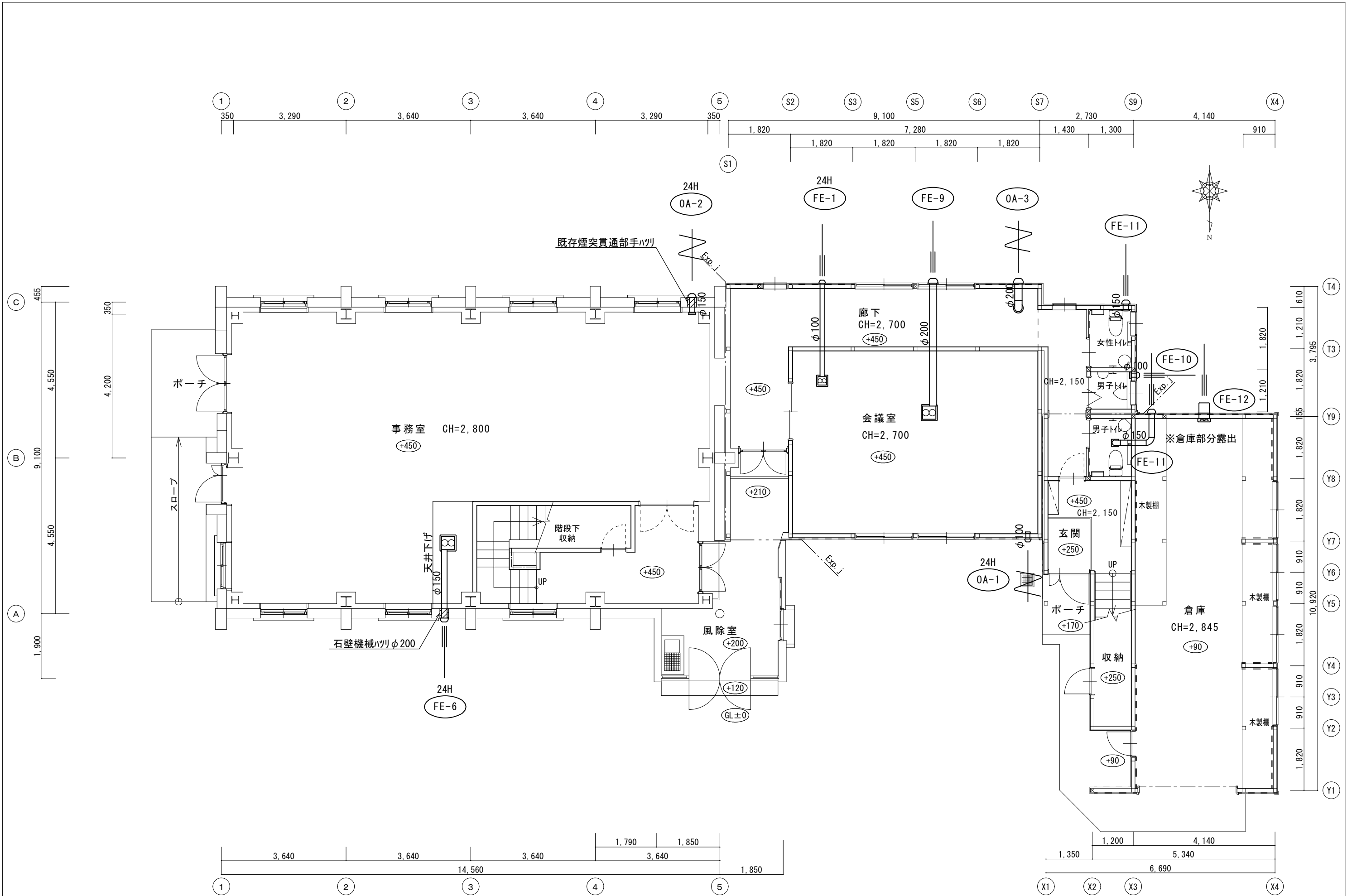
※ 冷媒・ドレン配管の屋内外露出部分は保温化粧ケースを使用



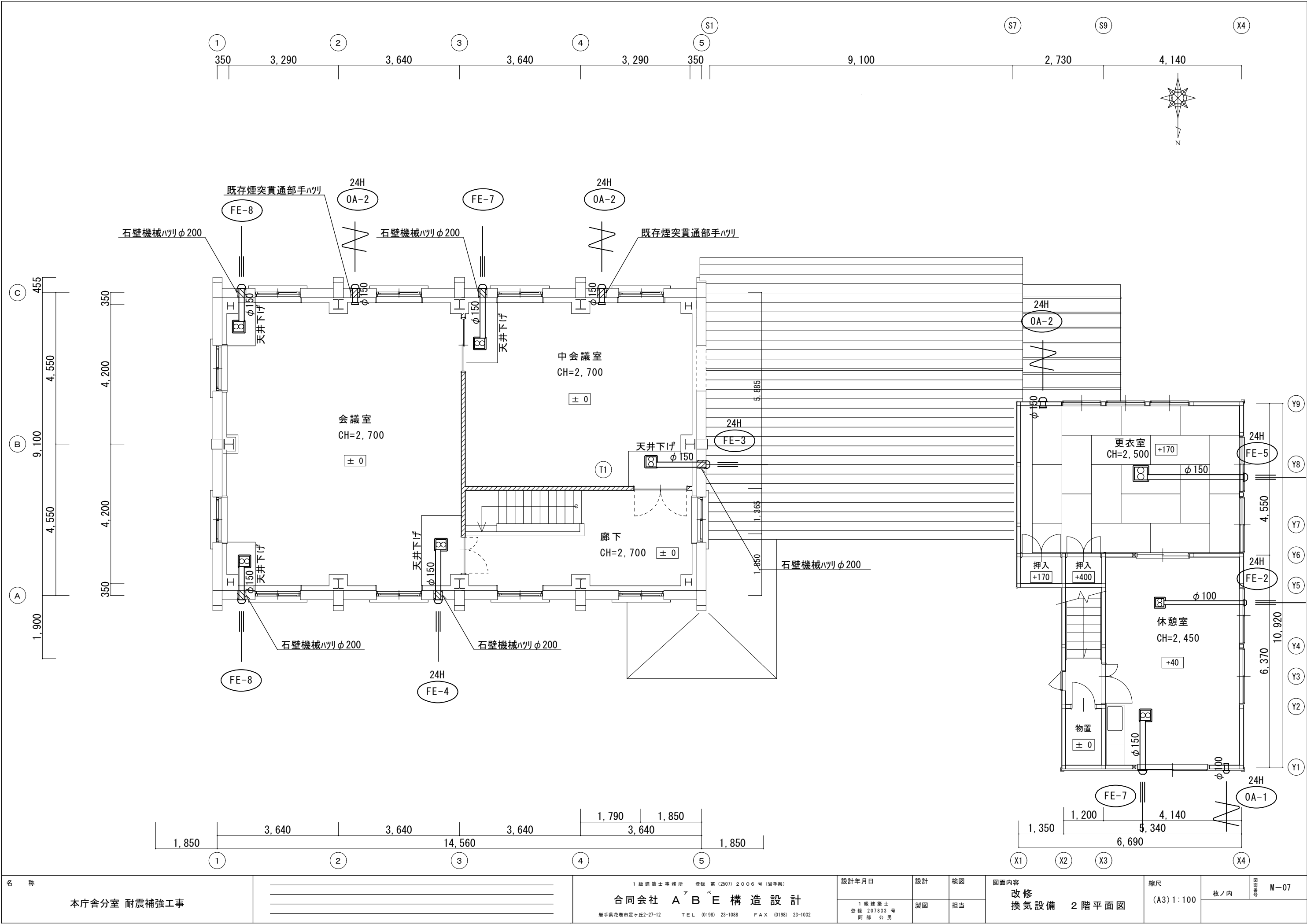
名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日	設計	検図	図面内容 改修 空 気 調 和 設 備 2 階 平 面 図	縮尺 (A3) 1:100	枚ノ内	図 番 M-04
			1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				

換 気 設 備 機 器 表								
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様（ 参 考 型 番 ）	設 置 場 所	電 気 仕 様			台 数	備 考
				φ	V	W		
F E - 1	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ：金属製・ファン、グリル：プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ100・風量 強120m³/h - 40Pa 24H65m³/h - 15Pa SUS製深型フード（ギャラリ付）・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-15ZLXP14-CS	会議室（1階）	1	100	強20.0 24H7.5	1	24時間換気
F E - 2	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ：金属製・ファン、グリル：プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ100・風量 強130m³/h - 40Pa 24H40m³/h - 5Pa SUS製深型フード（ギャラリ付）・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-15ZLXP14-CS	休憩室	1	100	強20.0 24H7.5	1	24時間換気
F E - 3	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ：金属製・ファン、グリル：プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ150・風量 強300m³/h - 50Pa 24H60m³/h - 5Pa SUS製深型フード（ギャラリ付）・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-20ZLX14-CS	中会議室	1	100	強42.0 24H13.0	1	24時間運転
F E - 4	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ：金属製・ファン、グリル：プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ150・風量 強350m³/h - 55Pa 24H100m³/h - 5Pa SUS製深型フード（ギャラリ付）・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-20ZLXP14-CS	会議室（2階）	1	100	強54.0 24H18.0	1	24時間運転
F E - 5	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ：金属製・ファン、グリル：プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ150・風量 強460m³/h - 110Pa 24H50m³/h - 5Pa SUS製深型フード（ギャラリ付）・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-23ZLXP13-CS	更衣室	1	100	強78.0 24H28.0	1	24時間運転
F E - 6	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ：金属製・ファン、グリル：プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ150・風量 強495m³/h - 105Pa 24H160m³/h - 15Pa SUS製深型フード（ギャラリ付）・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-23ZLXP13-CS	事務室	1	100	強78.0 24H28.0	1	24時間運転
F E - 7	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ：金属製・ファン、グリル：プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ150・風量 335m³/h - 50Pa SUS製深型フード（ギャラリ付）・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-20ZX14-C	中会議室 休憩室	1	100	42.0	2	
F E - 8	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ：金属製・ファン、グリル：プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ150・風量 340m³/h - 50Pa SUS製深型フード（ギャラリ付）・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-20ZX14-C	会議室（2階）	1	100	42.0	2	
F E - 9	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ：金属製・ファン、グリル：プラスチック製・風圧式シャッター付・接続ダクトφ200・風量 強600m³/h - 70Pa 弱400m³/h - 40Pa SUS製深型フード（ギャラリ付）・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-25ZX13-C	会議室（1階）	1	100	強80.0 弱57.0	1	
F E - 10	パイプ用ファン	低騒音形・角形格子グリル・電気式シャッター付・接続ダクトφ100・風量 50m³/h - 5Pa SUS製深型フード（ギャラリ付）・コントロールスイッチ共 V-08PSD8	男子トイレ(小)	1	100	4.2	1	
F E - 11	パイプ用ファン	低騒音形・角形格子グリル・電気式シャッター付・接続ダクトφ150・風量 60m³/h - 5Pa SUS製深型フード（ギャラリ付）・コントロールスイッチ共 V-12PSD8	男子トイレ(大) 女性トイレ	1	100	5.9	2	
F E - 12	有 圧 換 気 扇	排気専用・羽根径25cm・風量 800m³/h - 25Pa・SUS製電動シャッター付ウェザーカバー・取付枠・バックガード・コントロールスイッチ共 EWF-25ASA2	倉庫	1	100	42.0	1	
O A - 1	自然給気ユニット	接続ダクト100φ 角形・壁据付・シャッター開口面積調節、ロック機構付・風圧シャッター付・外気清浄フィルター SUS製深型フード（ギャラリ・防虫網付） P-13KQU	会議室（1階） 休憩室				2	24時間運転
O A - 2	自然給気ユニット	接続ダクト150φ 角形・壁据付・シャッター開口面積調節付・外気清浄フィルター SUS製深型フード（ギャラリ・防虫網付） P-18WQU	事務室・中会議室 更衣室 会議室（2階）				4	24時間運転
O A - 3	給排気グリル	接続ダクト200φ 丸形・天井据付・風量調節付・SUS製深型フード（ギャラリ・防虫網付） P-23GLC4	廊下				1	

24H他コントロールスイッチは電気工事に支給のこと
換気ファンの電動機出力又は消費電力は（JIS B 8330又はJIS C 9603）に規定された数値とする



名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1級建築士事務所 登録 第(2507)2006号(岩手県) 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日	設計	検図	図面内容 改修 換気設備 1階平面図	縮尺 (A3) 1:100	枚ノ内 全図 10枚 M-06
			1級建築士 登録 207833号 阿部 公男	製図	担当			

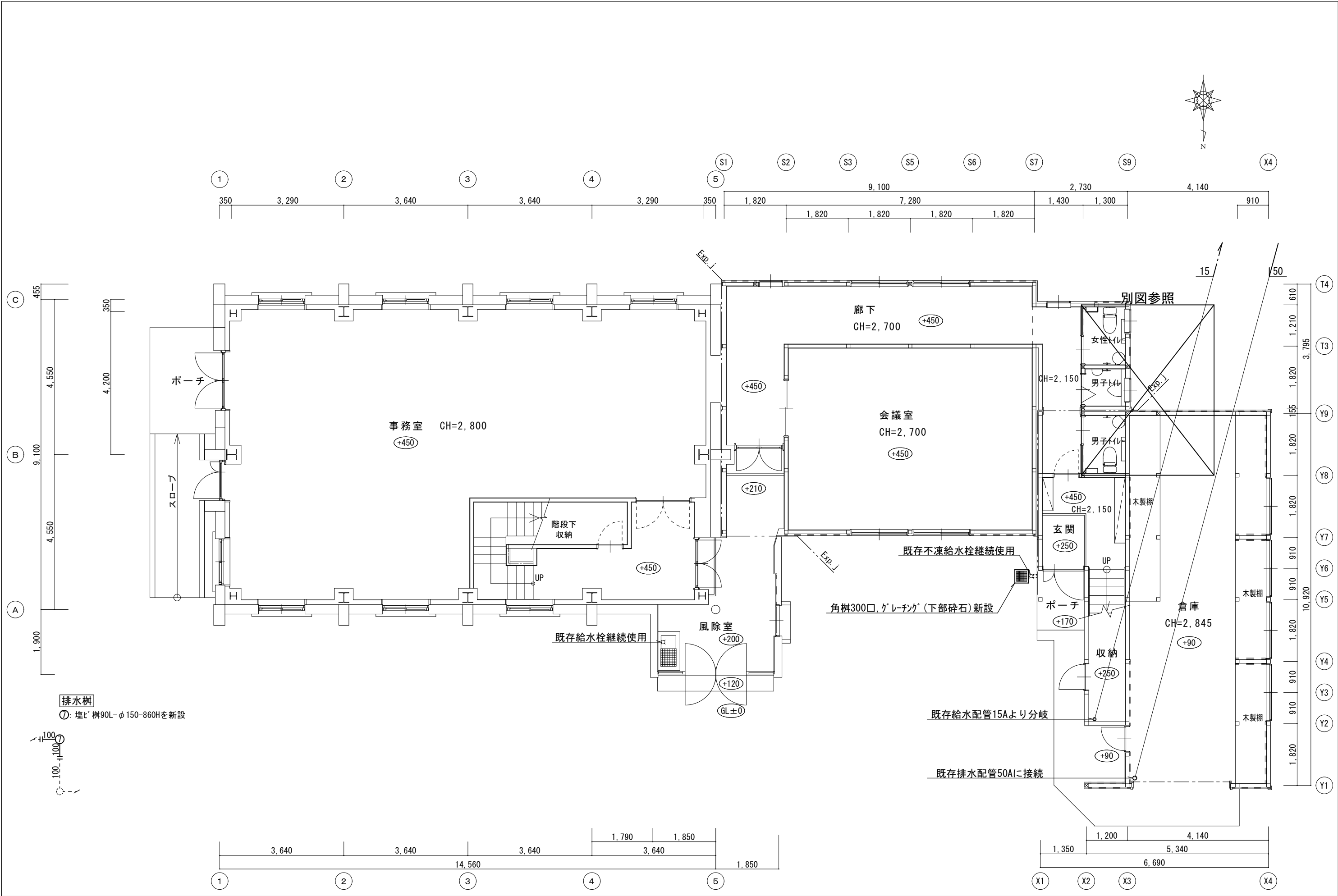


名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日	設計	検図	図面内容 改修 換気設備 2階平面図	縮尺 (A3) 1:100	枚ノ内	図 番 号 M-07
			1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				

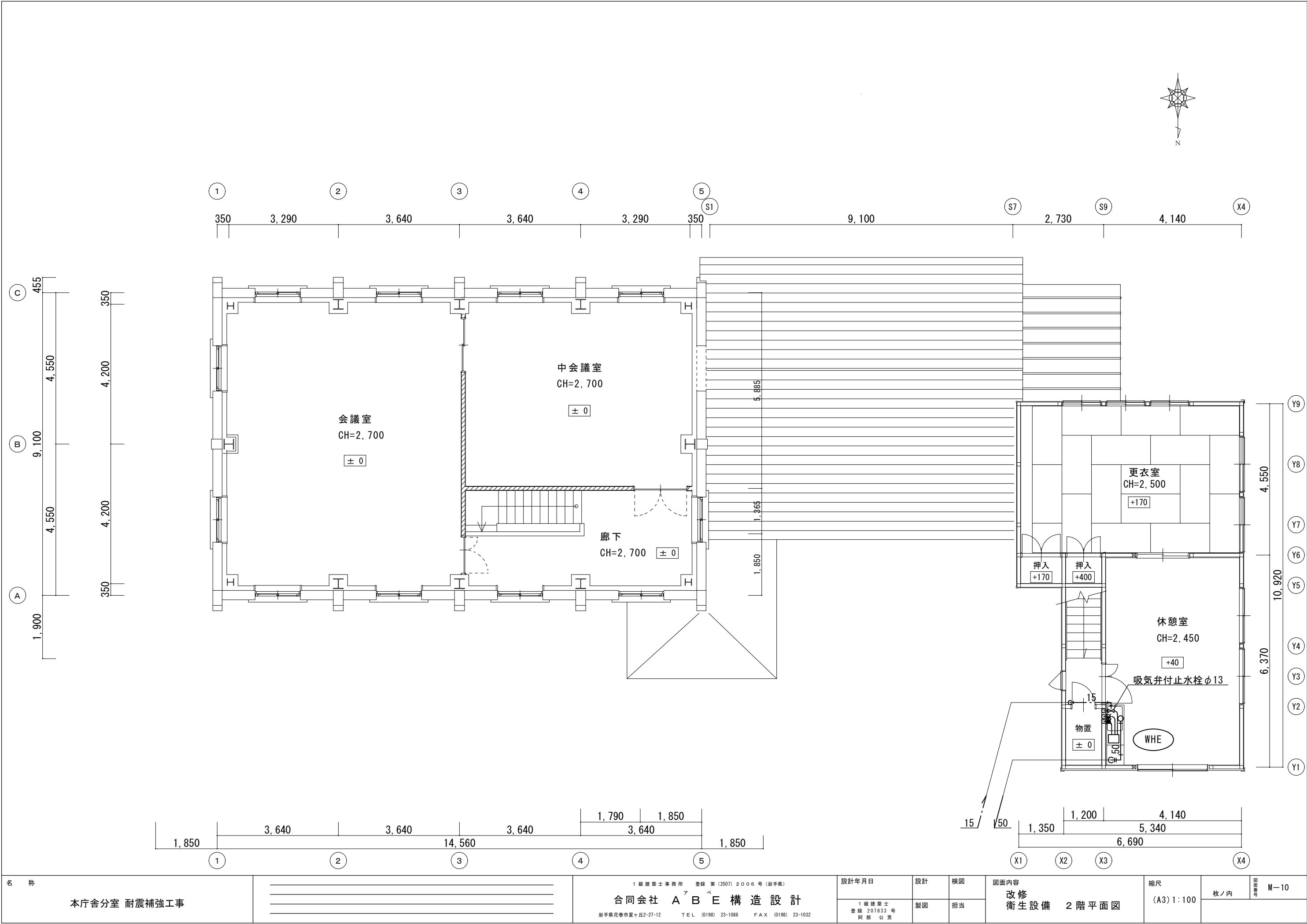
名 称	参 考 型 番	男子 トイレ	男子 トイレ (小)	女子 トイレ	休 憩 室	合 計
腰掛式便器	TOTO:CS232BM SH232BA TCF6623 YHB63FR・LIXIL:BC-Z30H DT-Z350HN CW-KB31 NKF-3WU2 (リモコンタイプ・節水:4.8Lタンク・ウォシュレット:318W・手すりセット棚付二連紙巻器)	1		1		2
床置小便器	TOTO:UFH507CR TG600PL・LIXIL:U-321RM UF-3JHT UF-300WP (大形・寒冷地フラッシュバルブ)		1			1
コーナー手洗キャビネット コーナーミラーキャビネット	TOTO:該当品無・LIXIL:YL-D201CCHE TSF-621 (ハンドル水栓・床給排水金具)	1		1		2
手洗キャビネット	TOTO:ULRB3LTBNNNNNNNN・LIXIL:L-D203SCHE (ハンドル水栓・床給排水金具)		1			1
化粧鏡	TOTO:YM4560A・LIXIL:KF-4560 (450×600)		1			1
ミドルキャビネット	TOTO:UGLD05・LIXIL:TSF-107 (扉付・360×150×600程度)	1		1		2
タオルリング	TOTO:YT405 ・LIXIL:FKF-AD70C (210×53×91.5程度)	1	1	1		3
電気温水器 (WHE)	TOTO:REKB12A1SW35D TH651 RHE140*3 ・LIXIL:EHPM-KA12ECV3 LF-3VK EFH-DA1 SF-WCH390 EFH-CP1 (飲料, 洗い物用・据置12L-AC100V-1.1kW・セット内訳:熱湯用水栓付壁付シングル混合水栓・耐震用脚・開放式排水ホッパー・接続口キャップ・連結管*3)				1	1
吸気弁付継手	φ13LKSTL型 (同等品) ※便器、手洗器	2	1	2		5
吸気弁付止水栓	φ13アングル型 ※電気温水器				1	1

電気温水器の能力及び消費電力は（J I S C 9 2 1 9）に規定された定格条件による。
電気温水器の満水時質量が15kg以上の場合は転倒防止措置を行う。据置型は告示第5号の2号による。

名 称 本庁舎分室 耐震補強工事	1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 元 (2010) 1169 号 (岩手県) ア ベ A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市丘ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2020.09.	設計	検図	図面内容 改修 衛生設備 器具表	縮尺 (A3)N, S	枚ノ内 国 庫 庫 庫 M-08
		1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当			



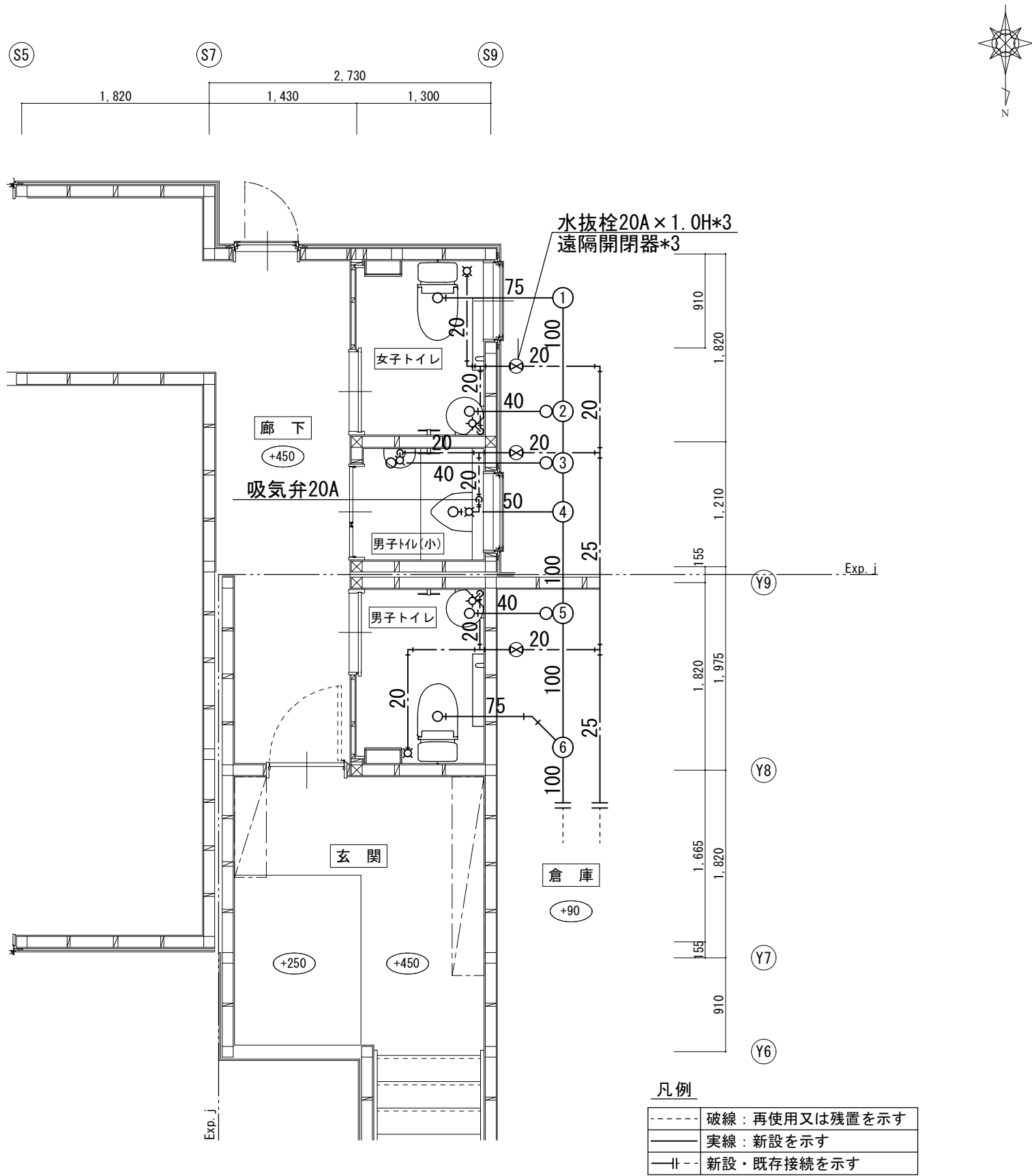
名 称	本庁舎分室 耐震補強工事	1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県)	合 同 会 社 A B E 構 造 設 計		設計年月日	設計	検図	図面内容 改修 衛生設備 1 階平面図	縮尺 (A3) 1:100	枚ノ内	M-09
			岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032		1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				



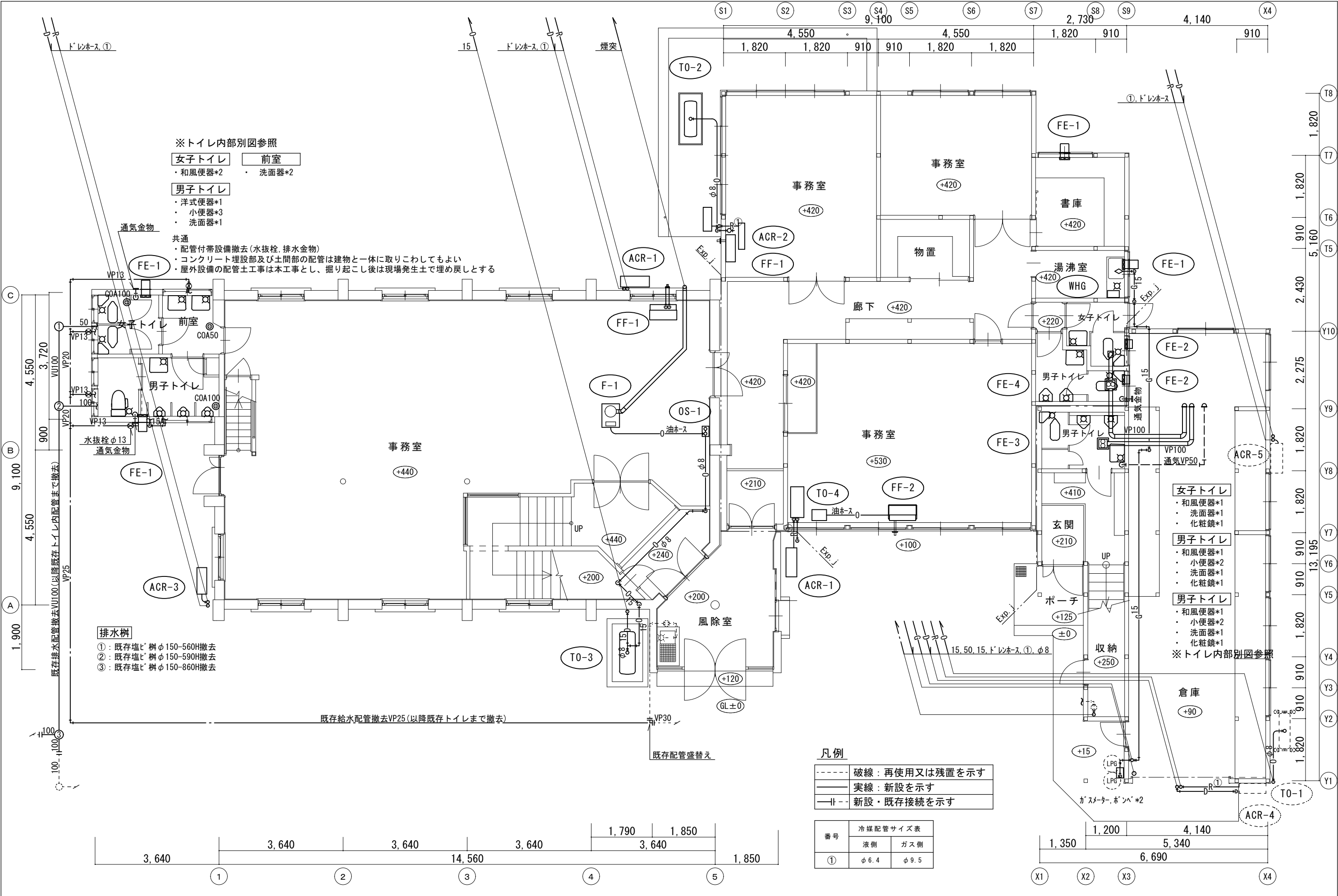
名 称	1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県)	設計年月日	設計	検図	図面内容	縮尺	枚ノ内	図面番 号	M-10
		1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当					
本庁舎分室 耐震補強工事	合同会社 A B E 構 造 設 計	岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	改修 衛生設備 2 階平面図			(A3) 1:100			

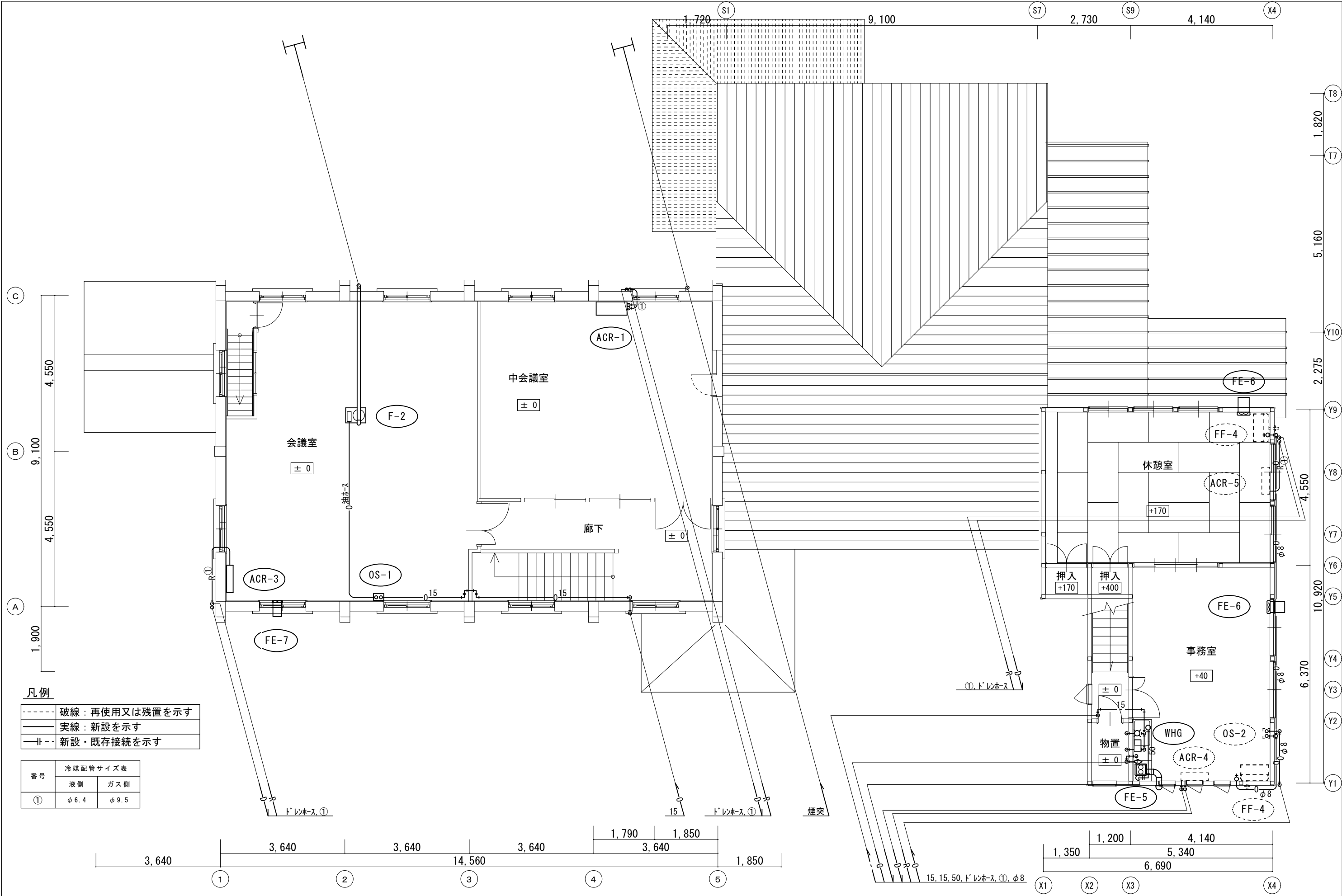
排水樹表					
樹番号	記 号	流入管底 (mm)	樹蓋	設計GL	距離 (m)
①	100-150 90L	-662	樹脂性	±0	1.10 0.50 0.48 0.99 1.30
②	100-150 UT	-684	樹脂性	±0	
③	100-150 UT	-694	樹脂性	±0	
④	100-150 90Y	-704	樹脂性	±0	
⑤	100-150 UT	-724	樹脂性	±0	
⑥	100-150 45YS	-750	樹脂性	±0	

- ※ 樹脂製蓋はターンアップ式とする。
- ※ トラップ樹はエアキャップ付蓋とする。
- ※ 配管勾配は2%以上とること。
- ※ 流入管底は設計GL±0の数値とし、施工時に現場GLを測定の上、流入管底を決定すること。



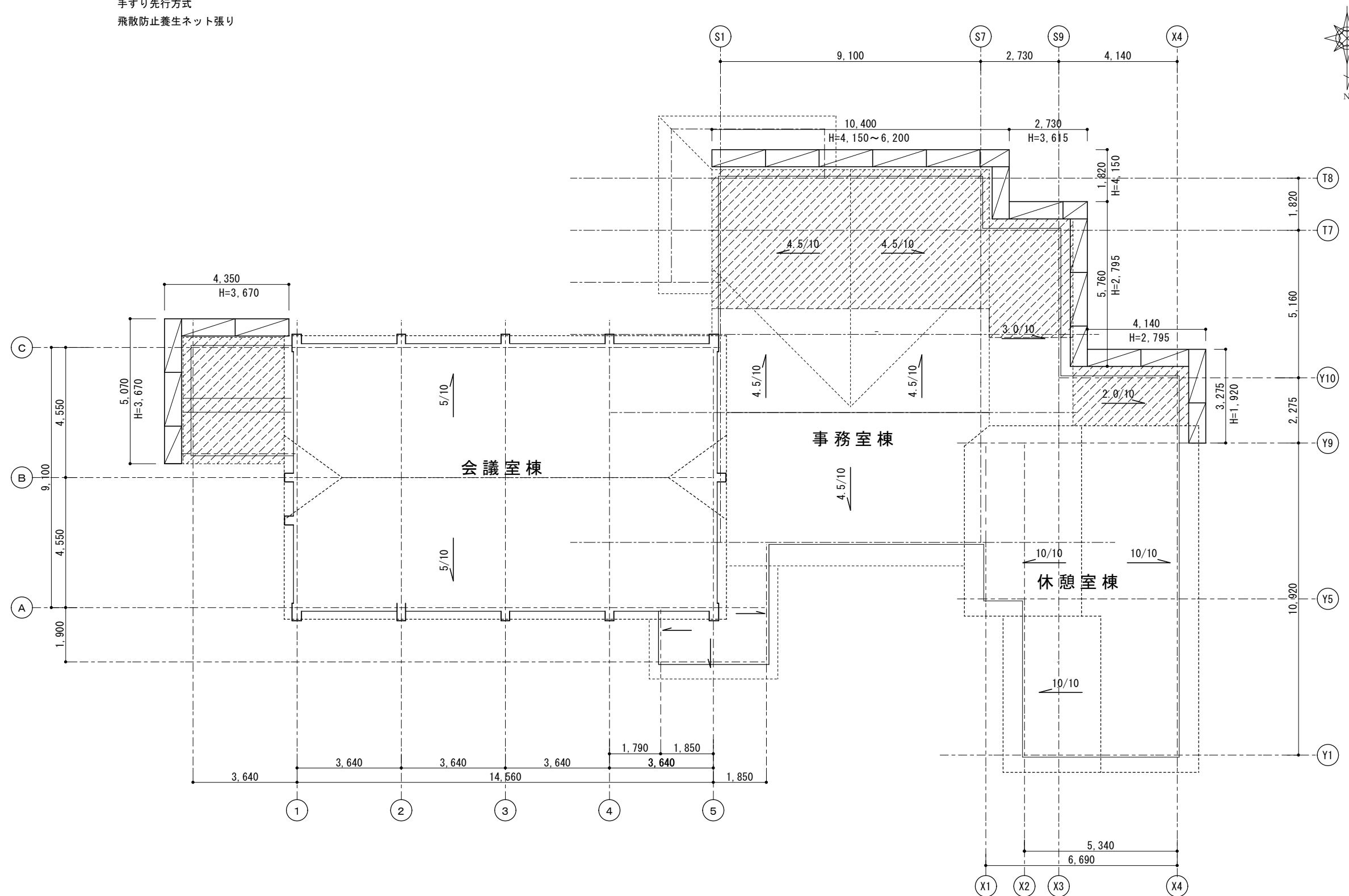
撤去機器表																		
名 称	仕 様	1 階										2 階				外部	計	備 考
		事務室 1	W C	事務室 2	事務室 3	事務室 4	書庫	湯沸室	男子WC	女子WC	男子WC	会議室	中会議室	事務室	休憩室			
煙突式石油暖房機：F－1	暖房出力：16.3kW 煙突共	1															1	重量 約 34.0kg
煙突式石油暖房機：F－2	暖房出力：11.0kW 煙突共											1					1	重量 約 24.0kg
F F 式石油暖房機：F F－1	暖房出力：5.0kW 給排気筒共	1															1	重量 約 22.0kg
F F 式石油暖房機：F F－2	暖房出力：15.9kW 給排気筒共			1													1	重量 約 47.0kg
F F 式石油暖房機：F F－3	暖房出力：6.28kW 給排気筒共				1												1	重量 約 27.0kg
ルームエアコン：ACR－1	壁掛型・暖房：7.1kW・冷房：6.3kW 冷媒ガス回収・処分共（R32：1.42kg）			1									1				2	重量 約 49.5kg(室外機) 重量 約 17.0kg(室内機)
ルームエアコン：ACR－2	壁掛型・暖房：4.8kW・冷房：2.8kW 冷媒ガス回収・処分共（R－22：0.58kg）				1												1	重量 約 40.0kg(室外機) 重量 約 7.5kg(室内機)
ルームエアコン：ACR－3	壁掛型・暖房：3.2kW・冷房：2.8kW 冷媒ガス回収・処分共（R410A：0.98kg）											1					1	重量 約 28.0kg(室外機) 重量 約 7.5kg(室内機)
オイルサーバー：OS－1	灯油用・最大揚程：8m・油ホース共	1										1					2	重量 約 3.0kg
オイルタンク：TO－2	250型・防油堤共															1	1	重量 約 43.0kg(タンク) 重量 約 19.0kg(防油堤)
オイルタンク：TO－3	490型・表示板3枚共															1	1	重量 約 81.0kg
オイルタンク：TO－4	小型・65L・油ホース共			1													1	重量 約 13.0kg
換気扇：FE－1	羽根20cm・ウェザーカバー共		2				1	1									4	重量 約 2.0kg(換気扇) 重量 約 1.0kg(ウェザーカバー)
換気扇：FE－2	羽根20cm								1	1							2	重量 約 2.0kg
天井換気扇：FE－3	ダクトφ100用										1						1	重量 約 3.0kg
天井換気扇：FE－4	二部屋換気用・ダクトφ100用 女子トイレ副吸込グリル共								1								1	重量 約 4.0kg
天井換気扇：FE－5	ダクトφ150用													1			1	重量 約 6.4kg
換気扇：FE－6	羽根25cm・ウェザーカバー共													1	1		2	重量 約 3.0kg(換気扇) 重量 約 1.0kg(ウェザーカバー)
換気扇：FE－7	循環・空調形											1					1	重量 約 3.0kg(換気扇) 重量 約 1.0kg(ウェザーカバー)
洋式便器(ヒーター付)	タンク式・暖房洗浄便座、紙巻器、手すり共		1														1	重量 約 19.0kg(便器) 重量 約 16.0kg(タンク) 重量 約 6.0kg(便座)
和風便器	タンク式、紙巻器共		2						1	1	1						5	重量 約 9.5kg(便器) 重量 約 20.0kg(タンク)
小便器	壁掛形		3														3	重量 約 6.0kg
小便器	床置形								2		2						4	重量 約 38.4kg
洗面器	壁掛形		3						1	1	1						6	重量 約 12.4kg
化粧鏡	450×360								1	1	1						3	重量 約 2.0kg
単水栓類	13A		3					1	1	1	1			1			8	重量 約 0.5kg
ガス湯沸器：WHG	壁掛型・5号							1						1			2	重量 約 5.4kg
ガスメーター・ボンベ	ガスメーター・ボンベ×2は供給業者へ返却															1組	1組	



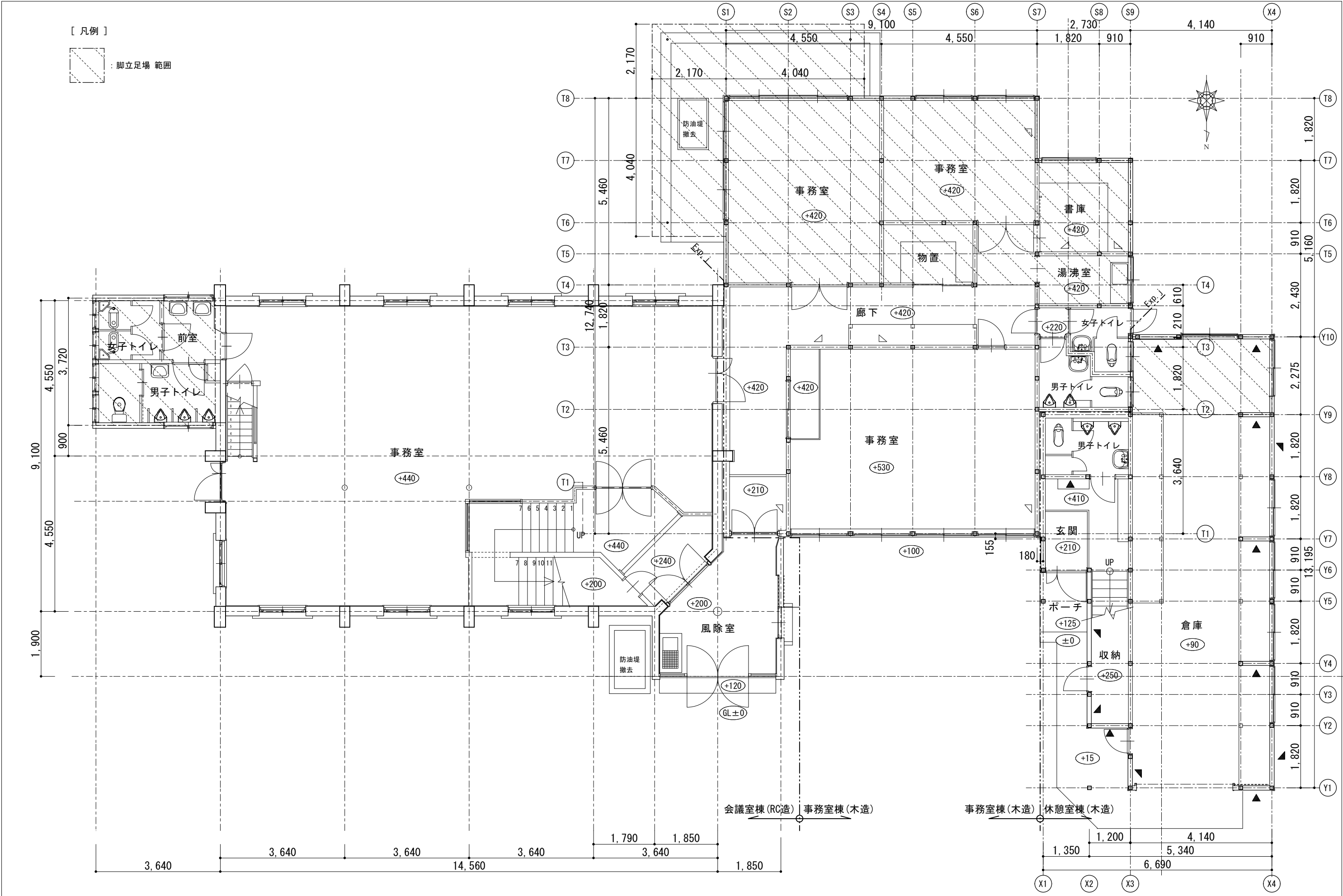


【 凡 例 】

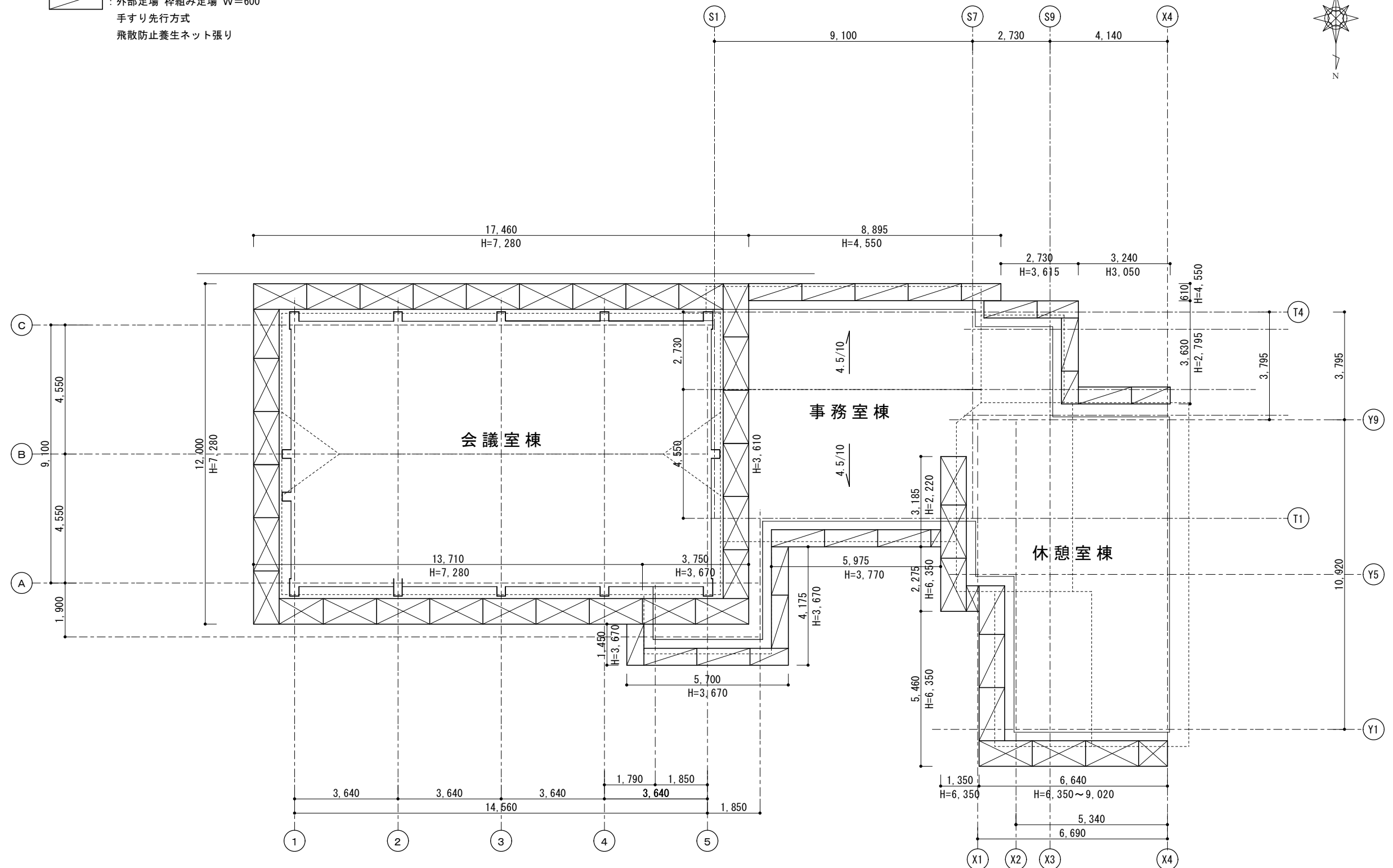
-  : 建物 とりこわし部分
-  : 外部足場 枠組み足場 W=600
- 手すり先行方式
- 飛散防止養生ネット張り



名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩 手 県 花 巻 市 星 ヶ 丘 2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3. 1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	設計 製図	検図 担当	図面内容 解体用 外部足場計画図	縮尺 (A3) 1:150	枚ノ内	図面番号 K-01
---------------------	---	---	---	----------	----------	---------------------	------------------	-----	--------------



名 称			1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県)	設計年月日	設計	検図	図面内容	縮尺	枚ノ内	図面番号 K-02
				2025. 3.						
本庁舎分室 耐震補強工事			合同会社 A B E 構 造 設 計				解体用 1 階内部足場	(A3) 1:100		
			岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032		1 級 建 築 士 登 録 2 0 7 8 3 3 号 阿 部 公 男	製図	担当			



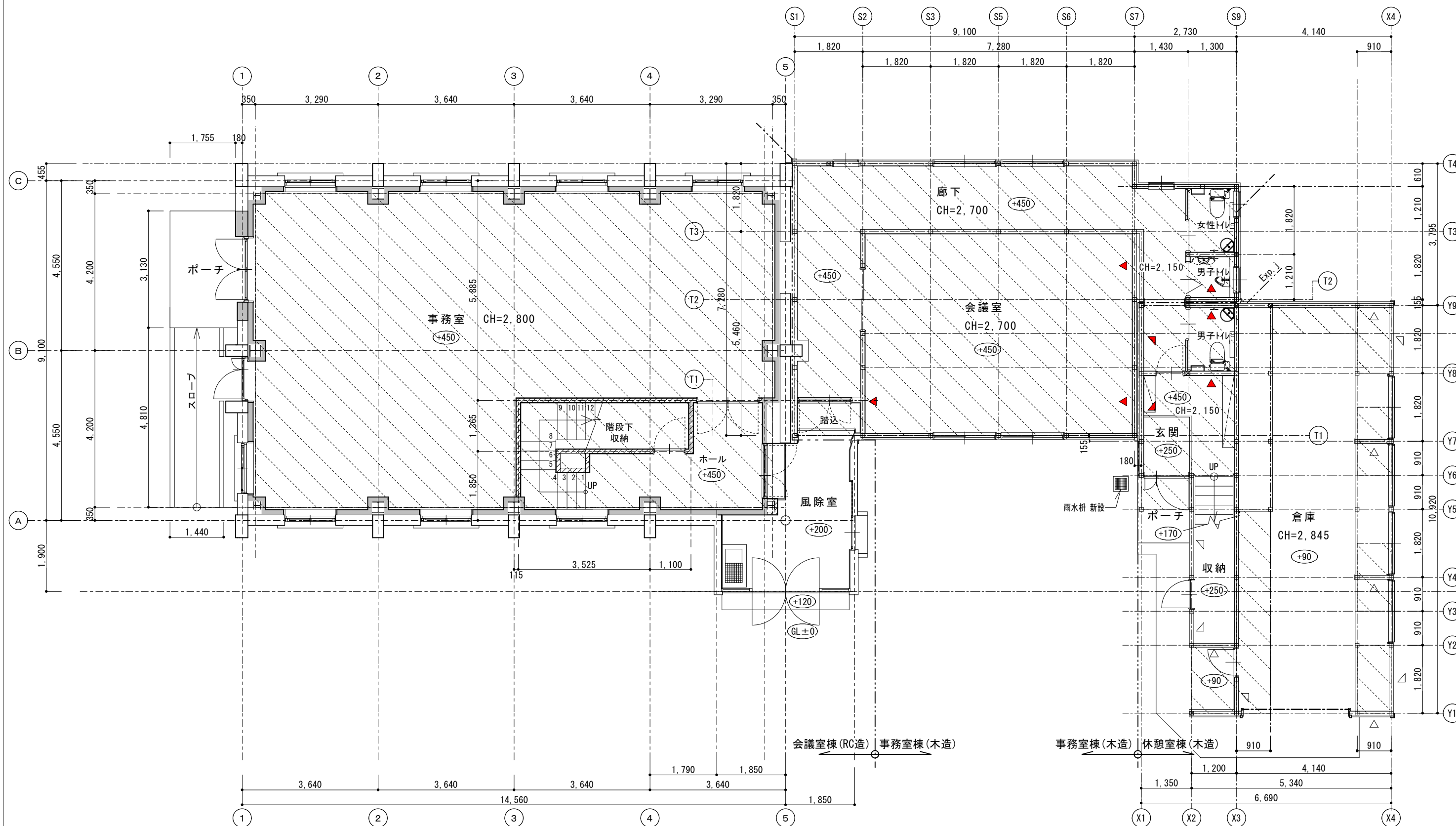
枚ノ内	図面番号 K-03
-----	--------------

改修用 外部足場計画図

[凡例]



: 脚立足場 範囲

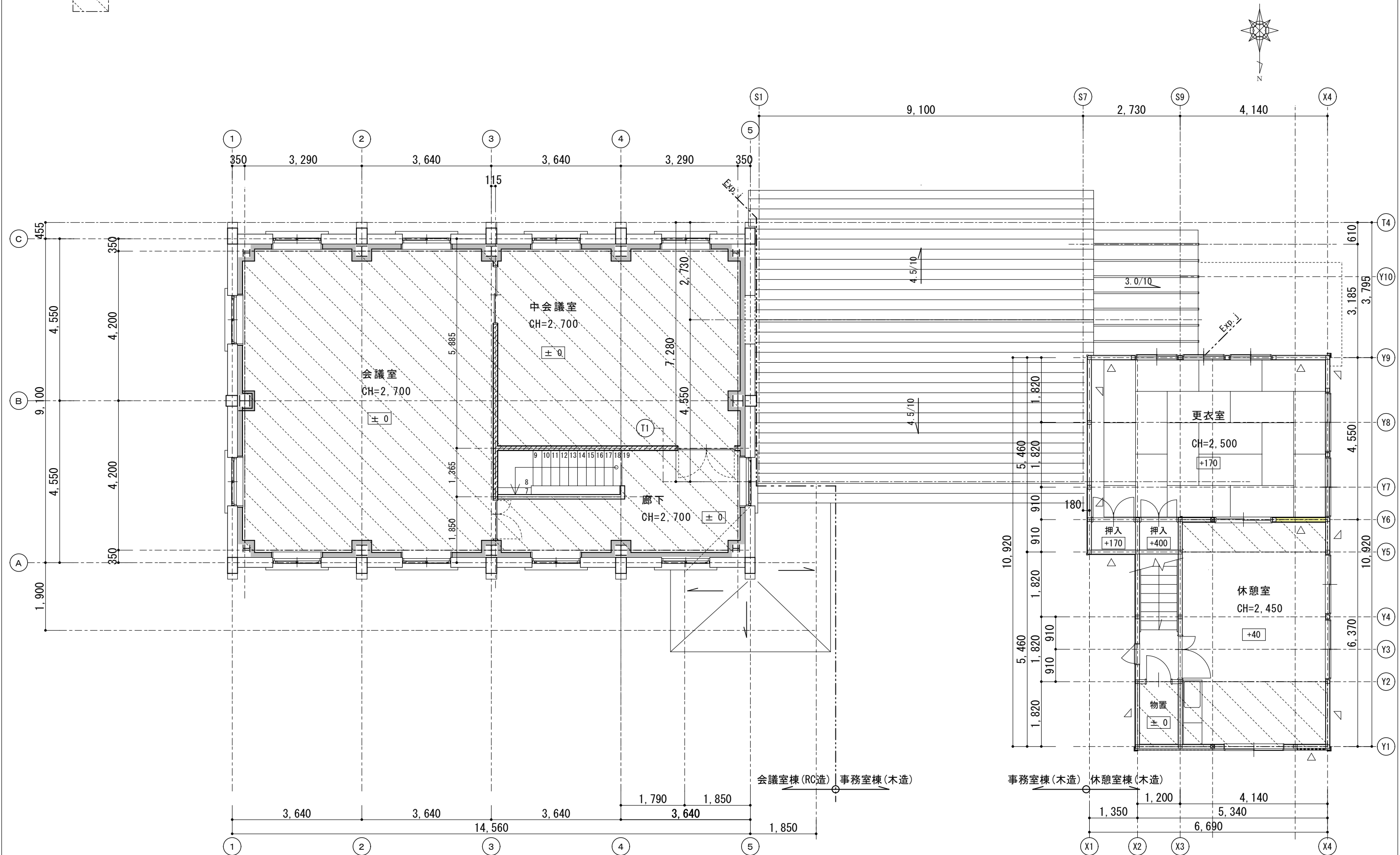


名 称 本庁舎分室 耐震補強工事	_____ _____ _____ _____	1 級建築士事務所 登録第(2507)2006号(岩手県) 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3. 1 級建築士 登録 207833 号 阿部 公男	設計 製図	検図 担当	図面内容 改修用 1 階内部足場	縮尺 (A3) 1:100	枚ノ内 図番 K-04
--------------------------------	---	---	--	---------------------	---------------------	--------------------------------	-----------------------------	----------------------------------

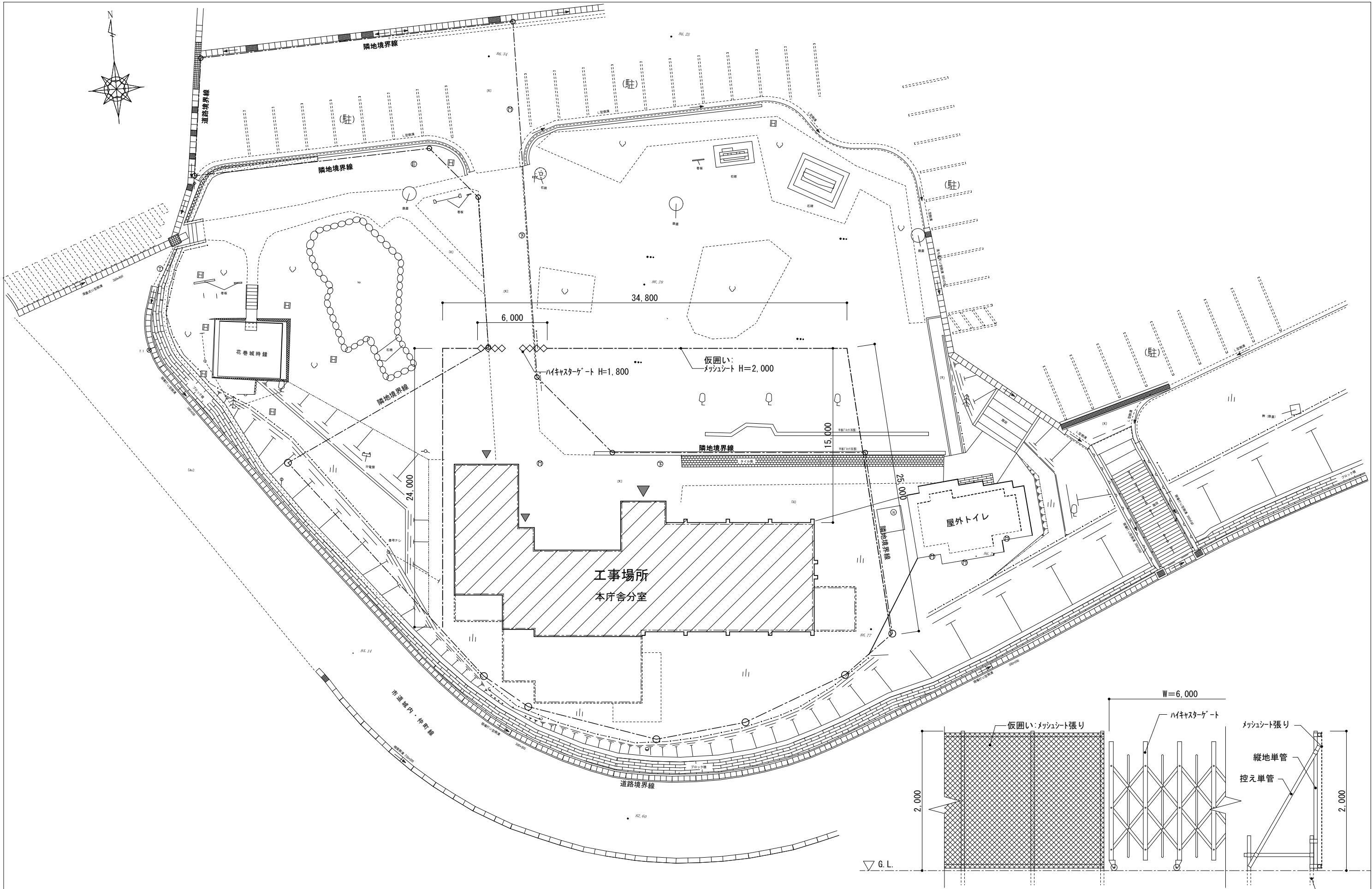
[凡例]



: 脚立足場 範囲



名 称 本庁舎分室 耐震補強工事		1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 改修用 2 階内部足場	縮尺 (A3) 1 : 100	枚ノ内 1	図 K-05
			1 級建築士 登録 207833 号 阿部 公男	製図	担当				



名 称	本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 (2507) 2006 号 (岩手県) 合 同 会 社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容 仮設計画 配置図	縮尺 (A3) 1:300	枚ノ内 1	図面番号 K-06
				1 級 建 築 士 登 録 207833 号 阿 部 公 男	製図	担当				